

第2期大湊村総合村づくり計画の  
策定に向けたアンケート調査

---

報告書

令和3年10月



## 目 次

I	調査概要	1
I-1	調査の目的・実施概要	1
	(1) 調査の目的	1
	(2) 実施概要	1
I-2	集計結果を読む際の留意事項	2
II	調査結果	3
II-1	あなたご自身のことについて	3
	(1) 性別	3
	(2) 年齢	4
	(3) 職業	5
	(4) お住まいの住区	6
	(5) 大潟村の居住年数	7
	(6) 大潟村以外の居住経験	8
	(7) 家族構成	10
	(8) 同居家族	12
II-2	大潟村での暮らしにおける幸福度	14
	(1) 幸福度について	14
	(2) 幸福度を判断する際に重視したことについて	15
	(3) 暮らしの中で「特に大事だと思う分野」について	18
	(4) 現在の暮らしへの悩みや不安について	21
	(5) 将来の暮らしへの悩みや不安について	23
	(6) 暮らしやすさについて	25
	(7) 定住意向について	27
	(8) 普段の暮らしで感じることや取り組んでいること	33
II-3	大潟村の取り組みについて	60
	(1) 「第2期大潟村総合村づくり計画」について	60
	(2) 各施策の「満足度」と「重要度」について	62
II-4	人口減少の抑制・定住促進への取り組みについて	141
	(1) 人口減少への不安について	141
	(2) 「人口減少社会における取り組み」として特に重要なことについて	143
	(3) 移住の勧めについて	146
	(4) 居住地域を検討する際に重視することについて	147
	(5) 今後力を入れるべき支援について	150

---

II-5	これからの村づくりについて.....	153
	(1) 将来像の実現のために重要な取り組みについて.....	153
	(2) ご意見・ご提案について.....	156
II-6	将来の働き方について(40歳未満の方のみ対象).....	161
	(1) 働きたい「地域」について.....	161
	(2) 大湊村以外の地域を選んだ理由について.....	162
	(3) 若者が大湊村で働くために必要なものについて.....	163
	(4) 大湊村の就労・雇用の充実を図るための支援について.....	164

# I 調査概要



# I 調査概要

## I-1 調査の目的・実施概要

---

### (1) 調査の目的

第2期大潟村総合村づくり計画後期基本計画の策定に向けたアンケート調査（以降、「本調査」とします。）は、村民の皆様が日頃感じておられるご意見・ご要望などをお聞きし、これからの村づくりに活かしていくことを目的として実施しました。

### (2) 実施概要

本調査の対象及び配布、回収状況は、以下のとおりとなっています。

#### 《 調 査 概 要 》

- 調査対象：大潟村内にお住まいの満18歳以上の方
- 抽出方法：無作為抽出により1,000名を抽出
- 調査内容：現在とこれからの大潟村に関すること
  1. あなたご自身のことについて
  2. 大潟村での暮らしにおける幸福度について
  3. 大潟村の取り組みについて
  4. 人口減少の抑制・定住促進への取り組みについて
  5. これからの村づくりについて
  6. 将来の働き方について（40歳未満の方のみ対象）
- 調査期間：令和3年7月
- 調査方法：郵送配布・回収
- 配布・回収：

配布数	回収数	未回収票数	回収率
1,000票	331票	669票	33.1%

## I-2 集計結果を読む際の留意事項

---

この調査の集計結果を読む際の留意事項は以下のとおりです。

### 《 留 意 事 項 》

- 調査結果の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で示しています。
- 調査結果の図表に示す「n」は「Number of case」の略で、構成比算出の母数、つまり、当該設問の回答者数（限定設問においては該当者数）を示しています。
- 設問には、当該設問に回答した人のみが答える「限定設問」があり、この場合の「n」（該当者数）は回答者数全数より少ない場合があります。
- 図表の構成比（百分率）は、回答者数（限定設問においては該当者数）を100%として算出しており、本文及び図表の構成比（百分率）は小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。  
(※四捨五入のため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても各比率の合計が100.0%とならない場合があります。)
- 複数回答の設問では、各比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中の「0.0」、「-」は、四捨五入の結果、または回答者が皆無であることを示しています。
- 属性別分析結果において、構成比算出の母数（属性毎の回答者数）が少数になる場合、各比率は統計的な誤差の大きい可能性があるため、比率の取扱いに注意する必要があります。
- 選択肢の語句が長い場合、本文中及び図表中で省略した表現を用いている場合があります。



## Ⅱ 調査結果



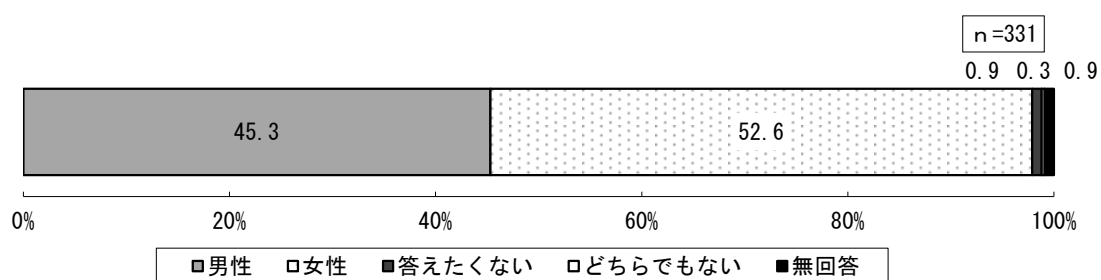
## Ⅱ 調査結果

### Ⅱ-1 あなたご自身のことについて

#### (1) 性別

- 性別は、「男性」が45.3%、「女性」が52.6%となっており、おおよそ半数ずつであることがわかります。

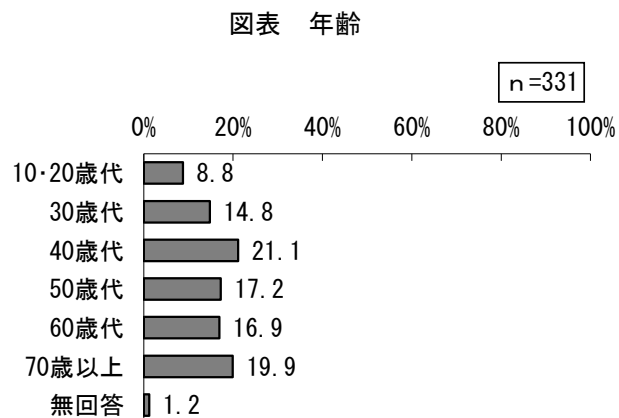
図表 性別



			(n=331)	
			回答数	構成比
1	男性		150	45.3%
2	女性		174	52.6%
3	答えたくない		3	0.9%
4	どちらでもない		1	0.3%
	無回答		3	0.9%

## (2) 年齢

- 年齢は、「40歳代」が21.1%と最も多く、無回答を除くと「10・20歳代」が8.8%と最も少ないことがわかります。



			(n=331)	
			回答数	構成比
1	10・20歳代		29	8.8%
2	30歳代		49	14.8%
3	40歳代		70	21.1%
4	50歳代		57	17.2%
5	60歳代		56	16.9%
6	70歳以上		66	19.9%
	無回答		4	1.2%

- 性別による年齢構成をみると、男性は「70歳以上」(20.7%)、女性は「40歳代」(22.4%)が最も多くなっています。

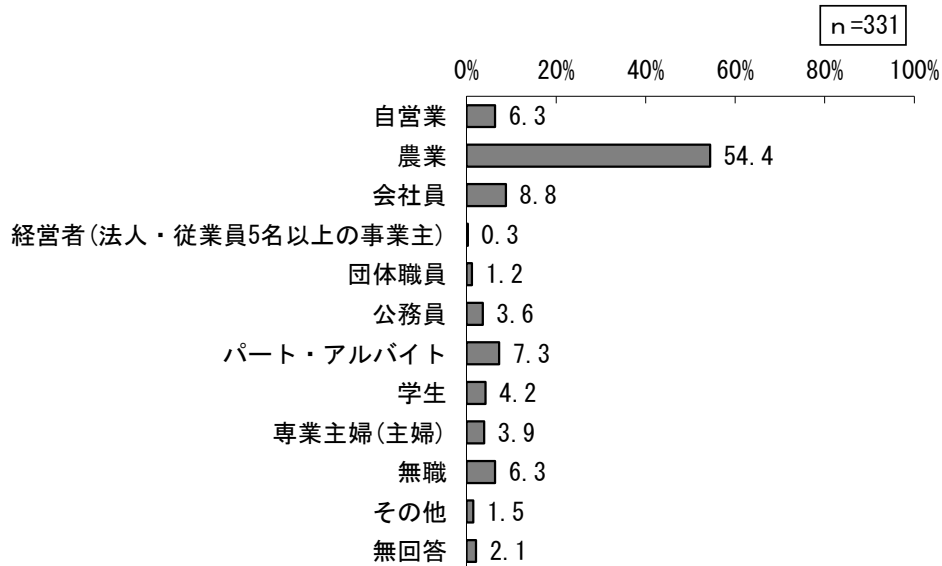
図表 年齢 (性別)

	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
男性(n=150)	8.7%	14.0%	20.0%	17.3%	19.3%	20.7%	0.0%
女性(n=174)	8.6%	14.9%	22.4%	17.8%	15.5%	20.1%	0.6%

### (3) 職業

- 職業は、「農業」が54.4%と最も多く、最も少ないのは「経営者（法人・従業員5名以上の事業主）」で0.3%となっています。

図表 職業

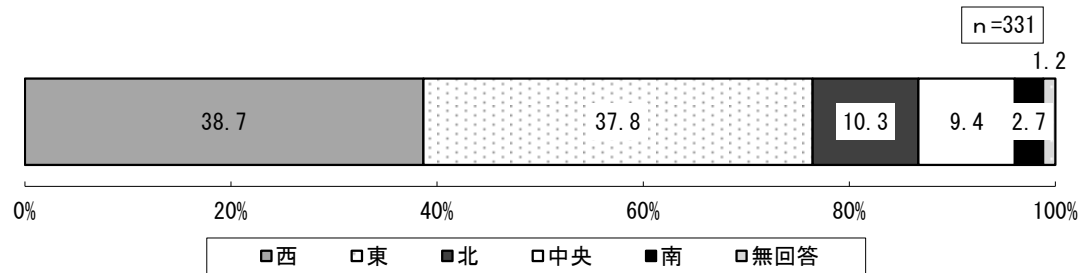


(n=331)		
	回答数	構成比
1 自営業	21	6.3%
2 農業	180	54.4%
3 会社員	29	8.8%
4 経営者(法人・従業員5名以上の事業主)	1	0.3%
5 団体職員	4	1.2%
6 公務員	12	3.6%
7 パート・アルバイト	24	7.3%
8 学生	14	4.2%
9 専業主婦(主婦)	13	3.9%
10 無職	21	6.3%
11 その他	5	1.5%
無回答	7	2.1%

## (4) お住まいの住区

- お住まいの住区は、「西」が 38.7%と最も多く、無回答を除くと最も少ないのは「南」で 2.7%となっています。

図表 お住まいの住区



(n=331)

	回答数	構成比
1 西	128	38.7%
2 東	125	37.8%
3 北	34	10.3%
4 中央	31	9.4%
5 南	9	2.7%
無回答	4	1.2%

- 性別によるお住いの住区をみると、男性は「東」(44.7%)、女性は「西」(39.7%)が最も多くなっています。
- 年齢別では、10・20歳代は「南」(31.0%)が最も多くなっていますが、そのほかの年齢層は「西」と「東」が多くなっています。

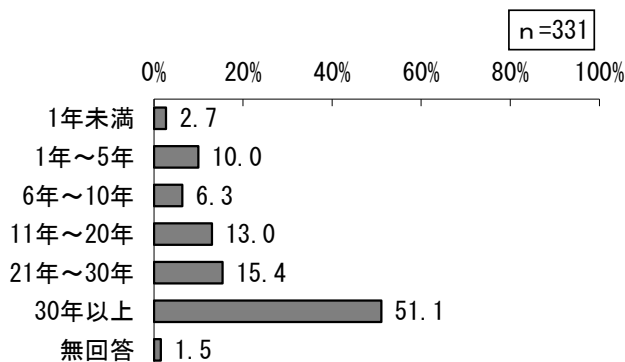
図表 お住まいの住区 (性別・年齢別)

	西	東	北	中央	南	無回答
男性(n=150)	37.3%	44.7%	8.0%	8.0%	1.3%	0.7%
女性(n=174)	39.7%	32.8%	12.6%	10.9%	4.0%	0.0%
10・20歳代(n=29)	17.2%	27.6%	3.4%	20.7%	31.0%	0.0%
30歳代(n=49)	20.4%	46.9%	12.2%	18.4%	0.0%	2.0%
40歳代(n=70)	41.4%	35.7%	18.6%	4.3%	0.0%	0.0%
50歳代(n=57)	45.6%	38.6%	10.5%	5.3%	0.0%	0.0%
60歳代(n=56)	26.8%	48.2%	8.9%	14.3%	0.0%	1.8%
70歳以上(n=66)	62.1%	30.3%	4.5%	3.0%	0.0%	0.0%

## (5) 大潟村の居住年数

- 大潟村の居住年数は、「30年以上」が51.1%と最も多く、無回答を除くと最も少ないのは「1年未満」で2.7%となっています。

図表 大潟村の居住年数



		(n=331)	
		回答数	構成比
1	1年未満	9	2.7%
2	1～5年	33	10.0%
3	6～10年	21	6.3%
4	11～20年	43	13.0%
5	21～30年	51	15.4%
6	30年以上	169	51.1%
	無回答	5	1.5%

- 性別による大潟村の居住年数をみると、男性は57.3%、女性は46.6%でともに「30年以上」が最も多くなっています。
- 年齢別では、10・20歳代は「1～5年」(34.5%)、30歳代は「21～30年」(22.4%)が最も多くなっていますが、そのほかの年齢層では「30年以上」が最も多くなっています。

図表 大潟村の居住年数（性別・年齢別）

	1年未満	1～5年	6～10年	11～20年	21～30年	30年以上	無回答
男性 (n=150)	0.7%	8.7%	4.0%	12.7%	16.0%	57.3%	0.7%
女性 (n=174)	4.6%	11.5%	8.6%	13.8%	13.8%	46.6%	1.1%
10・20歳代 (n=29)	10.3%	34.5%	13.8%	20.7%	20.7%	0.0%	0.0%
30歳代 (n=49)	6.1%	16.3%	12.2%	20.4%	22.4%	20.4%	2.0%
40歳代 (n=70)	1.4%	5.7%	8.6%	28.6%	18.6%	35.7%	1.4%

	1年未満	1～5年	6～10年	11～20年	21～30年	30年以上	無回答
50歳代 (n=57)	0.0%	5.3%	7.0%	8.8%	28.1%	50.9%	0.0%
60歳代 (n=56)	3.6%	10.7%	0.0%	1.8%	5.4%	76.8%	1.8%
70歳以上 (n=66)	0.0%	3.0%	1.5%	1.5%	3.0%	90.9%	0.0%

○ 住区ごとの大潟村の居住年数をみると、中央は48.4%、南は88.9%でともに「1～5年」、そのほかの住区は「30年以上」が最も多くなっています。

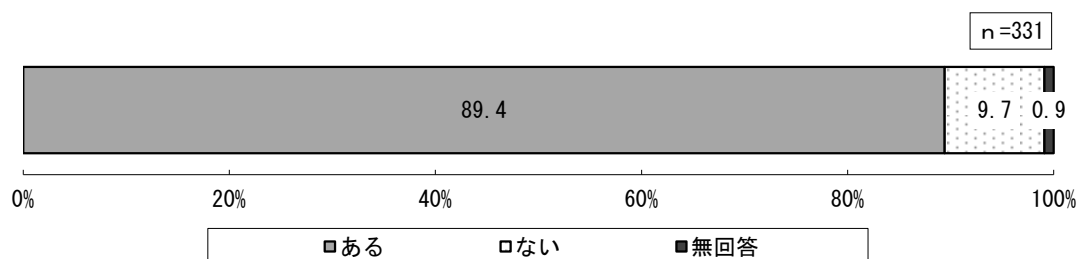
図表 大潟村の居住年数（住区別）

	1年未満	1～5年	6～10年	11～20年	21～30年	30年以上	無回答
西 (n=128)	0.8%	1.6%	7.0%	9.4%	20.3%	60.9%	0.0%
東 (n=125)	0.8%	3.2%	4.0%	16.8%	15.2%	58.4%	1.6%
北 (n=34)	0.0%	11.8%	11.8%	29.4%	11.8%	32.4%	2.9%
中央 (n=31)	19.4%	48.4%	9.7%	0.0%	3.2%	19.4%	0.0%
南 (n=9)	11.1%	88.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

## （6）大潟村以外の居住経験

○ 大潟村以外の居住経験は、「ある」が89.4%、「ない」が9.7%となっており、「ある」が多くなっています。

図表 大潟村以外の居住経験



	回答数	構成比
1 ある	296	89.4%
2 ない	32	9.7%
無回答	3	0.9%



- 性別による大潟村以外の居住経験について、「ある」と回答した割合は、男性では88.0%、女性では91.4%となっています。
- 年齢別に「ある」と回答した割合をみると、50歳代（100.0%）、40歳代（94.3%）、30歳代（91.8%）が上位に挙がっています。

図表 大潟村以外の居住経験（性別・年齢別）

	ある	ない	無回答
男性 (n=150)	88.0%	11.3%	0.7%
女性 (n=174)	91.4%	8.6%	0.0%
10・20歳代 (n=29)	89.7%	10.3%	0.0%
30歳代 (n=49)	91.8%	8.2%	0.0%
40歳代 (n=70)	94.3%	5.7%	0.0%
50歳代 (n=57)	100.0%	0.0%	0.0%
60歳代 (n=56)	82.1%	17.9%	0.0%
70歳以上 (n=66)	81.8%	16.7%	1.5%

- 住区ごとの大潟村以外の居住経験をみると、「ある」と回答した割合は、南（100.0%）、北（94.1%）、中央（93.5%）が上位に挙がっています。

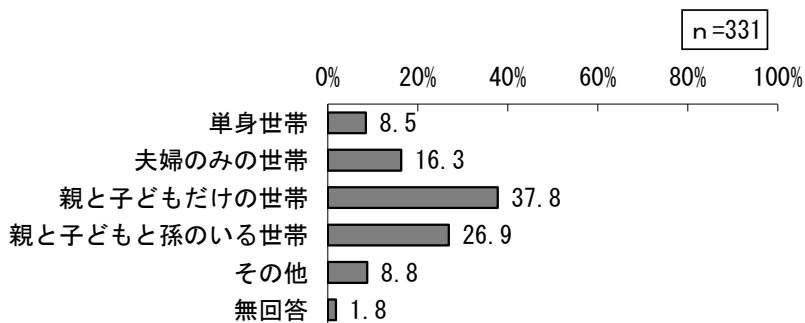
図表 大潟村以外の居住経験（住区別）

	ある	ない	無回答
西 (n=128)	89.8%	10.2%	0.0%
東 (n=125)	87.2%	12.0%	0.8%
北 (n=34)	94.1%	5.9%	0.0%
中央 (n=31)	93.5%	6.5%	0.0%
南 (n=9)	100.0%	0.0%	0.0%

## (7) 家族構成

- 家族構成は、「親と子どもだけの世帯」が37.8%と最も多く、無回答を除くと最も少ないのは「単身世帯」で8.5%となっています。

図表 家族構成



(n=331)

	回答数	構成比
1 単身世帯	28	8.5%
2 夫婦のみの世帯	54	16.3%
3 親と子どもだけの世帯	125	37.8%
4 親と子どもと孫のいる世帯	89	26.9%
5 その他	29	8.8%
無回答	6	1.8%

- 性別による家族構成について、男性は36.0%、女性は39.7%とともに「親と子どもだけの世帯」が最上位に挙がっています。
- 年齢別では、10・20歳代と70歳以上は「親と子どもと孫のいる世帯」が最も高くなっていますが、そのほかの年齢層では「親と子どもだけの世帯」が最も高くなっています。

図表 家族構成（性別・年齢別）

	単身世帯	夫婦のみの世帯	親と子どもだけの世帯	親と子どもと孫のいる世帯	その他	無回答
男性 (n=150)	9.3%	18.7%	36.0%	29.3%	6.7%	0.0%
女性 (n=174)	8.0%	14.9%	39.7%	24.7%	10.3%	2.3%
10・20歳代 (n=29)	31.0%	6.9%	24.1%	34.5%	3.4%	0.0%
30歳代 (n=49)	4.1%	4.1%	59.2%	22.4%	10.2%	0.0%
40歳代 (n=70)	5.7%	4.3%	47.1%	32.9%	8.6%	1.4%
50歳代 (n=57)	3.5%	17.5%	43.9%	22.8%	8.8%	3.5%

	単身世帯	夫婦のみの世帯	親と子どもだけの世帯	親と子どもと孫のいる世帯	その他	無回答
60歳代 (n=56)	10.7%	32.1%	33.9%	14.3%	7.1%	1.8%
70歳以上 (n=66)	7.6%	28.8%	15.2%	36.4%	12.1%	0.0%

○ 住区ごとの家族構成をみると、西では「親と子どもと孫のいる世帯」(35.9%)が、南では「単身世帯」(88.9%)が最も高くなっています。

図表 家族構成（住区別）

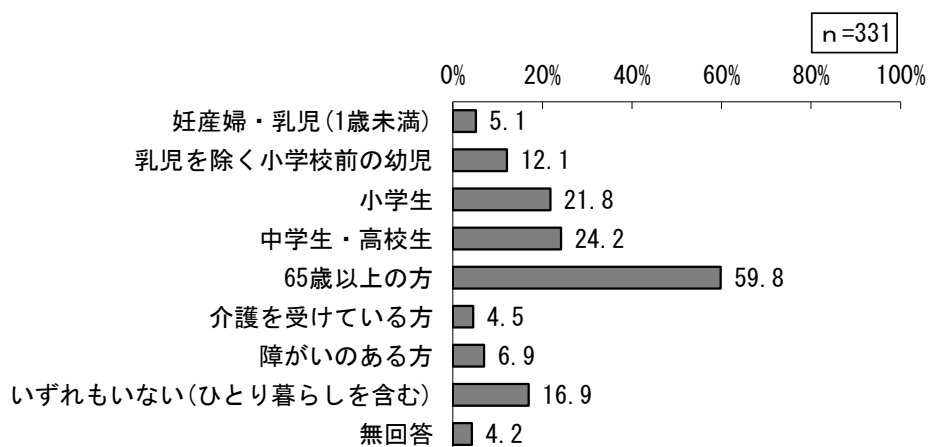
	単身世帯	夫婦のみの世帯	親と子どもだけの世帯	親と子どもと孫のいる世帯	その他	無回答
西 (n=128)	1.6%	14.8%	34.4%	35.9%	11.7%	1.6%
東 (n=125)	6.4%	12.8%	38.4%	32.0%	8.8%	1.6%
北 (n=34)	8.8%	20.6%	58.8%	5.9%	5.9%	0.0%
中央 (n=31)	22.6%	35.5%	41.9%	0.0%	0.0%	0.0%
南 (n=9)	88.9%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%

## (8) 同居家族

問 あなた自身、またはあなたが同居している家族のなかに、次のような方はいますか。  
【あてはまるものすべてに○】

○ 同居家族は、「65歳以上の方」が59.8%と最も多く、無回答を除くと最も少ないのは「介護を受けている方」で4.5%となっています。

図表 同居家族



		(n=331)	
		回答数	構成比
1	妊産婦・乳児(1歳未満)	17	5.1%
2	乳児を除く小学校前の幼児	40	12.1%
3	小学生	72	21.8%
4	中学生・高校生	80	24.2%
5	65歳以上の方	198	59.8%
6	介護を受けている方	15	4.5%
7	障がいのある方	23	6.9%
8	いずれもない(ひとり暮らしを含む)	56	16.9%
	無回答	14	4.2%

- 参考までに回答者の年齢・世帯状況を踏まえると、回答全体では、以下のような方のいる世帯のことがわかります。

図表 同居家族による世帯状況

	回答数	構成比
1 乳幼児・就学前児童のいる世帯 <sup>(※1)</sup>	48	14.5%
2 児童・生徒のいる世帯 <sup>(※2)</sup>	119	36.0%
3 高齢者のいる世帯 <sup>(※3)</sup>	198	59.8%
4 介護・介助が必要な家族のいる世帯 <sup>(※4)</sup>	36	10.9%
5 いずれもない	56	16.9%
無回答	14	4.2%

※1 乳幼児・就学前児童のいる世帯：妊産婦・乳児（1歳未満）、乳児を除く小学校前の幼児のいる世帯

※2 児童・生徒のいる世帯：小学生・中学生・高校生のいる世帯

※3 高齢者のいる世帯：65歳以上の方のいる世帯

※4 介護・介助が必要な家族のいる世帯：介護を受けている方、障がいのある方のいる世帯

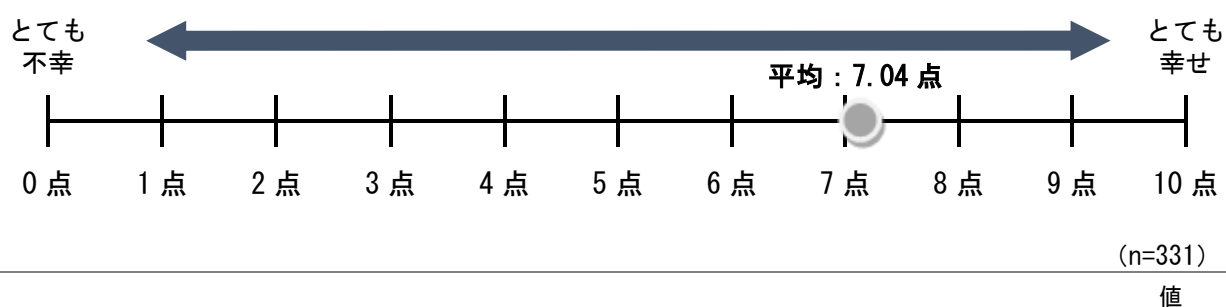
## Ⅱ-2 大湊村での暮らしにおける幸福度

### (1) 幸福度について

問 現在、あなたはどの程度幸せと感じていますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。【1つに○】

○ 幸福度は平均で7.04点となっており、「8点」が24.5%と最も多く、最も少ないのは「1点」で0.0%となっています。

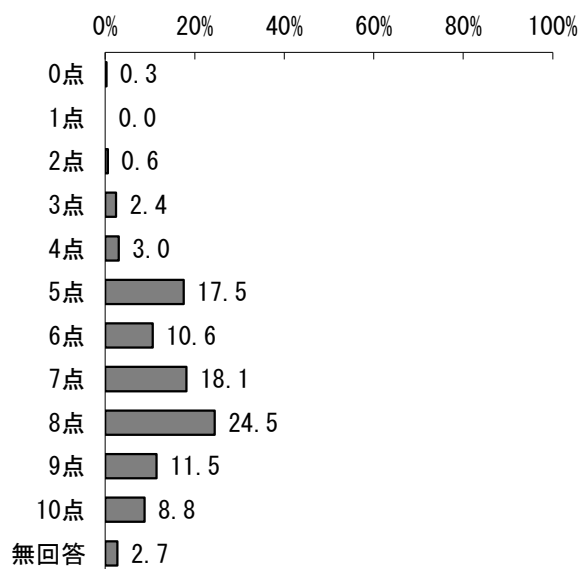
図表 幸福度について (10段階)



平均値	7.04
-----	------

図表 幸福度について

n=331



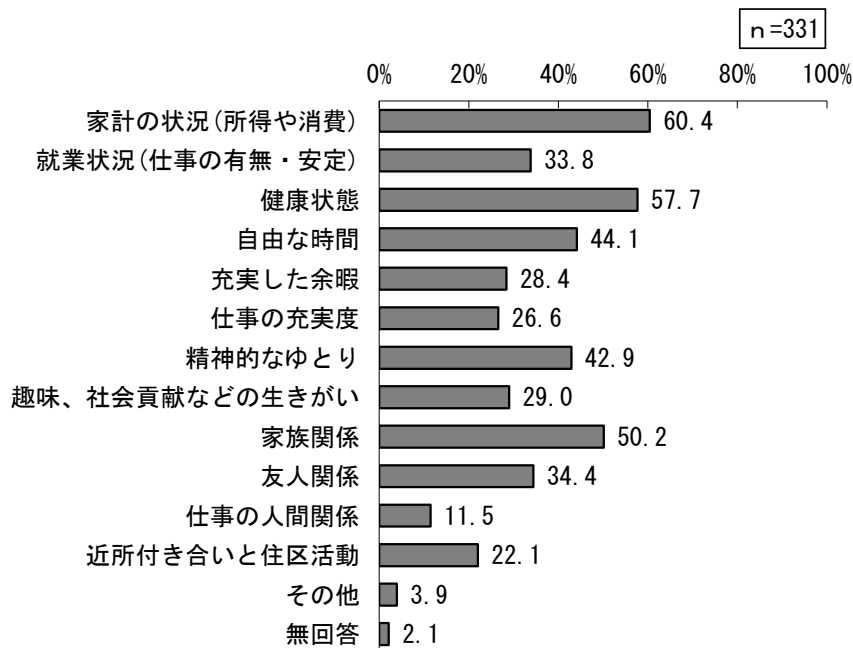
	回答数	構成比		回答数	構成比
1 0点	1	0.3%	7 6点	35	10.6%
2 1点	0	0.0%	8 7点	60	18.1%
3 2点	2	0.6%	9 8点	81	24.5%
4 3点	8	2.4%	10 9点	38	11.5%
5 4点	10	3.0%	11 10点	29	8.8%
6 5点	58	17.5%	無回答	9	2.7%

## (2) 幸福度を判断する際に重視したことについて

問 前問の幸福度 (0~10 点) を判断する際に、重視したことは何ですか。  
【あてはまるものすべてに○】

- 幸福度を判断する際に重視したことは、「家計の状況 (所得や消費)」が 60.4%と最も多く、その他・無回答を除くと「仕事の人間関係」が 11.5%と最も少なくなっています。

図表 幸福度を判断する際に重視したことについて



(n=331)		
	回答数	構成比
1 家計の状況 (所得や消費)	200	60.4%
2 就業状況 (仕事の有無・安定)	112	33.8%
3 健康状態	191	57.7%
4 自由な時間	146	44.1%
5 充実した余暇	94	28.4%
6 仕事の充実度	88	26.6%
7 精神的なゆとり	142	42.9%
8 趣味、社会貢献などの生きがい	96	29.0%
9 家族関係	166	50.2%
10 友人関係	114	34.4%
11 仕事の人間関係	38	11.5%
12 近所付き合いと住区活動	73	22.1%
13 その他	13	3.9%
無回答	7	2.1%

- 幸福度を判断する際に重視したことを性別・年齢別にみると、回答全体と同様に、「家計の状況（所得や消費）」、「健康状態」、「家族関係」を上位に挙げています。そのほか、10・20歳代、60歳代、70歳以上では「自由な時間」、30歳代、60歳代では「精神的なゆとり」をそれぞれ上位に挙げています。

図表 幸福度を判断する際に重視したことについて（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=150)	家計の状況(所得や消費) 64.0%	健康状態 56.0%	家族関係 48.7%
女性 (n=174)	健康状態 59.2%	家計の状況(所得や消費) 57.5%	家族関係 51.7%
10・20歳代 (n=29)	自由な時間 55.2%	健康状態 精神的なゆとり 51.7%	家族関係 44.8%
30歳代 (n=49)	家計の状況(所得や消費) 健康状態 63.3%	家族関係 59.2%	精神的なゆとり 57.1%
40歳代 (n=70)	家計の状況(所得や消費) 60.0%	家族関係 57.1%	健康状態 48.6%
50歳代 (n=57)	家計の状況(所得や消費) 70.2%	健康状態 54.4%	家族関係 47.4%
60歳代 (n=56)	家計の状況(所得や消費) 75.0%	健康状態 71.4%	自由な時間 精神的なゆとり 41.1%
70歳以上 (n=66)	健康状態 60.6%	自由な時間 56.1%	家族関係 54.5%



- 幸福度を判断する際に重視したことを点数別にみると、0点と回答した方は「健康状態」と「家族関係」と「友人関係」、1～3点、4～6点と回答した方は「家計の状況(所得や消費)」、7～9点と回答した方は「家計の状況(所得や消費)」と「健康状態」、10点と回答した方は「家族関係」をそれぞれ最上位に挙げています。

図表 幸福度を判断する際に重視したことについて（点数別：上位3項目）

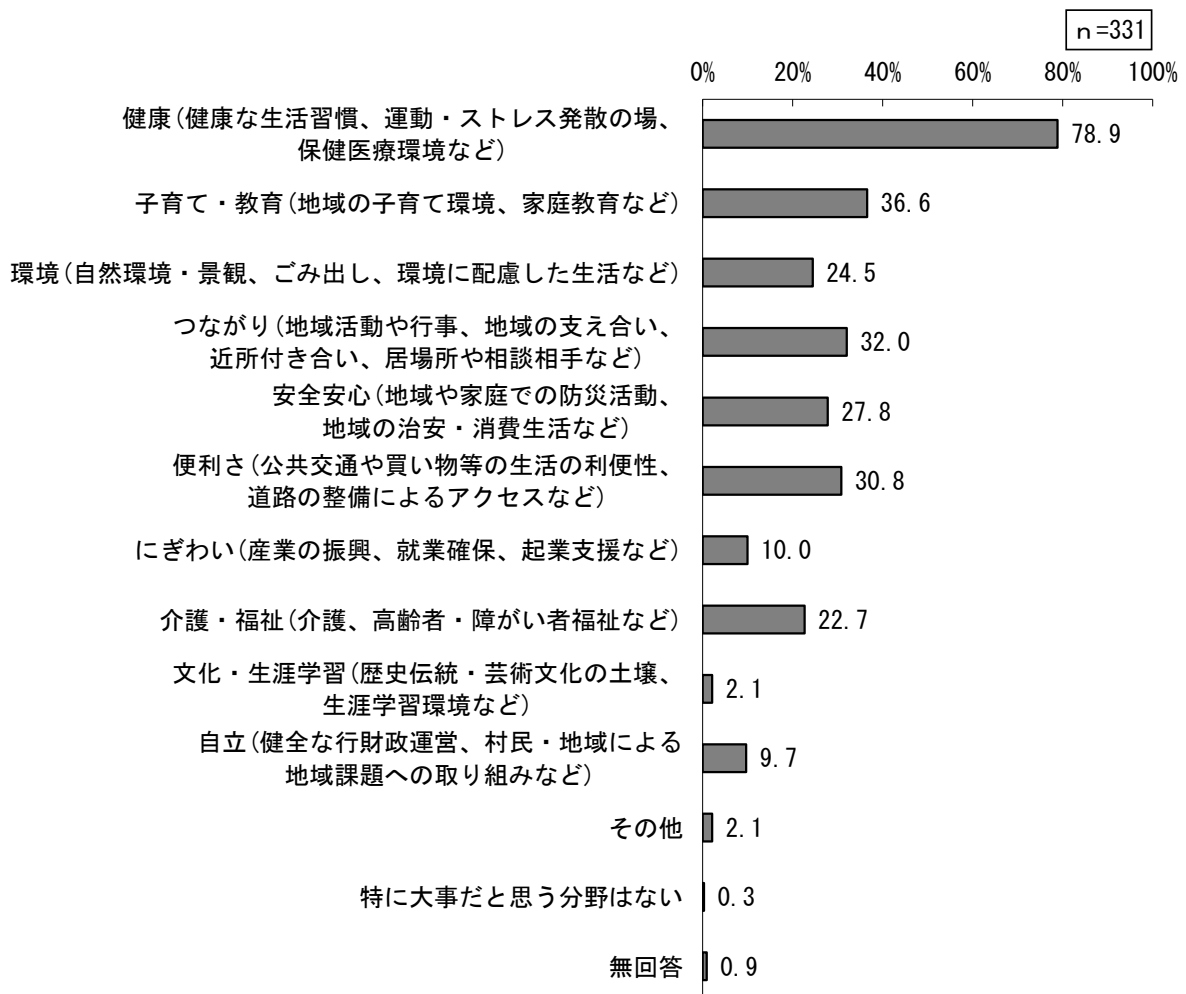
	第1位	第2位	第3位
0点 (n=1)	健康状態・家族関係・友人関係 100.0%	-	-
1～3点 (n=10)	家計の状況(所得や消費) 60.0%	充実した余暇 精神的なゆとり 50.0%	健康状態 近所付き合いと住区活動 30.0%
4～6点 (n=103)	家計の状況(所得や消費) 59.2%	健康状態 47.6%	精神的なゆとり 43.7%
7～9点 (n=179)	家計の状況(所得や消費) 健康状態 64.2%	家族関係 57.5%	自由な時間 50.3%
10点 (n=29)	家族関係 75.9%	健康状態 72.4%	精神的なゆとり 62.1%

### (3) 暮らしの中で「特に大事だと思う分野」について

問 次の分野の中からあなたにとって、暮らしの中で「特に大事だと思う分野」はどれですか。【3つまでに○】

- 暮らしの中で「特に大事だと思う分野」は、「健康（健康な生活習慣、運動・ストレス発散の場、保健医療環境など）」が 78.9%と最も多く、「特に大事だと思う分野はない」が 0.3%と最も少なくなっています。

図表 暮らしの中で「特に大事だと思う分野」について



(n=331)

	回答数	構成比
1 健康（健康な生活習慣、運動・ストレス発散の場、保健医療環境など）	261	78.9%
2 子育て・教育（地域の子育て環境、家庭教育など）	121	36.6%
3 環境（自然環境・景観、ごみ出し、環境に配慮した生活など）	81	24.5%
4 つながり（地域活動や行事、地域の支え合い、近所付き合い、居場所や相談相手など）	106	32.0%
5 安全安心（地域や家庭での防災活動、地域の治安・消費生活など）	92	27.8%
6 便利さ（公共交通や買い物等の生活の利便性、道路の整備によるアクセスなど）	102	30.8%
7 にぎわい（産業の振興、就業確保、起業支援など）	33	10.0%
8 介護・福祉（介護、高齢者・障がい者福祉など）	75	22.7%
9 文化・生涯学習（歴史伝統・芸術文化の土壌、生涯学習環境など）	7	2.1%
10 自立（健全な行財政運営、村民・地域による地域課題への取り組みなど）	32	9.7%
11 その他	7	2.1%
12 特に大事だと思う分野はない	1	0.3%
無回答	3	0.9%

○ 暮らしの中で「特に大事だと思う分野」を性別・年齢別にみると、回答全体と同様に、「健康(健康な生活習慣、運動・ストレス発散の場、保健医療環境など)」、「子育て・教育(地域の子育て環境、家庭教育など)」、「つながり(地域活動や行事、地域の支え合い、近所付き合い、居場所や相談相手など)」を上位に挙げています。そのほか、男性では「便利さ(公共交通や買い物等の生活の利便性、道路の整備によるアクセスなど)」、10・20歳代では「安全安心(地域や家庭での防災活動、地域の治安・消費生活など)」、60歳代、70歳以上では「介護・福祉(介護、高齢者・障がい者福祉など)」をそれぞれ上位に挙げています。

図表 暮らしの中で「特に大事だと思う分野」について（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性(n=150)	健康(健康な生活習慣、運動・ストレス発散の場、保健医療環境など) 78.0%	子育て・教育(地域の子育て環境、家庭教育など) 36.7%	便利さ(公共交通や買い物等の生活の利便性、道路の整備によるアクセスなど) 30.7%
女性(n=174)	健康(健康な生活習慣、運動・ストレス発散の場、保健医療環境など) 80.5%	子育て・教育(地域の子育て環境、家庭教育など) 36.2%	つながり(地域活動や行事、地域の支え合い、近所付き合い、居場所や相談相手など) 34.5%
10・20歳代(n=29)	健康(健康な生活習慣、運動・ストレス発散の場、保健医療環境など) 75.9%	便利さ(公共交通や買い物等の生活の利便性、道路の整備によるアクセスなど) 58.6%	安全安心(地域や家庭での防災活動、地域の治安・消費生活など) 34.5%
30歳代(n=49)	健康(健康な生活習慣、運動・ストレス発散の場、保健医療環境など) 75.5%	子育て・教育(地域の子育て環境、家庭教育など) 61.2%	便利さ(公共交通や買い物等の生活の利便性、道路の整備によるアクセスなど) 42.9%

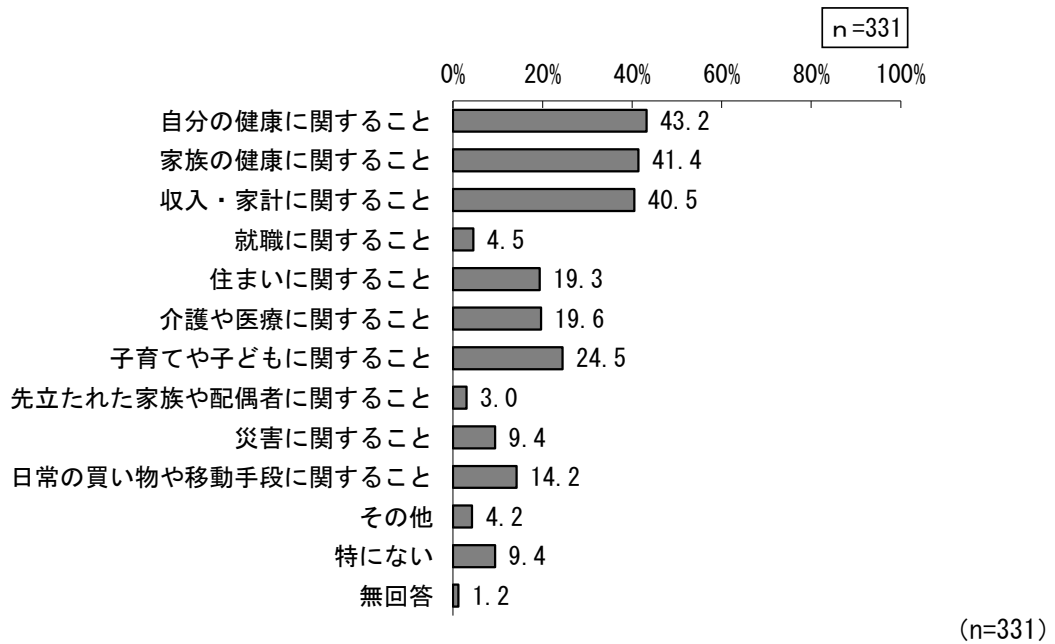
	第1位	第2位	第3位
40歳代 (n=70)	健康(健康な生活習慣、運動・ストレス発散の場、保健医療環境など) 71.4%	子育て・教育(地域の子育て環境、家庭教育など) 62.9%	便利さ(公共交通や買い物等の生活の利便性、道路の整備によるアクセスなど) 31.4%
50歳代 (n=57)	健康(健康な生活習慣、運動・ストレス発散の場、保健医療環境など) 70.2%	便利さ(公共交通や買い物等の生活の利便性、道路の整備によるアクセスなど) 36.8%	つながり(地域活動や行事、地域の支え合い、近所付き合い、居場所や相談相手など) 35.1%
60歳代 (n=56)	健康(健康な生活習慣、運動・ストレス発散の場、保健医療環境など) 94.6%	つながり(地域活動や行事、地域の支え合い、近所付き合い、居場所や相談相手など) 32.1%	介護・福祉(介護、高齢者・障がい者福祉など) 28.6%
70歳以上 (n=66)	健康(健康な生活習慣、運動・ストレス発散の場、保健医療環境など) 87.9%	つながり(地域活動や行事、地域の支え合い、近所付き合い、居場所や相談相手など) 45.5%	介護・福祉(介護、高齢者・障がい者福祉など) 42.4%

## (4) 現在の暮らしへの悩みや不安について

問 あなたは、現在の暮らしについて、どのようなことに悩みや不安を感じますか。  
【3つまでに○】

- 現在の暮らしへの悩みや不安は、「自分の健康に関すること」が43.2%と最も多く、無回答を除くと「先立たれた家族や配偶者に関すること」が3.0%と最も少なくなっています。

図表 現在の暮らしへの悩みや不安について



	回答数	構成比
1 自分の健康に関すること	143	43.2%
2 家族の健康に関すること	137	41.4%
3 収入・家計に関すること	134	40.5%
4 就職に関すること	15	4.5%
5 住まいに関すること	64	19.3%
6 介護や医療に関すること	65	19.6%
7 子育てや子どもに関すること	81	24.5%
8 先立たれた家族や配偶者に関すること	10	3.0%
9 災害に関すること	31	9.4%
10 日常の買い物や移動手段に関すること	47	14.2%
11 その他	14	4.2%
12 特にない	31	9.4%
無回答	4	1.2%

- 現在の暮らしへの悩みや不安を性別・年齢別にみると、回答全体と同様に、「自分の健康に関すること」、「家族の健康に関すること」、「収入・家計に関すること」を上位に挙げています。そのほか、10・20歳代では「日常の買い物や移動手段に関すること」、30歳代、40歳代では「子育てや子どもに関すること」、50歳代、70歳以上では「介護や医療に関すること」をそれぞれ上位に挙げています。

図表 現在の暮らしへの悩みや不安について（性別・年齢別：上位3項目）

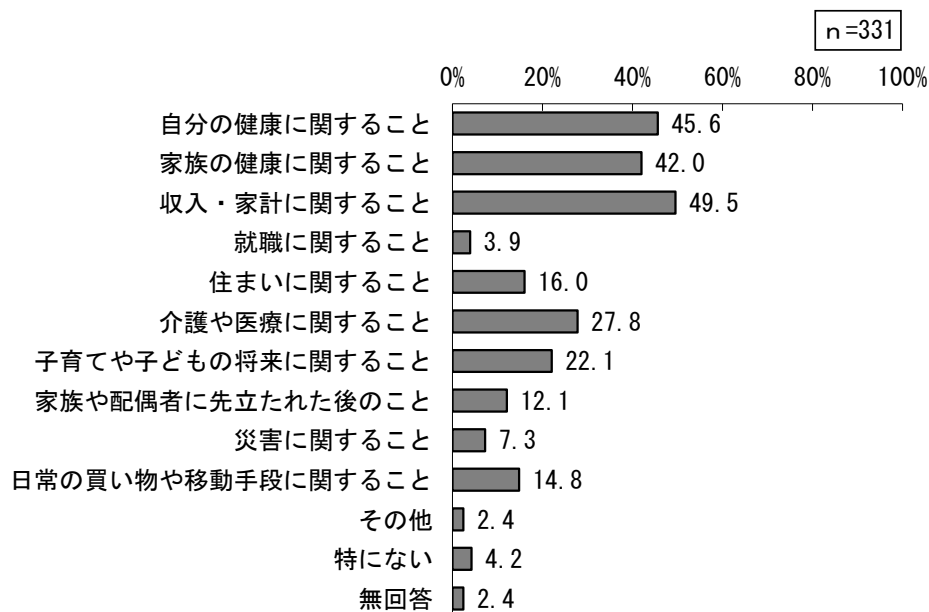
	第1位	第2位	第3位
男性 (n=150)	自分の健康に関すること 44.0%	家族の健康に関すること 42.7%	収入・家計に関すること 42.0%
女性 (n=174)	自分の健康に関すること 42.5%	家族の健康に関すること 41.4%	収入・家計に関すること 38.5%
10・20歳代 (n=29)	日常の買い物や移動手段に関すること 44.8%	収入・家計に関すること 34.5%	家族の健康に関すること 24.1%
30歳代 (n=49)	収入・家計に関すること 53.1%	子育てや子どもに関すること 44.9%	家族の健康に関すること 40.8%
40歳代 (n=70)	収入・家計に関すること 54.3%	子育てや子どもに関すること 47.1%	家族の健康に関すること 45.7%
50歳代 (n=57)	収入・家計に関すること 43.9%	家族の健康に関すること 33.3%	介護や医療に関すること 26.3%
60歳代 (n=56)	自分の健康に関すること 64.3%	家族の健康に関すること 51.8%	収入・家計に関すること 35.7%
70歳以上 (n=66)	自分の健康に関すること 66.7%	家族の健康に関すること 45.5%	介護や医療に関すること 39.4%

## (5) 将来の暮らしへの悩みや不安について

問 あなたは、将来の暮らしについて、どのようなことに悩みや不安を感じますか。  
【3つまでに○】

- 将来の暮らしへの悩みや不安は、「収入・家計に関すること」が49.5%と最も多く、その他・無回答を除くと「就職に関すること」が3.9%と最も少なくなっています。

図表 将来の暮らしへの悩みや不安について



(n=331)

	回答数	構成比
1 自分の健康に関すること	151	45.6%
2 家族の健康に関すること	139	42.0%
3 収入・家計に関すること	164	49.5%
4 就職に関すること	13	3.9%
5 住まいに関すること	53	16.0%
6 介護や医療に関すること	92	27.8%
7 子育てや子どもの将来に関すること	73	22.1%
8 家族や配偶者に先立たれた後のこと	40	12.1%
9 災害に関すること	24	7.3%
10 日常の買い物や移動手段に関すること	49	14.8%
11 その他	8	2.4%
12 特にない	14	4.2%
無回答	8	2.4%

- 将来の暮らしへの悩みや不安を性別・年齢別にみると、回答全体と同様に、「収入・家計に関すること」、「自分の健康に関すること」、「家族の健康に関すること」を上位に挙げています。そのほか、10・20歳代では「就職に関すること」と「日常の買い物や移動手段に関すること」、10・20歳代～40歳代では「子育てや子どもの将来に関すること」、70歳以上では「介護や医療に関すること」をそれぞれ上位に挙げています。

図表 将来の暮らしへの悩みや不安について（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=150)	収入・家計に関すること 55.3%	自分の健康に関すること 46.7%	家族の健康に関すること 40.0%
女性 (n=174)	自分の健康に関すること 44.8%	家族の健康に関すること 44.3%	収入・家計に関すること 43.7%
10・20歳代 (n=29)	収入・家計に関すること 58.6%	就職に関すること 34.5%	家族の健康に関すること・ 子育てや子どもの将来に関 すること・日常の買い物や 移動手段に関すること 24.1%
30歳代 (n=49)	収入・家計に関すること 71.4%	家族の健康に関すること 42.9%	子育てや子どもの将来に関 すること 36.7%
40歳代 (n=70)	収入・家計に関すること 65.7%	家族の健康に関すること 47.1%	子育てや子どもの将来に関 すること 40.0%
50歳代 (n=57)	収入・家計に関すること 59.6%	自分の健康に関すること 42.1%	家族の健康に関すること 33.3%
60歳代 (n=56)	自分の健康に関すること 60.7%	家族の健康に関すること 48.2%	収入・家計に関すること 37.5%
70歳以上 (n=66)	自分の健康に関すること 68.2%	家族の健康に関すること 47.0%	介護や医療に関すること 43.9%

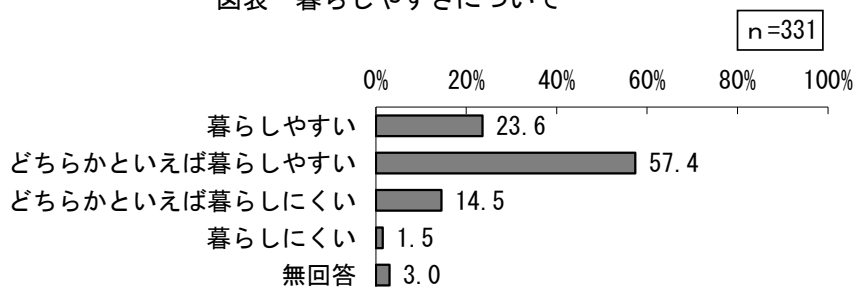


## (6) 暮らしやすさについて

問 現在の生活環境を総合的にみて、あなたは、大湊村が暮らしやすいまちであると思いますか。理由もあわせてお聞かせください。【1つに○ 理由を記入】

- 暮らしやすさは、「どちらかといえば暮らしやすい」が 57.4%と最も多く、「暮らしにくい」が 1.5%と最も少なくなっています。

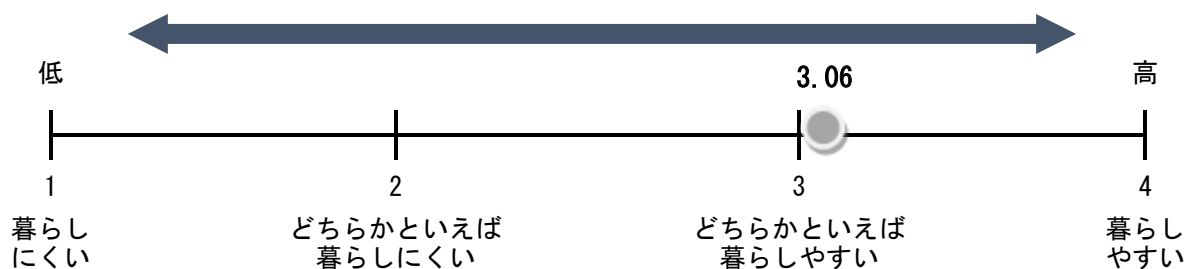
図表 暮らしやすさについて



	回答数	構成比
1 暮らしやすい	78	23.6%
2 どちらかといえば暮らしやすい	190	57.4%
3 どちらかといえば暮らしにくい	48	14.5%
4 暮らしにくい	5	1.5%
無回答	10	3.0%

- 総合的な暮らしやすさを4段階で指数化した値は、3.06となっています。

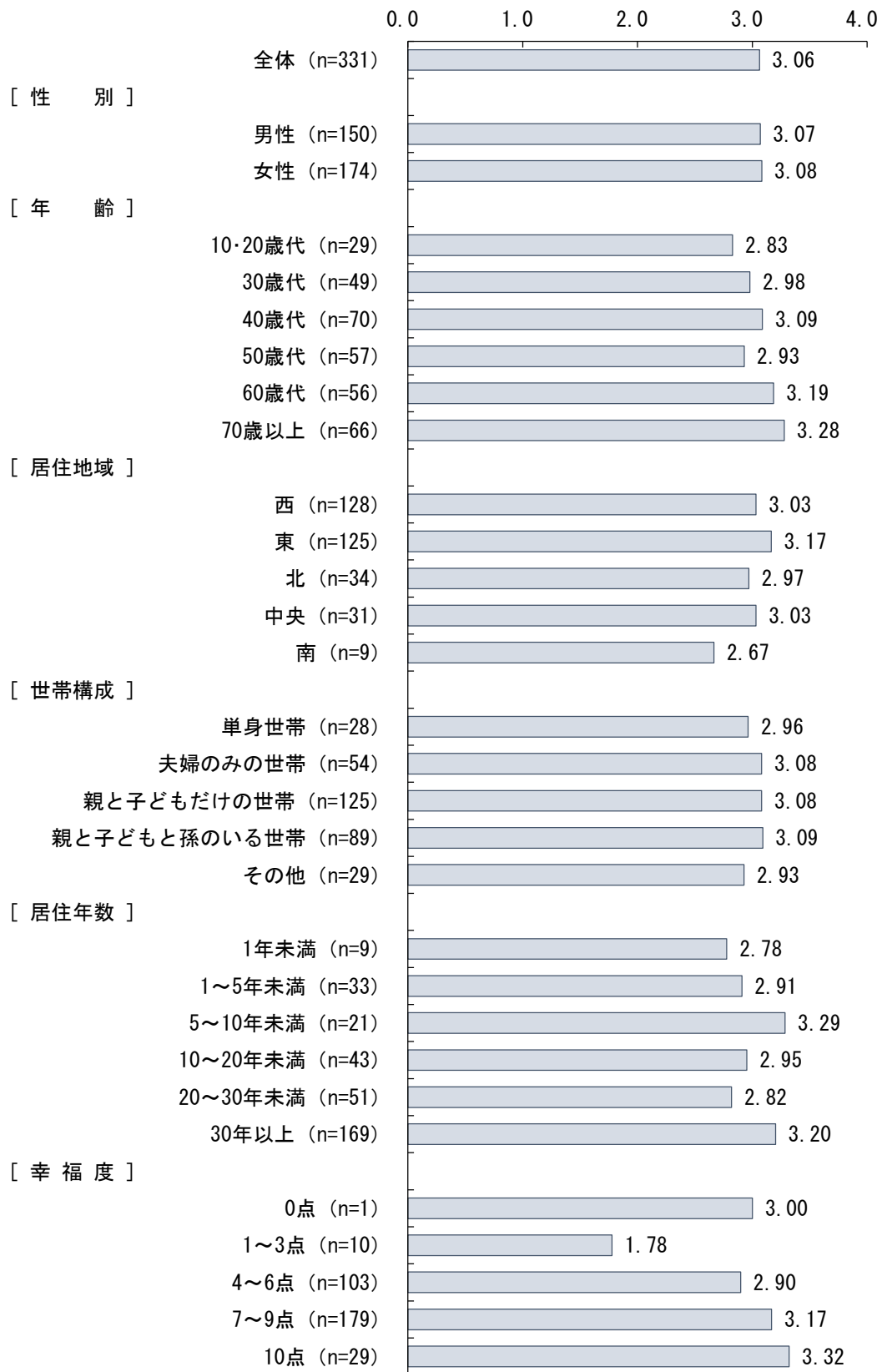
図表 暮らしやすさについて (4段階)



指数化値	値
	3.06

※指数化：(「暮らしやすい」×4+「どちらかといえば暮らしやすい」×3+「どちらかといえば暮らしにくい」×2+「暮らしにくい」×1)÷回答数

図表 暮らしやすさについて（指数値）



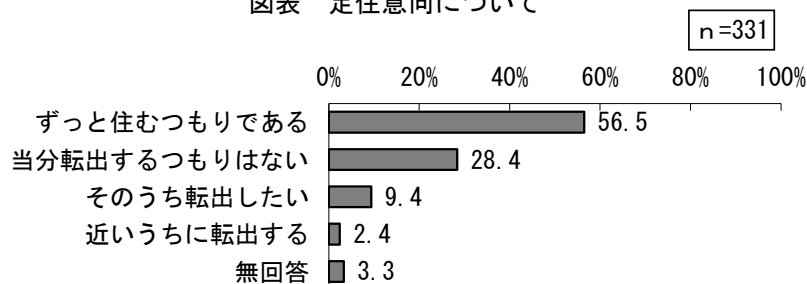
※指数化：（「暮らしやすい」×4+「どちらかといえば暮らしやすい」×3+「どちらかといえば暮らしにくい」×2+「暮らしにくい」×1）÷回答数

## (7) 定住意向について

問 あなたは、大湊村にこれからも住んでいたいと思いますか。【1つに○】  
住み続けたい、転出したい理由についてもあわせてお聞かせください。

- 定住意向は、「ずっと住むつもりである」が 56.5%と最も多く、「近いうちに転出する」が 2.4%と最も少なくなっています。

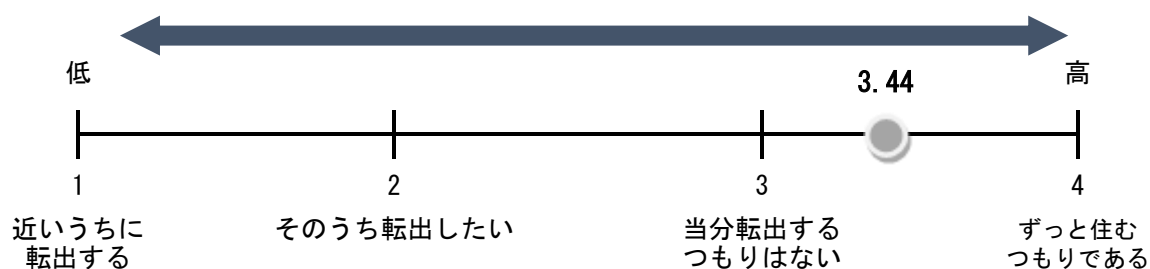
図表 定住意向について



(n=331)		
	回答数	構成比
1 ずっと住むつもりである	187	56.5%
2 当分転出するつもりはない	94	28.4%
3 そのうち転出したい	31	9.4%
4 近いうちに転出する	8	2.4%
無回答	11	3.3%

- 総合的な定住意向を4段階で指数化した値は、3.44となっています。

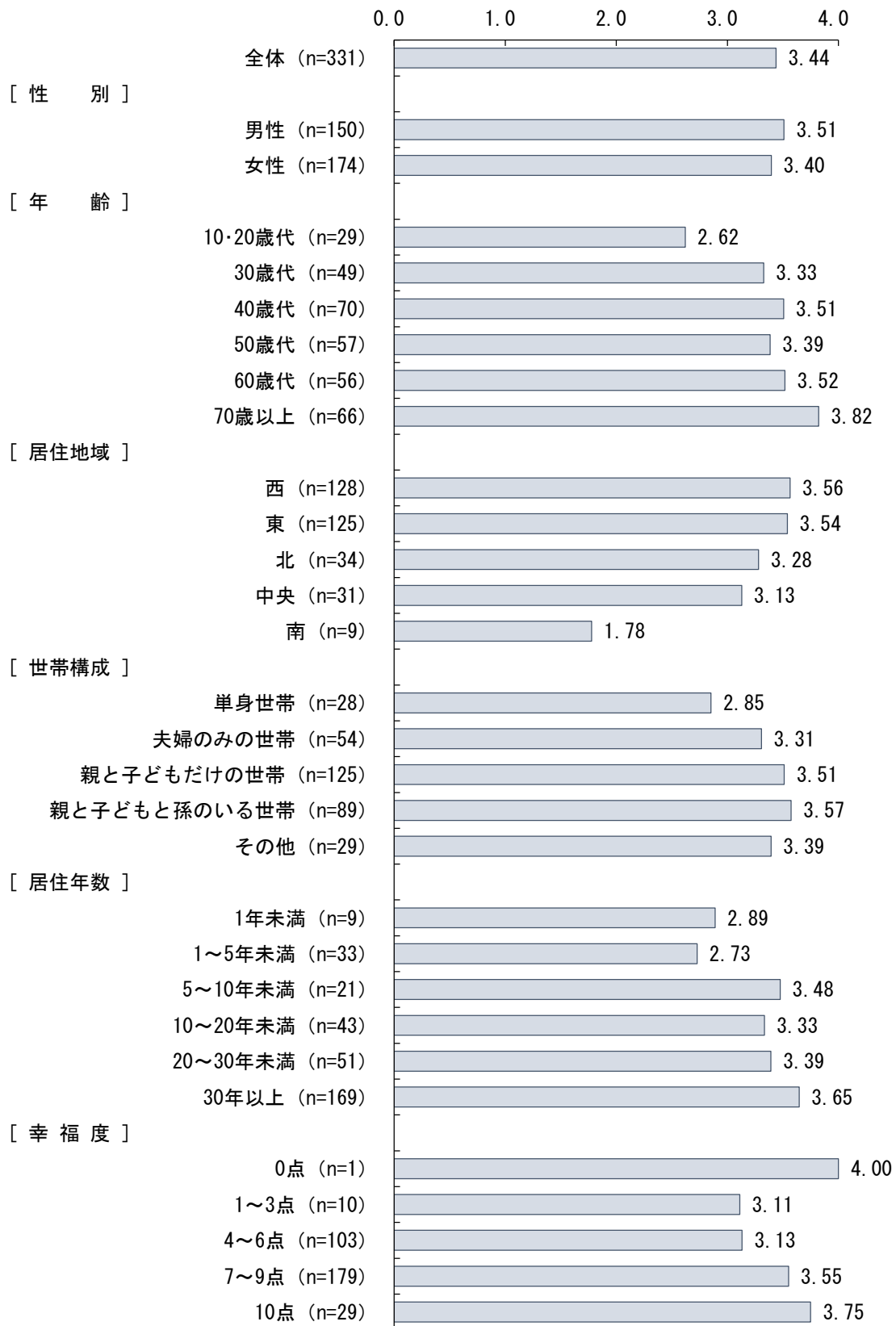
図表 定住意向について (4段階)



(n=331)	
値	
指数化値	3.44

※指数化：(「ずっと住むつもりである」×4+「当分転出するつもりはない」×3+「そのうち転出したい」×2+「近いうちに転出する」×1)÷回答数

図表 定住意向について（指数値）



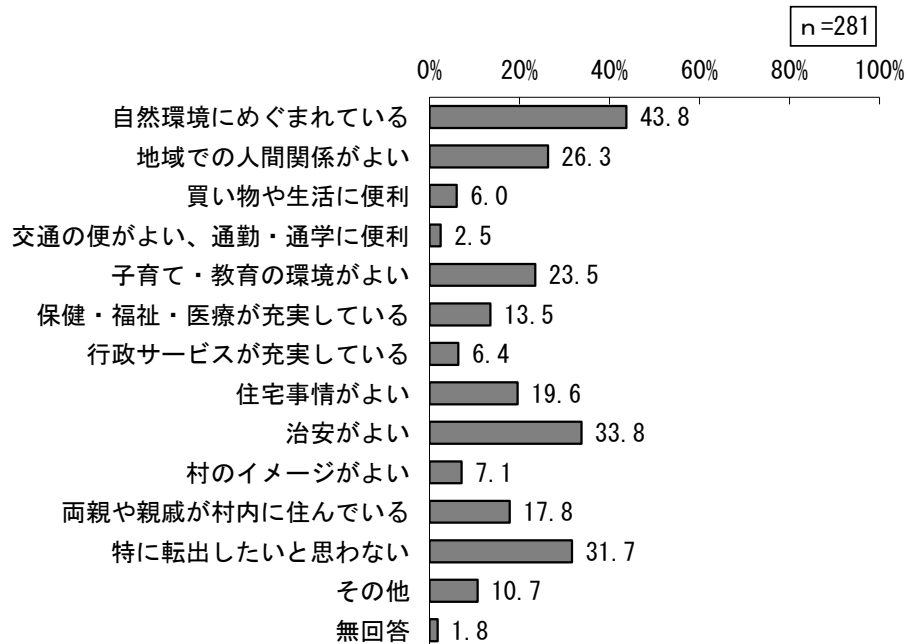
※指数化：（「ずっと住むつもりである」×4+「当分転出するつもりはない」×3+「そのうち転出したい」×2+「近いうちに転出する」×1）÷回答数

## ①住み続けたい理由

【3つまでに○】

- 住み続けたい理由は、「自然環境にめぐまれている」が 43.8%と最も多く、「治安がよい」が 33.8%、「特に転出したいと思わない」が 31.7%と続いています。

図表 住み続けたい理由



(n=281)

	回答数	構成比
1 自然環境にめぐまれている	123	43.8%
2 地域での人間関係がよい	74	26.3%
3 買い物や生活に便利	17	6.0%
4 交通の便がよい、通勤・通学に便利	7	2.5%
5 子育て・教育の環境がよい	66	23.5%
6 保健・福祉・医療が充実している	38	13.5%
7 行政サービスが充実している	18	6.4%
8 住宅事情がよい	55	19.6%
9 治安がよい	95	33.8%
10 村のイメージがよい	20	7.1%
11 両親や親戚が村内に住んでいる	50	17.8%
12 特に転出したいと思わない	89	31.7%
13 その他	30	10.7%
無回答	5	1.8%

- 住みたい理由を性別・年齢別にみると、回答全体と同様に、「自然環境にめぐまれている」、「治安がよい」、「特に転出したいと思わない」を上位に挙げています。そのほか、10・20歳代では「両親や親戚が村内に住んでいる」、30歳代、40歳代では「子育て・教育の環境がよい」、30歳代、60歳代、70歳以上では「地域での人間関係がよい」をそれぞれ上位に挙げています。

図表 住みたい理由（性別・年齢別：上位3項目）

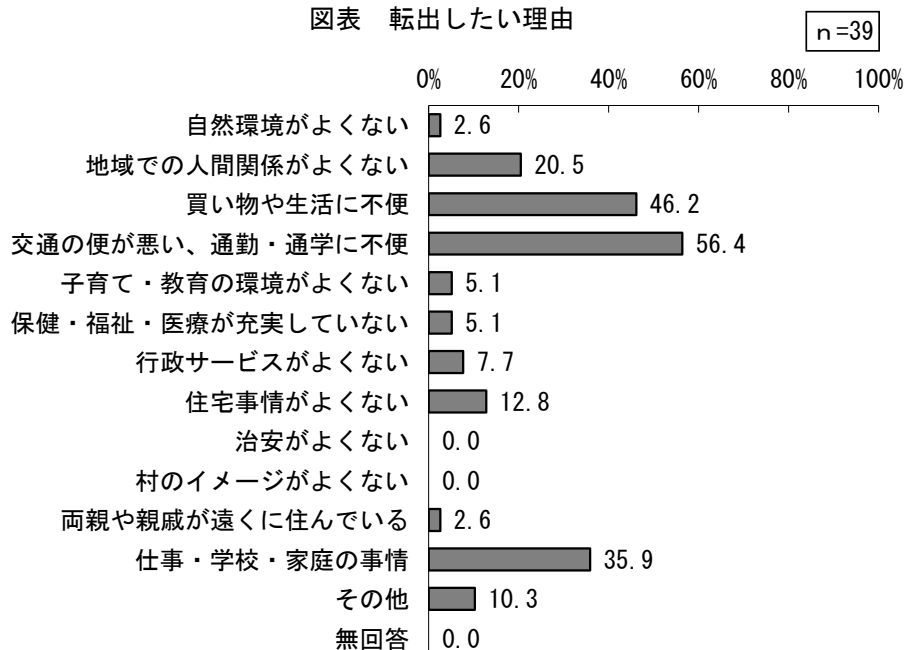
	第1位	第2位	第3位
男性 (n=134)	自然環境にめぐまれている 41.0%	治安がよい 38.1%	特に転出したいと思わない 33.6%
女性 (n=143)	自然環境にめぐまれている 46.2%	治安がよい 30.8%	特に転出したいと思わない 29.4%
10・20歳代 (n=17)	自然環境にめぐまれている 47.1%	両親や親戚が村内に住んでいる 41.2%	治安がよい 29.4%
30歳代 (n=40)	自然環境にめぐまれている 40.0%	子育て・教育の環境がよい 治安がよい 37.5%	地域での人間関係がよい 32.5%
40歳代 (n=65)	子育て・教育の環境がよい 38.5%	自然環境にめぐまれている 治安がよい 33.8%	特に転出したいと思わない 27.7%
50歳代 (n=49)	特に転出したいと思わない 40.8%	自然環境にめぐまれている 38.8%	治安がよい 36.7%
60歳代 (n=49)	自然環境にめぐまれている 55.1%	特に転出したいと思わない 38.8%	地域での人間関係がよい 30.6%
70歳以上 (n=60)	自然環境にめぐまれている 50.0%	治安がよい 36.7%	地域での人間関係がよい 特に転出したいと思わない 33.3%

## ②転出したい理由

【3つまでに○】

- 転出したい理由は、「交通の便が悪い、通勤・通学に不便」が56.4%と最も多く、「買い物や生活に不便」が46.2%、「仕事・学校・家庭の事情」が35.9%と続いています。

図表 転出したい理由



(n=39)

	回答数	構成比
1 自然環境が良くない	1	2.6%
2 地域での人間関係が良くない	8	20.5%
3 買い物や生活に不便	18	46.2%
4 交通の便が悪い、通勤・通学に不便	22	56.4%
5 子育て・教育の環境が良くない	2	5.1%
6 保健・福祉・医療が充実していない	2	5.1%
7 行政サービスが良くない	3	7.7%
8 住宅事情が良くない	5	12.8%
9 治安が良くない	0	0.0%
10 村のイメージが良くない	0	0.0%
11 両親や親戚が遠くに住んでいる	1	2.6%
12 仕事・学校・家庭の事情	14	35.9%
13 その他	4	10.3%
無回答	0	0.0%

- 転出したい理由を性別・年齢別にみると、回答全体と同様に、「交通の便が悪い、通勤・通学に不便」、「買い物や生活に不便」、「仕事・学校・家庭の事情」を上位に挙げています。そのほか、30歳代～60歳代では「地域での人間関係がよくない」、60歳代では「保健・福祉・医療が充実していない」、60歳代、70歳以上では「行政サービスがよくない」をそれぞれ上位に挙げています。

図表 転出したい理由（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=13)	交通の便が悪い、通勤・通学に不便 69.2%	買い物や生活に不便 53.8%	地域での人間関係がよくない 仕事・学校・家庭の事情 30.8%
女性 (n=24)	交通の便が悪い、通勤・通学に不便 50.0%	買い物や生活に不便 45.8%	仕事・学校・家庭の事情 37.5%
10・20歳代 (n=12)	仕事・学校・家庭の事情 66.7%	交通の便が悪い、通勤・通学に不便 58.3%	買い物や生活に不便 25.0%
30歳代 (n=9)	買い物や生活に不便 仕事・学校・家庭の事情 44.4%	交通の便が悪い、通勤・通学に不便 33.3%	地域での人間関係がよくない 22.2%
40歳代 (n=4)	交通の便が悪い、通勤・通学に不便・住宅事情がよくない・仕事・学校・家庭の事情 50.0%	地域での人間関係がよくない 買い物や生活に不便 25.0%	-
50歳代 (n=8)	買い物や生活に不便 75.0%	交通の便が悪い、通勤・通学に不便 62.5%	地域での人間関係がよくない 37.5%
60歳代 (n=3)	買い物や生活に不便 交通の便が悪い、通勤・通学に不便 66.7%	地域での人間関係がよくない・保健・福祉・医療が充実していない・行政サービスがよくない 33.3%	-
70歳以上 (n=2)	買い物や生活に不便 交通の便が悪い、通勤・通学に不便 100.0%	行政サービスがよくない 50.0%	-

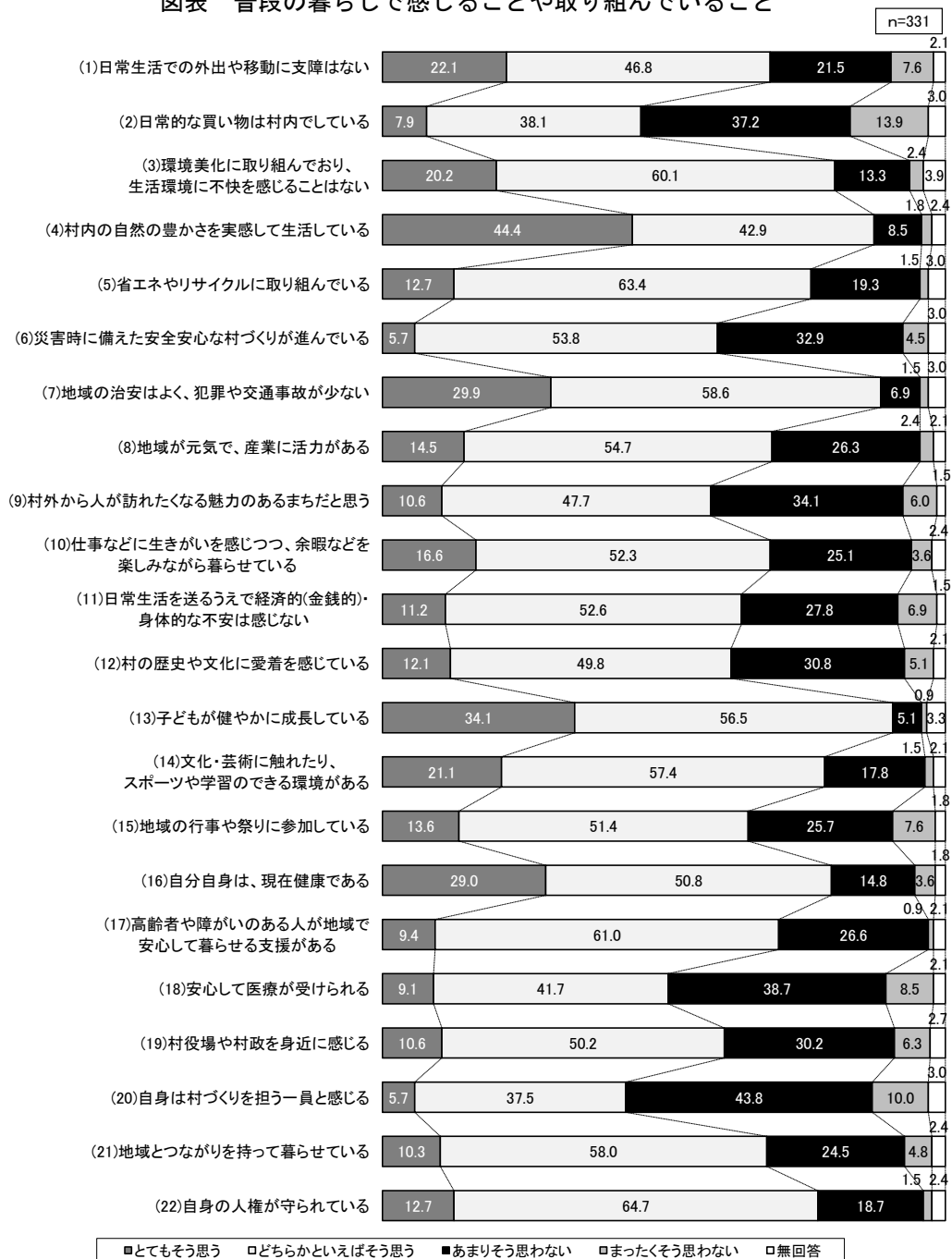


## (8) 普段の暮らしで感じることや取り組んでいること

問 次の各項目について、あなたが普段の暮らしで感じることや取り組んでいること、どの程度あてはまるかについてお聞かせください。  
【それぞれの項目であてはまるもの1つに○】

○ 普段の暮らしで感じることや取り組んでいることでは、各項目で「どちらかといえばそう思う」が多くなっています。また、“村内の自然の豊かさを実感している”では「とてもそう思う」が44.4%と最も多く、“自身は村づくりを担う一員だと感じる”では「あまりそう思わない」が43.8%と最も多いことがわかります。

図表 普段の暮らしで感じることや取り組んでいること



図表 普段の暮らしで感じることや取り組んでいること

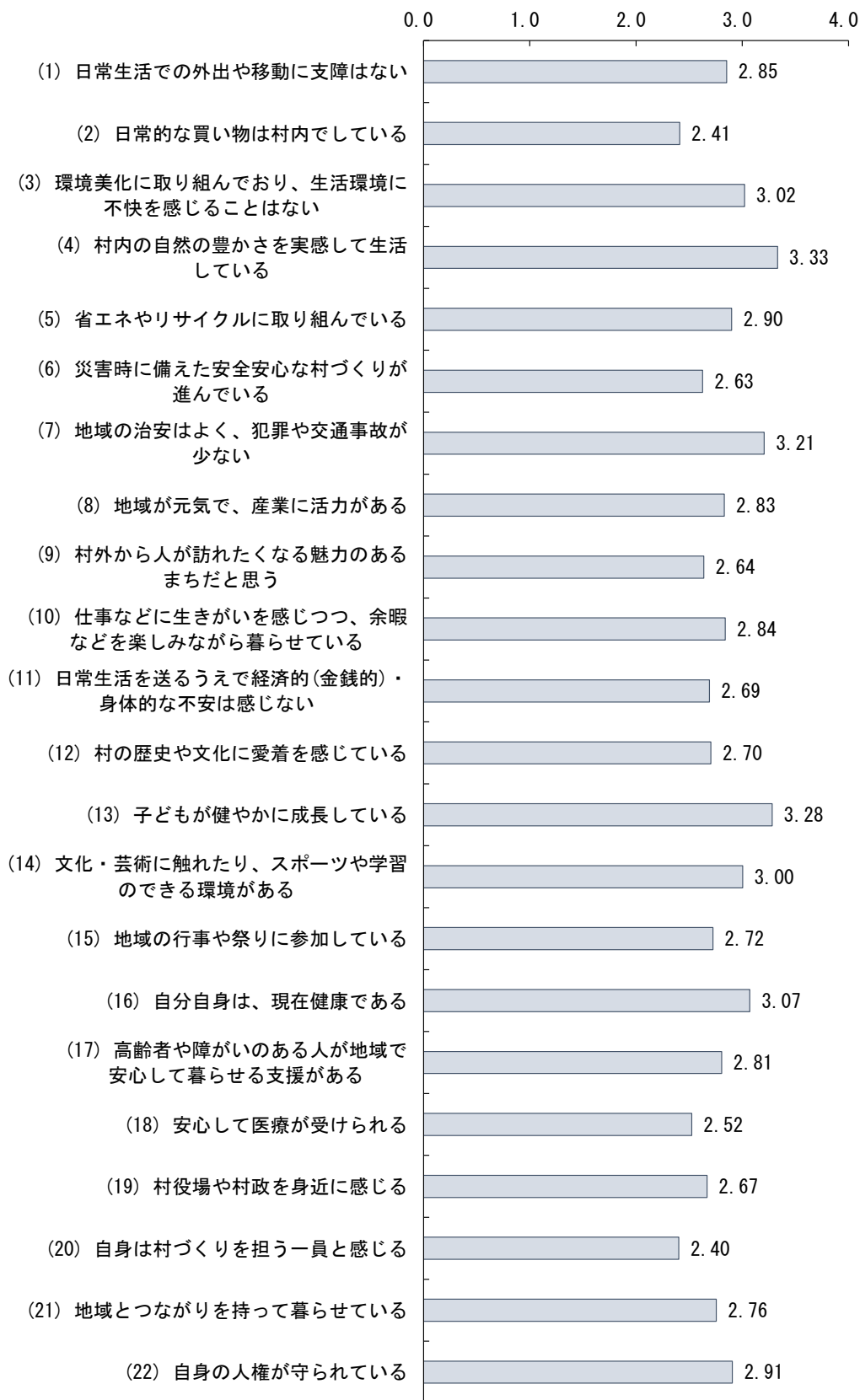
		(n=331)	
		回答数	構成比
(1)	日常生活での外出や移動に 支障はない	1 とてもそう思う	73 22.1%
		2 どちらかといえばそう思う	155 46.8%
		3 あまりそう思わない	71 21.5%
		4 まったくそう思わない	25 7.6%
		無回答	7 2.1%
(2)	日常的な買い物は村内でしている	1 とてもそう思う	26 7.9%
		2 どちらかといえばそう思う	126 38.1%
		3 あまりそう思わない	123 37.2%
		4 まったくそう思わない	46 13.9%
		無回答	10 3.0%
(3)	環境美化に取り組んでおり、 生活環境に不快を感じることはない	1 とてもそう思う	67 20.2%
		2 どちらかといえばそう思う	199 60.1%
		3 あまりそう思わない	44 13.3%
		4 まったくそう思わない	8 2.4%
		無回答	13 3.9%
(4)	村内の自然の豊かさを実感して 生活している	1 とてもそう思う	147 44.4%
		2 どちらかといえばそう思う	142 42.9%
		3 あまりそう思わない	28 8.5%
		4 まったくそう思わない	6 1.8%
		無回答	8 2.4%
(5)	省エネやリサイクルに取り組んで いる	1 とてもそう思う	42 12.7%
		2 どちらかといえばそう思う	210 63.4%
		3 あまりそう思わない	64 19.3%
		4 まったくそう思わない	5 1.5%
		無回答	10 3.0%
(6)	災害時に備えた安全安心な村づくり が進んでいる	1 とてもそう思う	19 5.7%
		2 どちらかといえばそう思う	178 53.8%
		3 あまりそう思わない	109 32.9%
		4 まったくそう思わない	15 4.5%
		無回答	10 3.0%
(7)	地域の治安はよく、犯罪や交通事故 が少ない	1 とてもそう思う	99 29.9%
		2 どちらかといえばそう思う	194 58.6%
		3 あまりそう思わない	23 6.9%
		4 まったくそう思わない	5 1.5%
		無回答	10 3.0%

		(n=331)	
		回答数	構成比
(8)	地域が元気で、産業に活力がある	1 とてもそう思う	48 14.5%
		2 どちらかといえばそう思う	181 54.7%
		3 あまりそう思わない	87 26.3%
		4 まったくそう思わない	8 2.4%
		無回答	7 2.1%
(9)	村外から人が訪れたい魅力のあるまちだと思う	1 とてもそう思う	35 10.6%
		2 どちらかといえばそう思う	158 47.7%
		3 あまりそう思わない	113 34.1%
		4 まったくそう思わない	20 6.0%
		無回答	5 1.5%
(10)	仕事などに生きがいを感じつつ、余暇などを楽しみながら暮らしている	1 とてもそう思う	55 16.6%
		2 どちらかといえばそう思う	173 52.3%
		3 あまりそう思わない	83 25.1%
		4 まったくそう思わない	12 3.6%
		無回答	8 2.4%
(11)	日常生活を送るうえで経済的（金銭的）・身体的な不安は感じない	1 とてもそう思う	37 11.2%
		2 どちらかといえばそう思う	174 52.6%
		3 あまりそう思わない	92 27.8%
		4 まったくそう思わない	23 6.9%
		無回答	5 1.5%
(12)	村の歴史や文化に愛着を感じている	1 とてもそう思う	40 12.1%
		2 どちらかといえばそう思う	165 49.8%
		3 あまりそう思わない	102 30.8%
		4 まったくそう思わない	17 5.1%
		無回答	7 2.1%
(13)	子どもが健やかに成長している	1 とてもそう思う	113 34.1%
		2 どちらかといえばそう思う	187 56.5%
		3 あまりそう思わない	17 5.1%
		4 まったくそう思わない	3 0.9%
		無回答	11 3.3%
(14)	文化・芸術に触れたり、スポーツや学習のできる環境がある	1 とてもそう思う	70 21.1%
		2 どちらかといえばそう思う	190 57.4%
		3 あまりそう思わない	59 17.8%
		4 まったくそう思わない	5 1.5%
		無回答	7 2.1%
(15)	地域の行事や祭りに参加している	1 とてもそう思う	45 13.6%
		2 どちらかといえばそう思う	170 51.4%
		3 あまりそう思わない	85 25.7%
		4 まったくそう思わない	25 7.6%
		無回答	6 1.8%

		(n=331)	
		回答数	構成比
(16)	自分自身は、現在健康である	1 とてもそう思う	29.0%
		2 どちらかといえばそう思う	50.8%
		3 あまりそう思わない	14.8%
		4 まったくそう思わない	3.6%
		無回答	1.8%
(17)	高齢者や障がいのある人が地域で安心して暮らせる支援がある	1 とてもそう思う	9.4%
		2 どちらかといえばそう思う	61.0%
		3 あまりそう思わない	26.6%
		4 まったくそう思わない	0.9%
		無回答	2.1%
(18)	安心して医療が受けられる	1 とてもそう思う	9.1%
		2 どちらかといえばそう思う	41.7%
		3 あまりそう思わない	38.7%
		4 まったくそう思わない	8.5%
		無回答	2.1%
(19)	村役場や村政を身近に感じる	1 とてもそう思う	10.6%
		2 どちらかといえばそう思う	50.2%
		3 あまりそう思わない	30.2%
		4 まったくそう思わない	6.3%
		無回答	2.7%
(20)	自身は村づくりを担う一員と感じる	1 とてもそう思う	5.7%
		2 どちらかといえばそう思う	37.5%
		3 あまりそう思わない	43.8%
		4 まったくそう思わない	10.0%
		無回答	3.0%
(21)	地域とつながりを持って暮らせている	1 とてもそう思う	10.3%
		2 どちらかといえばそう思う	58.0%
		3 あまりそう思わない	24.5%
		4 まったくそう思わない	4.8%
		無回答	2.4%
(22)	自身の人権が守られている	1 とてもそう思う	12.7%
		2 どちらかといえばそう思う	64.7%
		3 あまりそう思わない	18.7%
		4 まったくそう思わない	1.5%
		無回答	2.4%

◎ 指数値による属性別比較

図表 普段の暮らしで感じることや取り組んでいること（指数値）

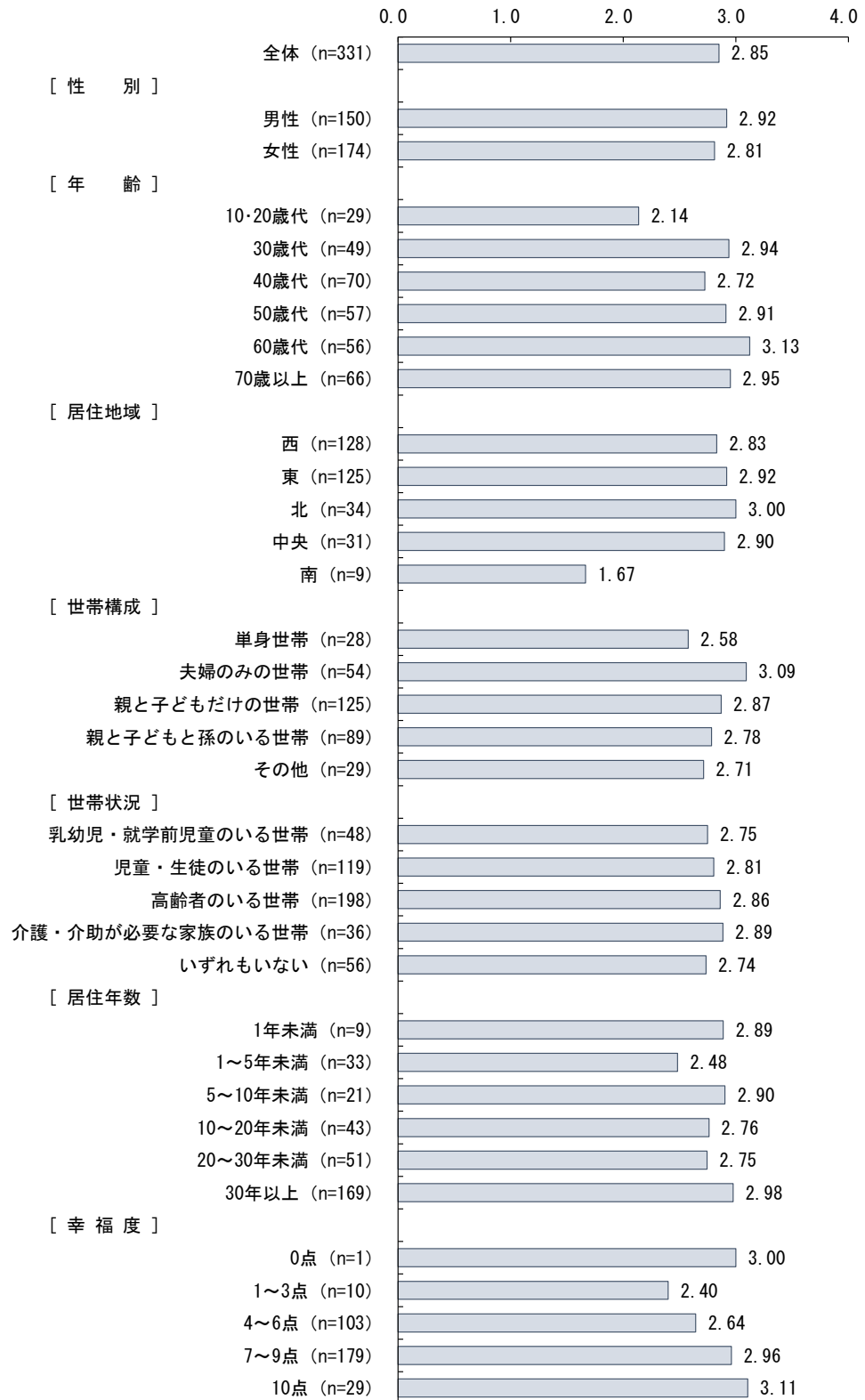


※指数化：(「とてもそう思う」×4+「どちらかといえばそう思う」×3+「あまりそう思わない」×2+「まったくそう思わない」×1)÷回答数

◎ 各項目の指数値による属性別比較

(1) 日常生活での外出や移動に支障はない

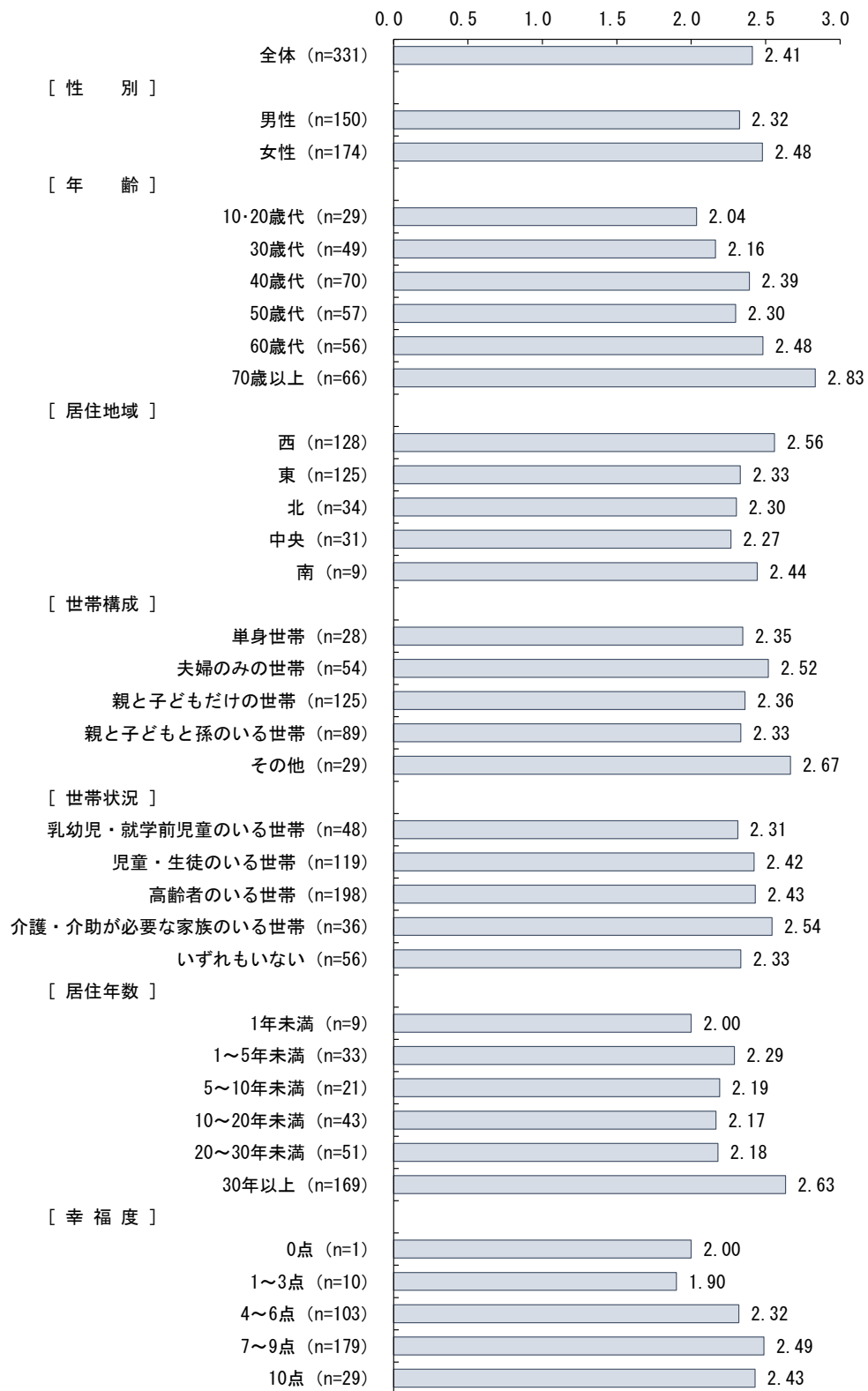
図表 日常生活での外出や移動に支障はない



※指数化：(「とてもそう思う」×4+「どちらかといえばそう思う」×3+「あまりそう思わない」×2+「まったくそう思わない」×1)÷回答数

## (2) 日常的な買い物は村内でしている

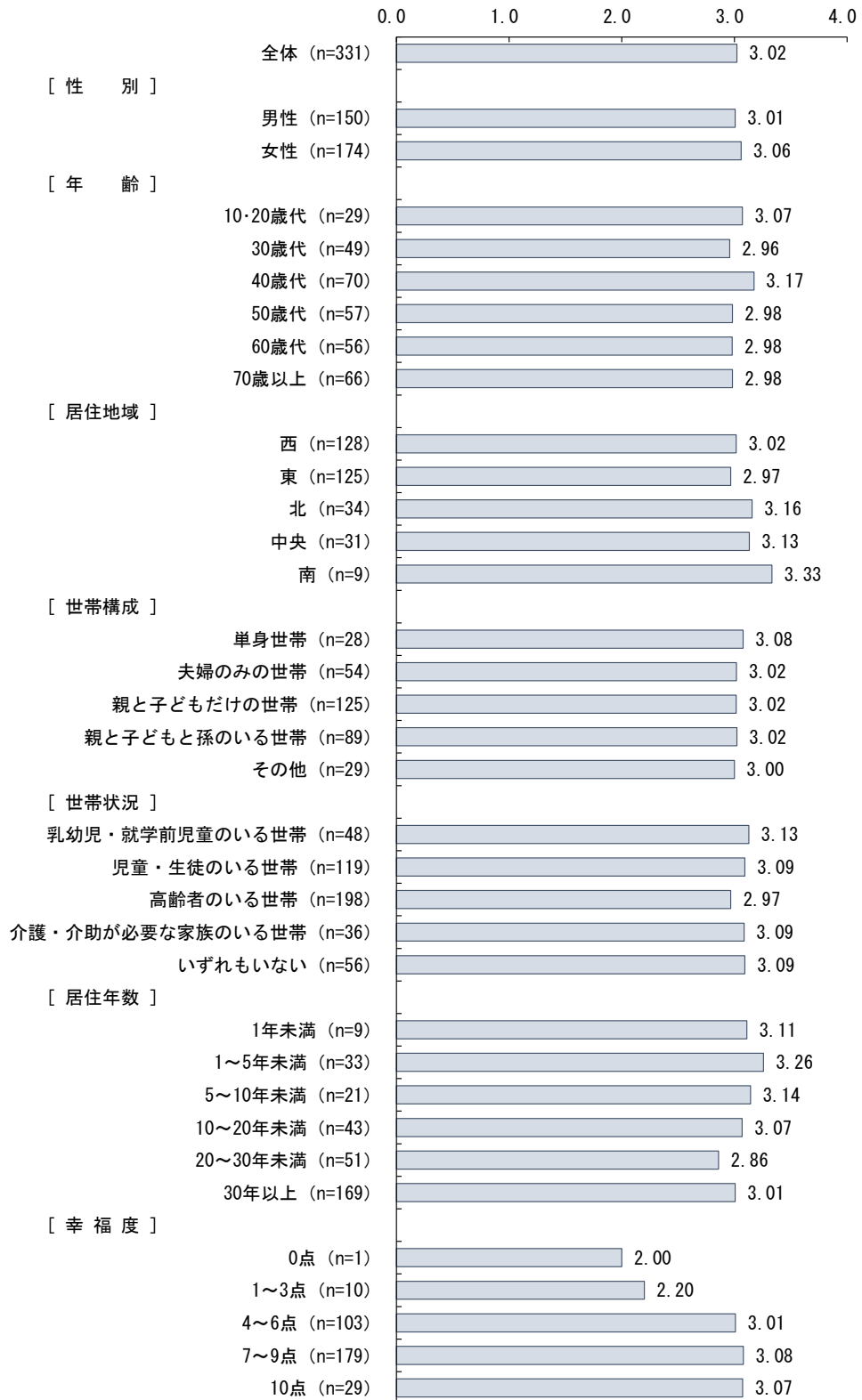
図表 日常的な買い物は村内でしている



※指数化：(「とてもそう思う」×4+「どちらかといえばそう思う」×3+「あまりそう思わない」×2+「まったくそう思わない」×1)÷回答数

(3) 環境美化に取り組んでおり、生活環境に不快を感じることはない

図表 環境美化に取り組んでおり、生活環境に不快を感じることはない

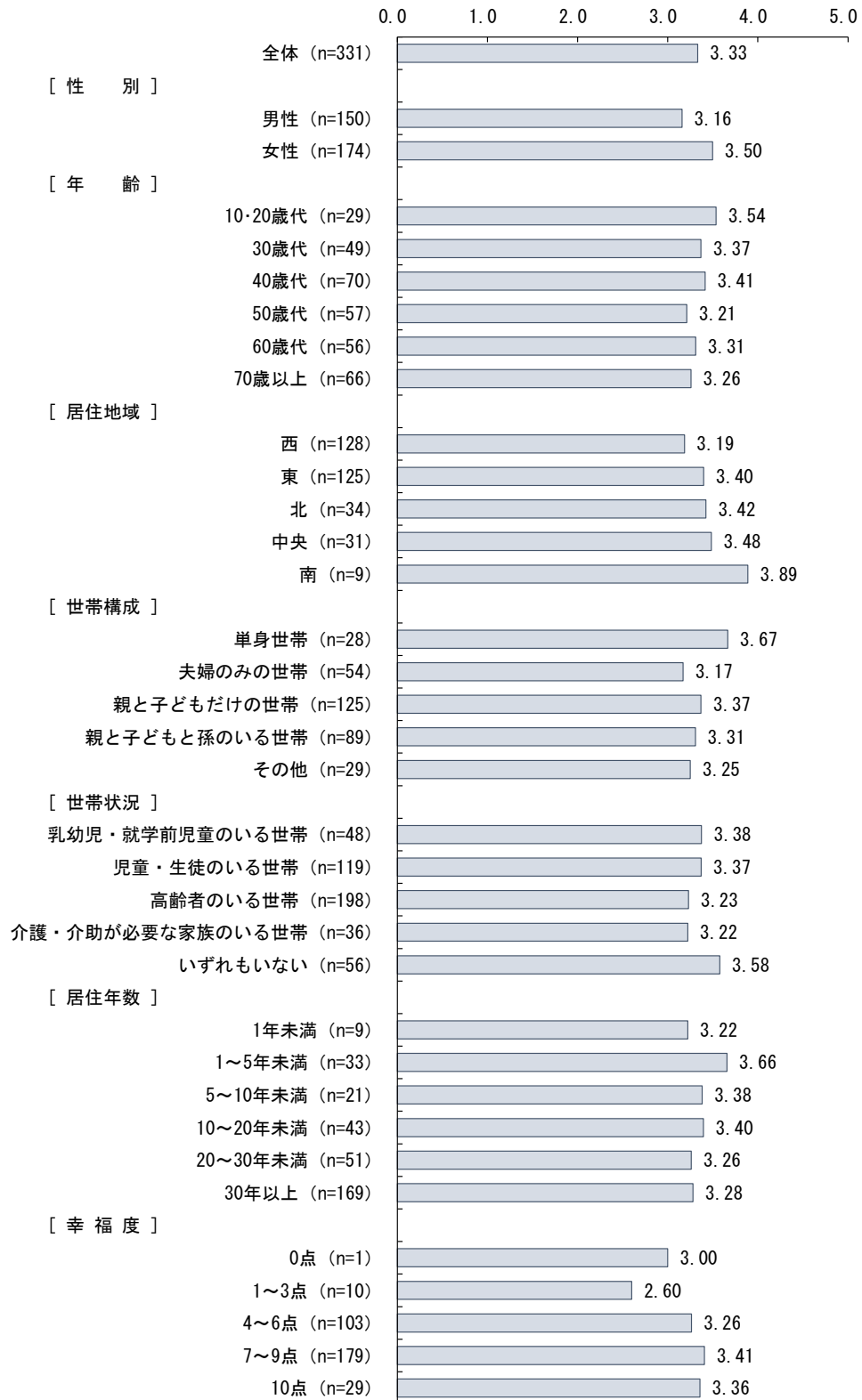


※指数化：(「とてもそう思う」×4+「どちらかといえばそう思う」×3+「あまりそう思わない」×2+「まったくそう思わない」×1)÷回答数



#### (4) 村内の自然の豊かさを実感して生活している

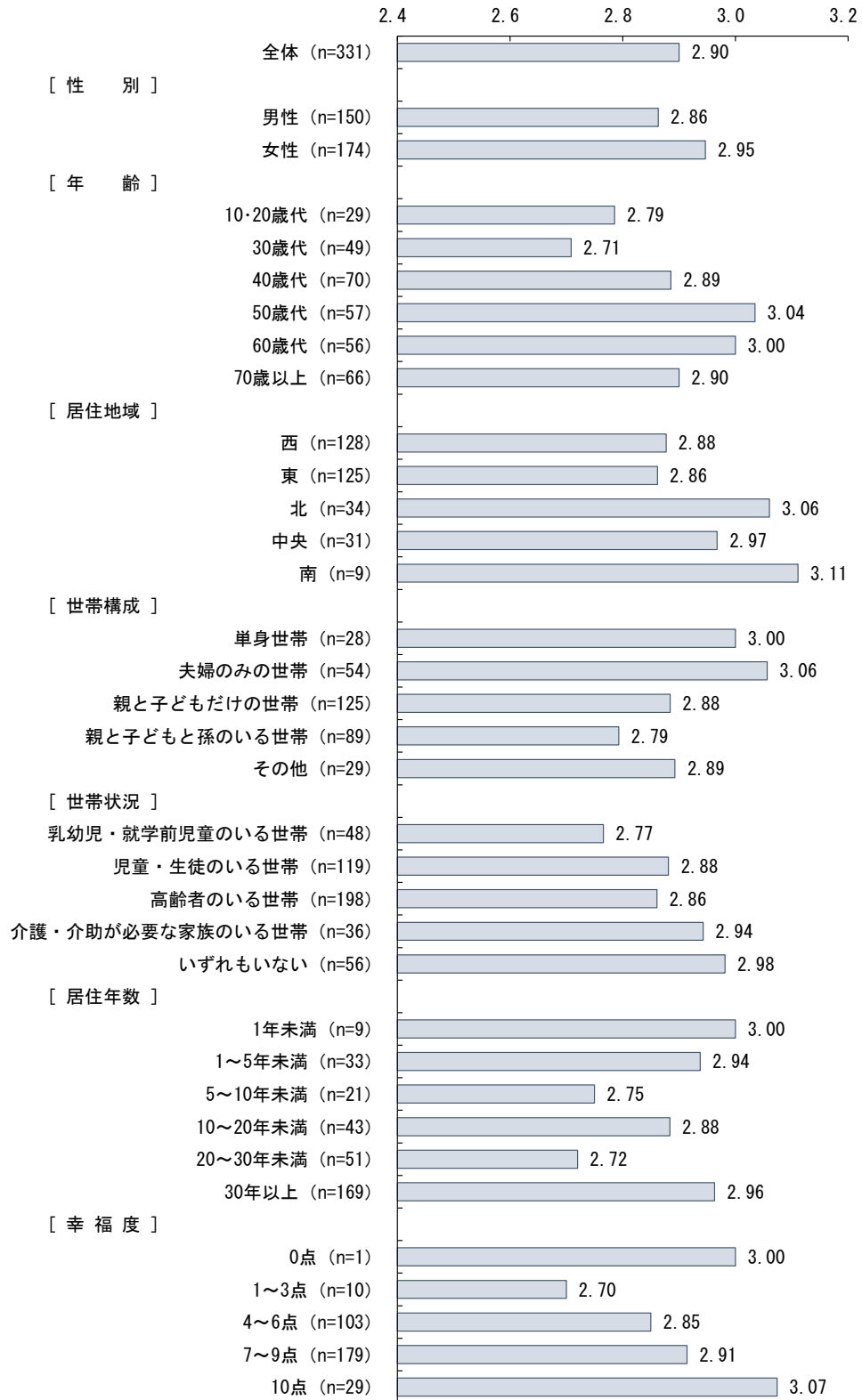
図表 村内の自然の豊かさを実感して生活している



※指数化：(「とてもそう思う」×4+「どちらかといえばそう思う」×3+「あまりそう思わない」×2+「まったくそう思わない」×1)÷回答数

(5) 省エネやリサイクルに取り組んでいる

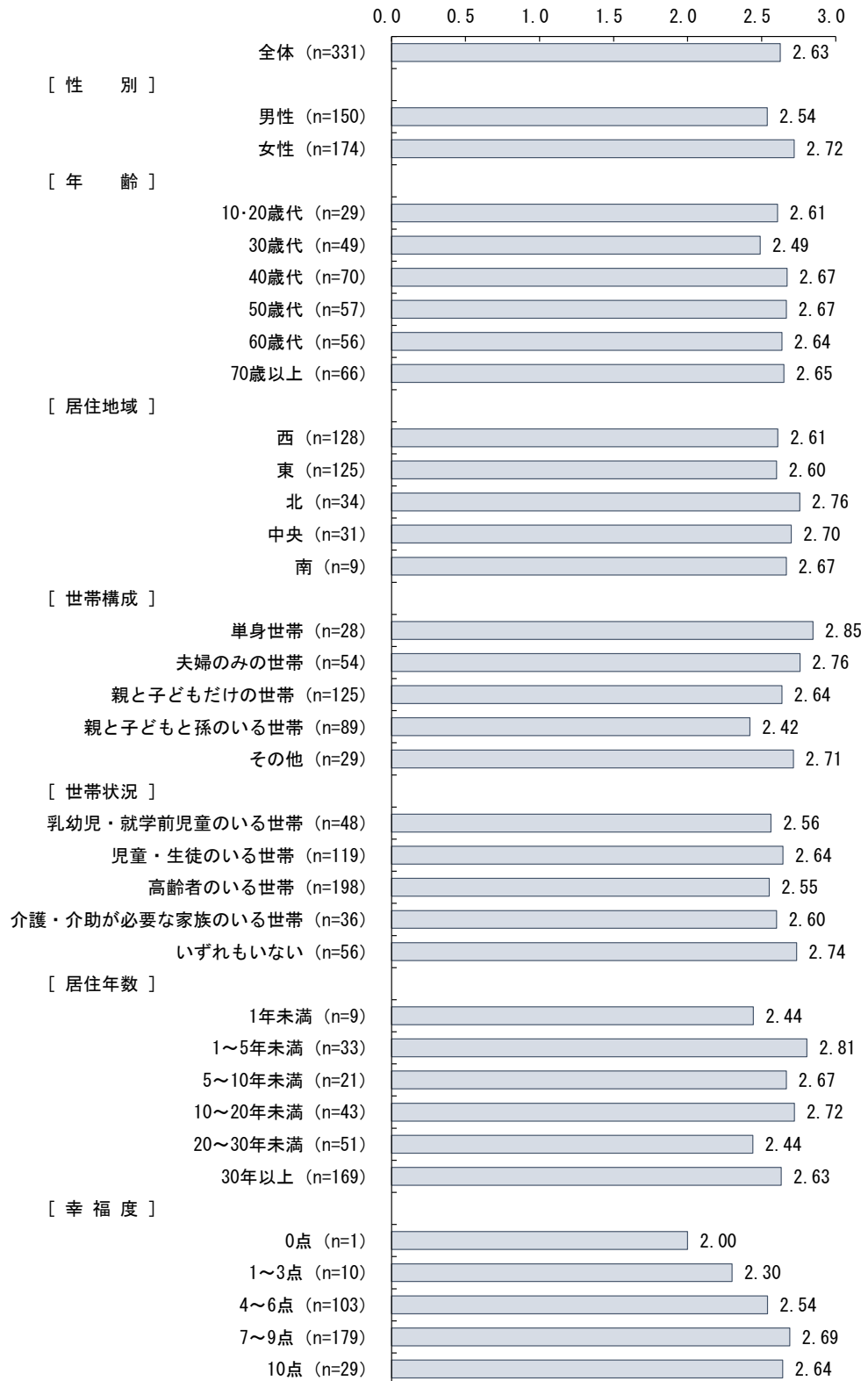
図表 省エネやリサイクルに取り組んでいる



※指数化：(「とてもそう思う」×4+「どちらかといえばそう思う」×3+「あまりそう思わない」×2+「まったくそう思わない」×1)÷回答数

(6) 災害時に備えた安全安心な村づくりが進んでいる

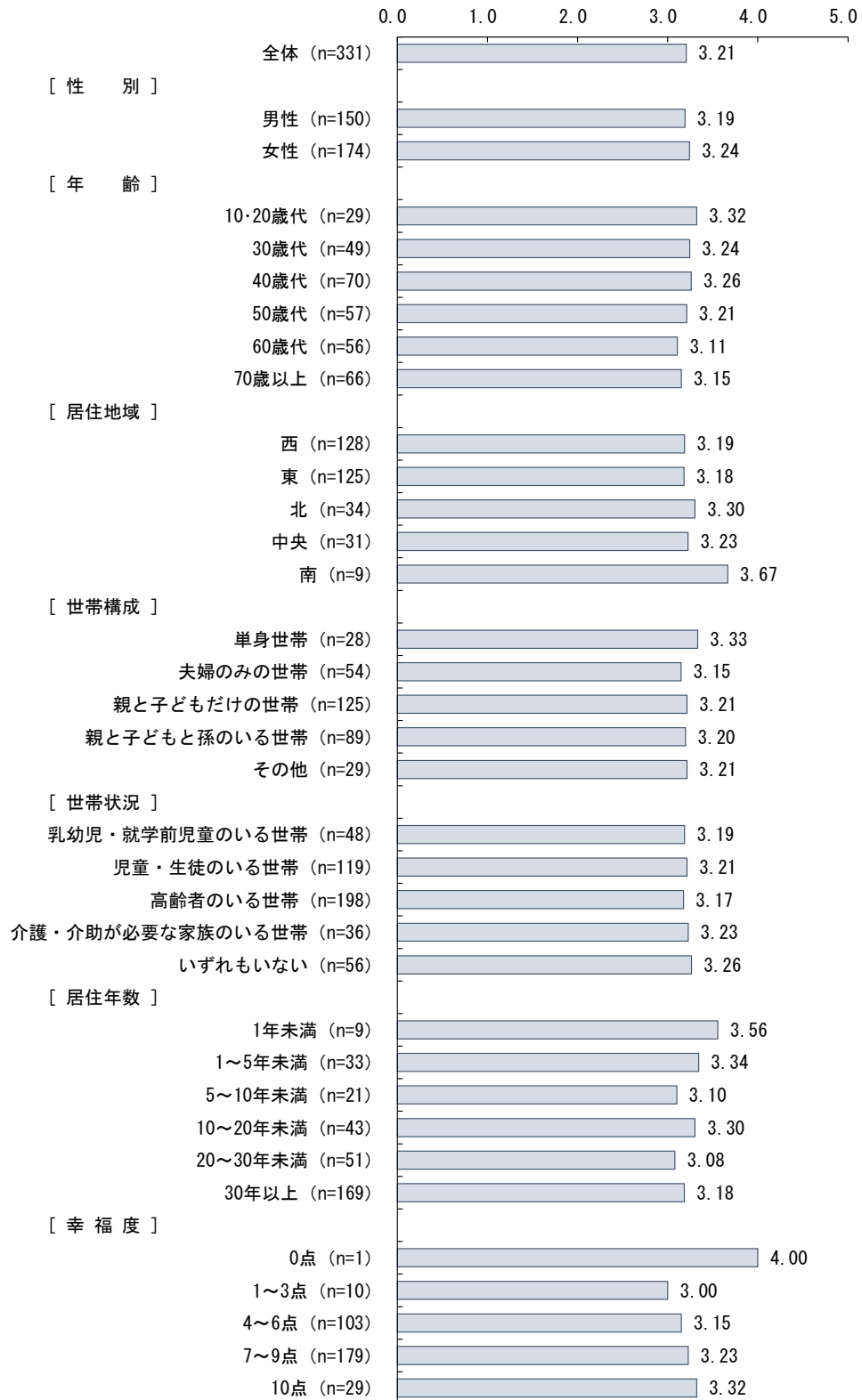
図表 災害時に備えた安全安心な村づくりが進んでいる



※指数化：(「とてもそう思う」×4+「どちらかといえばそう思う」×3+「あまりそう思わない」×2+「まったくそう思わない」×1)÷回答数

(7) 地域の治安はよく、犯罪や交通事故が少ない

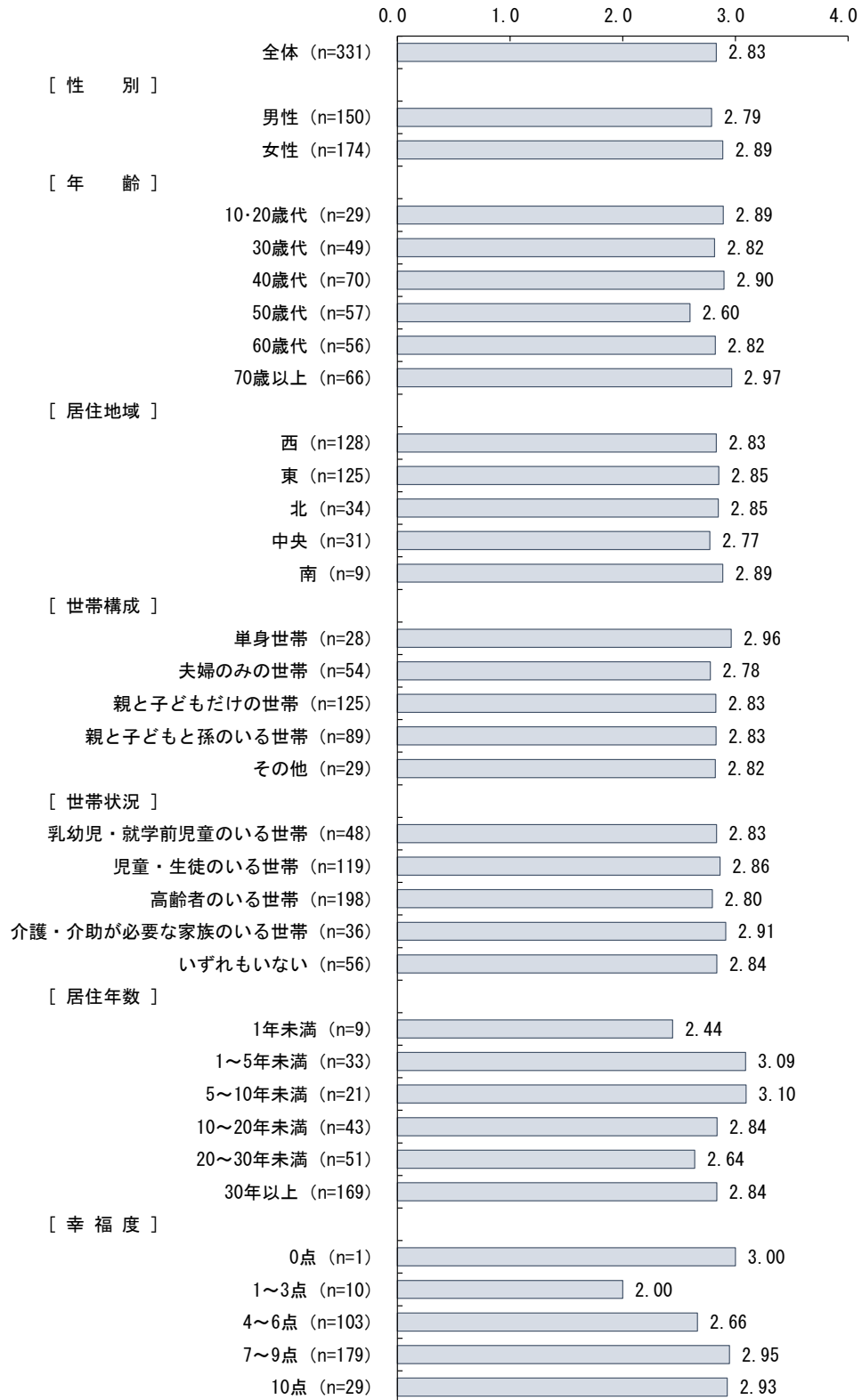
図表 地域の治安はよく、犯罪や交通事故が少ない



※指数化：(「とてもそう思う」×4+「どちらかといえばそう思う」×3+「あまりそう思わない」×2+「まったくそう思わない」×1)÷回答数

## (8) 地域が元気で、産業に活力がある

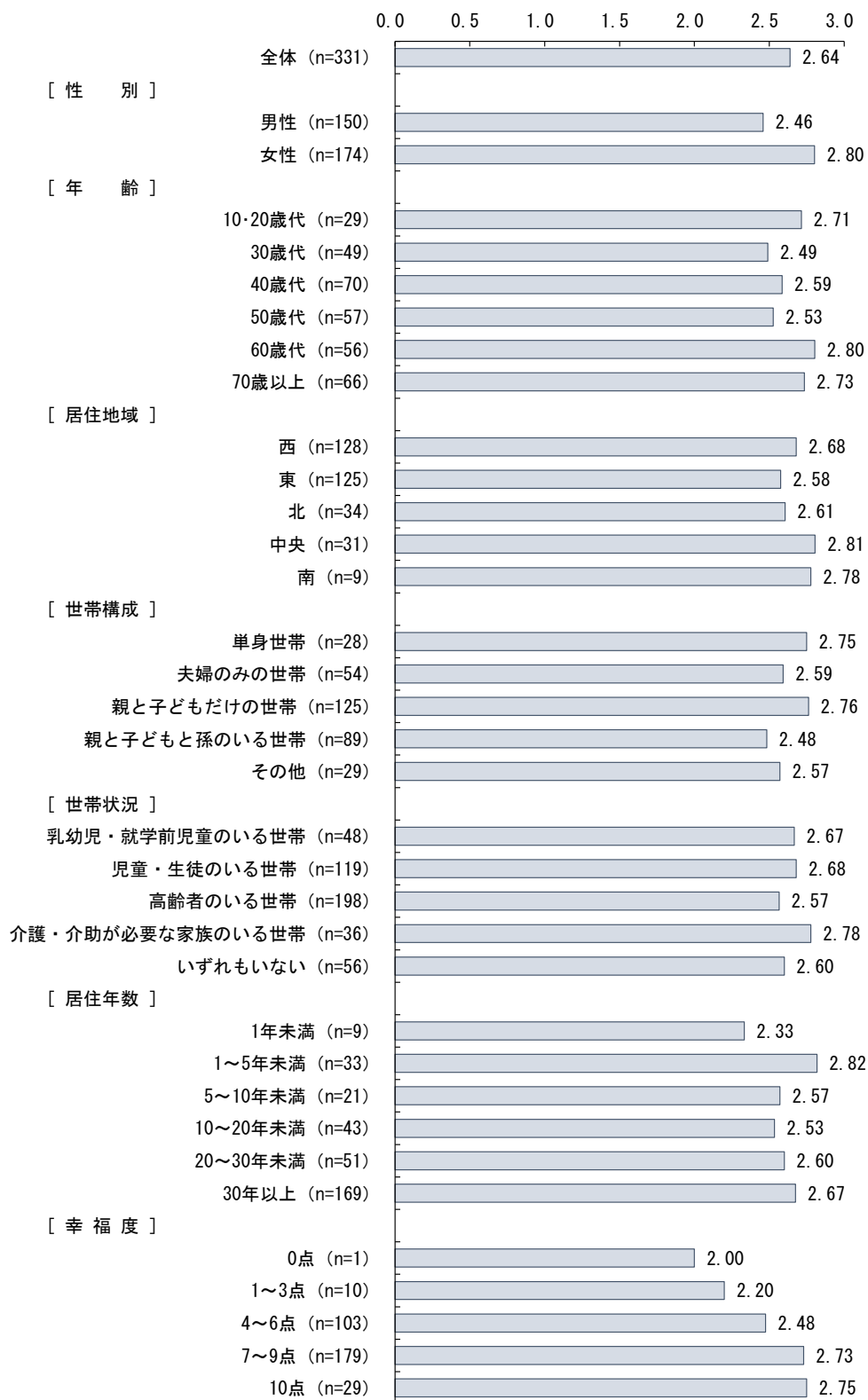
図表 地域が元気で、産業に活力がある



※指数化：(「とてもそう思う」×4+「どちらかといえばそう思う」×3+「あまりそう思わない」×2+「まったくそう思わない」×1)÷回答数

## (9) 村外から人が訪れたいくなる魅力のあるまちだと思う

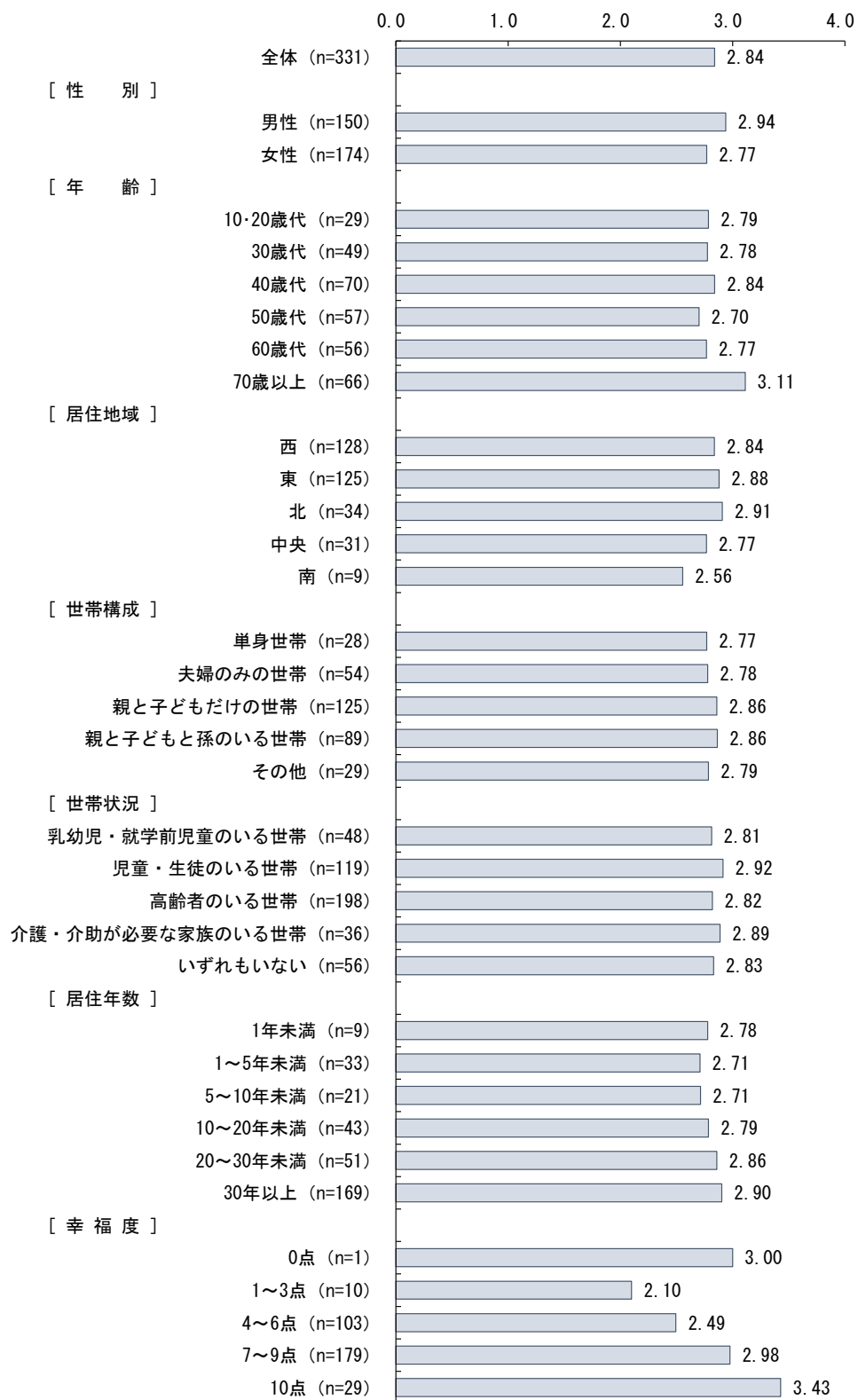
図表 村外から人が訪れたいくなる魅力のあるまちだと思う



※指数化：(「とてもそう思う」×4+「どちらかといえばそう思う」×3+「あまりそう思わない」×2+「まったくそう思わない」×1)÷回答数

(10) 仕事などに生きがいを感じつつ、余暇などを楽しみながら暮らしている

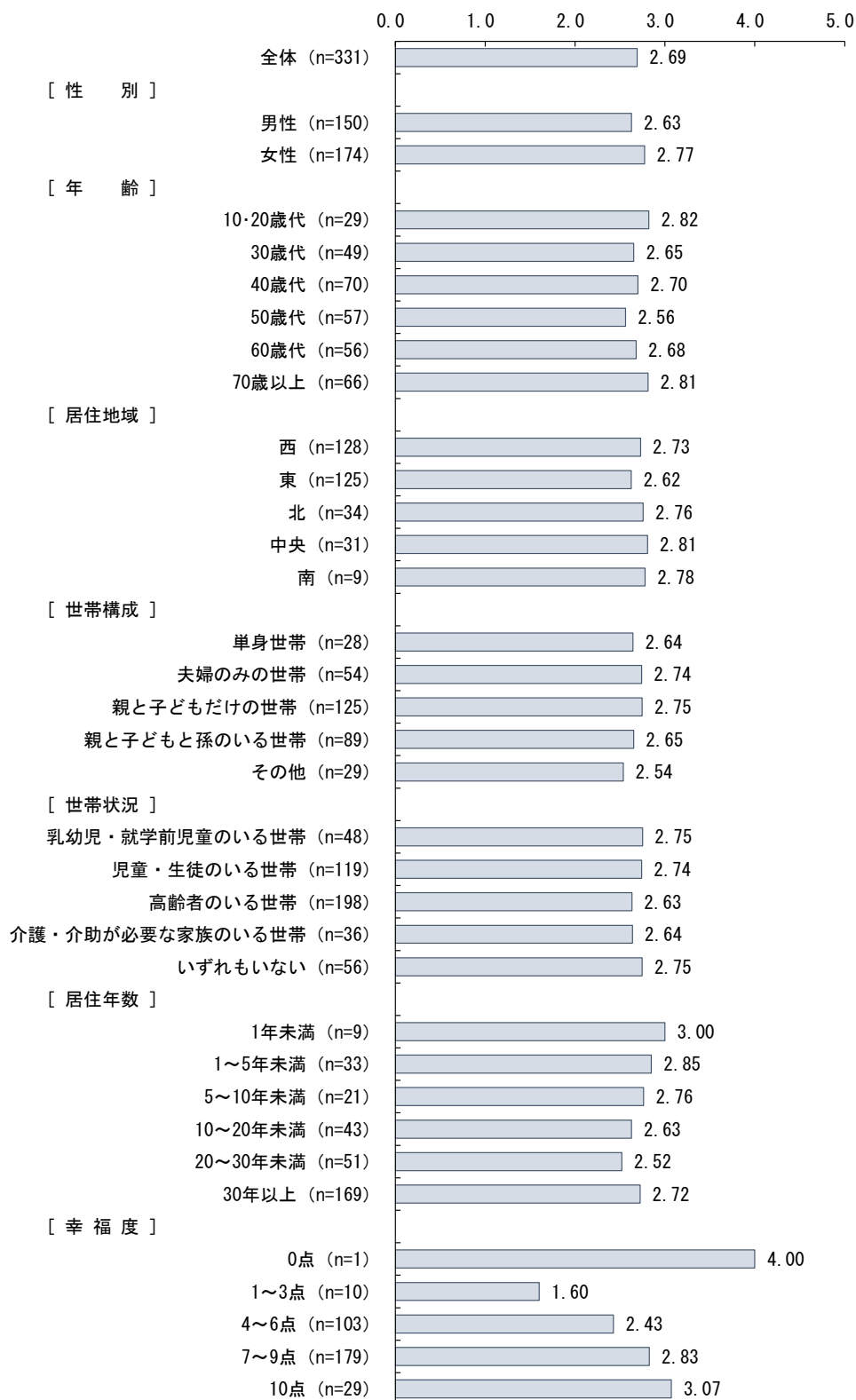
図表 仕事などに生きがいを感じつつ、余暇などを楽しみながら暮らしている



※指数化：(「とてもそう思う」×4+「どちらかといえばそう思う」×3+「あまりそう思わない」×2+「まったくそう思わない」×1)÷回答数

(11) 日常生活を送るうえで経済的（金銭的）・身体的な不安は感じない

図表 日常生活を送るうえで経済的（金銭的）・身体的な不安は感じない

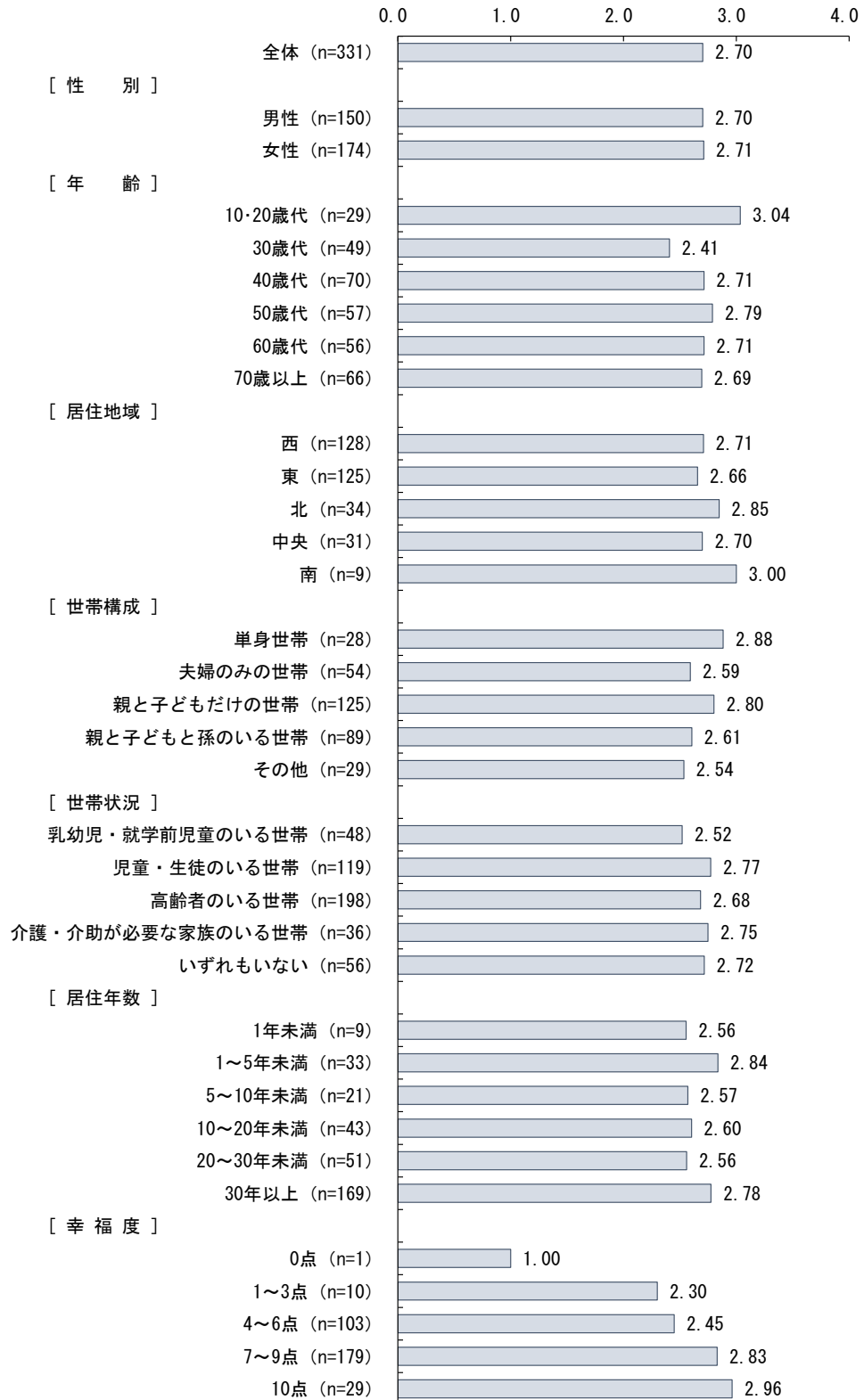


※指数化：（「とてもそう思う」×4+「どちらかといえばそう思う」×3+「あまりそう思わない」×2+「まったくそう思わない」×1）÷回答数



## (12) 村の歴史や文化に愛着を感じている

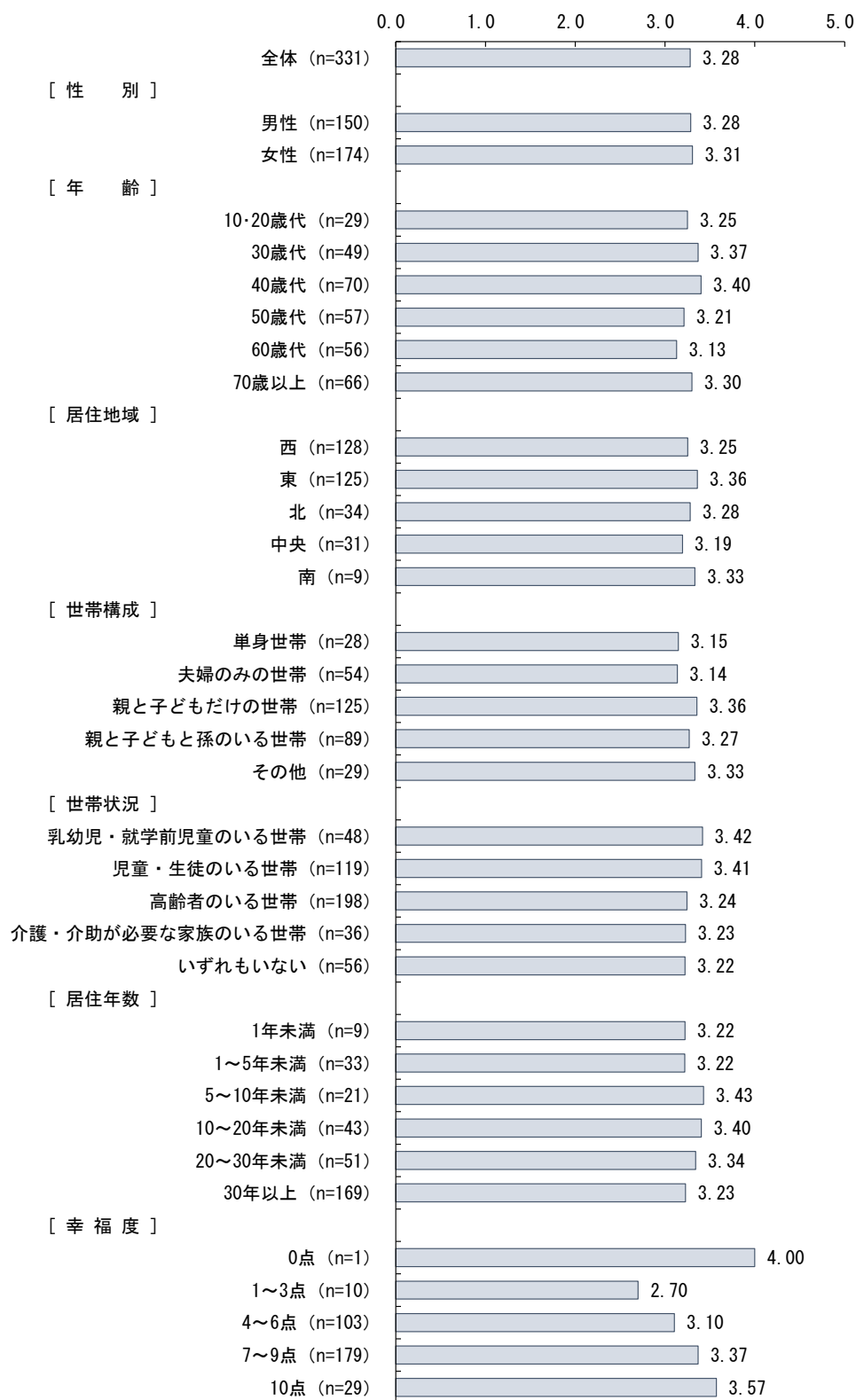
図表 村の歴史や文化に愛着を感じている



※指数化：(「とてもそう思う」×4+「どちらかといえばそう思う」×3+「あまりそう思わない」×2+「まったくそう思わない」×1)÷回答数

(13) 子どもが健やかに成長している

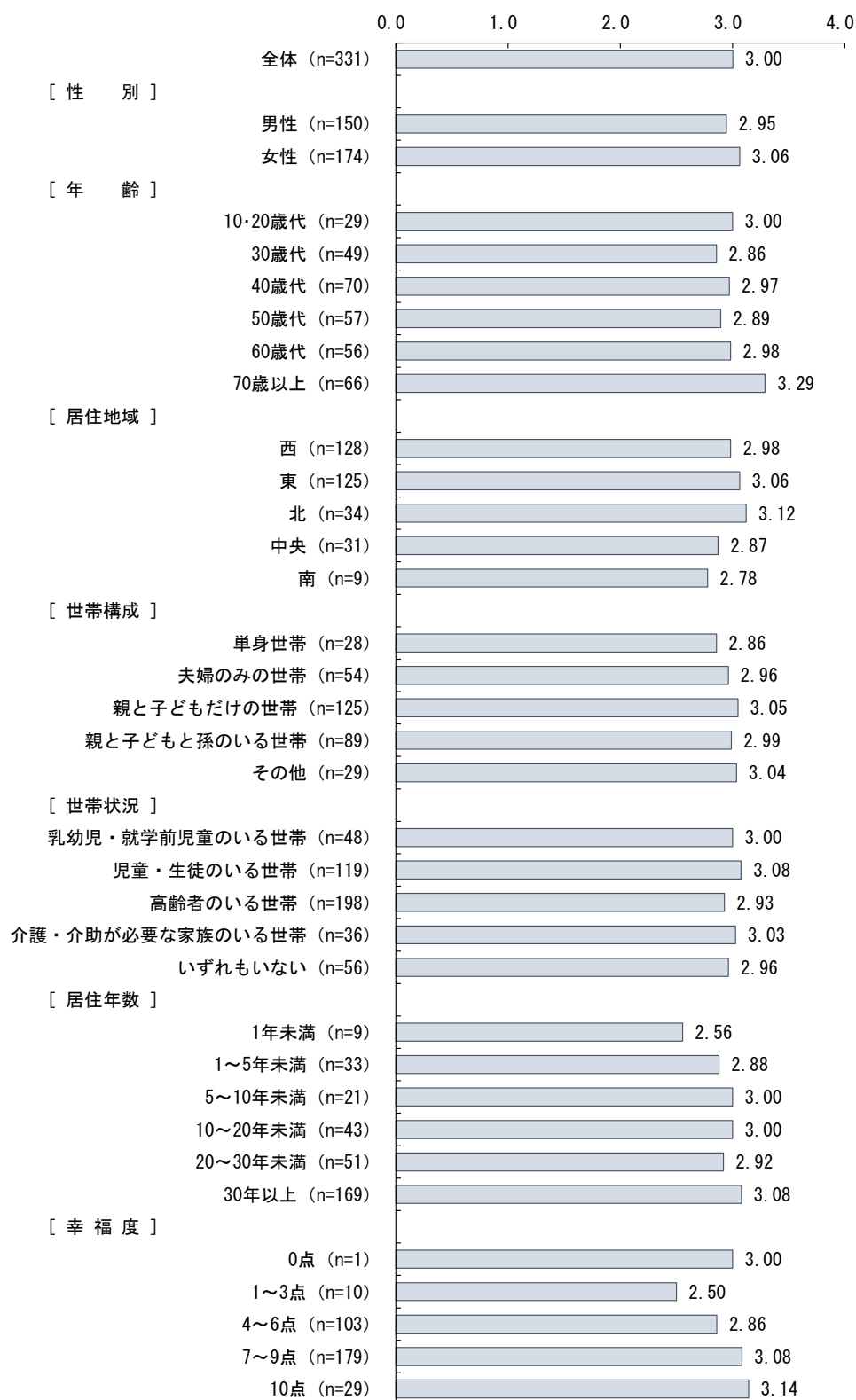
図表 子どもが健やかに成長している



※指数化：(「とてもそう思う」×4+「どちらかといえばそう思う」×3+「あまりそう思わない」×2+「まったくそう思わない」×1)÷回答数

(14) 文化・芸術に触れたり、スポーツや学習のできる環境がある

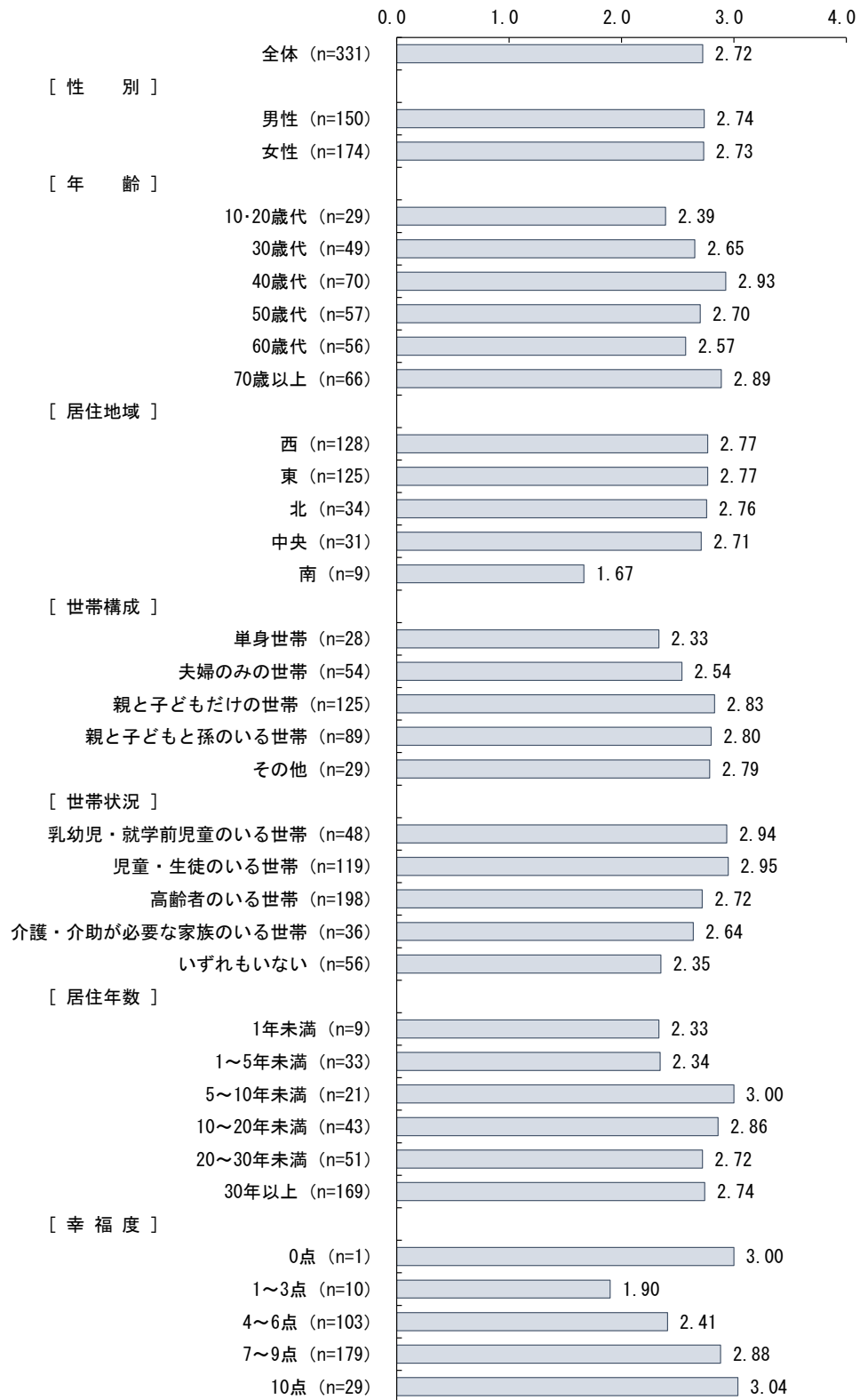
図表 文化・芸術に触れたり、スポーツや学習のできる環境がある



※指数化：(「とてもそう思う」×4+「どちらかといえばそう思う」×3+「あまりそう思わない」×2+「まったくそう思わない」×1)÷回答数

(15) 地域の行事や祭りに参加している

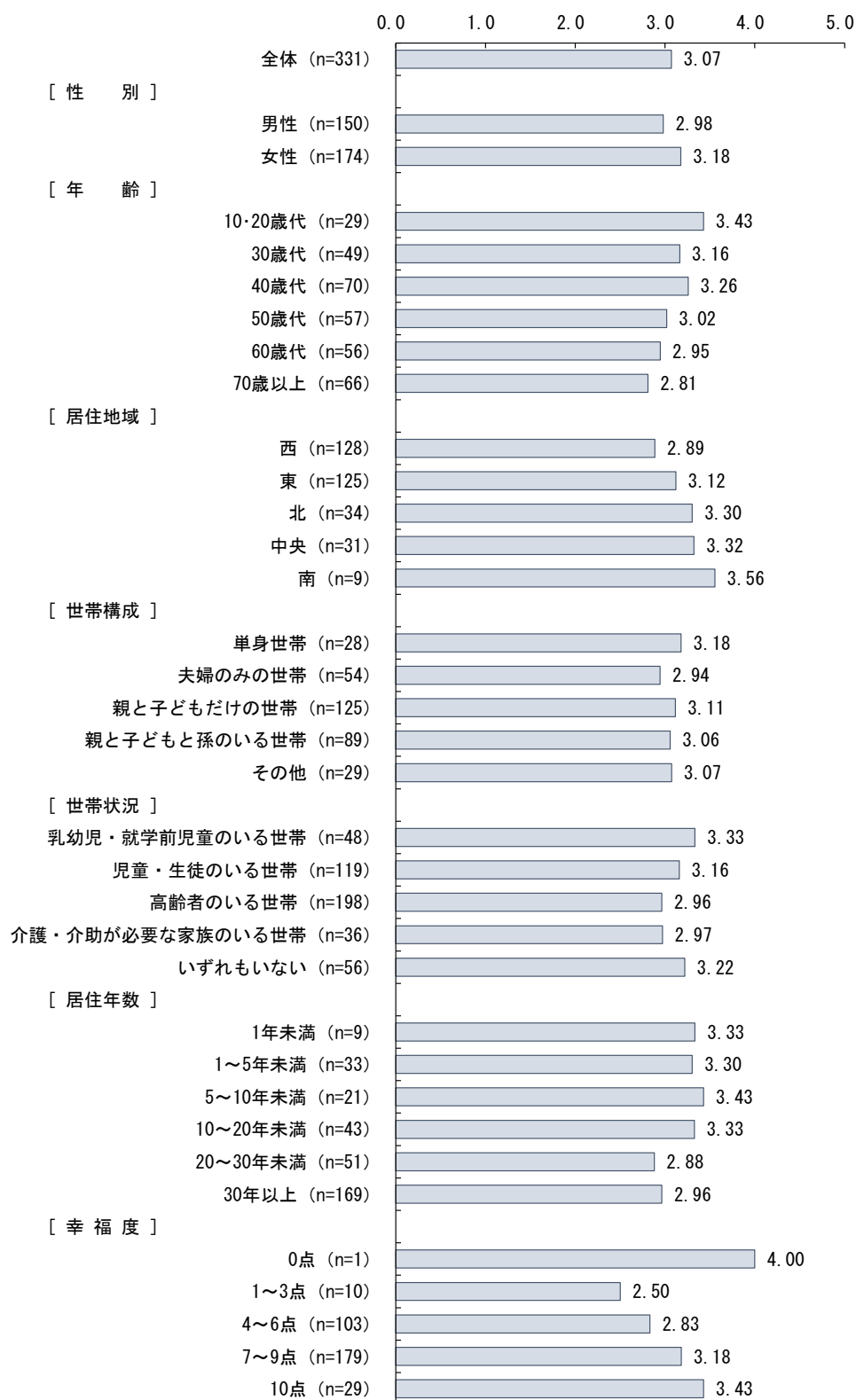
図表 地域の行事や祭りに参加している



※指数化：(「とてもそう思う」×4+「どちらかといえばそう思う」×3+「あまりそう思わない」×2+「まったくそう思わない」×1)÷回答数

(16) 自分自身は、現在健康である

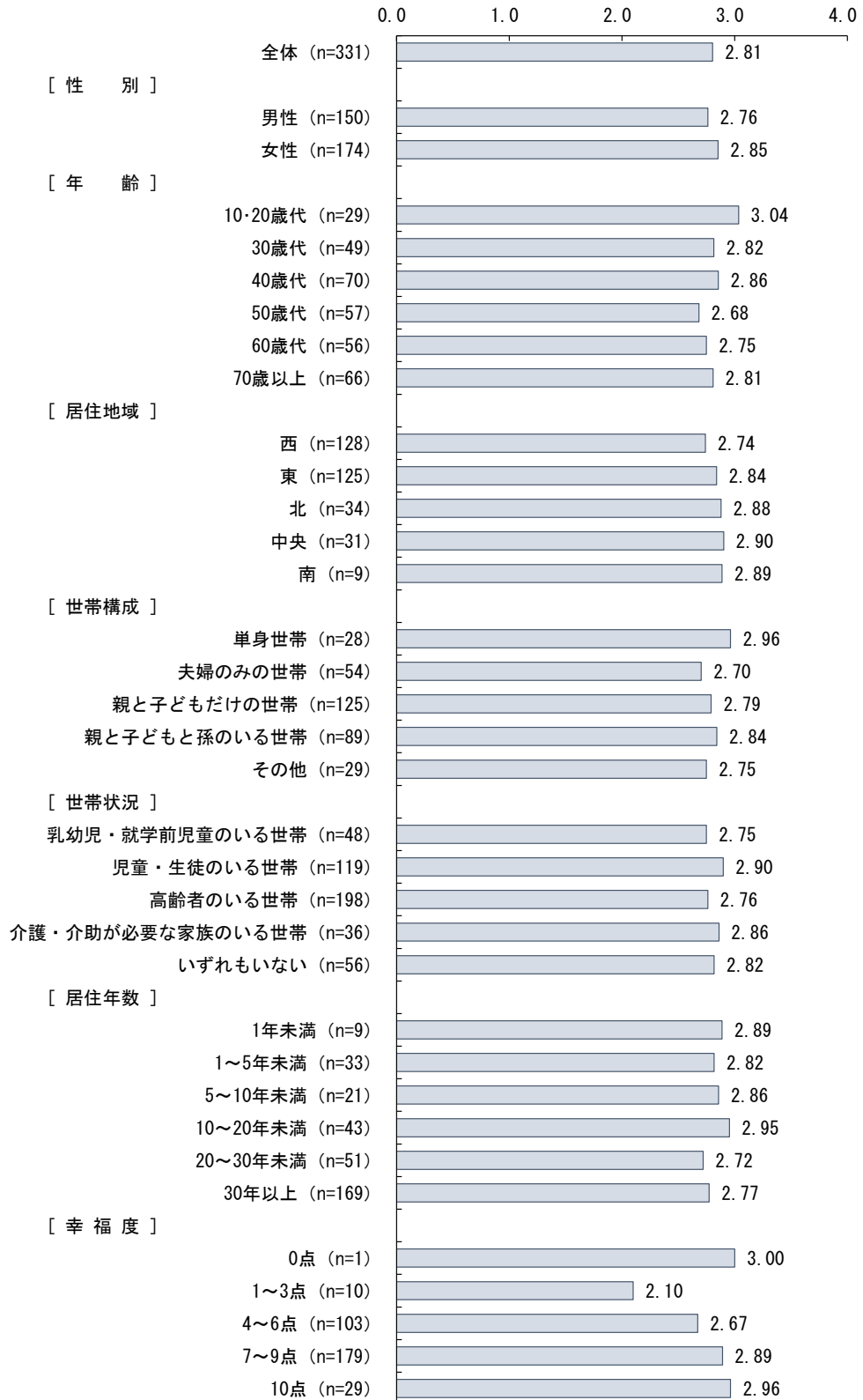
図表 自分自身は、現在健康である



※指数化：(「とてもそう思う」×4+「どちらかといえばそう思う」×3+「あまりそう思わない」×2+「まったくそう思わない」×1)÷回答数

(17) 高齢者や障がいのある人が地域で安心して暮らせる支援がある

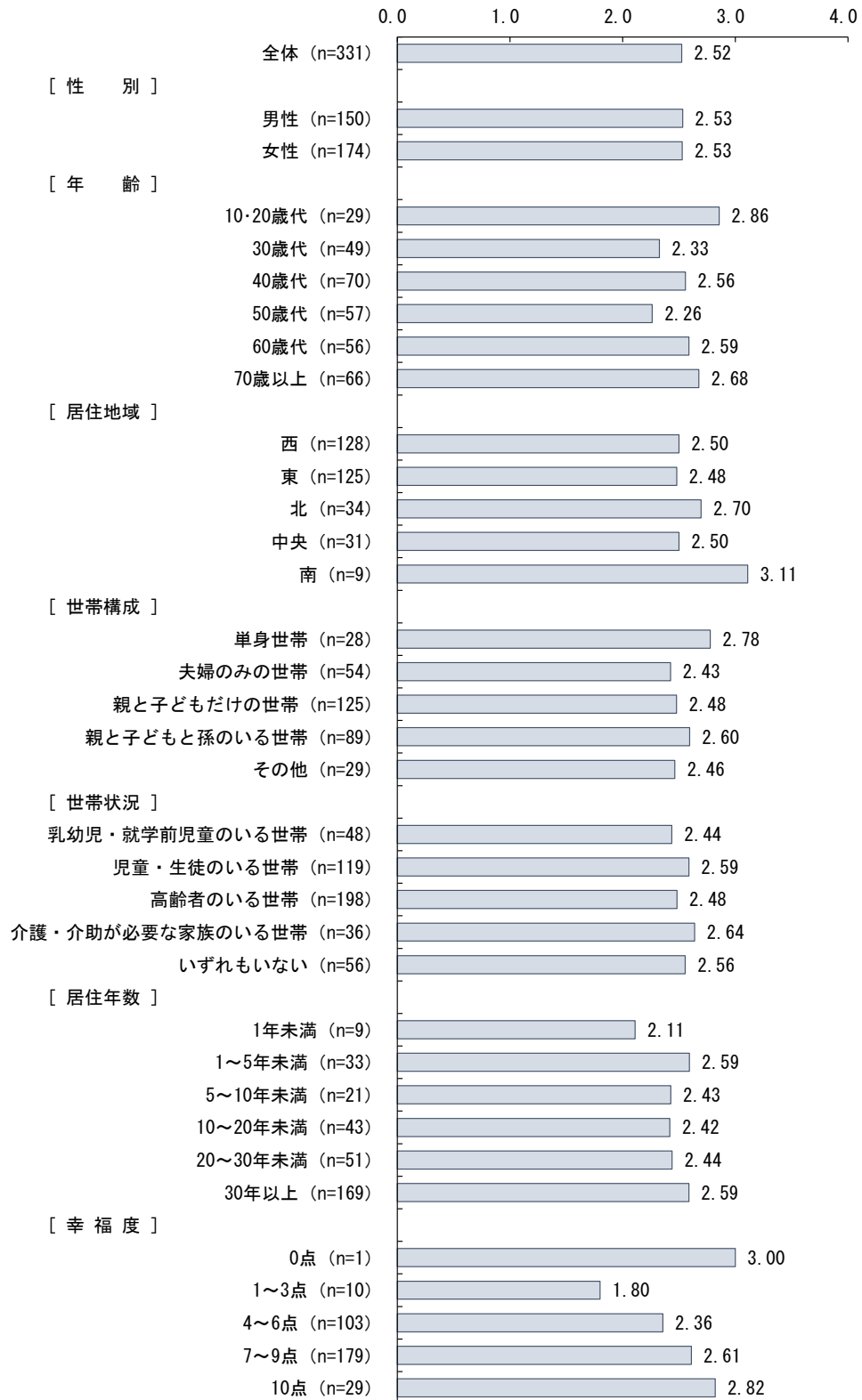
図表 高齢者や障がいのある人が地域で安心して暮らせる支援がある



※指数化：(「とてもそう思う」×4+「どちらかといえばそう思う」×3+「あまりそう思わない」×2+「まったくそう思わない」×1)÷回答数

(18) 安心して医療が受けられる

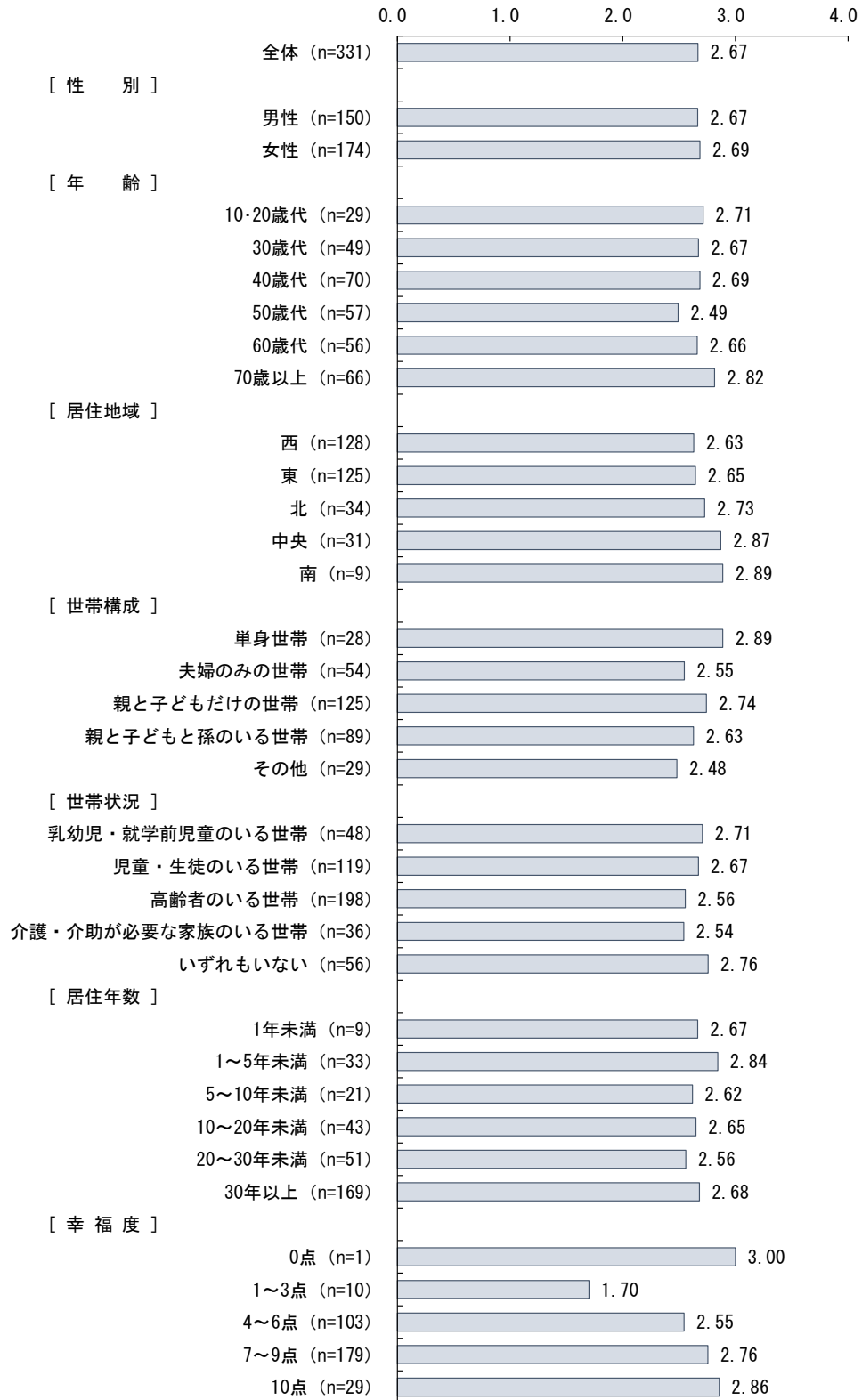
図表 安心して医療が受けられる



※指数化：(「とてもそう思う」×4+「どちらかといえばそう思う」×3+「あまりそう思わない」×2+「まったくそう思わない」×1)÷回答数

(19) 村役場や村政を身近に感じる

図表 村役場や村政を身近に感じる

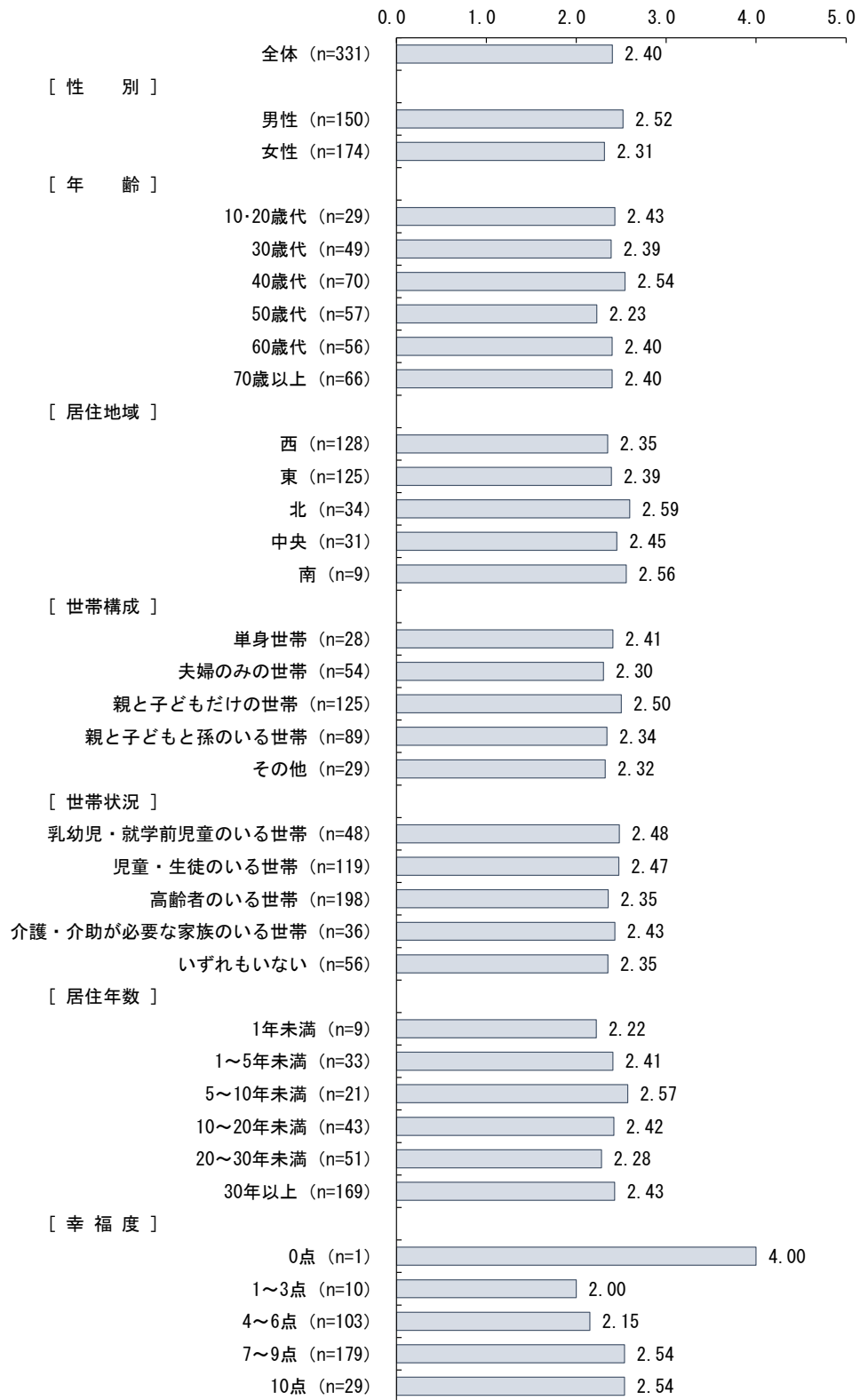


※指数化：(「とてもそう思う」×4+「どちらかといえばそう思う」×3+「あまりそう思わない」×2+「まったくそう思わない」×1)÷回答数



(20) 自身は村づくりを担う一員と感じる

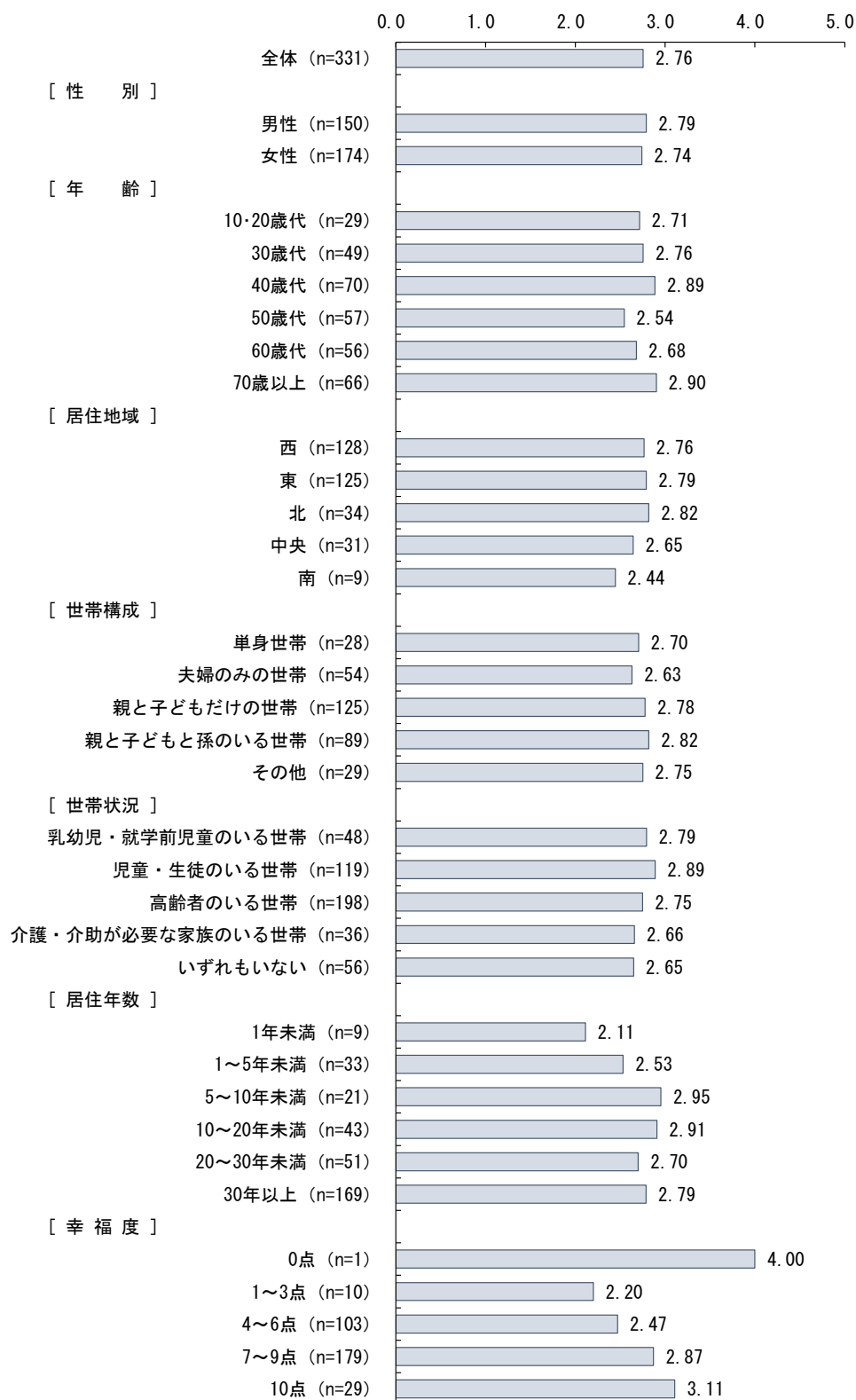
図表 自身は村づくりを担う一員と感じる



※指数化：(「とてもそう思う」×4+「どちらかといえばそう思う」×3+「あまりそう思わない」×2+「まったくそう思わない」×1)÷回答数

## (21) 地域とつながりを持って暮らしている

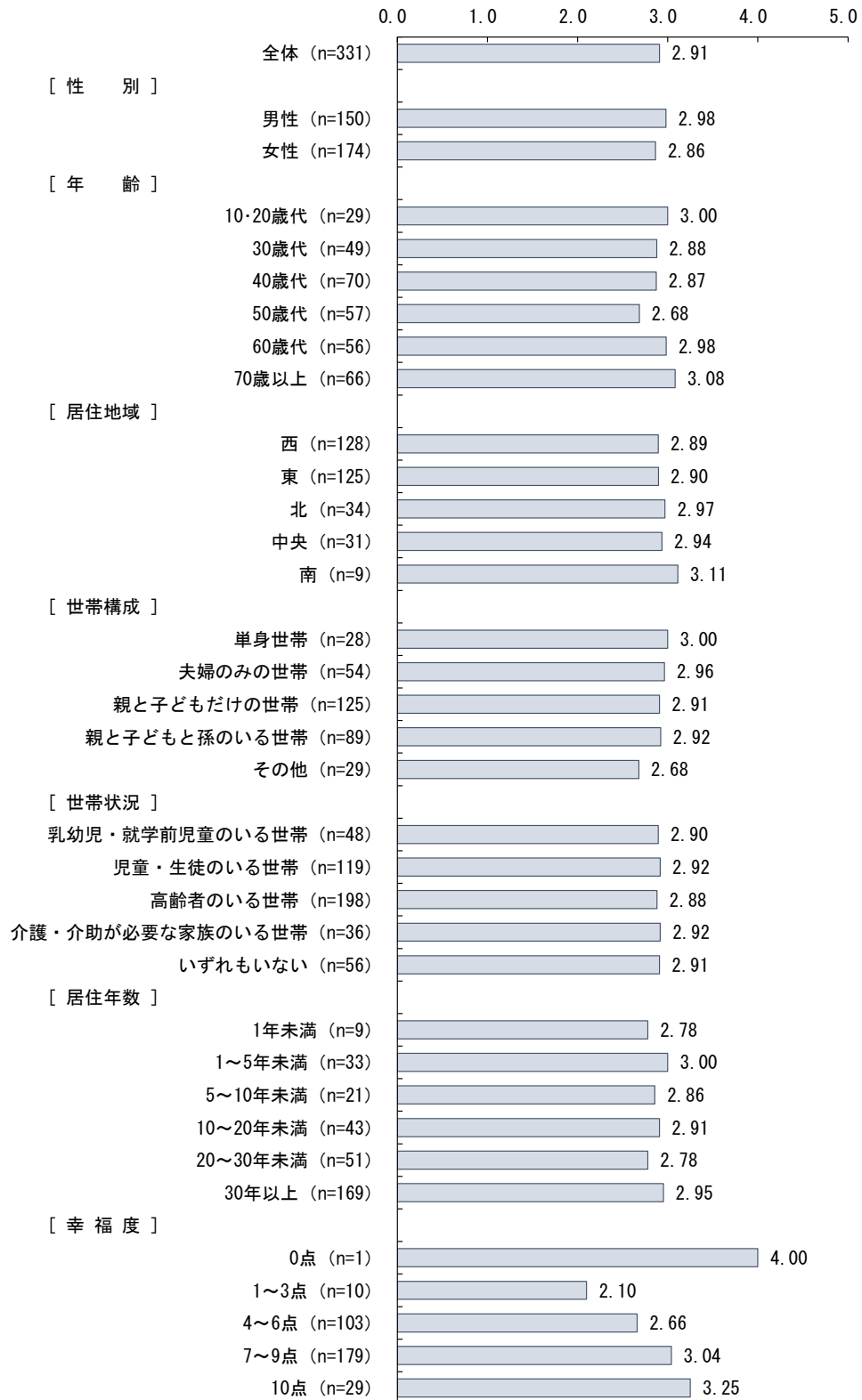
図表 地域とつながりを持って暮らしている



※指数化：(「とてもそう思う」×4+「どちらかといえばそう思う」×3+「あまりそう思わない」×2+「まったくそう思わない」×1)÷回答数

## (22) 自身の人権が守られている

図表 自身の人権が守られている



※指数化：(「とてもそう思う」×4+「どちらかといえばそう思う」×3+「あまりそう思わない」×2+「まったくそう思わない」×1)÷回答数

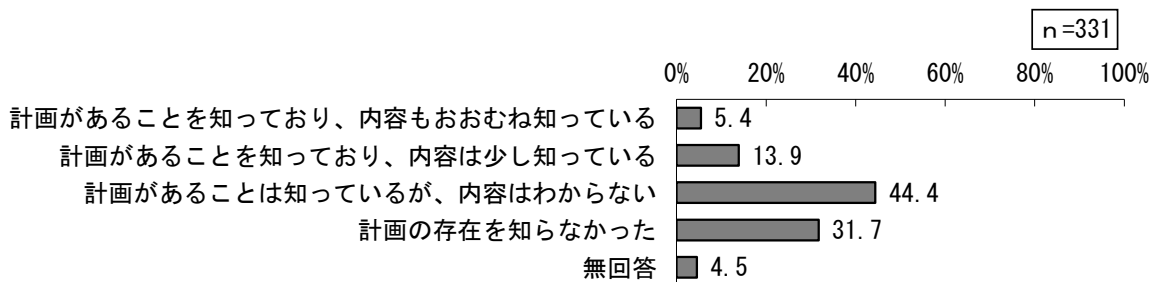
## Ⅱ-3 大潟村の取り組みについて

### (1) 「大潟村総合村づくり計画」の認知度

問 大潟村では平成30年度を初年度とする「第2期大潟村総合村づくり計画」を策定し、計画に基づき村づくりに関する様々な施策を行っています。あなたはこの計画について知っていますか。【1つに○】

- 「大潟村総合村づくり計画」の認知度について「計画があることを知っており、内容もおおむね知っている」が5.4%、「計画があることを知っており、内容は少し知っている」が13.9%、「計画があることは知っているが、内容はわからない」が44.4%となっています。

図表 「大潟村総合村づくり計画」の認知度



	(n=331)	
	回答数	構成比
1 計画があることを知っており、内容もおおむね知っている	18	5.4%
2 計画があることを知っており、内容は少し知っている	46	13.9%
3 計画があることは知っているが、内容はわからない	147	44.4%
4 計画の存在を知らなかった	105	31.7%
無回答	15	4.5%

- 性別による「大潟村総合村づくり計画」の認知度をみると、回答全体と同様に、男性、女性ともに「計画があることは知っているが、内容はわからない」が、最も高くなっています。
- 年齢別では、10・20歳代、30歳代では「計画の存在を知らなかった」が最も高くなっていますが、その他の年齢層では回答全体と同様に、「計画があることは知っているが、内容はわからない」が最も高くなっています。

図表 「大潟村総合村づくり計画」の認知度（性別・年齢別）

	“計画があることを知っている”				
	内容もおおむね知っている	内容は少し知っている	内容はわからない	計画の存在を知らなかった	無回答
男性 (n=150)	7.3%	20.0%	44.7%	26.7%	1.3%
女性 (n=174)	4.0%	9.2%	44.3%	35.6%	6.9%
10・20歳代 (n=29)	3.4%	0.0%	34.5%	55.2%	6.9%
30歳代 (n=49)	8.2%	6.1%	34.7%	49.0%	2.0%
40歳代 (n=70)	4.3%	14.3%	44.3%	28.6%	8.6%
50歳代 (n=57)	1.8%	19.3%	42.1%	33.3%	3.5%
60歳代 (n=56)	3.6%	14.3%	55.4%	25.0%	1.8%
70歳以上 (n=66)	10.6%	21.2%	47.0%	18.2%	3.0%

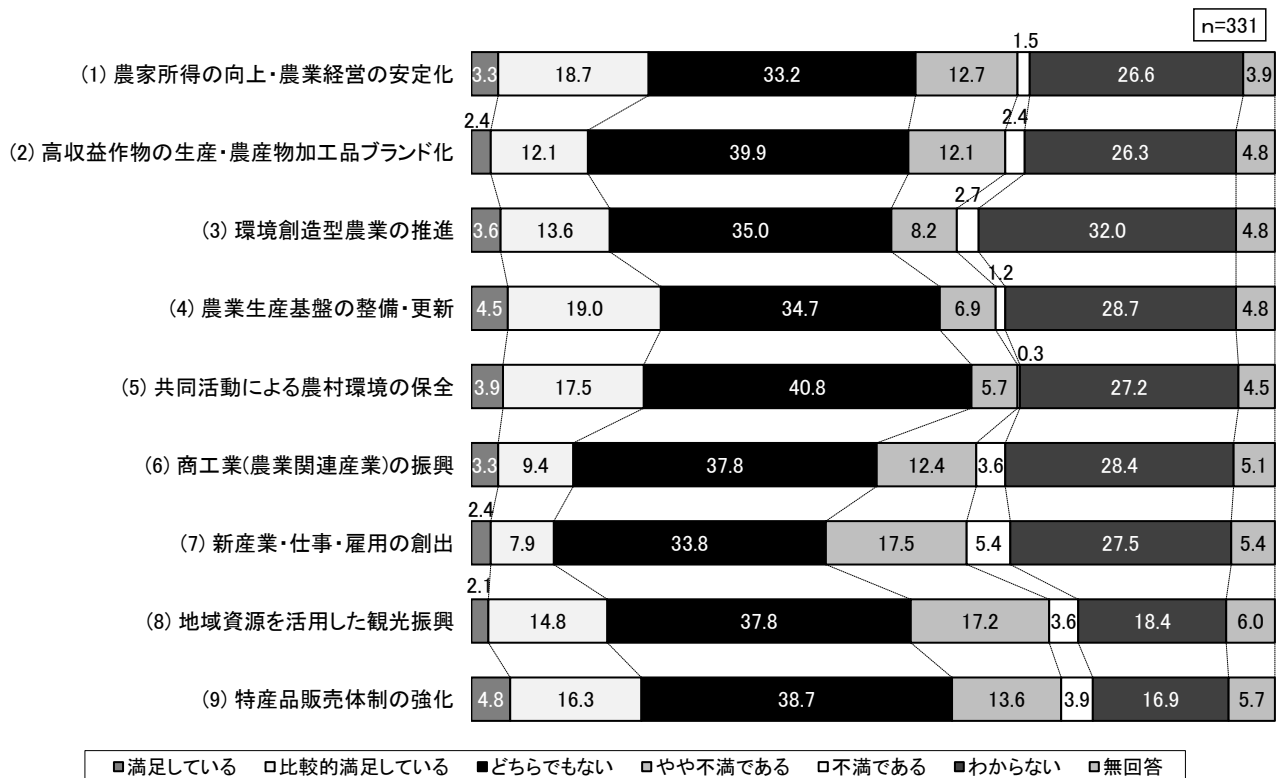
## (2) 各施策の「満足度」と「重要度」について

問 次の各施策に対するあなたの「満足度」と「重要度」について、回答してください。  
【各設問あてはまる番号を1つ選び、○印をつけてください】

### ①産業振興について（満足度・重要度）

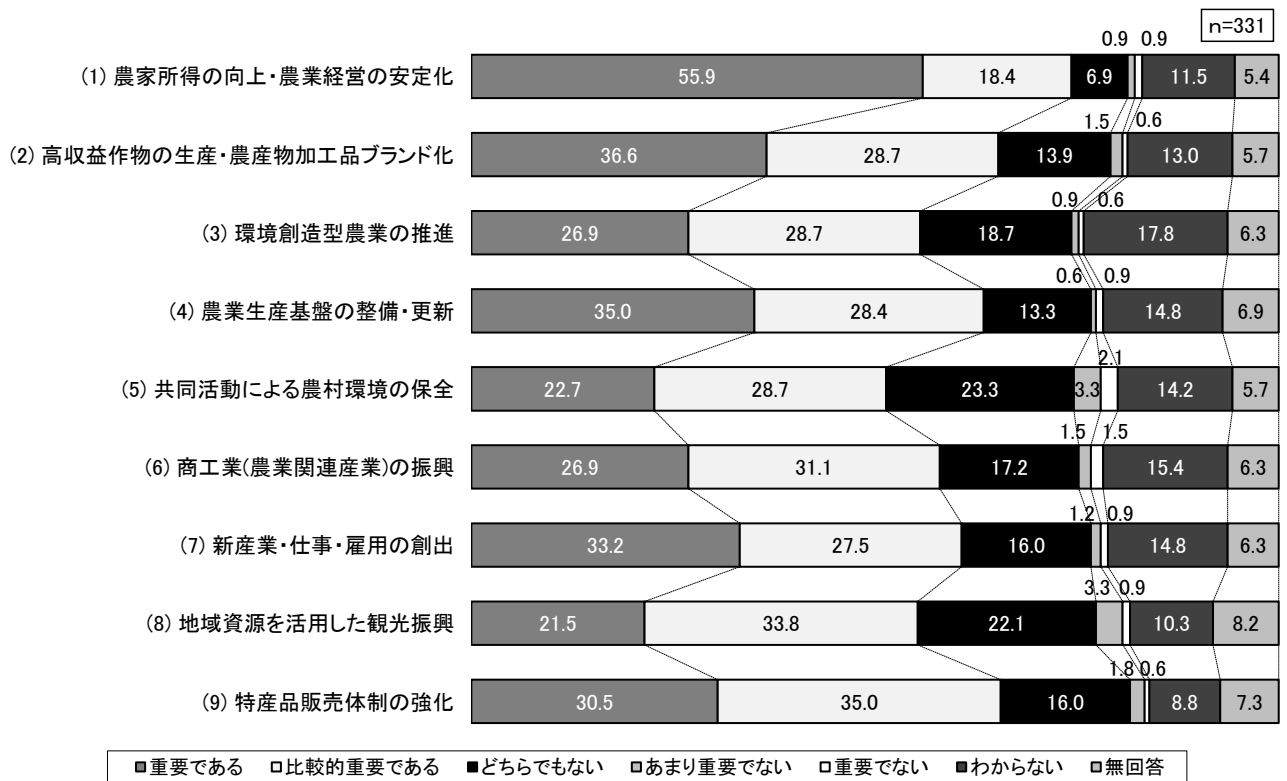
- 産業振興に対する「満足している」、「比較的満足している」を合わせた割合をみると、「農業生産基盤の整備・更新」(23.5%)、「農家所得の向上・農業経営の安定化」(22.0%)、「共同活動による農村環境の保全」(21.4%)が上位にあります。
- 産業振興に対する「やや不満である」、「不満である」を合わせた割合をみると、「新産業・仕事・雇用の創出」(22.9%)、「地域資源を活用した観光振興」(20.8%)、「特産品販売体制の強化」(17.5%)が上位にあります。

図表 産業振興について（満足度）



- 産業振興に対する「重要である」、「比較的重要である」を合わせた割合をみると、「農家所得の向上・農業経営の安定化」(74.3%)、「特産品販売体制の強化」(65.5%)、「高収益作物の生産物加工品ブランド化」(65.3%)が上位にあることがわかります。
- 産業振興に対する「あまり重要でない」、「重要でない」を合わせた割合をみると、「共同活動による農村環境の保全」(5.4%)、「地域資源を活用した観光振興」(4.2%)、「商工業(農業関連産業)の振興」(3.0%)が上位にあることがわかります。

図表 産業振興について（重要度）



◎産業振興について（満足度）

図表 産業振興について（満足度）

		(n=331)	
		回答数	構成比
(1) 農家所得の向上・農業経営の安定化	1 満足している	11	3.3%
	2 比較的満足している	62	18.7%
	3 どちらでもない	110	33.2%
	4 やや不満である	42	12.7%
	5 不満である	5	1.5%
	6 わからない	88	26.6%
	無回答	13	3.9%
(2) 高収益作物の生産・農産物加工品ブランド化	1 満足している	8	2.4%
	2 比較的満足している	40	12.1%
	3 どちらでもない	132	39.9%
	4 やや不満である	40	12.1%
	5 不満である	8	2.4%
	6 わからない	87	26.3%
	無回答	16	4.8%
(3) 環境創造型農業の推進	1 満足している	12	3.6%
	2 比較的満足している	45	13.6%
	3 どちらでもない	116	35.0%
	4 やや不満である	27	8.2%
	5 不満である	9	2.7%
	6 わからない	106	32.0%
	無回答	16	4.8%
(4) 農業生産基盤の整備・更新	1 満足している	15	4.5%
	2 比較的満足している	63	19.0%
	3 どちらでもない	115	34.7%
	4 やや不満である	23	6.9%
	5 不満である	4	1.2%
	6 わからない	95	28.7%
	無回答	16	4.8%
(5) 共同活動による農村環境の保全	1 満足している	13	3.9%
	2 比較的満足している	58	17.5%
	3 どちらでもない	135	40.8%
	4 やや不満である	19	5.7%
	5 不満である	1	0.3%
	6 わからない	90	27.2%
	無回答	15	4.5%



		回答数	構成比
(6) 商工業（農業関連産業）の振興	1 満足している	11	3.3%
	2 比較的満足している	31	9.4%
	3 どちらでもない	125	37.8%
	4 やや不満である	41	12.4%
	5 不満である	12	3.6%
	6 わからない	94	28.4%
	無回答	17	5.1%
(7) 新産業・仕事・雇用の創出	1 満足している	8	2.4%
	2 比較的満足している	26	7.9%
	3 どちらでもない	112	33.8%
	4 やや不満である	58	17.5%
	5 不満である	18	5.4%
	6 わからない	91	27.5%
	無回答	18	5.4%
(8) 地域資源を活用した観光振興	1 満足している	7	2.1%
	2 比較的満足している	49	14.8%
	3 どちらでもない	125	37.8%
	4 やや不満である	57	17.2%
	5 不満である	12	3.6%
	6 わからない	61	18.4%
	無回答	20	6.0%
(9) 特産品販売体制の強化	1 満足している	16	4.8%
	2 比較的満足している	54	16.3%
	3 どちらでもない	128	38.7%
	4 やや不満である	45	13.6%
	5 不満である	13	3.9%
	6 わからない	56	16.9%
	無回答	19	5.7%

◎産業振興について（重要度）

図表 産業振興について（重要度）

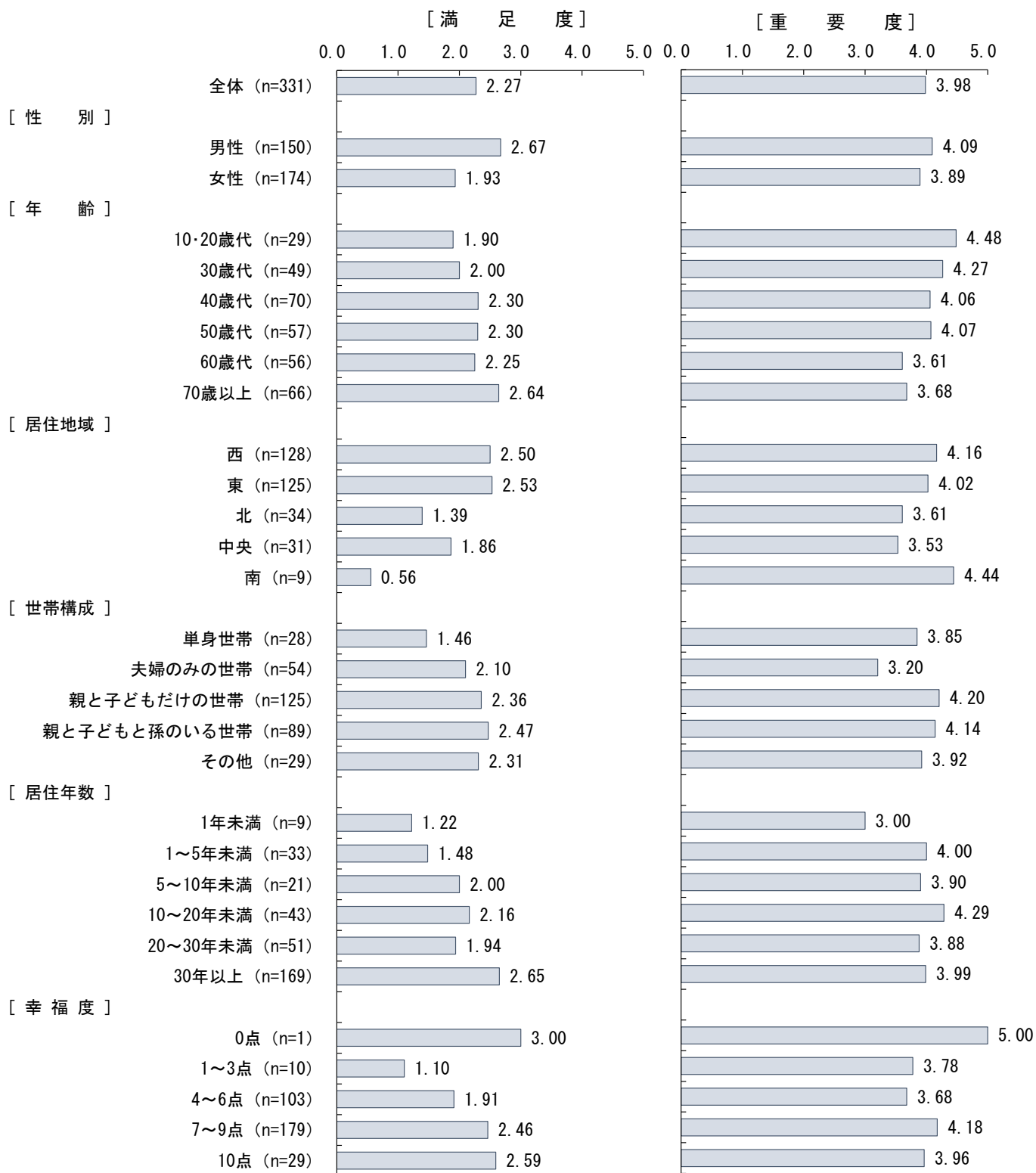
		(n=331)	
		回答数	構成比
(1) 農家所得の向上・農業経営の安定化	1 重要である	185	55.9%
	2 比較的重要である	61	18.4%
	3 どちらでもない	23	6.9%
	4 あまり重要でない	3	0.9%
	5 重要でない	3	0.9%
	6 わからない	38	11.5%
	無回答	18	5.4%
(2) 高収益作物の生産・農産物加工品ブランド化	1 重要である	121	36.6%
	2 比較的重要である	95	28.7%
	3 どちらでもない	46	13.9%
	4 あまり重要でない	5	1.5%
	5 重要でない	2	0.6%
	6 わからない	43	13.0%
	無回答	19	5.7%
(3) 環境創造型農業の推進	1 重要である	89	26.9%
	2 比較的重要である	95	28.7%
	3 どちらでもない	62	18.7%
	4 あまり重要でない	3	0.9%
	5 重要でない	2	0.6%
	6 わからない	59	17.8%
	無回答	21	6.3%
(4) 農業生産基盤の整備・更新	1 重要である	116	35.0%
	2 比較的重要である	94	28.4%
	3 どちらでもない	44	13.3%
	4 あまり重要でない	2	0.6%
	5 重要でない	3	0.9%
	6 わからない	49	14.8%
	無回答	23	6.9%
(5) 共同活動による農村環境の保全	1 重要である	75	22.7%
	2 比較的重要である	95	28.7%
	3 どちらでもない	77	23.3%
	4 あまり重要でない	11	3.3%
	5 重要でない	7	2.1%
	6 わからない	47	14.2%
	無回答	19	5.7%

		回答数	構成比
(6) 商工業（農業関連産業）の振興	1 重要である	89	26.9%
	2 比較的重要である	103	31.1%
	3 どちらでもない	57	17.2%
	4 あまり重要でない	5	1.5%
	5 重要でない	5	1.5%
	6 わからない	51	15.4%
	無回答	21	6.3%
(7) 新産業・仕事・雇用の創出	1 重要である	110	33.2%
	2 比較的重要である	91	27.5%
	3 どちらでもない	53	16.0%
	4 あまり重要でない	4	1.2%
	5 重要でない	3	0.9%
	6 わからない	49	14.8%
	無回答	21	6.3%
(8) 地域資源を活用した観光振興	1 重要である	71	21.5%
	2 比較的重要である	112	33.8%
	3 どちらでもない	73	22.1%
	4 あまり重要でない	11	3.3%
	5 重要でない	3	0.9%
	6 わからない	34	10.3%
	無回答	27	8.2%
(9) 特産品販売体制の強化	1 重要である	101	30.5%
	2 比較的重要である	116	35.0%
	3 どちらでもない	53	16.0%
	4 あまり重要でない	6	1.8%
	5 重要でない	2	0.6%
	6 わからない	29	8.8%
	無回答	24	7.3%

◎ 施策別の満足度・重要度（指数値による属性別比較）

(1) 農家所得の向上・農業経営の安定化

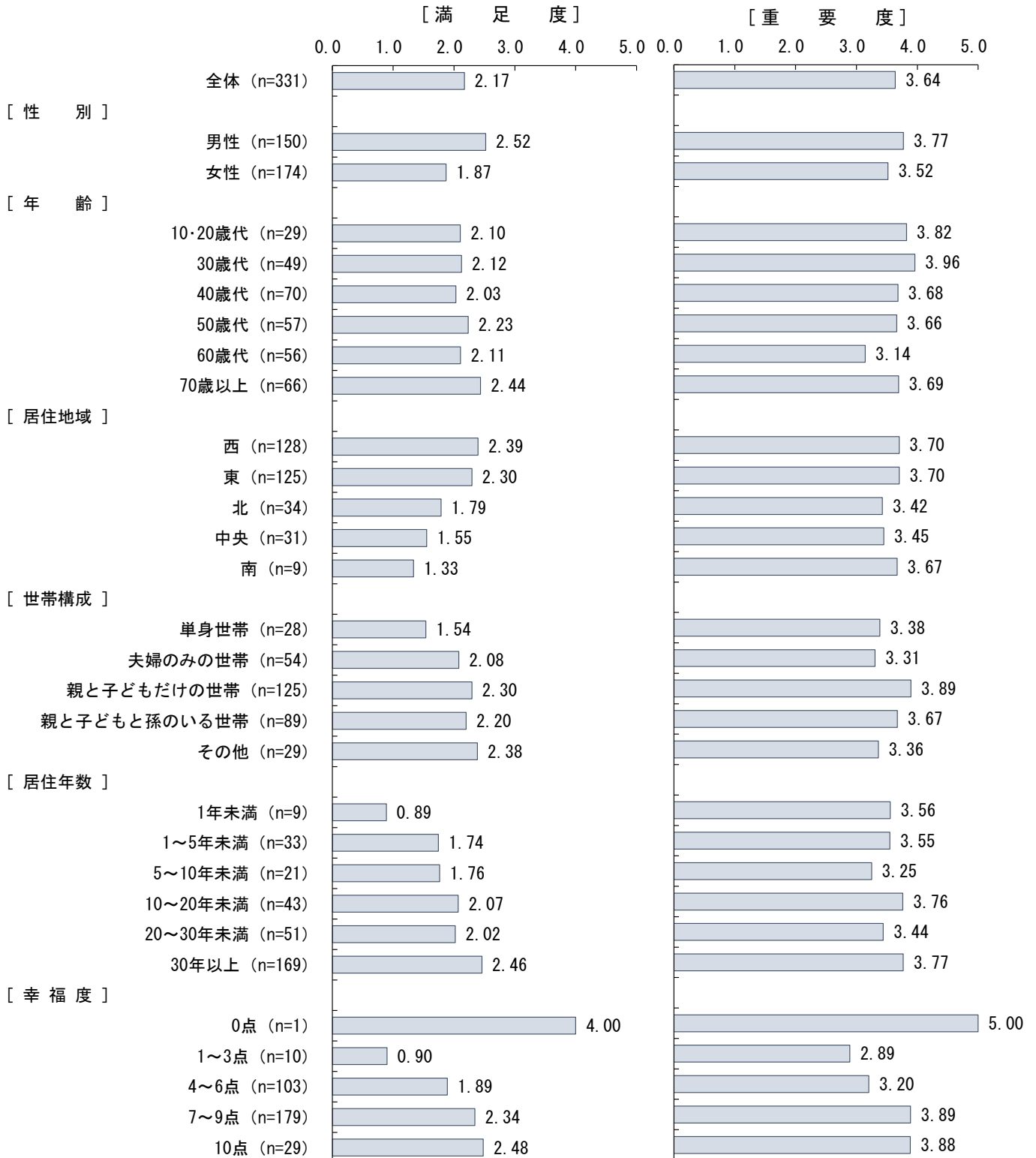
図表 農家所得の向上・農業経営の安定化



※指数化：（「満足している（重要である）」×5+「比較的満足している（比較的重要である）」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である（あまり重要でない）」×2+「不満である（重要でない）」×1+「わからない」×0）÷回答数

## (2) 高収益作物の生産・農産物加工品ブランド化

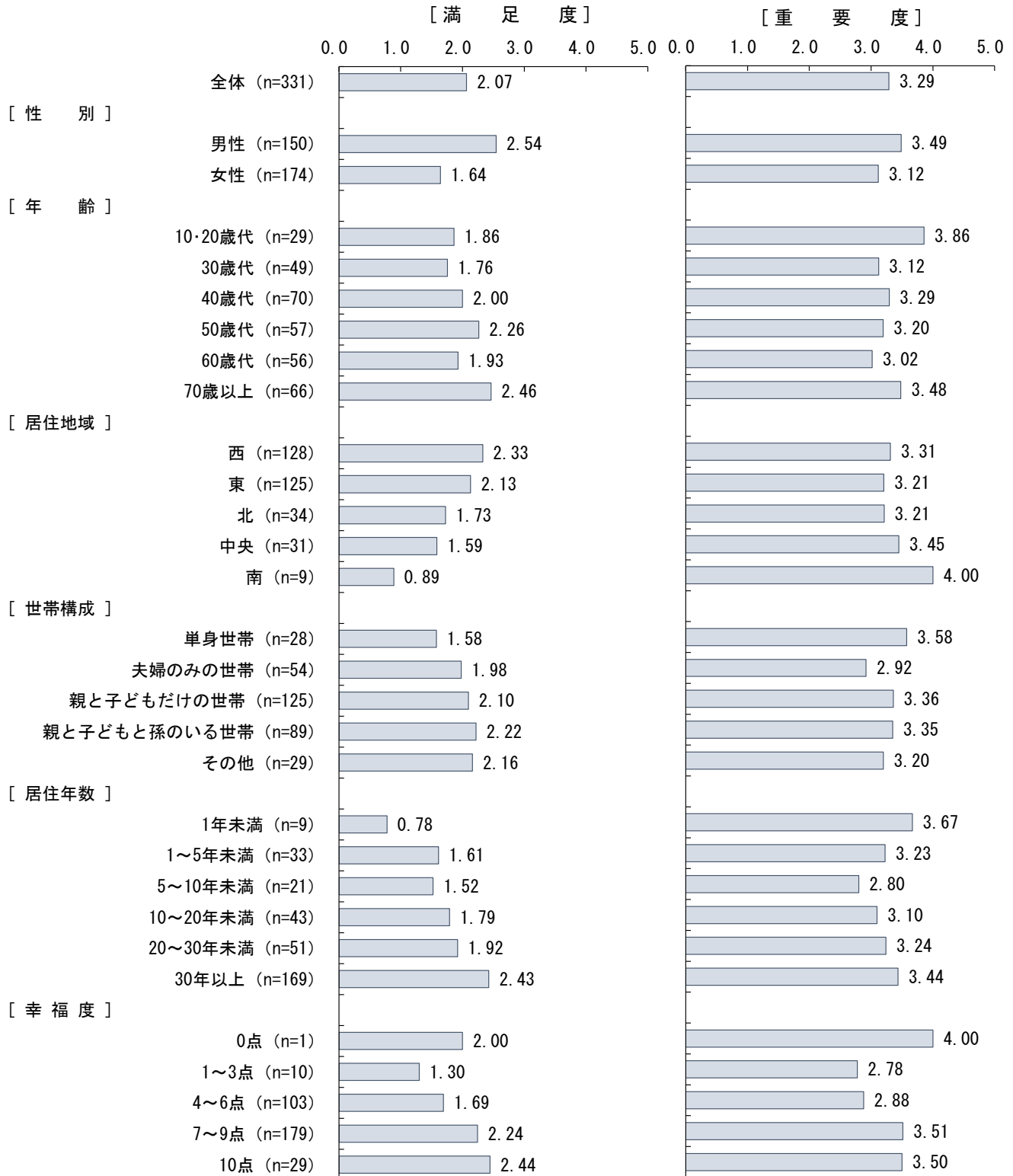
図表 高収益作物の生産・農産物加工品ブランド化



※指数化：(「満足している(重要である)」×5+「比較的満足している(比較的重要である)」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である(あまり重要でない)」×2+「不満である(重要でない)」×1+「わからない」×0)÷回答数

### (3) 環境創造型農業の推進

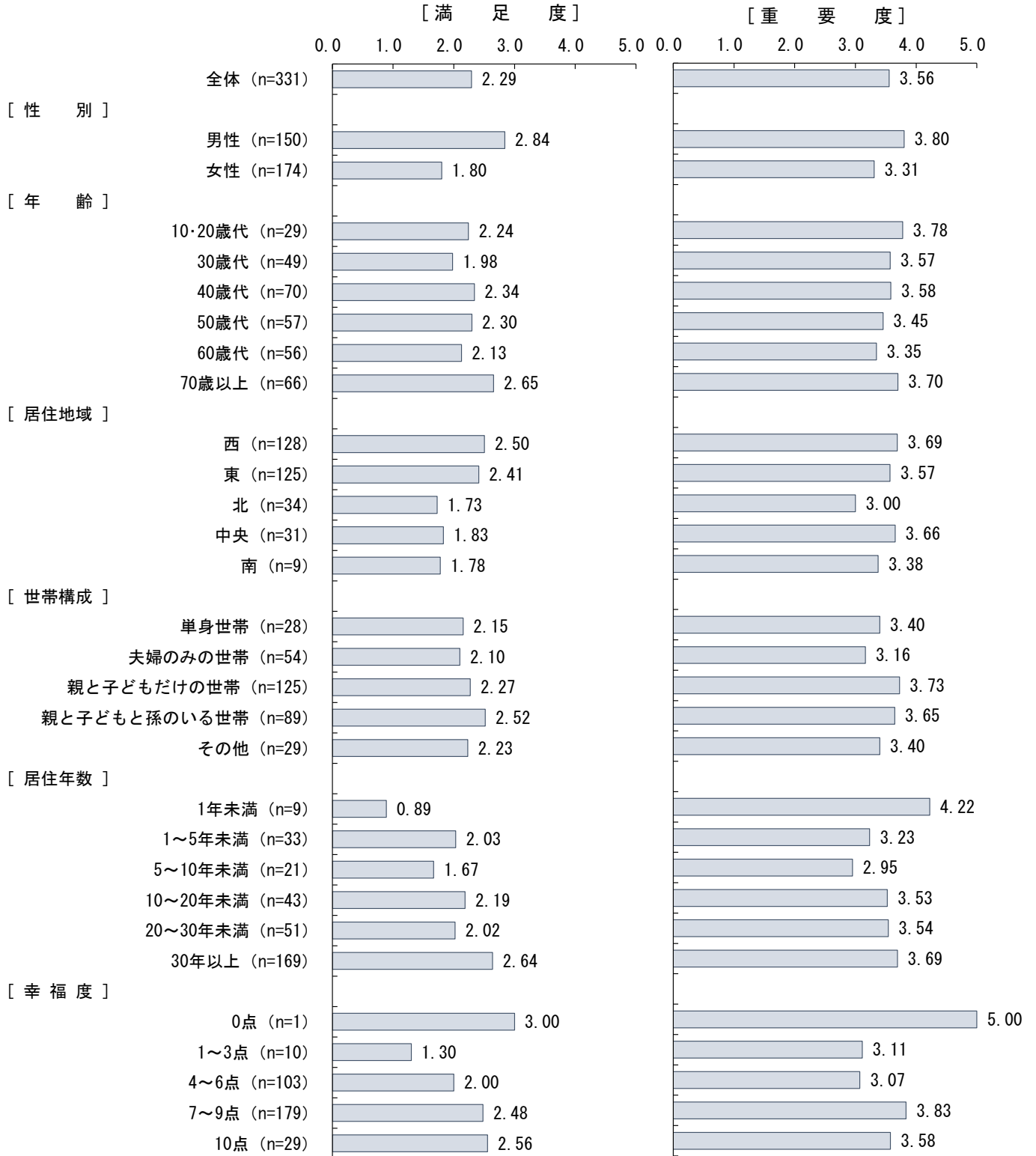
図表 環境創造型農業の推進



※指数化：(「満足している(重要である)」×5+「比較的満足している(比較的重要である)」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である(あまり重要でない)」×2+「不満である(重要でない)」×1+「わからない」×0)÷回答数

#### (4) 農業生産基盤の整備・更新

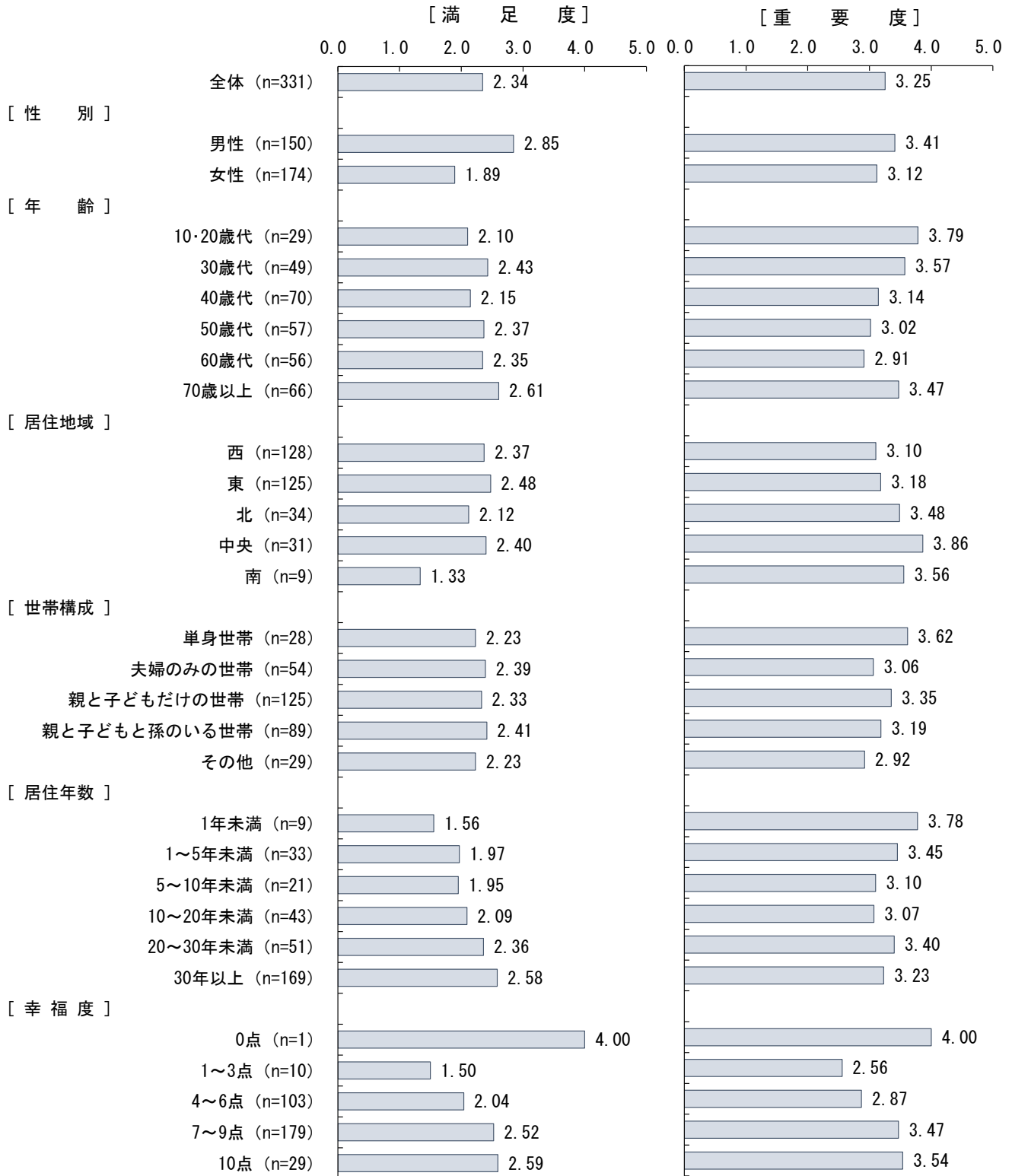
図表 農業生産基盤の整備・更新



※指数化：(「満足している(重要である)」×5+「比較的満足している(比較的重要である)」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である(あまり重要でない)」×2+「不満である(重要でない)」×1+「わからない」×0)÷回答数

(5) 共同活動による農村環境の保全

図表 共同活動による農村環境の保全

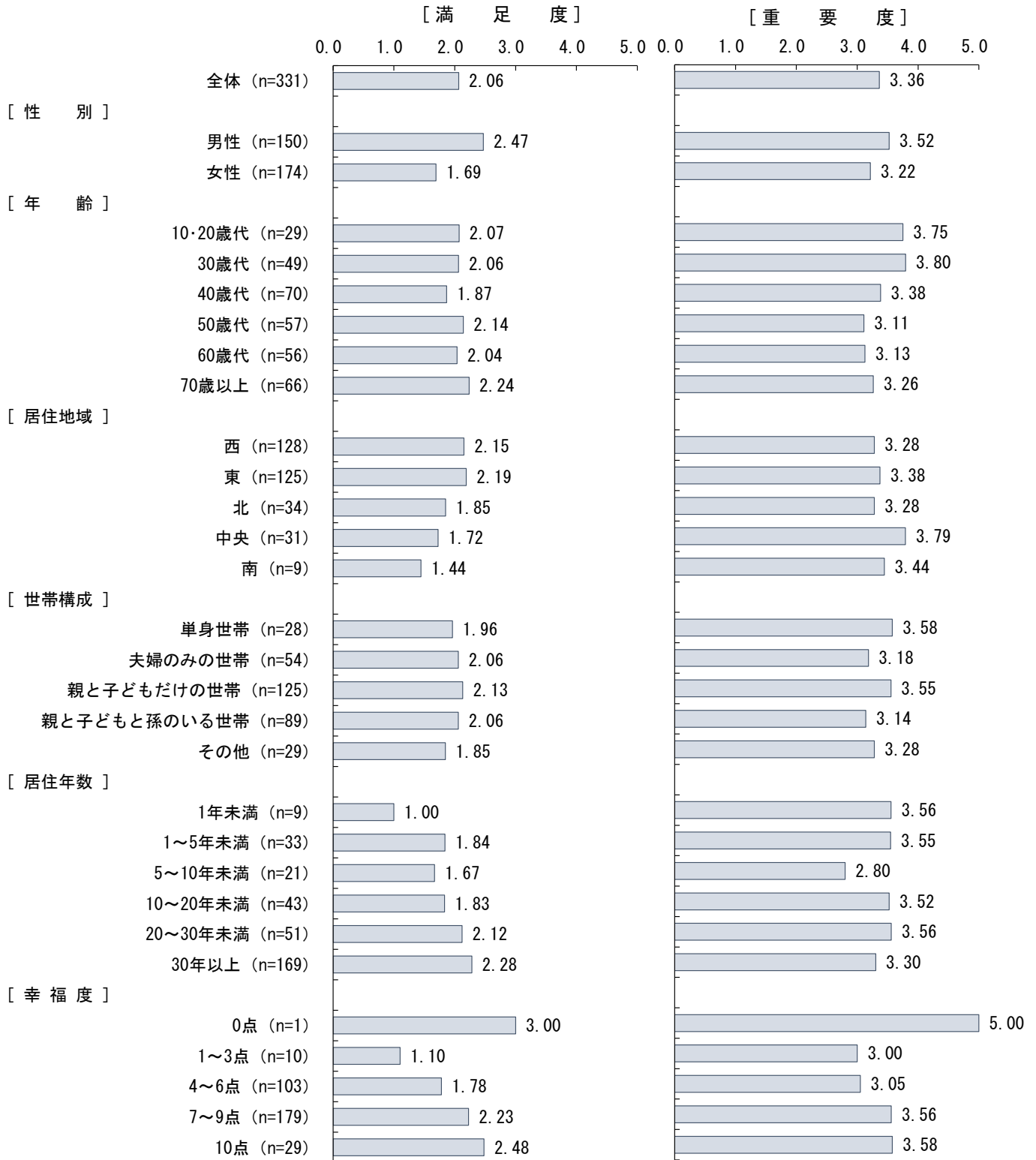


※指数化：(「満足している(重要である)」×5+「比較的満足している(比較的重要である)」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である(あまり重要でない)」×2+「不満である(重要でない)」×1+「わからない」×0)÷回答数



(6) 商工業（農業関連産業）の振興

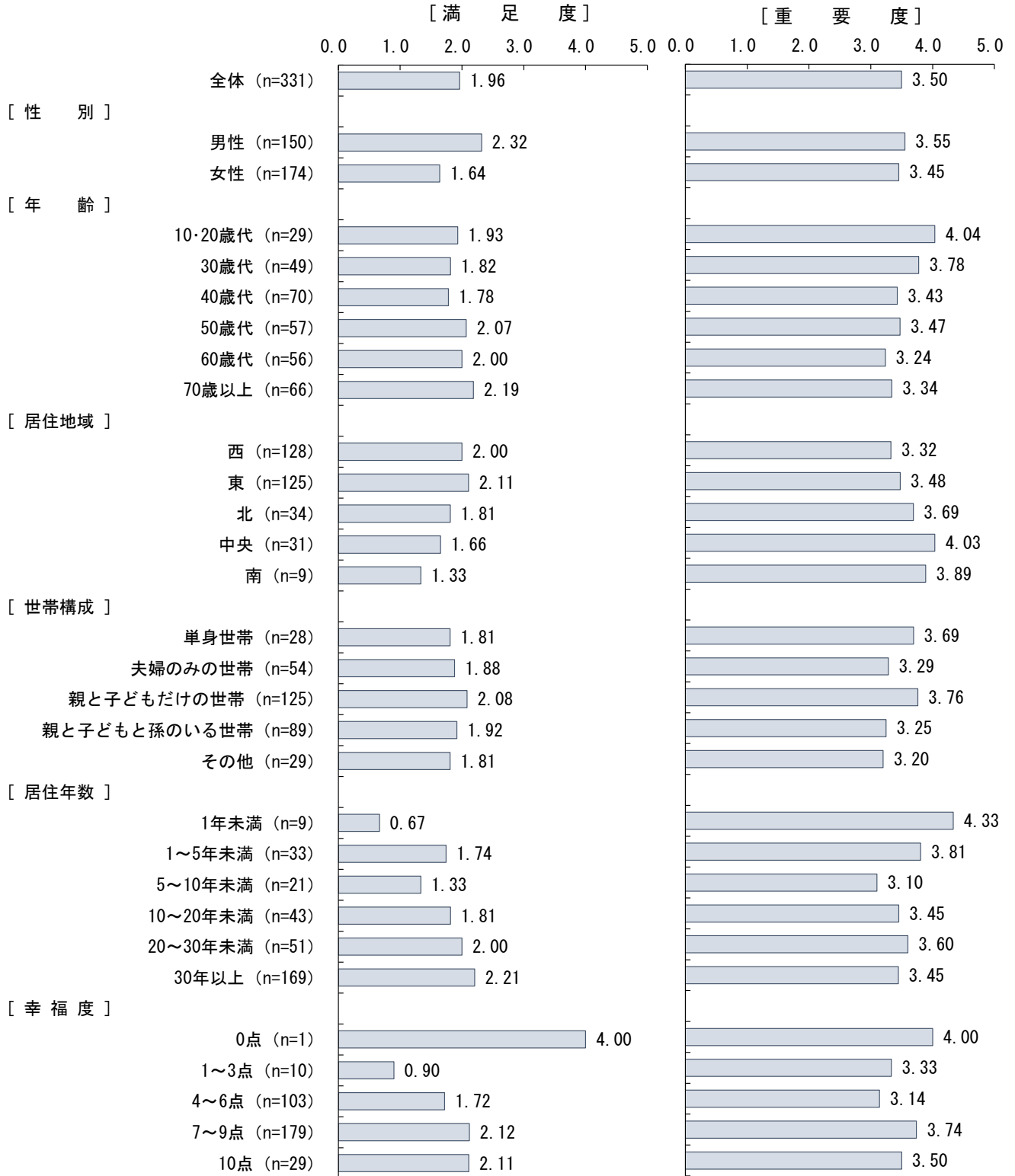
図表 商工業（農業関連産業）の振興



※指数化：（「満足している（重要である）」×5+「比較的満足している（比較的重要である）」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である（あまり重要でない）」×2+「不満である（重要でない）」×1+「わからない」×0）÷回答数

## (7) 新産業・仕事・雇用の創出

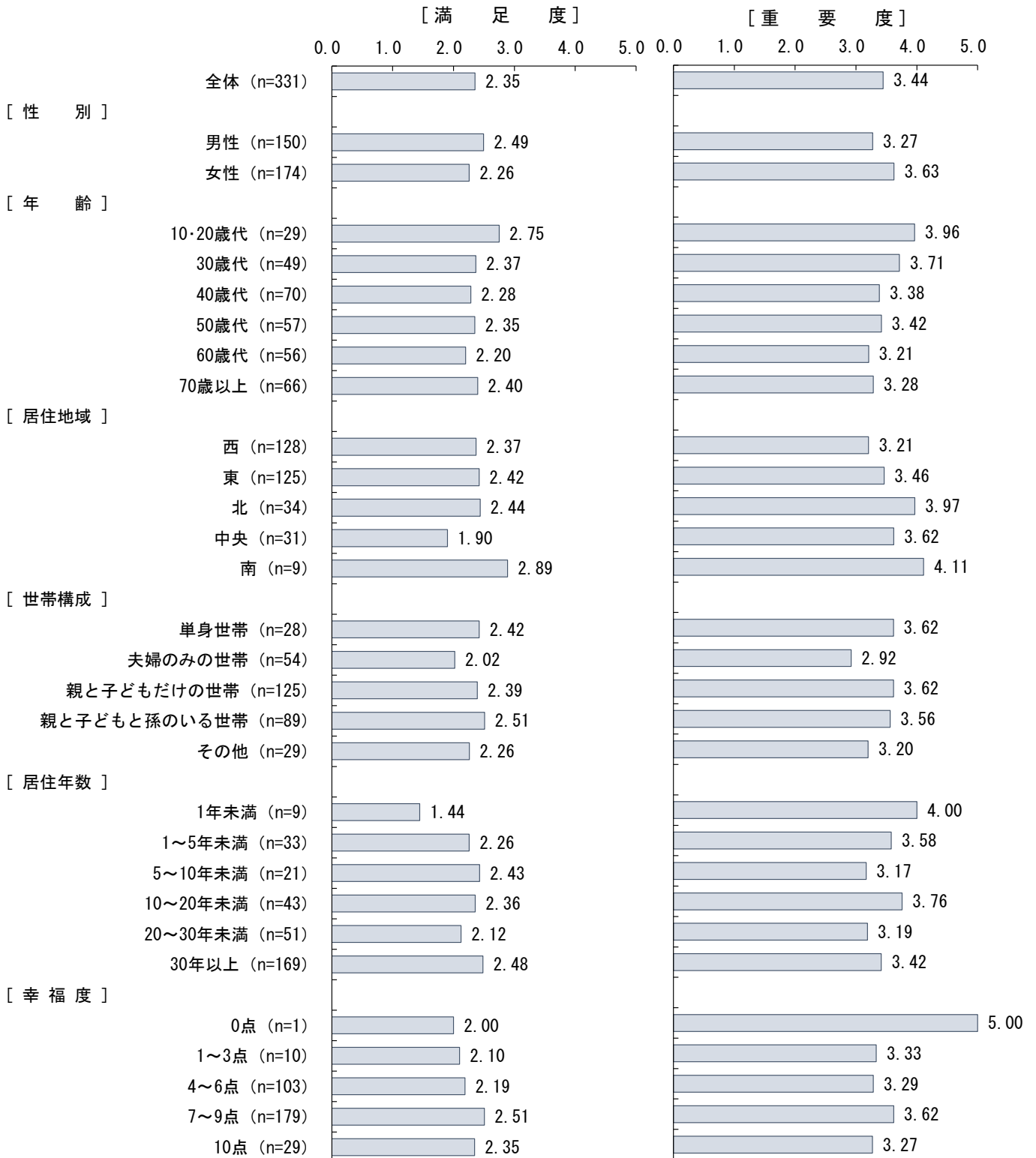
図表 新産業・仕事・雇用の創出



※指数化：(「満足している(重要である)」×5+「比較的満足している(比較的重要である)」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である(あまり重要でない)」×2+「不満である(重要でない)」×1+「わからない」×0)÷回答数

## (8) 地域資源を活用した観光振興

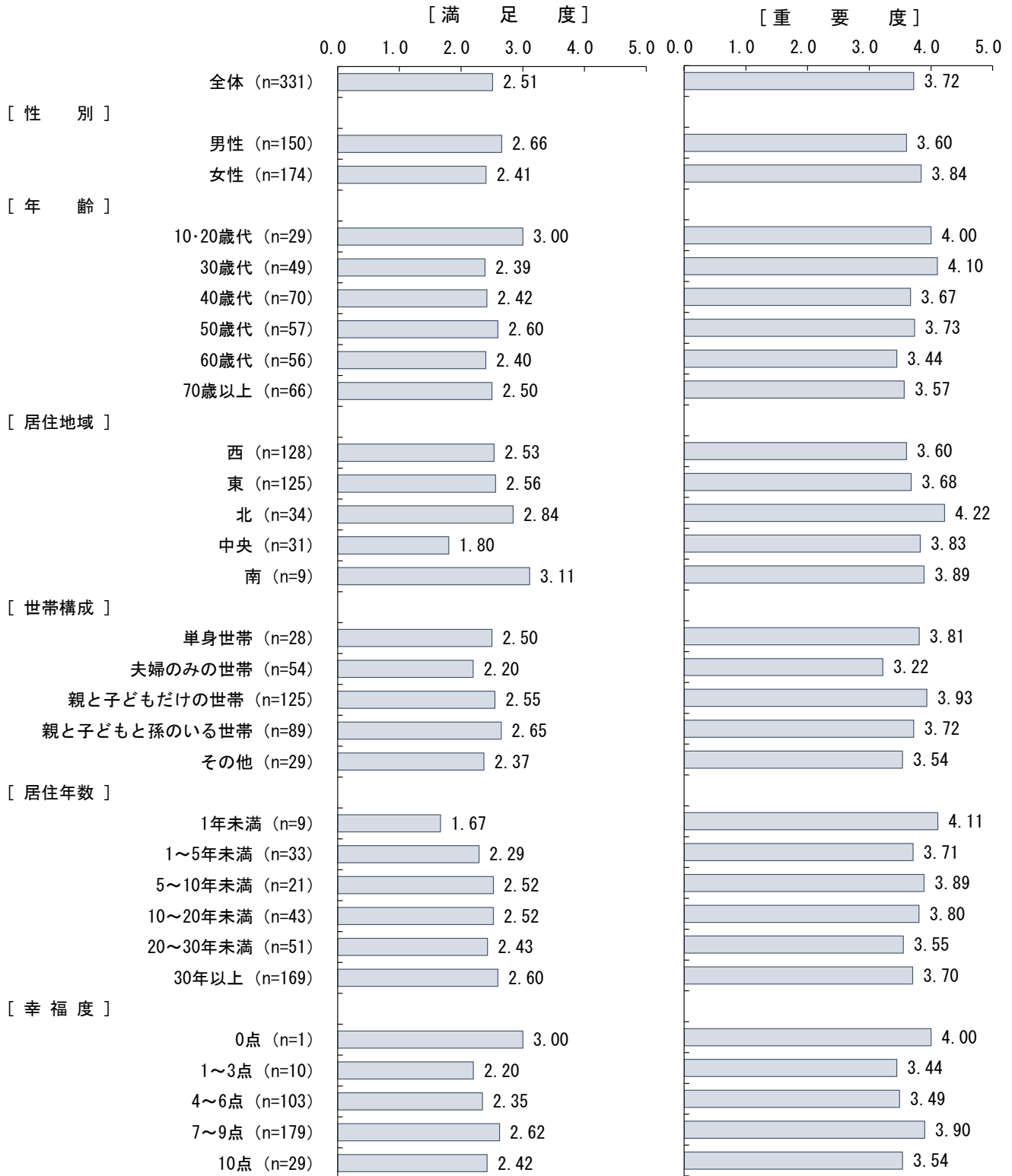
図表 地域資源を活用した観光振興



※指数化：(「満足している(重要である)」×5+「比較的満足している(比較的重要である)」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である(あまり重要でない)」×2+「不満である(重要でない)」×1+「わからない」×0)÷回答数

## (9) 特産品販売体制の強化

図表 特産品販売体制の強化

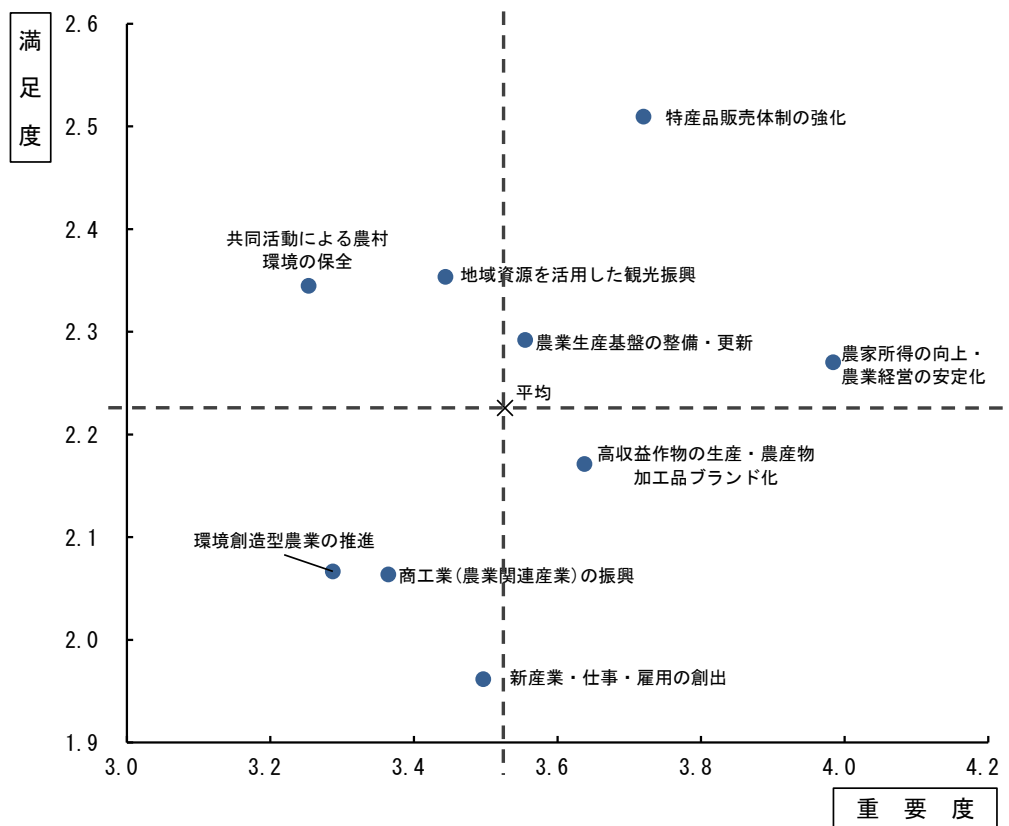


※指数化：(「満足している(重要である)」×5+「比較的満足している(比較的重要である)」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である(あまり重要でない)」×2+「不満である(重要でない)」×1+「わからない」×0)÷回答数

◎産業振興について（満足度・重要度）

- 産業振興に対する満足度・重要度をみると、「特産品販売体制の強化」は満足度・重要度ともに高いことがわかります。
- 「農家所得の向上・農業経営の安定化」は重要度が高く、満足度は平均的であると言えます。

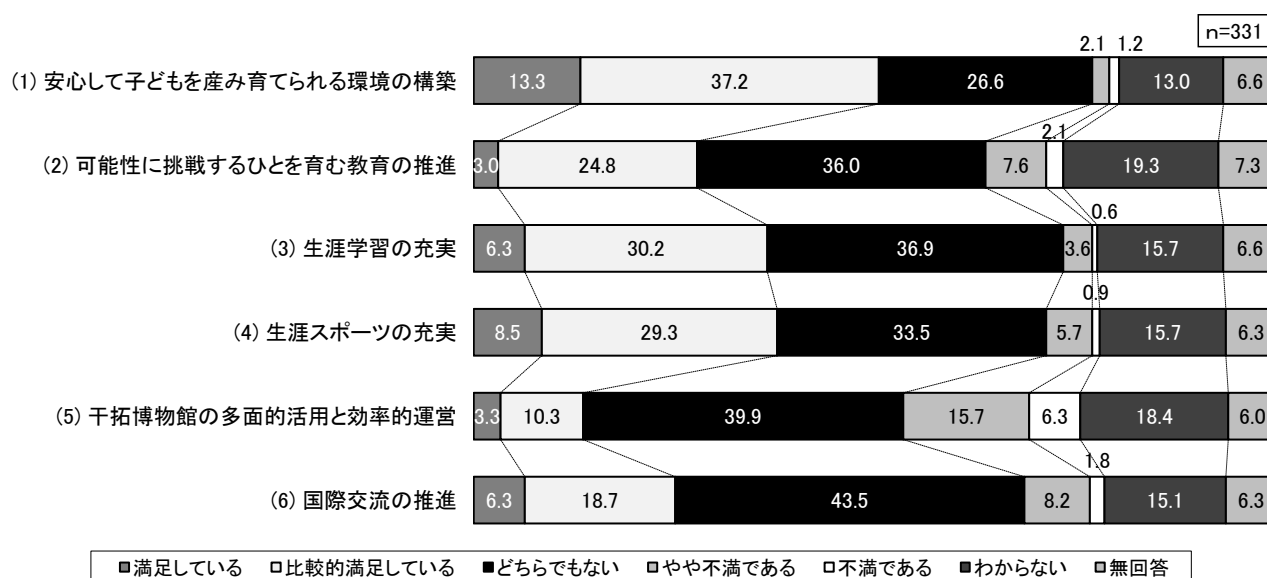
図表 産業振興について（満足度・重要度）



## ②子育て・教育について（満足度・重要度）

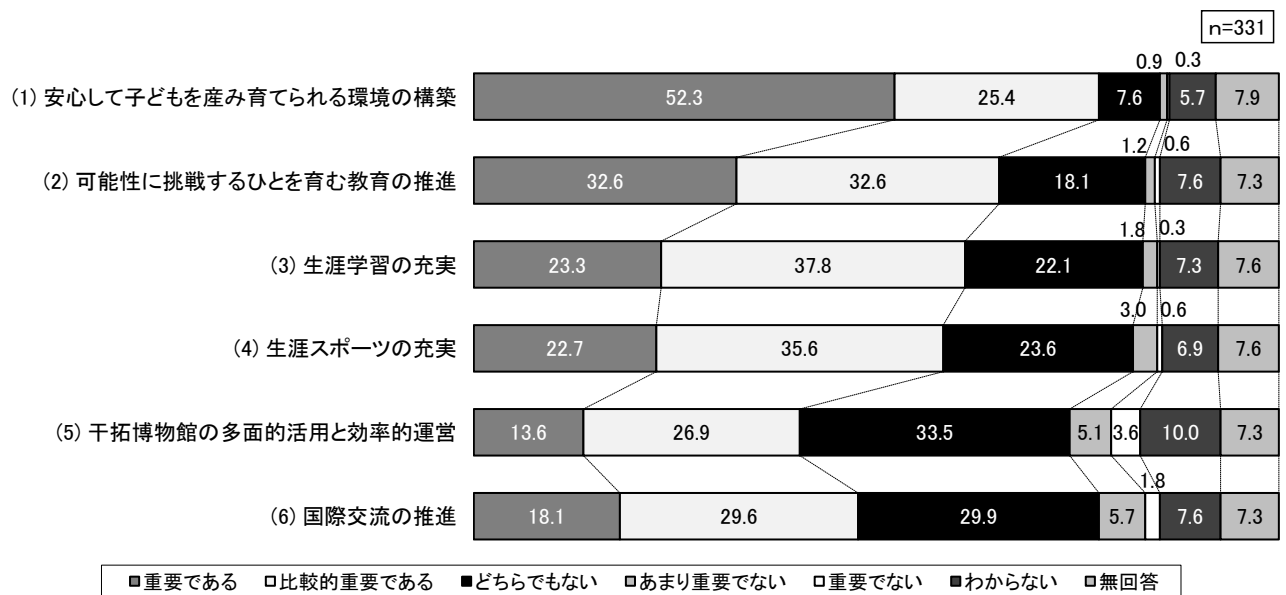
- 子育て・教育に対する「満足している」、「比較的満足している」を合わせた割合をみると、「安心して子どもを産み育てられる環境の構築」（50.5%）、「生涯スポーツの充実」（37.8%）、「生涯学習の充実」（36.5%）が上位にあります。
- 子育て・教育に対する「やや不満である」、「不満である」を合わせた割合をみると、「干拓博物館の多面的活用と効率的運営」（22.0%）、「国際交流の推進」（10.0%）、「可能性に挑戦するひとを育む教育の推進」（9.7%）が上位にあります。

図表 子育て・教育について（満足度）



- 子育て・教育に対する「重要である」、「比較的重要である」を合わせた割合をみると、「安心して子どもを産み育てられる環境の構築」(77.7%)、「可能性に挑戦するひとを育む教育の推進」(65.2%)、「生涯学習の充実」(61.1%)が上位にあることがわかります。
- 子育て・教育に対する「あまり重要でない」、「重要でない」を合わせた割合をみると、「干拓博物館の多面的活用と効率的運営」(8.7%)、「国際交流の推進」(7.5%)、「生涯スポーツの充実」(3.6%)が上位にあることがわかります。

図表 子育て・教育について（重要度）



## ◎子育て・教育について（満足度）

図表 子育て・教育について（満足度）

		(n=331)	
		回答数	構成比
(1) 安心して子どもを産み育てられる環境の構築	1 満足している	44	13.3%
	2 比較的満足している	123	37.2%
	3 どちらでもない	88	26.6%
	4 やや不満である	7	2.1%
	5 不満である	4	1.2%
	6 わからない	43	13.0%
	無回答	22	6.6%
(2) 可能性に挑戦するひとを育む教育の推進	1 満足している	10	3.0%
	2 比較的満足している	82	24.8%
	3 どちらでもない	119	36.0%
	4 やや不満である	25	7.6%
	5 不満である	7	2.1%
	6 わからない	64	19.3%
	無回答	24	7.3%
(3) 生涯学習の充実	1 満足している	21	6.3%
	2 比較的満足している	100	30.2%
	3 どちらでもない	122	36.9%
	4 やや不満である	12	3.6%
	5 不満である	2	0.6%
	6 わからない	52	15.7%
	無回答	22	6.6%
(4) 生涯スポーツの充実	1 満足している	28	8.5%
	2 比較的満足している	97	29.3%
	3 どちらでもない	111	33.5%
	4 やや不満である	19	5.7%
	5 不満である	3	0.9%
	6 わからない	52	15.7%
	無回答	21	6.3%
(5) 干拓博物館の多面的活用と効率的運営	1 満足している	11	3.3%
	2 比較的満足している	34	10.3%
	3 どちらでもない	132	39.9%
	4 やや不満である	52	15.7%
	5 不満である	21	6.3%
	6 わからない	61	18.4%
	無回答	20	6.0%



		回答数	構成比
(6) 国際交流の推進	1 満足している	21	6.3%
	2 比較的満足している	62	18.7%
	3 どちらでもない	144	43.5%
	4 やや不満である	27	8.2%
	5 不満である	6	1.8%
	6 わからない	50	15.1%
	無回答	21	6.3%

## ◎子育て・教育について（重要度）

図表 子育て・教育について（重要度）

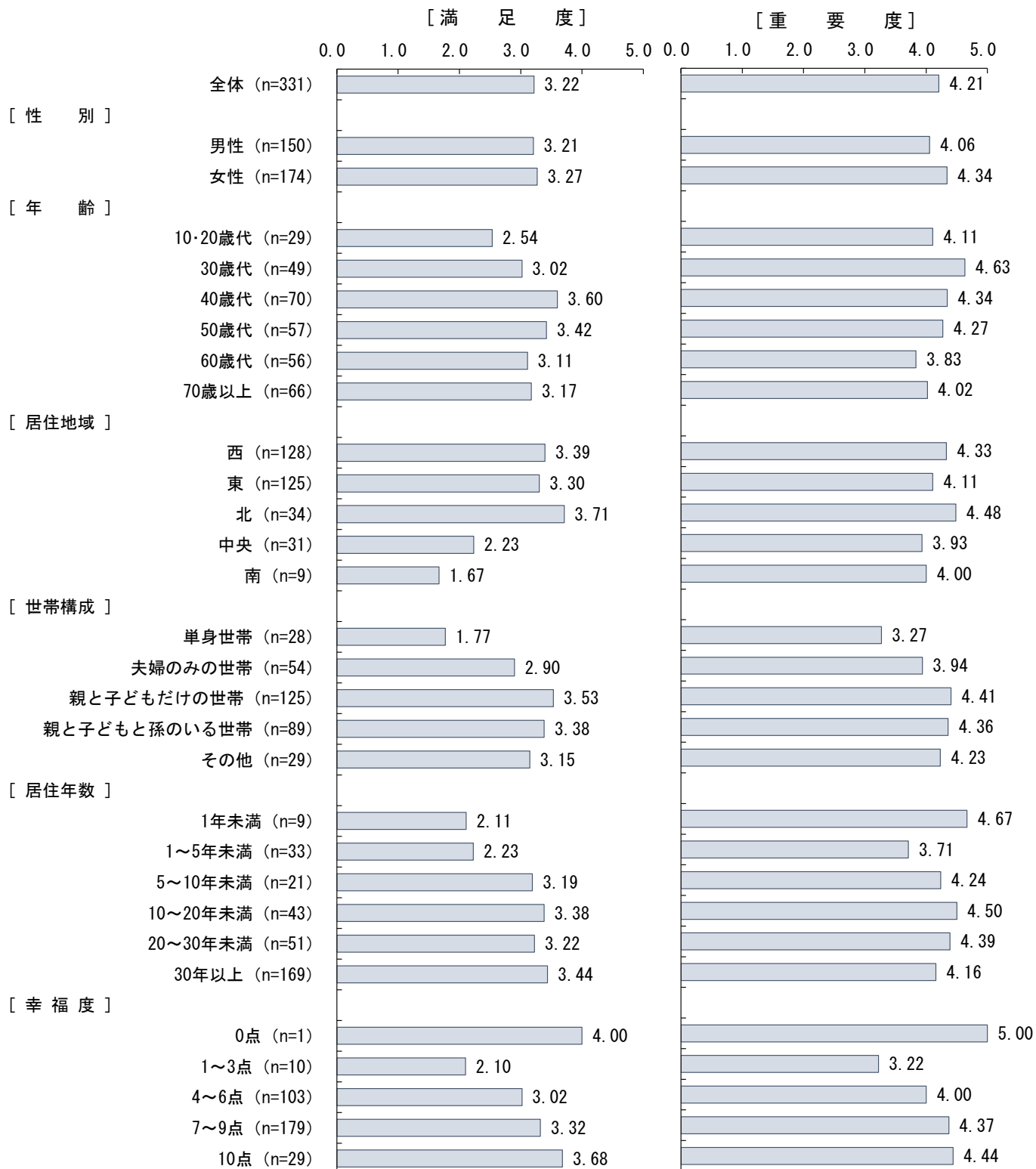
		(n=331)	
		回答数	構成比
(1) 安心して子どもを産み育てられる環境の構築	1 重要である	173	52.3%
	2 比較的重要である	84	25.4%
	3 どちらでもない	25	7.6%
	4 あまり重要でない	3	0.9%
	5 重要でない	1	0.3%
	6 わからない	19	5.7%
	無回答	26	7.9%
(2) 可能性に挑戦するひとを育む教育の推進	1 重要である	108	32.6%
	2 比較的重要である	108	32.6%
	3 どちらでもない	60	18.1%
	4 あまり重要でない	4	1.2%
	5 重要でない	2	0.6%
	6 わからない	25	7.6%
	無回答	24	7.3%
(3) 生涯学習の充実	1 重要である	77	23.3%
	2 比較的重要である	125	37.8%
	3 どちらでもない	73	22.1%
	4 あまり重要でない	6	1.8%
	5 重要でない	1	0.3%
	6 わからない	24	7.3%
	無回答	25	7.6%
(4) 生涯スポーツの充実	1 重要である	75	22.7%
	2 比較的重要である	118	35.6%
	3 どちらでもない	78	23.6%
	4 あまり重要でない	10	3.0%
	5 重要でない	2	0.6%
	6 わからない	23	6.9%
	無回答	25	7.6%

		回答数	構成比
(5) 干拓博物館の多面的活用と効率的運営	1 重要である	45	13.6%
	2 比較的重要である	89	26.9%
	3 どちらでもない	111	33.5%
	4 あまり重要でない	17	5.1%
	5 重要でない	12	3.6%
	6 わからない	33	10.0%
	無回答	24	7.3%
(6) 国際交流の推進	1 重要である	60	18.1%
	2 比較的重要である	98	29.6%
	3 どちらでもない	99	29.9%
	4 あまり重要でない	19	5.7%
	5 重要でない	6	1.8%
	6 わからない	25	7.6%
	無回答	24	7.3%

◎ 施策別の満足度・重要度（指数値による属性別比較）

(1) 安心して子どもを産み育てられる環境の構築

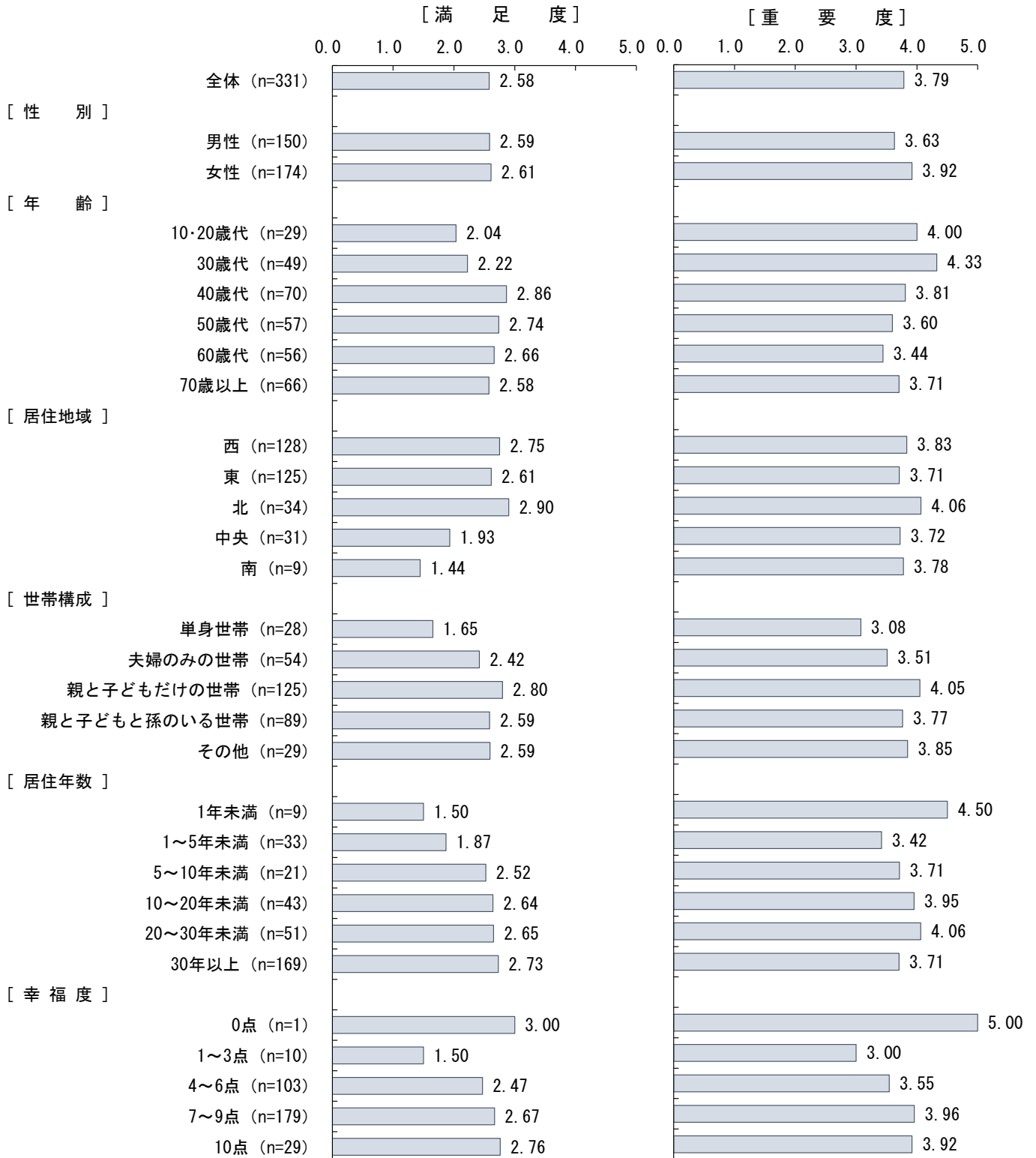
図表 安心して子どもを産み育てられる環境の構築



※指数化：（「満足している（重要である）」×5+「比較的満足している（比較的重要である）」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である（あまり重要でない）」×2+「不満である（重要でない）」×1+「わからない」×0）÷回答数

## (2) 可能性に挑戦するひとを育む教育の推進

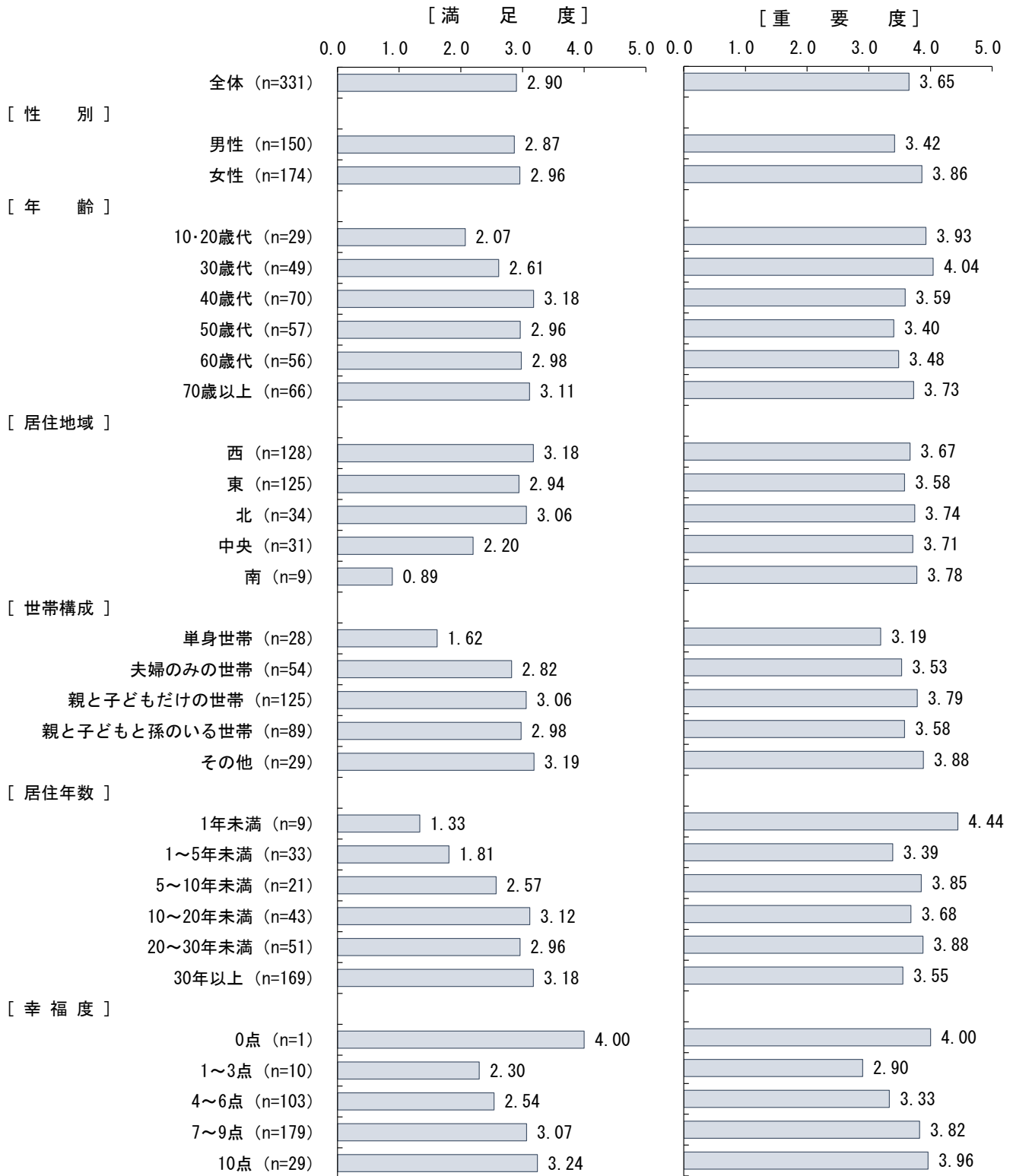
図表 可能性に挑戦するひとを育む教育の推進



※指数化：(「満足している(重要である)」×5+「比較的満足している(比較的重要である)」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である(あまり重要でない)」×2+「不満である(重要でない)」×1+「わからない」×0)÷回答数

### (3) 生涯学習の充実

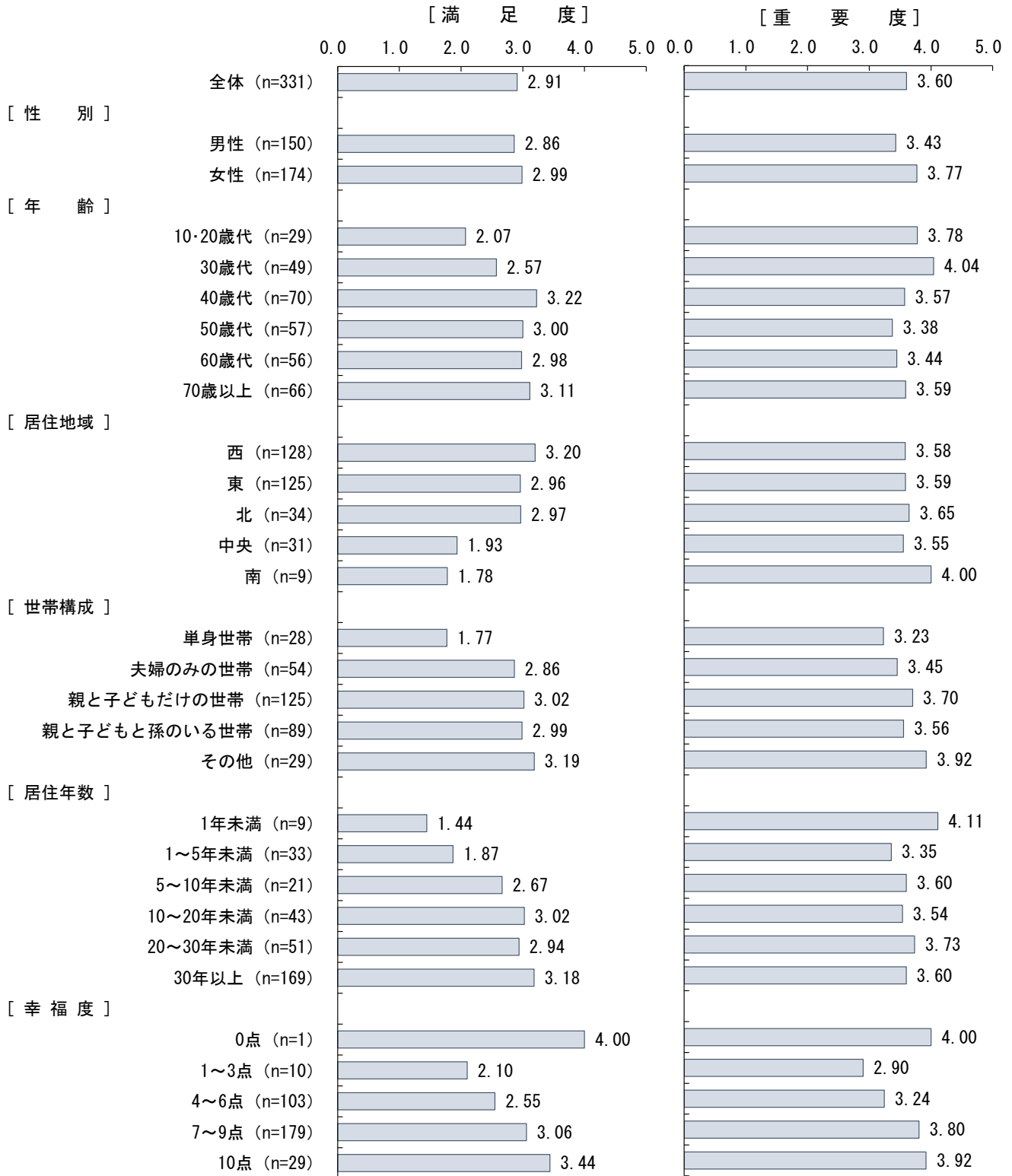
図表 生涯学習の充実



※指数化：(「満足している(重要である)」×5+「比較的満足している(比較的重要である)」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である(あまり重要でない)」×2+「不満である(重要でない)」×1+「わからない」×0)÷回答数

#### (4) 生涯スポーツの充実

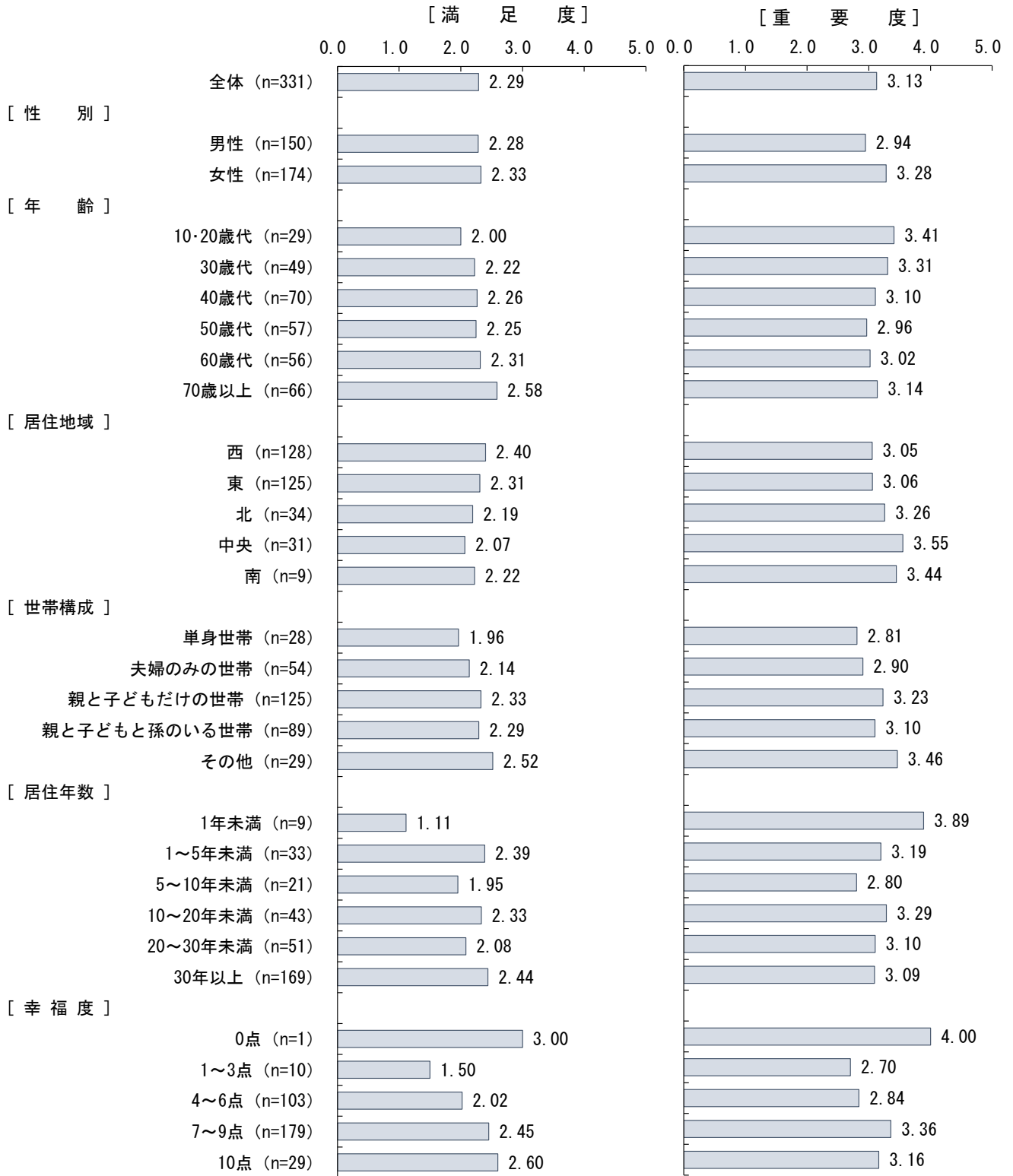
図表 生涯スポーツの充実



※指数化：(「満足している(重要である)」×5+「比較的満足している(比較的重要である)」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である(あまり重要でない)」×2+「不満である(重要でない)」×1+「わからない」×0)÷回答数

(5) 干拓博物館の多面的活用と効率的運営

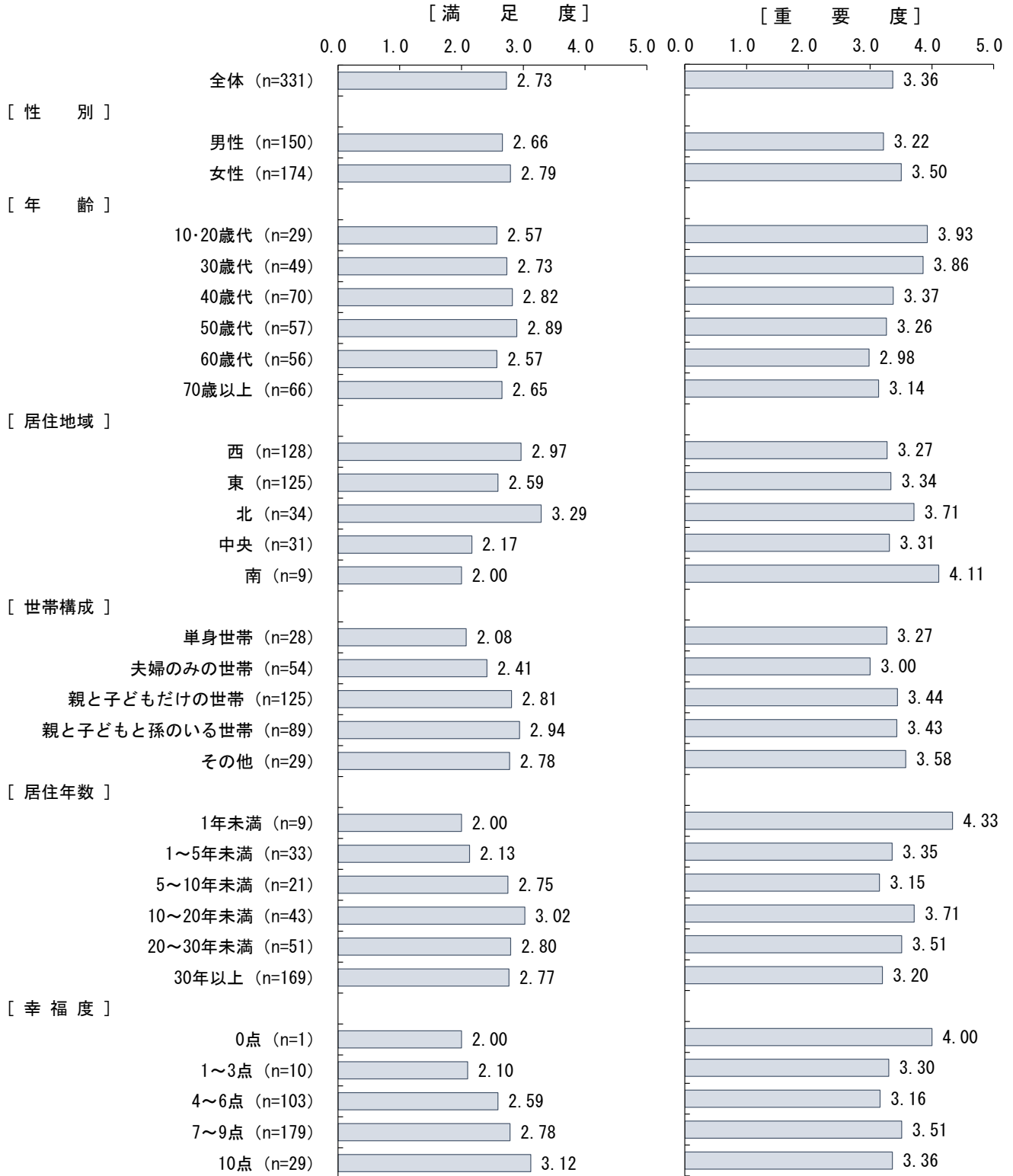
図表 干拓博物館の多面的活用と効率的運営



※指数化：(「満足している(重要である)」×5+「比較的満足している(比較的重要である)」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である(あまり重要でない)」×2+「不満である(重要でない)」×1+「わからない」×0)÷回答数

(6) 国際交流の推進

図表 国際交流の推進



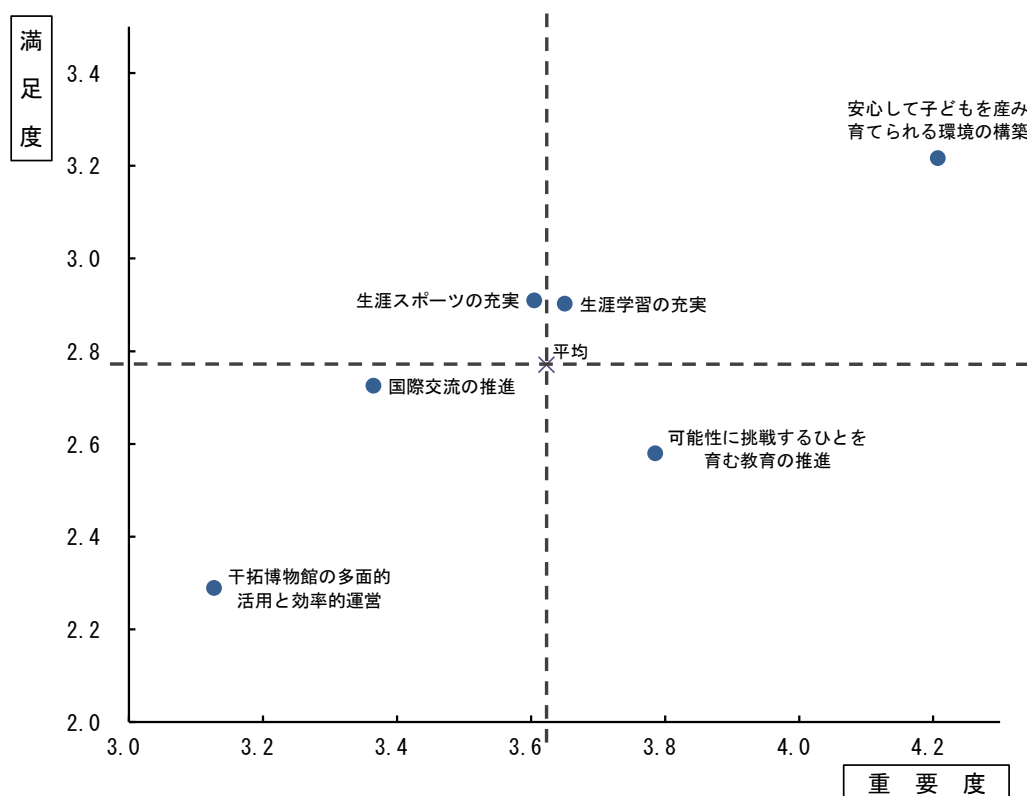
※指数化：(「満足している(重要である)」×5+「比較的満足している(比較的重要である)」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である(あまり重要でない)」×2+「不満である(重要でない)」×1+「わからない」×0)÷回答数



## ◎子育て・教育について（満足度・重要度）

- 子育て・教育に対する満足度・重要度をみると、満足度・重要度ともに高いのは「安心して子どもを産み育てられる環境の構築」であることがわかります。
- 子育て・教育に対する満足度が低いのは「干拓博物館の多面的活用と効率的運営」であると言えます。

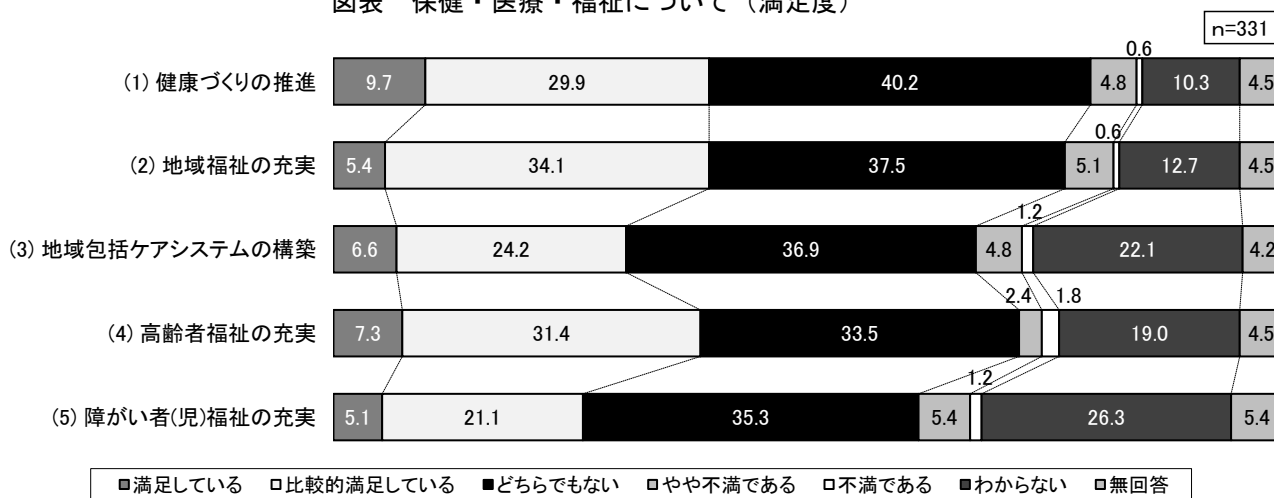
図表 子育て・教育について（満足度・重要度）



### ③保健・医療・福祉について（満足度・重要度）

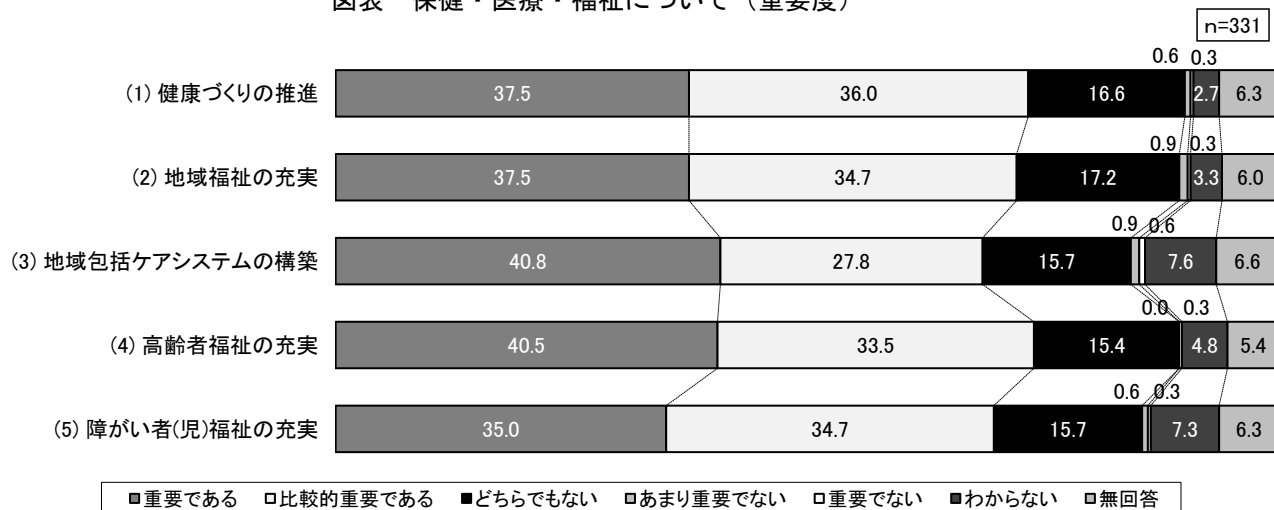
- 保健・医療・福祉に対する「満足している」、「比較的満足している」を合わせた割合をみると、「健康づくりの推進」（39.6%）、「地域福祉の充実」（39.5%）、「高齢者福祉の充実」（38.7%）が上位にあります。
- 保健・医療・福祉に対する「やや不満である」、「不満である」を合わせた割合をみると、「障がい者(児)福祉の充実」（6.6%）、「地域包括ケアシステムの構築」（6.0%）、「地域福祉の充実」（5.7%）が上位にあります。

図表 保健・医療・福祉について（満足度）



- 保健・医療・福祉に対する「重要である」、「比較的重要である」を合わせた割合をみると、「高齢者福祉の充実」（74.0%）、「健康づくりの推進」（73.5%）、「地域福祉の充実」（72.2%）が上位にあります。
- 保健・医療・福祉に対する「あまり重要でない」、「重要でない」を合わせた割合をみると、「地域包括ケアシステムの構築」（1.5%）、「地域福祉の充実」（1.2%）、「健康づくりの推進」（0.9%）が上位にあります。

図表 保健・医療・福祉について（重要度）



◎保健・医療・福祉について（満足度）

図表 保健・医療・福祉について（満足度）

(n=331)

		回答数	構成比
(1) 健康づくりの推進	1 満足している	32	9.7%
	2 比較的満足している	99	29.9%
	3 どちらでもない	133	40.2%
	4 やや不満である	16	4.8%
	5 不満である	2	0.6%
	6 わからない	34	10.3%
	無回答	15	4.5%
(2) 地域福祉の充実	1 満足している	18	5.4%
	2 比較的満足している	113	34.1%
	3 どちらでもない	124	37.5%
	4 やや不満である	17	5.1%
	5 不満である	2	0.6%
	6 わからない	42	12.7%
	無回答	15	4.5%
(3) 地域包括ケアシステムの構築	1 満足している	22	6.6%
	2 比較的満足している	80	24.2%
	3 どちらでもない	122	36.9%
	4 やや不満である	16	4.8%
	5 不満である	4	1.2%
	6 わからない	73	22.1%
	無回答	14	4.2%
(4) 高齢者福祉の充実	1 満足している	24	7.3%
	2 比較的満足している	104	31.4%
	3 どちらでもない	111	33.5%
	4 やや不満である	8	2.4%
	5 不満である	6	1.8%
	6 わからない	63	19.0%
	無回答	15	4.5%
(5) 障がい者（児）福祉の充実	1 満足している	17	5.1%
	2 比較的満足している	70	21.1%
	3 どちらでもない	117	35.3%
	4 やや不満である	18	5.4%
	5 不満である	4	1.2%
	6 わからない	87	26.3%
	無回答	18	5.4%

◎保健・医療・福祉について（重要度）

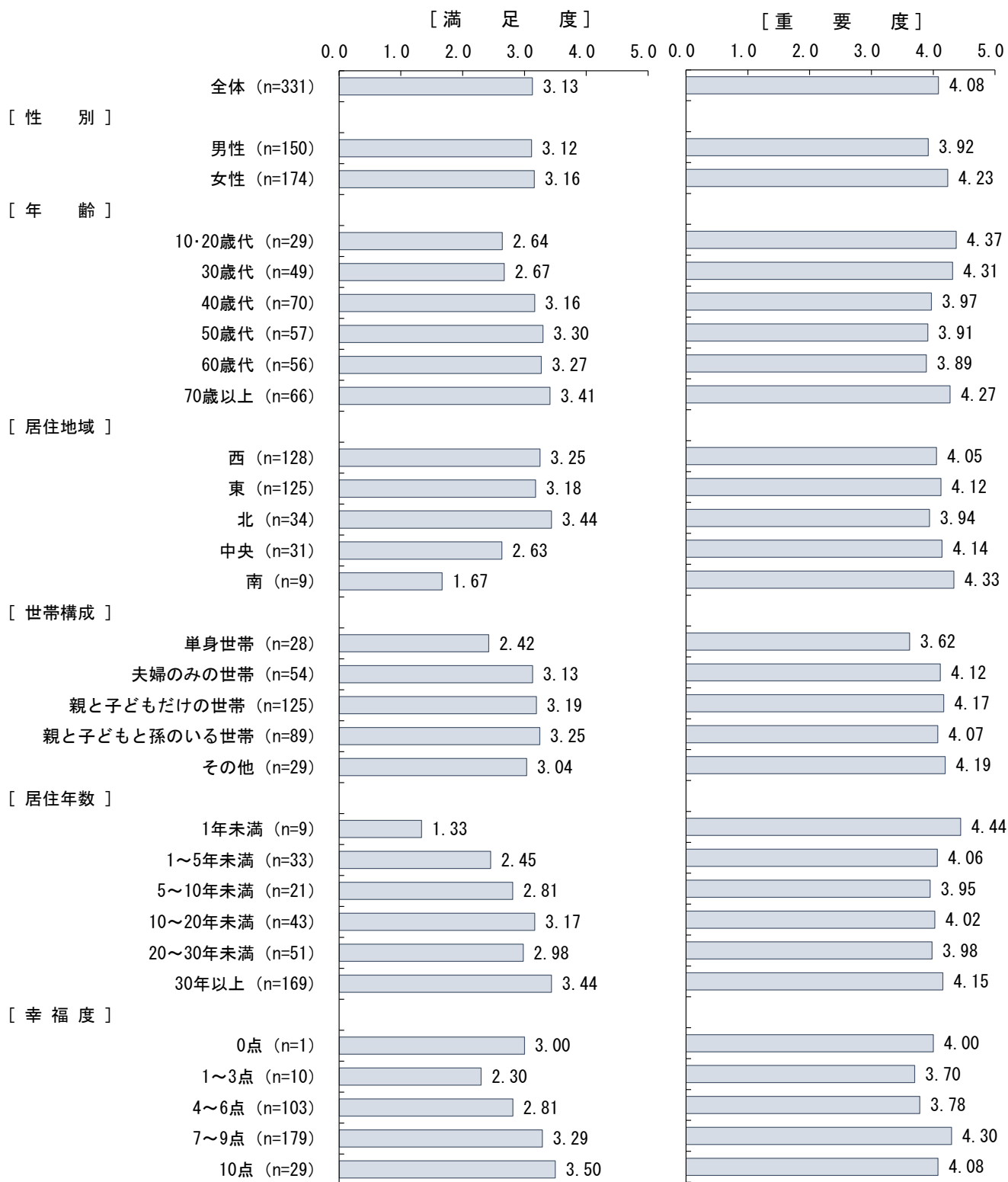
図表 保健・医療・福祉について（重要度）

		(n=331)	
		回答数	構成比
(1) 健康づくりの推進	1 重要である	124	37.5%
	2 比較的重要である	119	36.0%
	3 どちらでもない	55	16.6%
	4 あまり重要でない	2	0.6%
	5 重要でない	1	0.3%
	6 わからない	9	2.7%
	無回答	21	6.3%
(2) 地域福祉の充実	1 重要である	124	37.5%
	2 比較的重要である	115	34.7%
	3 どちらでもない	57	17.2%
	4 あまり重要でない	3	0.9%
	5 重要でない	1	0.3%
	6 わからない	11	3.3%
	無回答	20	6.0%
(3) 地域包括ケアシステムの構築	1 重要である	135	40.8%
	2 比較的重要である	92	27.8%
	3 どちらでもない	52	15.7%
	4 あまり重要でない	3	0.9%
	5 重要でない	2	0.6%
	6 わからない	25	7.6%
	無回答	22	6.6%
(4) 高齢者福祉の充実	1 重要である	134	40.5%
	2 比較的重要である	111	33.5%
	3 どちらでもない	51	15.4%
	4 あまり重要でない	0	0.0%
	5 重要でない	1	0.3%
	6 わからない	16	4.8%
	無回答	18	5.4%
(5) 障がい者（児）福祉の充実	1 重要である	116	35.0%
	2 比較的重要である	115	34.7%
	3 どちらでもない	52	15.7%
	4 あまり重要でない	2	0.6%
	5 重要でない	1	0.3%
	6 わからない	24	7.3%
	無回答	21	6.3%

◎ 施策別の満足度・重要度（指数値による属性別比較）

(1) 健康づくりの推進

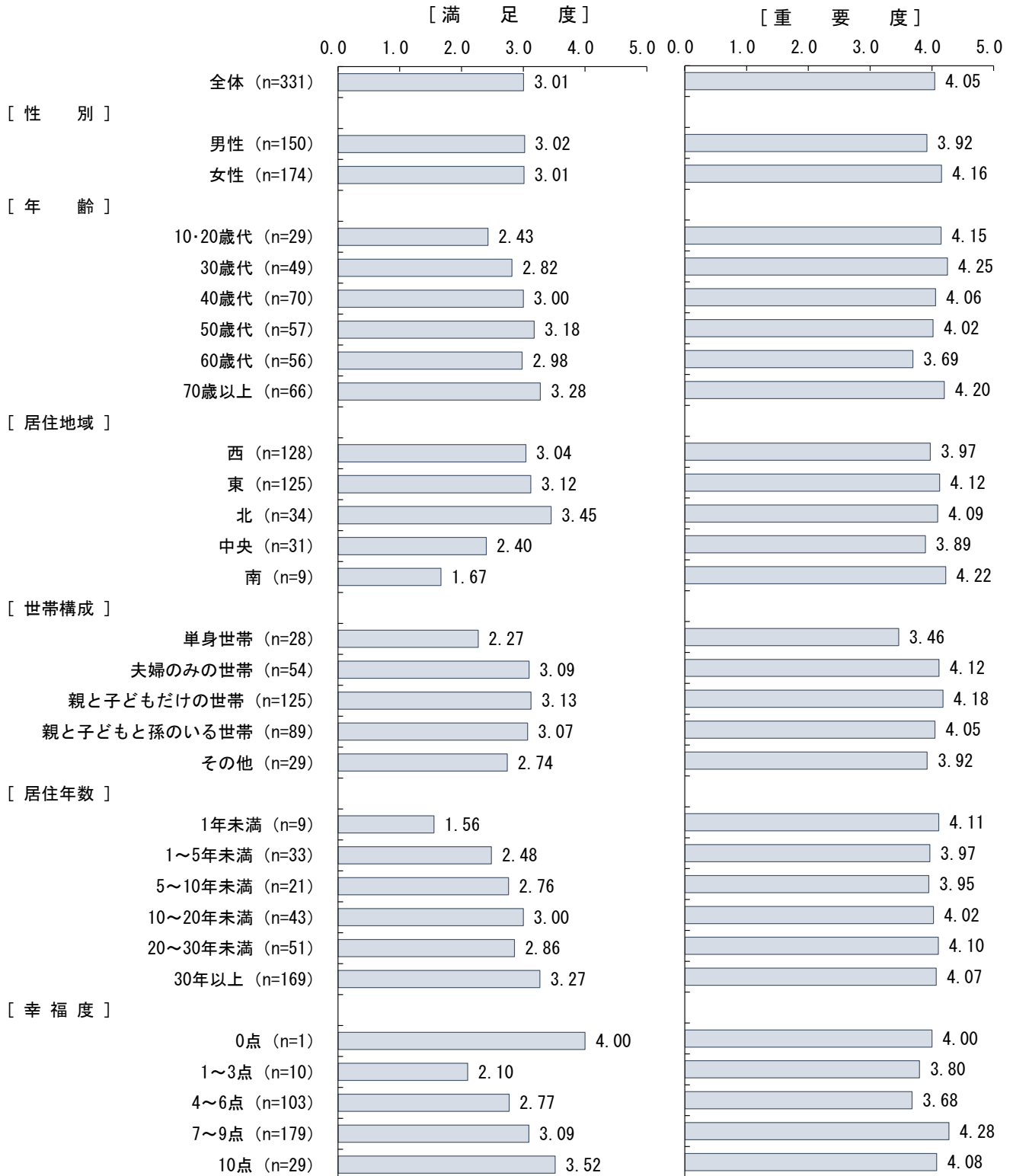
図表 健康づくりの推進



※指数化：（「満足している（重要である）」×5+「比較的満足している（比較的重要である）」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である（あまり重要でない）」×2+「不満である（重要でない）」×1+「わからない」×0）÷回答数

## (2) 地域福祉の充実

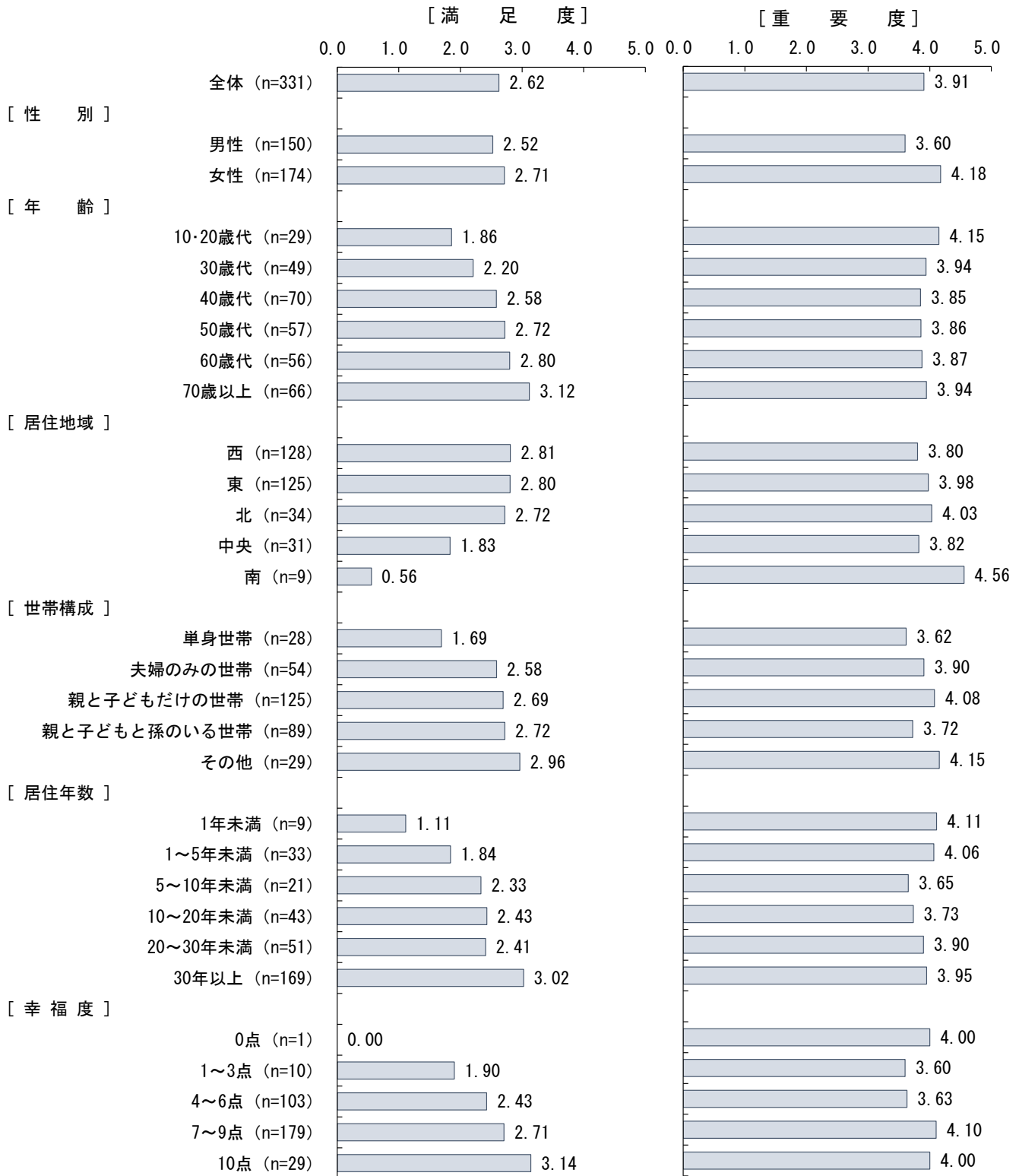
図表 地域福祉の充実



※指数化：(「満足している(重要である)」×5+「比較的満足している(比較的重要である)」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である(あまり重要でない)」×2+「不満である(重要でない)」×1+「わからない」×0)÷回答数

### (3) 地域包括ケアシステムの構築

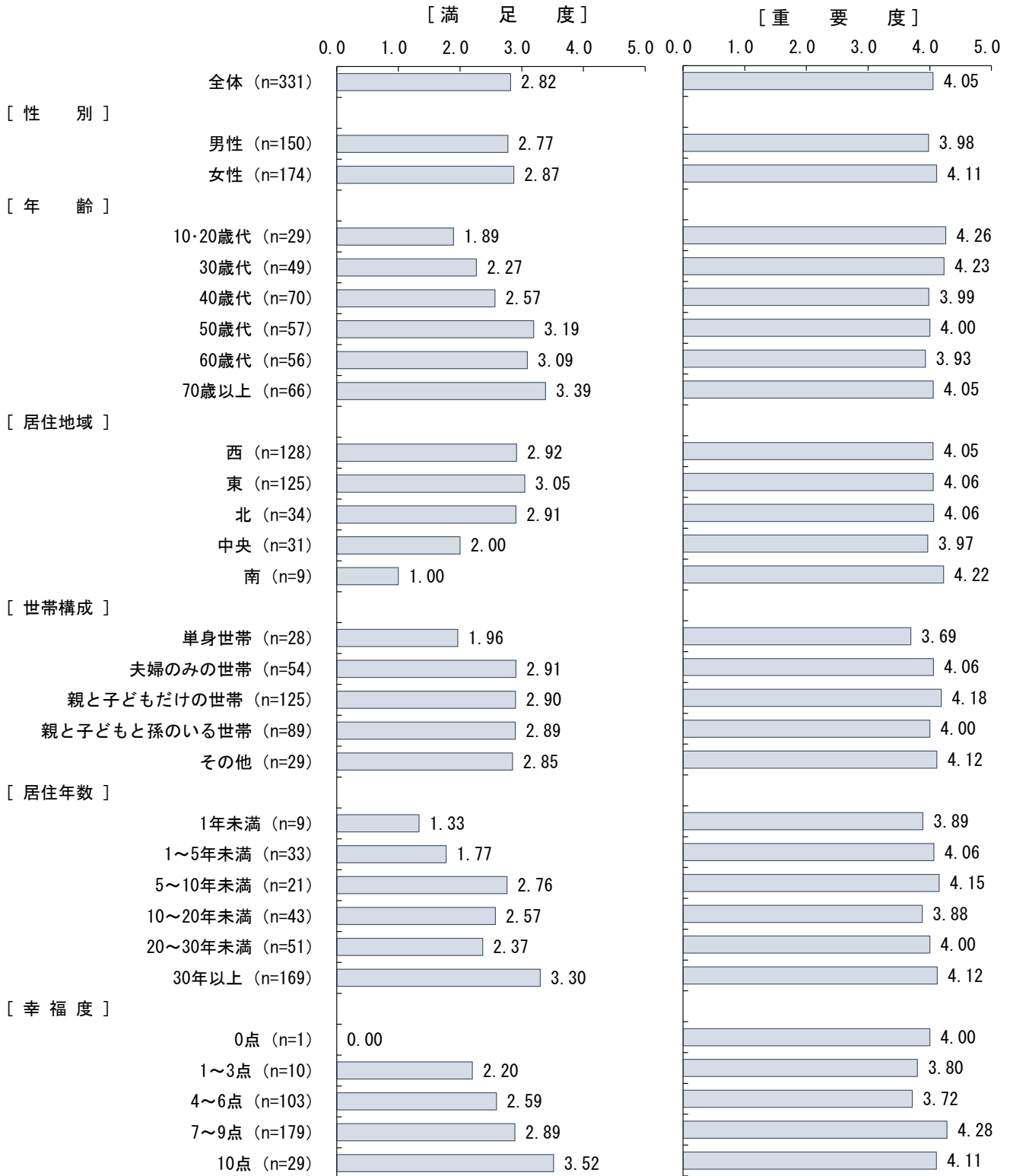
図表 地域包括ケアシステムの構築



※指数化：(「満足している(重要である)」×5+「比較的満足している(比較的重要である)」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である(あまり重要でない)」×2+「不満である(重要でない)」×1+「わからない」×0)÷回答数

#### (4) 高齢者福祉の充実

図表 高齢者福祉の充実

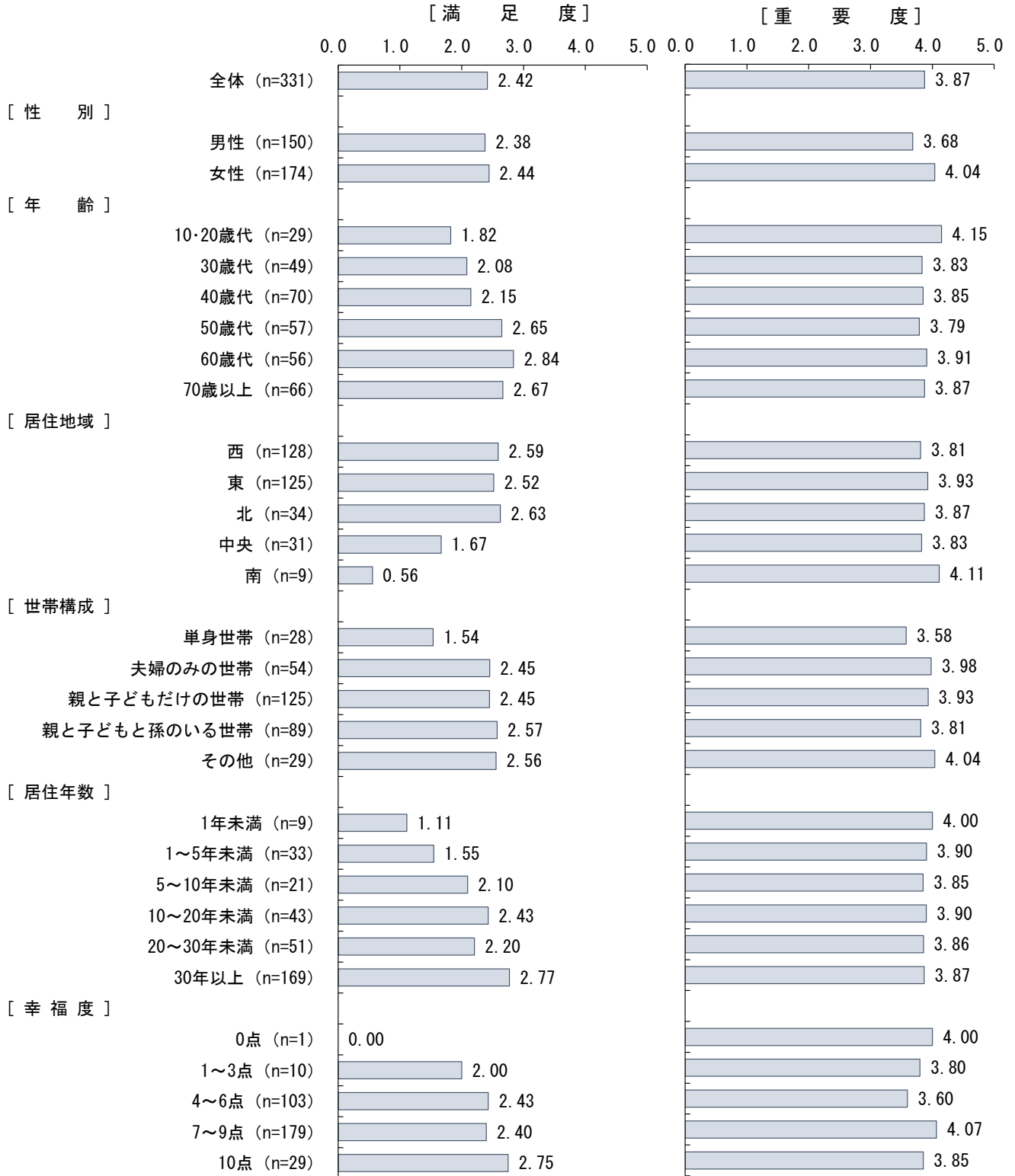


※指数化：(「満足している(重要である)」×5+「比較的満足している(比較的重要である)」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である(あまり重要でない)」×2+「不満である(重要でない)」×1+「わからない」×0)÷回答数



(5) 障がい者（児）福祉の充実

図表 障がい者（児）福祉の充実

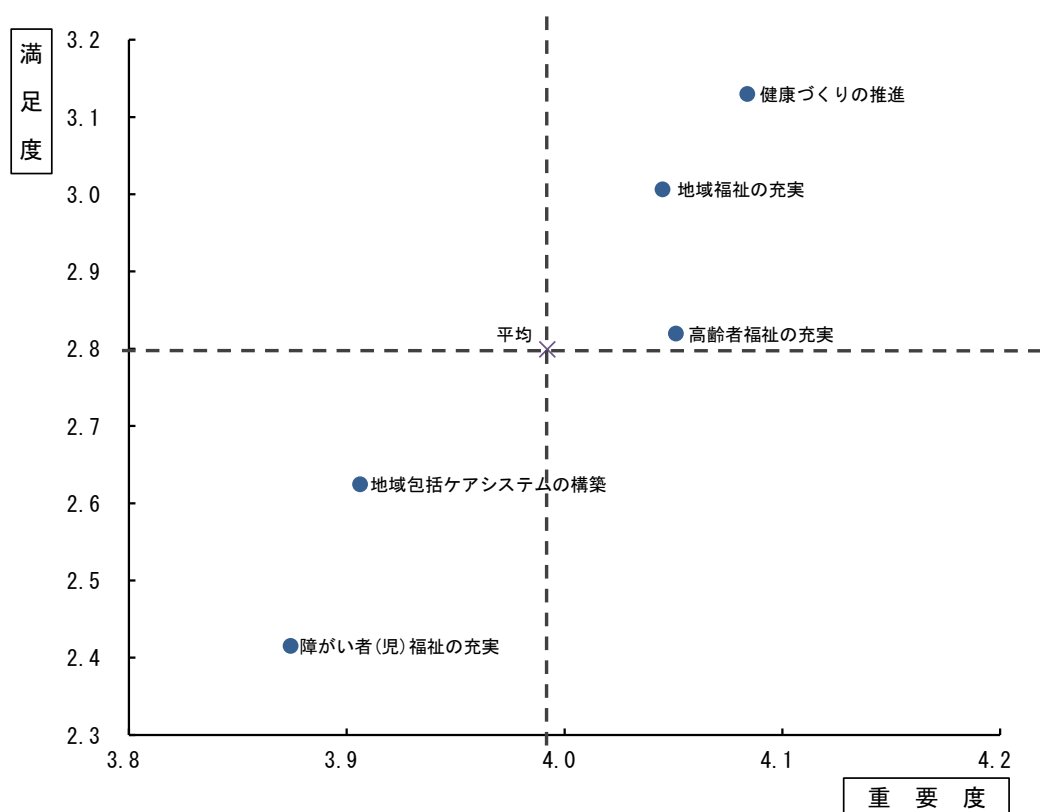


※指数化：（「満足している（重要である）」×5+「比較的満足している（比較的重要である）」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である（あまり重要でない）」×2+「不満である（重要でない）」×1+「わからない」×0）÷回答数

◎保健・医療・福祉について（満足度・重要度）

- 保健・医療・福祉に対する満足度・重要度をみると、「健康づくりの推進」は満足度・重要度ともに高いことがわかります。
- 保健・医療・福祉に対する満足度が低いのは「障がい者（児）福祉の充実」であると言えます。

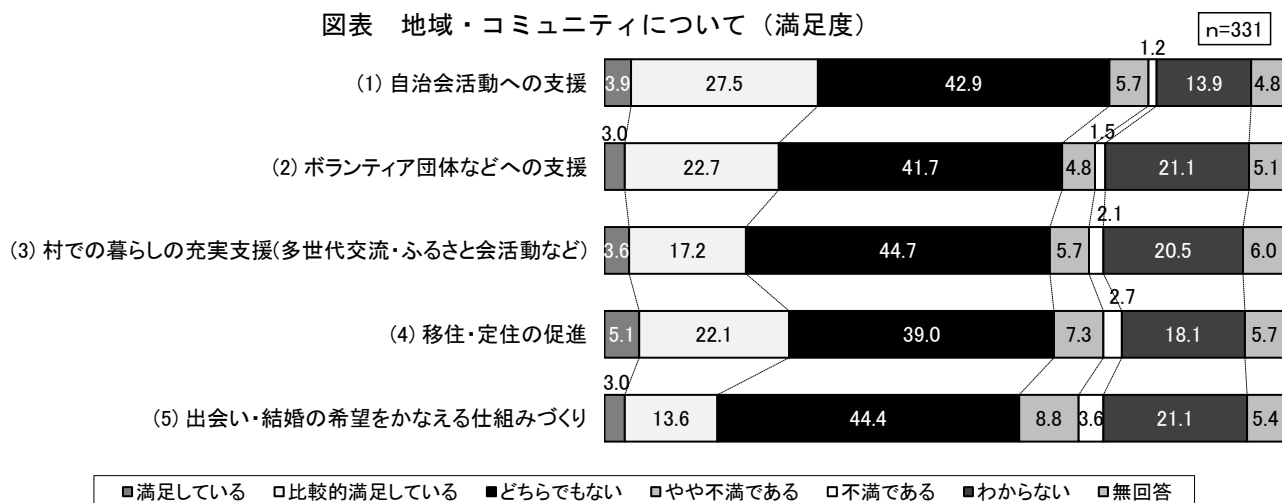
図表 保健・医療・福祉について（満足度・重要度）



#### ④地域・コミュニティについて（満足度・重要度）

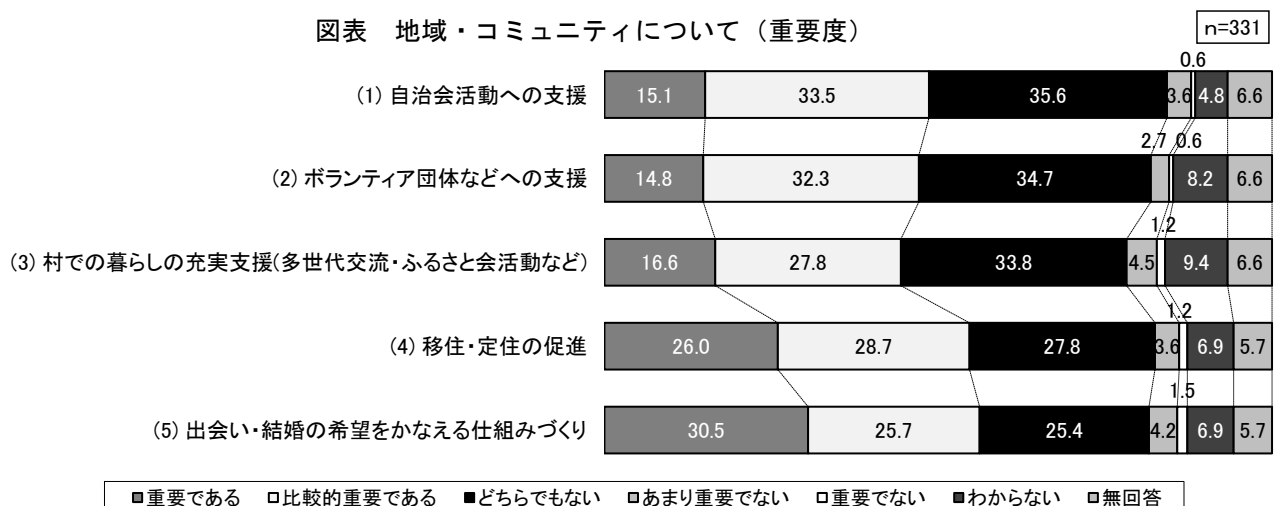
- 地域・コミュニティに対する「満足している」、「比較的満足している」を合わせた割合をみると、「自治会活動への支援」（31.4%）、「移住・定住の促進」（27.2%）、「ボランティア団体などへの支援」（25.7%）が上位にあります。
- 地域・コミュニティに対する「やや不満である」、「不満である」を合わせた割合をみると、「出会い・結婚の希望をかなえる仕組みづくり」（12.4%）、「移住・定住の促進」（10.0%）、「村での暮らしの充実支援(多世代交流・ふるさと会活動など）」（7.8%）が上位にあります。

図表 地域・コミュニティについて（満足度）



- 地域・コミュニティに対する「重要である」、「比較的重要である」を合わせた割合をみると、「出会い・結婚の希望をかなえる仕組みづくり」（56.2%）、「移住・定住の促進」（54.7%）、「自治会活動への支援」（48.6%）が上位にあります。
- 地域・コミュニティに対する「あまり重要でない」、「重要でない」を合わせた割合をみると、「出会い・結婚の希望をかなえる仕組みづくり」（5.7%）、「村での暮らしの充実支援(多世代交流・ふるさと会活動など）」（5.7%）、「移住・定住の促進」（4.8%）が上位にあります。

図表 地域・コミュニティについて（重要度）



◎地域・コミュニティについて（満足度）

図表 地域・コミュニティについて（満足度）

		(n=331)	
		回答数	構成比
(1) 自治会活動への支援	1 満足している	13	3.9%
	2 比較的満足している	91	27.5%
	3 どちらでもない	142	42.9%
	4 やや不満である	19	5.7%
	5 不満である	4	1.2%
	6 わからない	46	13.9%
	無回答	16	4.8%
(2) ボランティア団体などへの支援	1 満足している	10	3.0%
	2 比較的満足している	75	22.7%
	3 どちらでもない	138	41.7%
	4 やや不満である	16	4.8%
	5 不満である	5	1.5%
	6 わからない	70	21.1%
	無回答	17	5.1%
(3) 村での暮らしの充実支援（多世代交流・ふるさと会活動など）	1 満足している	12	3.6%
	2 比較的満足している	57	17.2%
	3 どちらでもない	148	44.7%
	4 やや不満である	19	5.7%
	5 不満である	7	2.1%
	6 わからない	68	20.5%
	無回答	20	6.0%
(4) 移住・定住の促進	1 満足している	17	5.1%
	2 比較的満足している	73	22.1%
	3 どちらでもない	129	39.0%
	4 やや不満である	24	7.3%
	5 不満である	9	2.7%
	6 わからない	60	18.1%
	無回答	19	5.7%
(5) 出会い・結婚の希望をかなえる仕組みづくり	1 満足している	10	3.0%
	2 比較的満足している	45	13.6%
	3 どちらでもない	147	44.4%
	4 やや不満である	29	8.8%
	5 不満である	12	3.6%
	6 わからない	70	21.1%
	無回答	18	5.4%

◎地域・コミュニティについて（重要度）

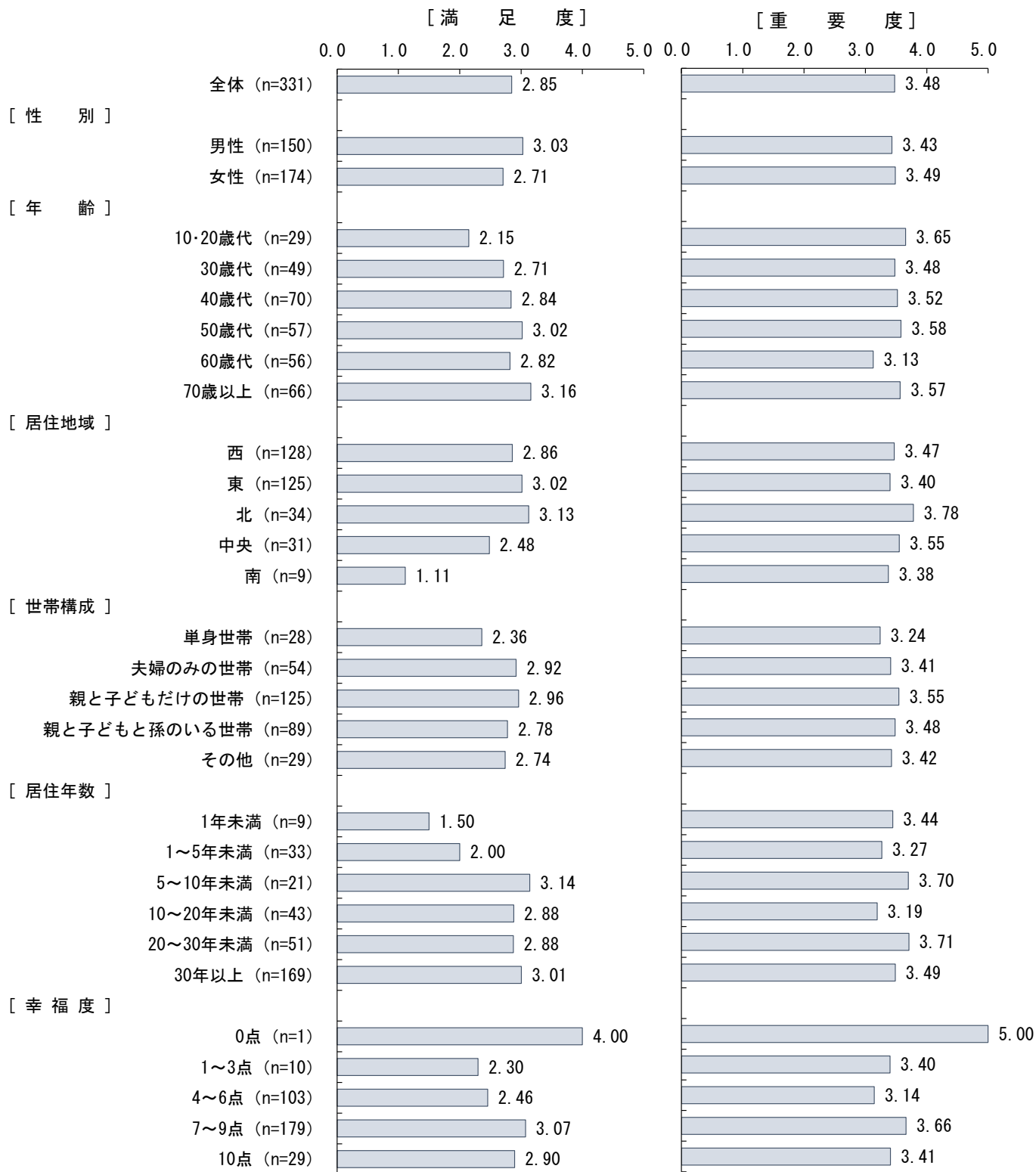
図表 地域・コミュニティについて（重要度）

		(n=331)	
		回答数	構成比
(1) 自治会活動への支援	1 重要である	50	15.1%
	2 比較的重要である	111	33.5%
	3 どちらでもない	118	35.6%
	4 あまり重要でない	12	3.6%
	5 重要でない	2	0.6%
	6 わからない	16	4.8%
	無回答	22	6.6%
(2) ボランティア団体などへの支援	1 重要である	49	14.8%
	2 比較的重要である	107	32.3%
	3 どちらでもない	115	34.7%
	4 あまり重要でない	9	2.7%
	5 重要でない	2	0.6%
	6 わからない	27	8.2%
	無回答	22	6.6%
(3) 村での暮らしの充実支援（多世代交流・ふるさと会活動など）	1 重要である	55	16.6%
	2 比較的重要である	92	27.8%
	3 どちらでもない	112	33.8%
	4 あまり重要でない	15	4.5%
	5 重要でない	4	1.2%
	6 わからない	31	9.4%
	無回答	22	6.6%
(4) 移住・定住の促進	1 重要である	86	26.0%
	2 比較的重要である	95	28.7%
	3 どちらでもない	92	27.8%
	4 あまり重要でない	12	3.6%
	5 重要でない	4	1.2%
	6 わからない	23	6.9%
	無回答	19	5.7%
(5) 出会い・結婚の希望をかなえる仕組みづくり	1 重要である	101	30.5%
	2 比較的重要である	85	25.7%
	3 どちらでもない	84	25.4%
	4 あまり重要でない	14	4.2%
	5 重要でない	5	1.5%
	6 わからない	23	6.9%
	無回答	19	5.7%

◎ 施策別の満足度・重要度（指数値による属性別比較）

(1) 自治会活動への支援

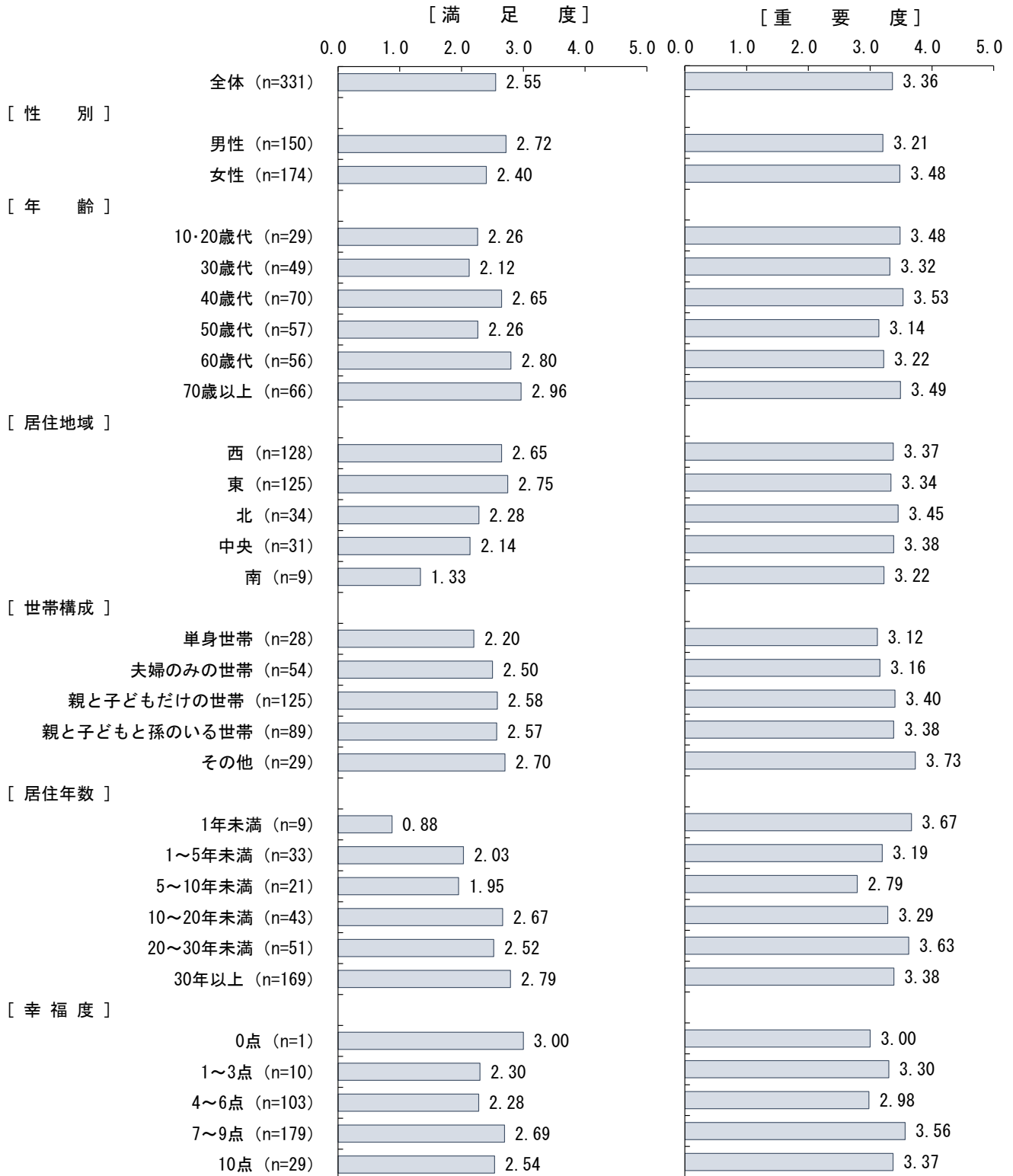
図表 自治会活動への支援



※指数化：（「満足している（重要である）」×5+「比較的満足している（比較的重要である）」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である（あまり重要でない）」×2+「不満である（重要でない）」×1+「わからない」×0）÷回答数

## (2) ボランティア団体などへの支援

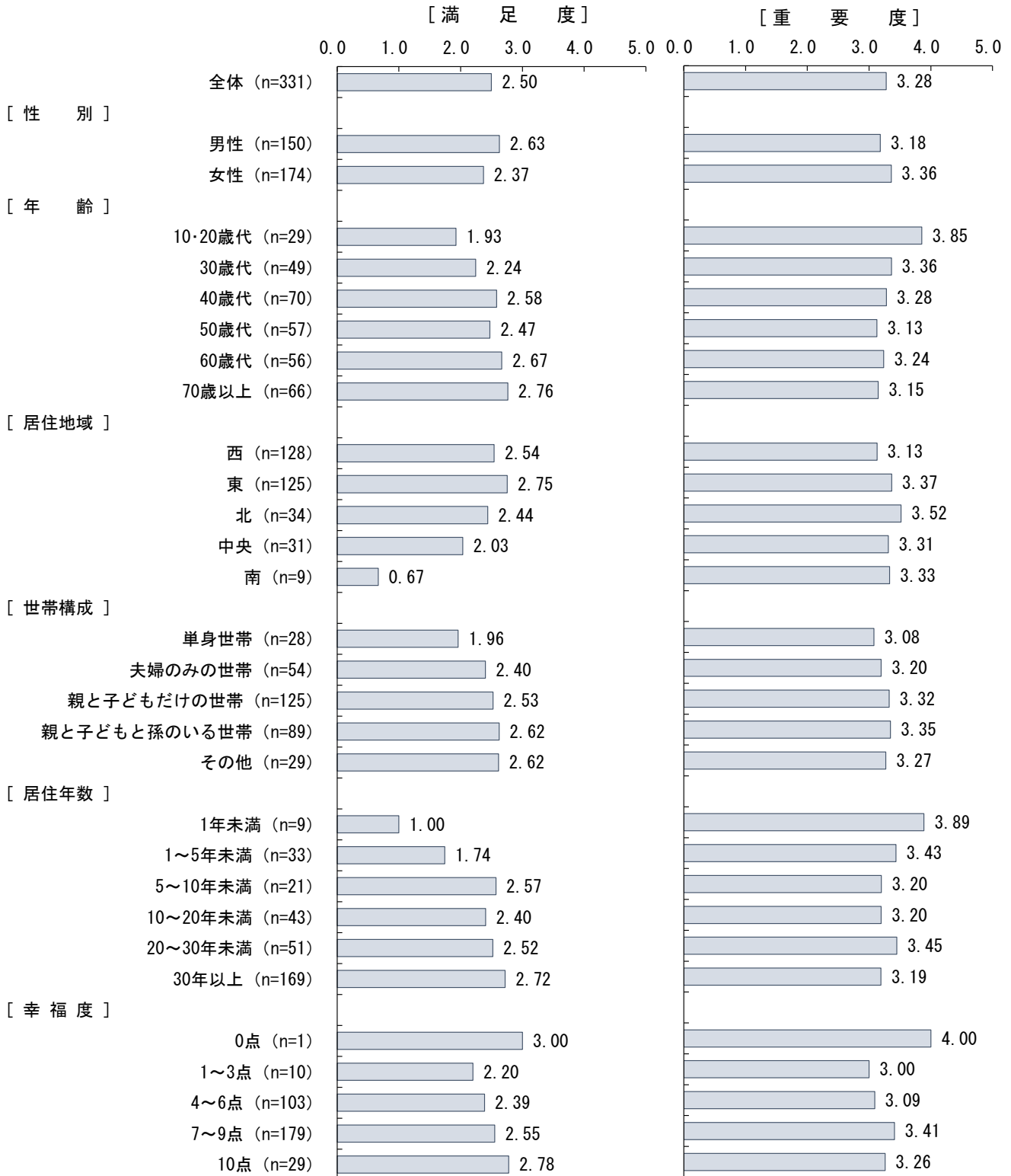
図表 ボランティア団体などへの支援



※指数化：(「満足している(重要である)」×5+「比較的満足している(比較的重要である)」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である(あまり重要でない)」×2+「不満である(重要でない)」×1+「わからない」×0)÷回答数

(3) 村での暮らしの充実支援（多世代交流・ふるさと会活動など）

図表 村での暮らしの充実支援（多世代交流・ふるさと会活動など）

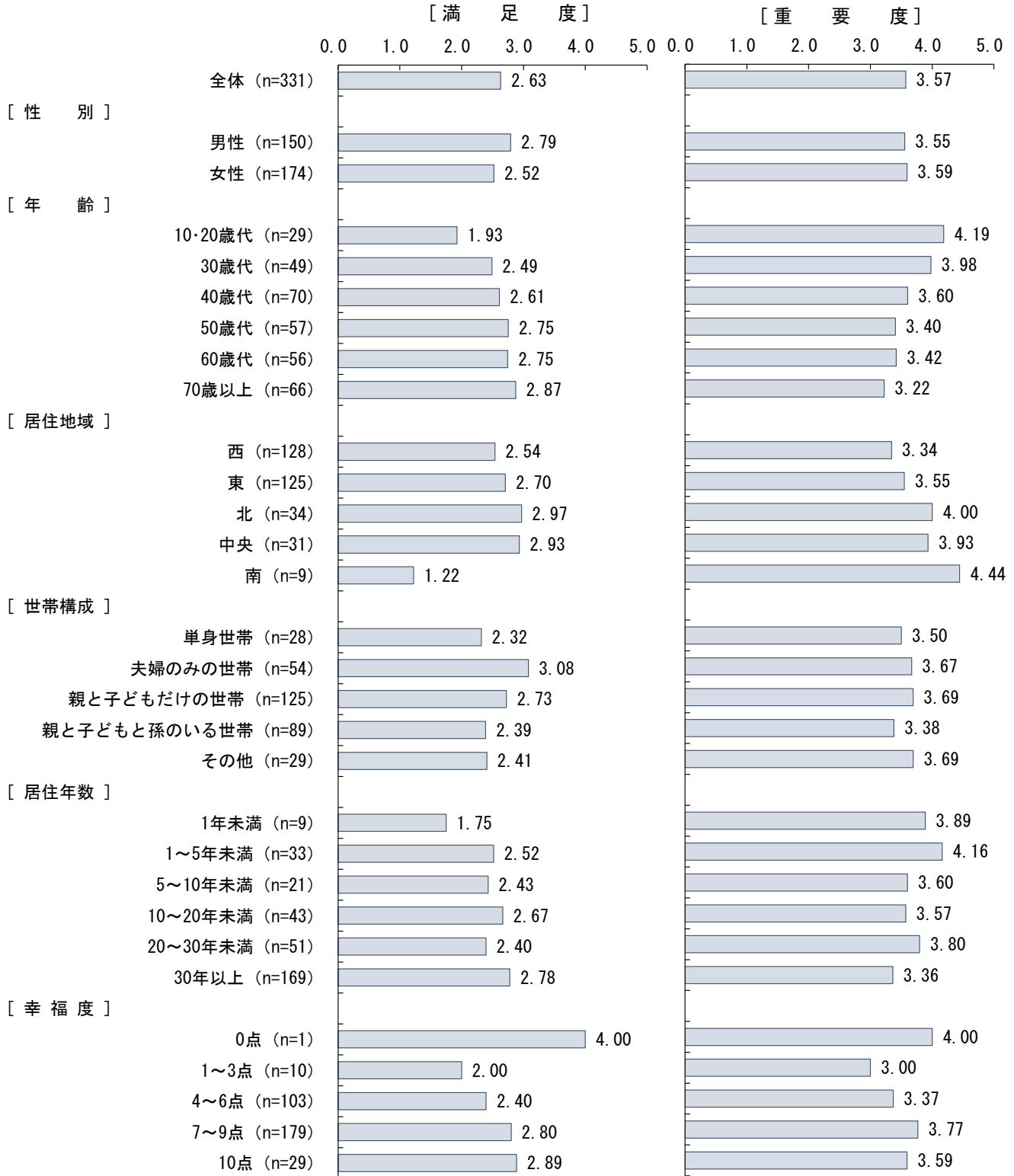


※指数化：（「満足している（重要である）」×5+「比較的満足している（比較的重要である）」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である（あまり重要でない）」×2+「不満である（重要でない）」×1+「わからない」×0）÷回答数



#### (4) 移住・定住の促進

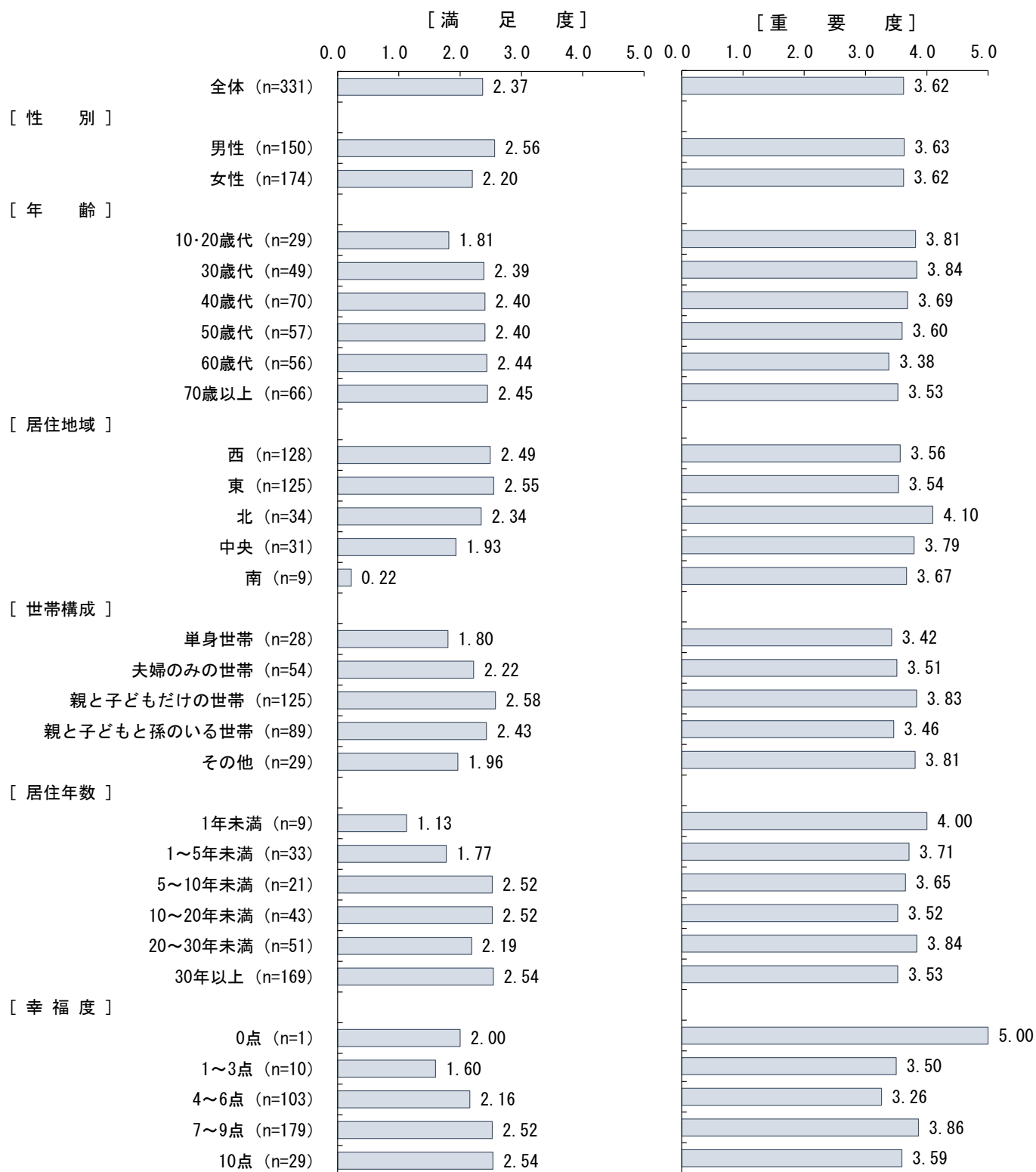
図表 移住・定住の促進



※指数化：(「満足している(重要である)」×5+「比較的満足している(比較的重要である)」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である(あまり重要でない)」×2+「不満である(重要でない)」×1+「わからない」×0)÷回答数

## (5) 出会い・結婚の希望をかなえる仕組みづくり

図表 出会い・結婚の希望をかなえる仕組みづくり

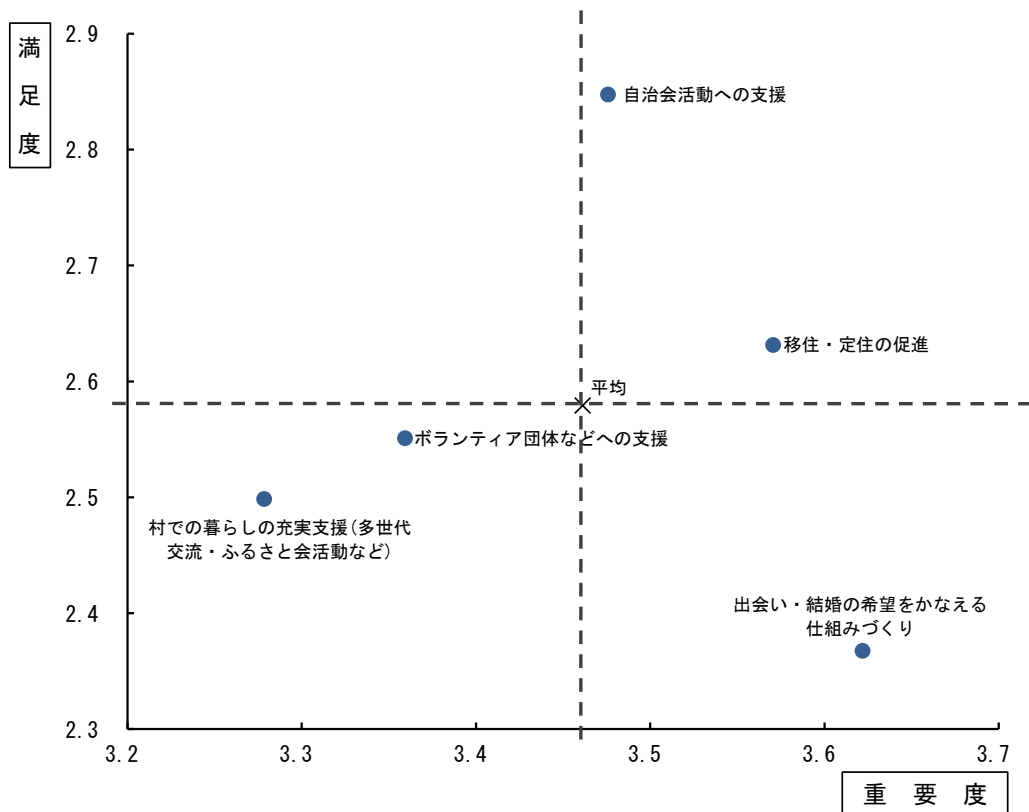


※指数化：(「満足している(重要である)」×5+「比較的満足している(比較的重要である)」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である(あまり重要でない)」×2+「不満である(重要でない)」×1+「わからない」×0)÷回答数

### ◎地域・コミュニティについて（満足度・重要度）

- 地域・コミュニティに対する満足度・重要度をみると、「自治会活動への支援」は満足度が高く、重要度は平均的であることがわかります。
- 「出会い・結婚の希望をかなえる仕組みづくり」は重要度が高く、満足度は低いと言えます。

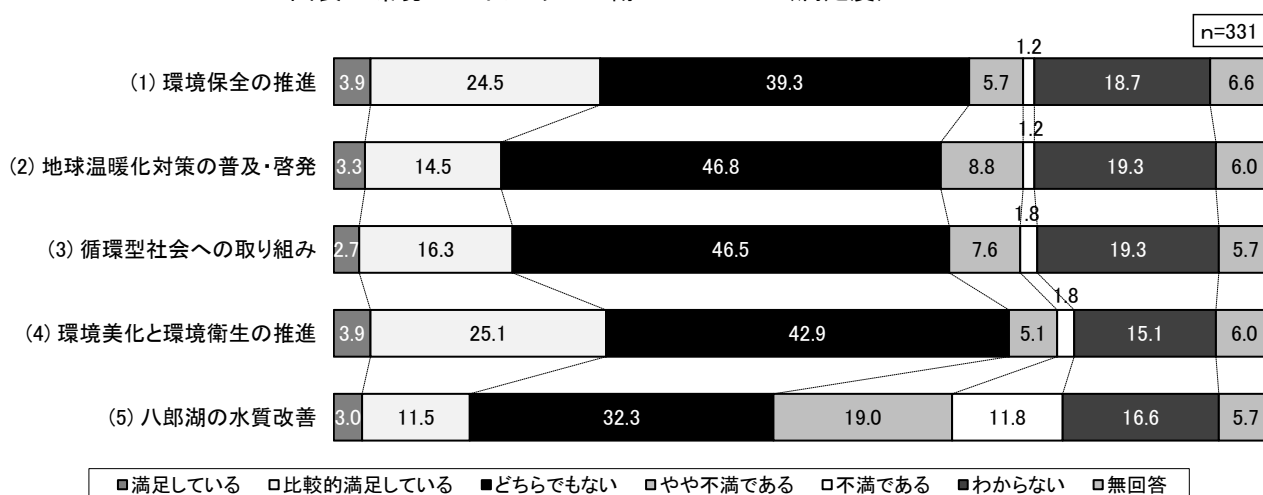
図表 地域・コミュニティについて（満足度・重要度）



## ⑤環境・エネルギー・衛生について（満足度・重要度）

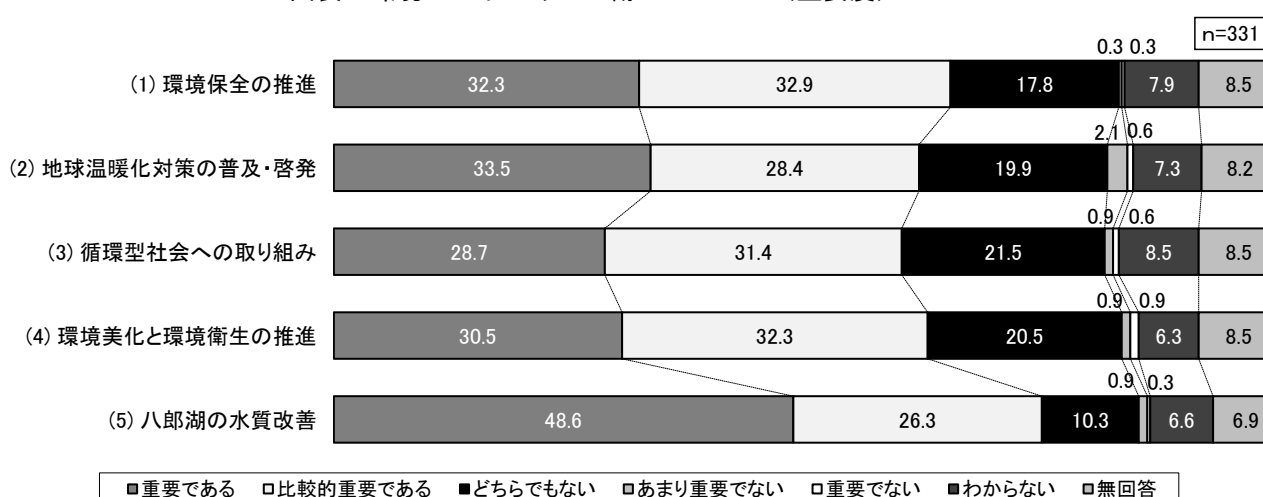
- 環境・エネルギー・衛生に対する「満足している」、「比較的満足している」を合わせた割合をみると、「環境美化と環境衛生の推進」（29.0%）、「環境保全の推進」（28.4%）、「循環型社会への取り組み」（19.0%）が上位にあります。
- 環境・エネルギー・衛生に対する「やや不満である」、「不満である」を合わせた割合をみると、「八郎湖の水質改善」（30.8%）、「地球温暖化対策の普及・啓発」（10.0%）、「循環型社会への取り組み」（9.4%）が上位にあります。

図表 環境・エネルギー・衛生について（満足度）



- 環境・エネルギー・衛生に対する「重要である」、「比較的重要である」を合わせた割合をみると、「八郎湖の水質改善」（74.9%）、「環境保全の推進」（65.2%）、「環境美化と環境衛生の推進」（62.8%）が上位にあります。
- 環境・エネルギー・衛生に対する「あまり重要でない」、「重要でない」を合わせた割合をみると、「地球温暖化対策の普及・啓発」（2.7%）、「環境美化と環境衛生の推進」（1.8%）、「循環型社会への取り組み」（1.5%）が上位にあります。

図表 環境・エネルギー・衛生について（重要度）



◎環境・エネルギー・衛生について（満足度）

図表 環境・エネルギー・衛生について（満足度）

		(n=331)	
		回答数	構成比
(1) 環境保全の推進	1 満足している	13	3.9%
	2 比較的満足している	81	24.5%
	3 どちらでもない	130	39.3%
	4 やや不満である	19	5.7%
	5 不満である	4	1.2%
	6 わからない	62	18.7%
	無回答	22	6.6%
(2) 地球温暖化対策の普及・啓発	1 満足している	11	3.3%
	2 比較的満足している	48	14.5%
	3 どちらでもない	155	46.8%
	4 やや不満である	29	8.8%
	5 不満である	4	1.2%
	6 わからない	64	19.3%
	無回答	20	6.0%
(3) 循環型社会への取り組み	1 満足している	9	2.7%
	2 比較的満足している	54	16.3%
	3 どちらでもない	154	46.5%
	4 やや不満である	25	7.6%
	5 不満である	6	1.8%
	6 わからない	64	19.3%
	無回答	19	5.7%
(4) 環境美化と環境衛生の推進	1 満足している	13	3.9%
	2 比較的満足している	83	25.1%
	3 どちらでもない	142	42.9%
	4 やや不満である	17	5.1%
	5 不満である	6	1.8%
	6 わからない	50	15.1%
	無回答	20	6.0%
(5) 八郎湖の水質改善	1 満足している	10	3.0%
	2 比較的満足している	38	11.5%
	3 どちらでもない	107	32.3%
	4 やや不満である	63	19.0%
	5 不満である	39	11.8%
	6 わからない	55	16.6%
	無回答	19	5.7%

◎環境・エネルギー・衛生について（重要度）

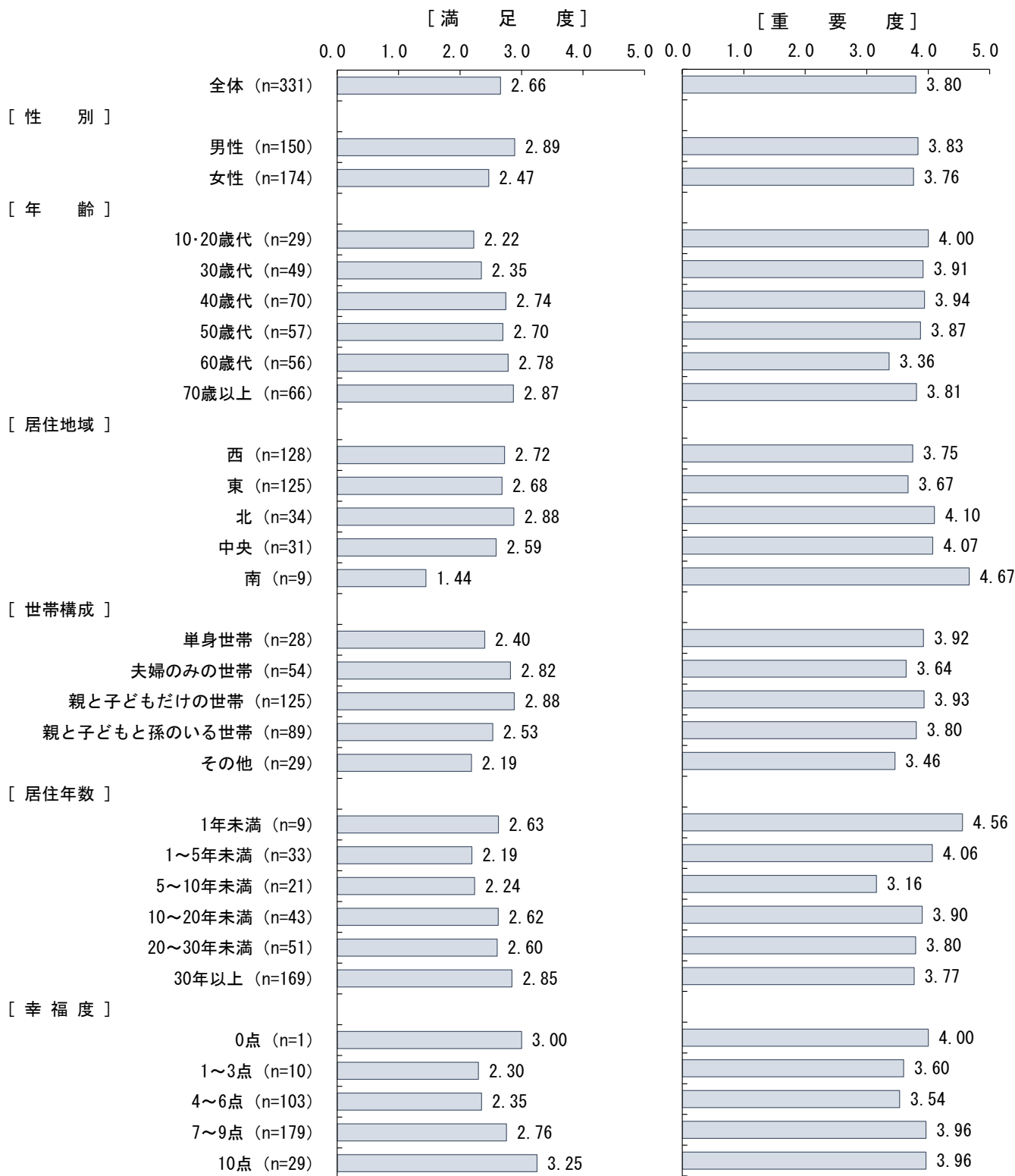
図表 環境・エネルギー・衛生について（重要度）

		(n=331)	
		回答数	構成比
(1) 環境保全の推進	1 重要である	107	32.3%
	2 比較的重要である	109	32.9%
	3 どちらでもない	59	17.8%
	4 あまり重要でない	1	0.3%
	5 重要でない	1	0.3%
	6 わからない	26	7.9%
	無回答	28	8.5%
(2) 地球温暖化対策の普及・啓発	1 重要である	111	33.5%
	2 比較的重要である	94	28.4%
	3 どちらでもない	66	19.9%
	4 あまり重要でない	7	2.1%
	5 重要でない	2	0.6%
	6 わからない	24	7.3%
	無回答	27	8.2%
(3) 循環型社会への取り組み	1 重要である	95	28.7%
	2 比較的重要である	104	31.4%
	3 どちらでもない	71	21.5%
	4 あまり重要でない	3	0.9%
	5 重要でない	2	0.6%
	6 わからない	28	8.5%
	無回答	28	8.5%
(4) 環境美化と環境衛生の推進	1 重要である	101	30.5%
	2 比較的重要である	107	32.3%
	3 どちらでもない	68	20.5%
	4 あまり重要でない	3	0.9%
	5 重要でない	3	0.9%
	6 わからない	21	6.3%
	無回答	28	8.5%
(5) 八郎湖の水質改善	1 重要である	161	48.6%
	2 比較的重要である	87	26.3%
	3 どちらでもない	34	10.3%
	4 あまり重要でない	3	0.9%
	5 重要でない	1	0.3%
	6 わからない	22	6.6%
	無回答	23	6.9%

◎ 施策別の満足度・重要度（指数値による属性別比較）

(1) 環境保全の推進

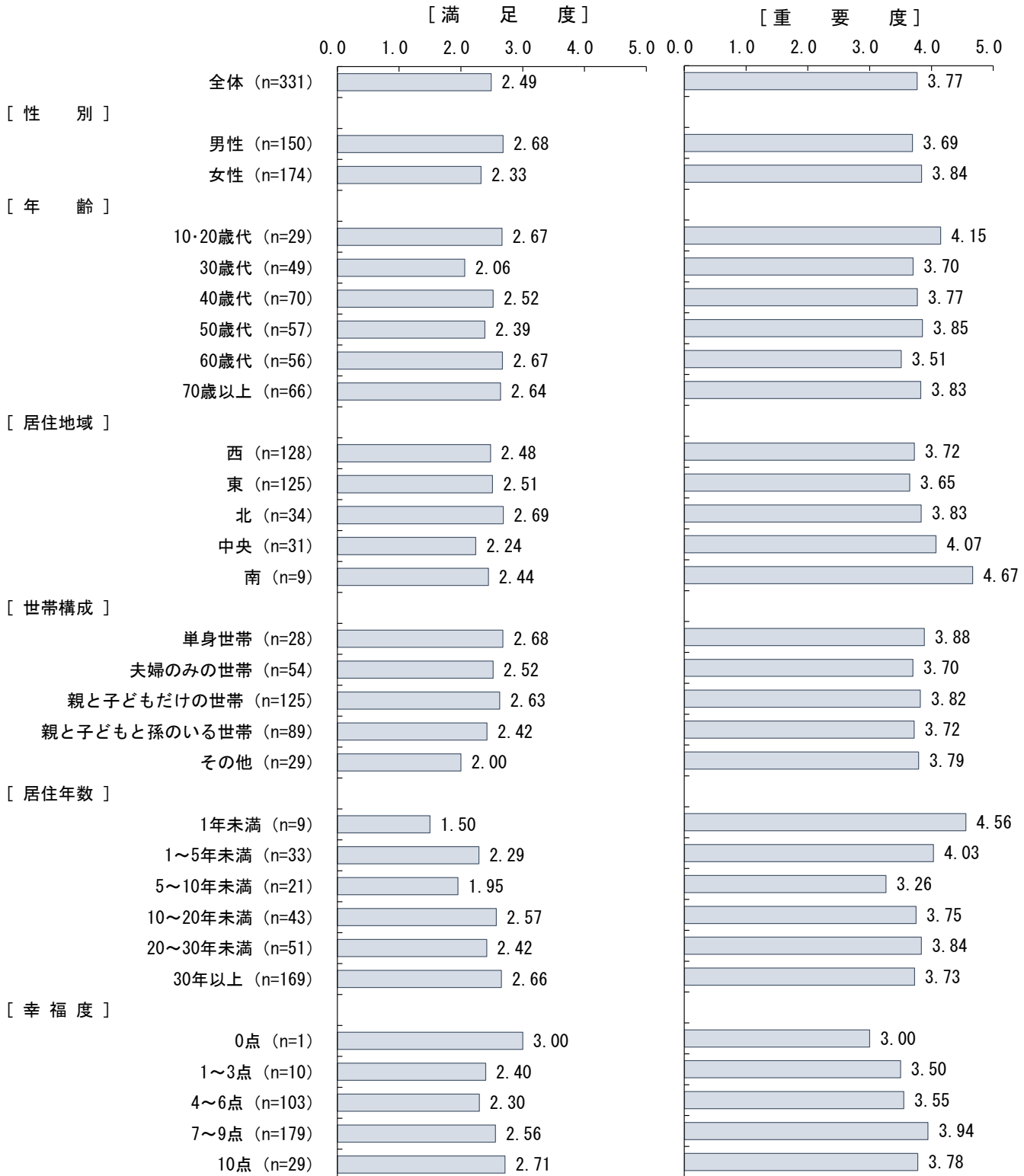
図表 環境保全の推進



※指数化：（「満足している（重要である）」×5+「比較的満足している（比較的重要である）」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である（あまり重要でない）」×2+「不満である（重要でない）」×1+「わからない」×0）÷回答数

## (2) 地球温暖化対策の普及・啓発

図表 地球温暖化対策の普及・啓発

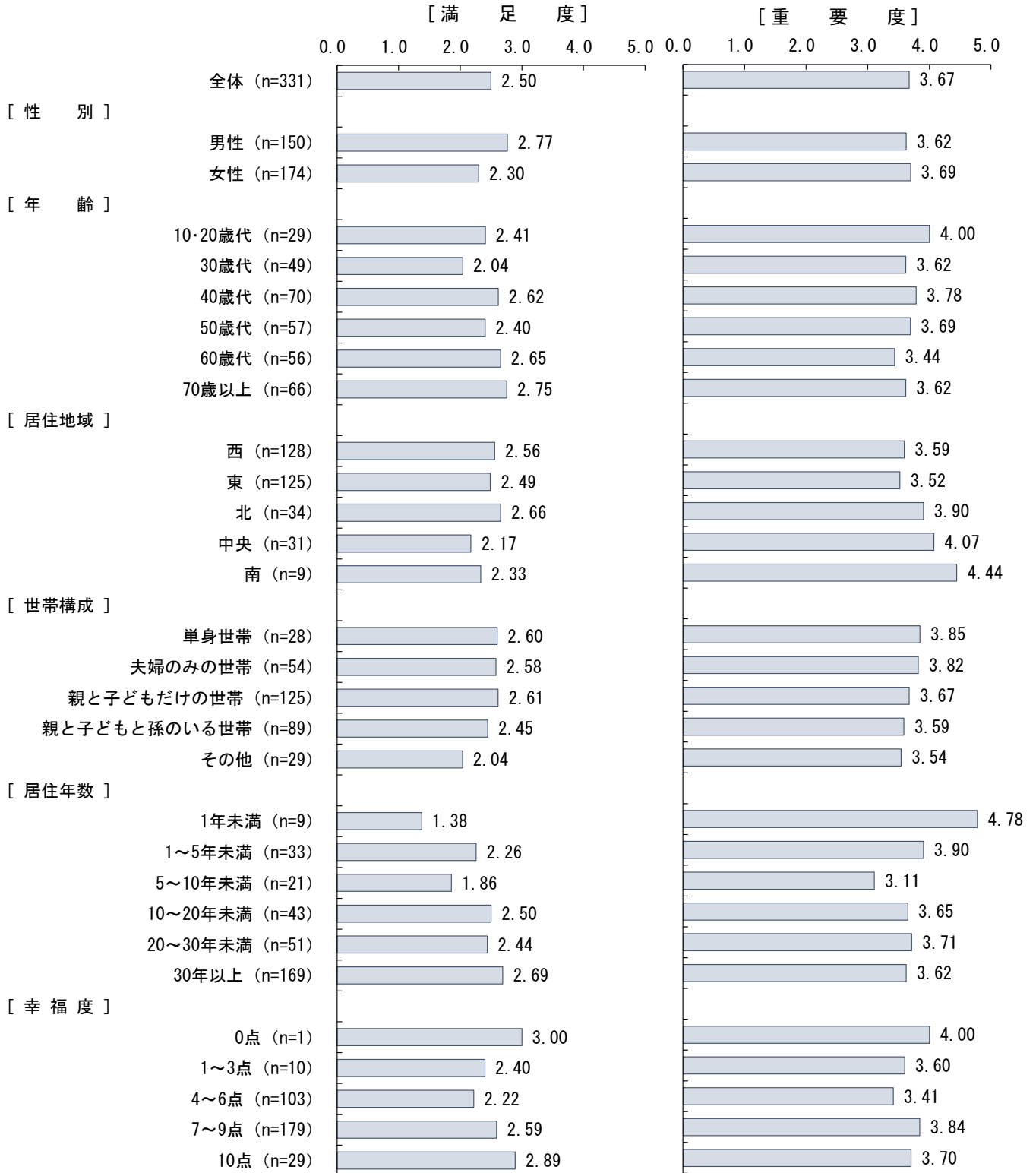


※指数化：(「満足している(重要である)」×5+「比較的満足している(比較的重要である)」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である(あまり重要でない)」×2+「不満である(重要でない)」×1+「わからない」×0)÷回答数



### (3) 循環型社会への取り組み

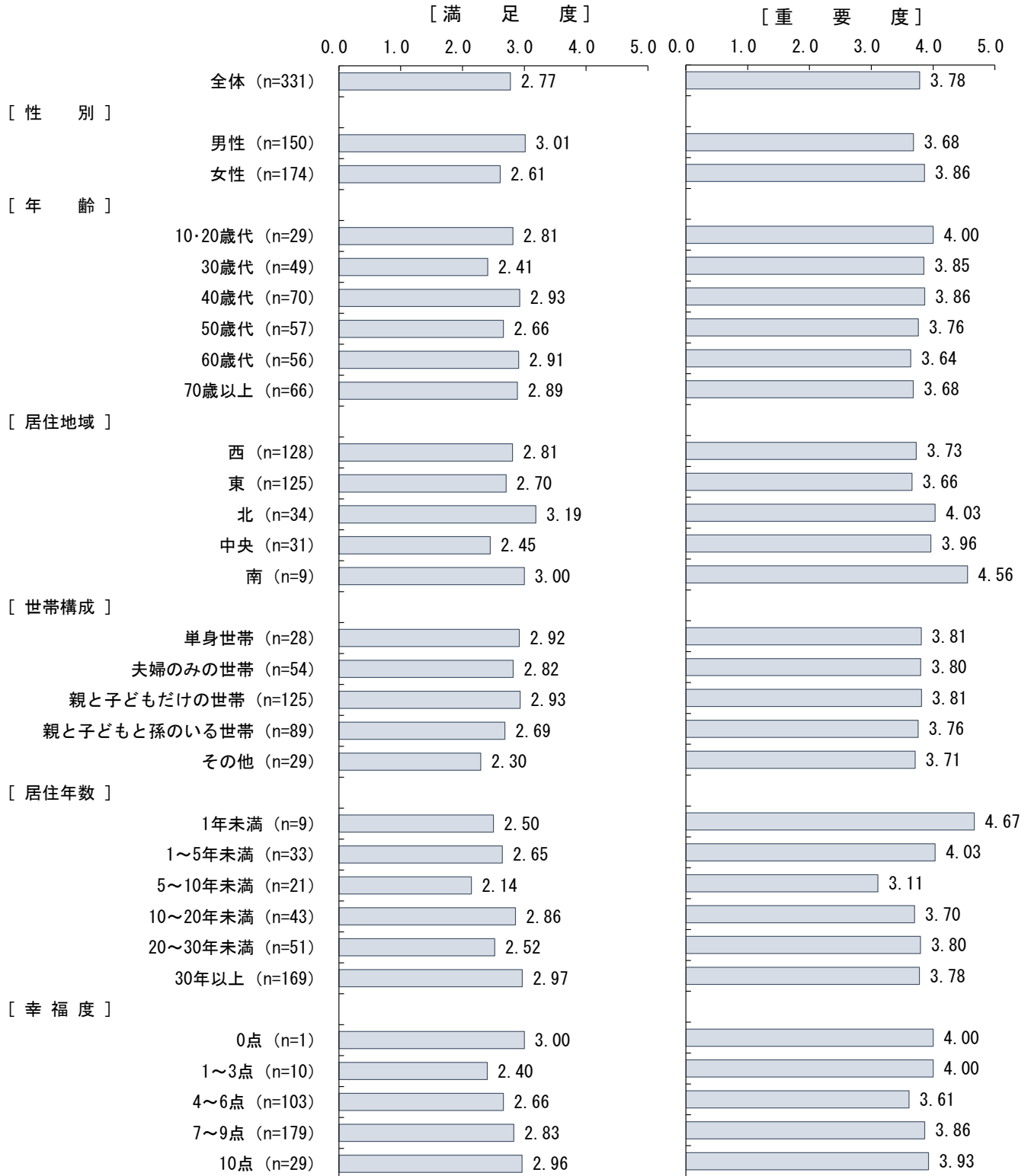
図表 循環型社会への取り組み



※指数化：(「満足している(重要である)」×5+「比較的満足している(比較的重要である)」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である(あまり重要でない)」×2+「不満である(重要でない)」×1+「わからない」×0)÷回答数

#### (4) 環境美化と環境衛生の推進

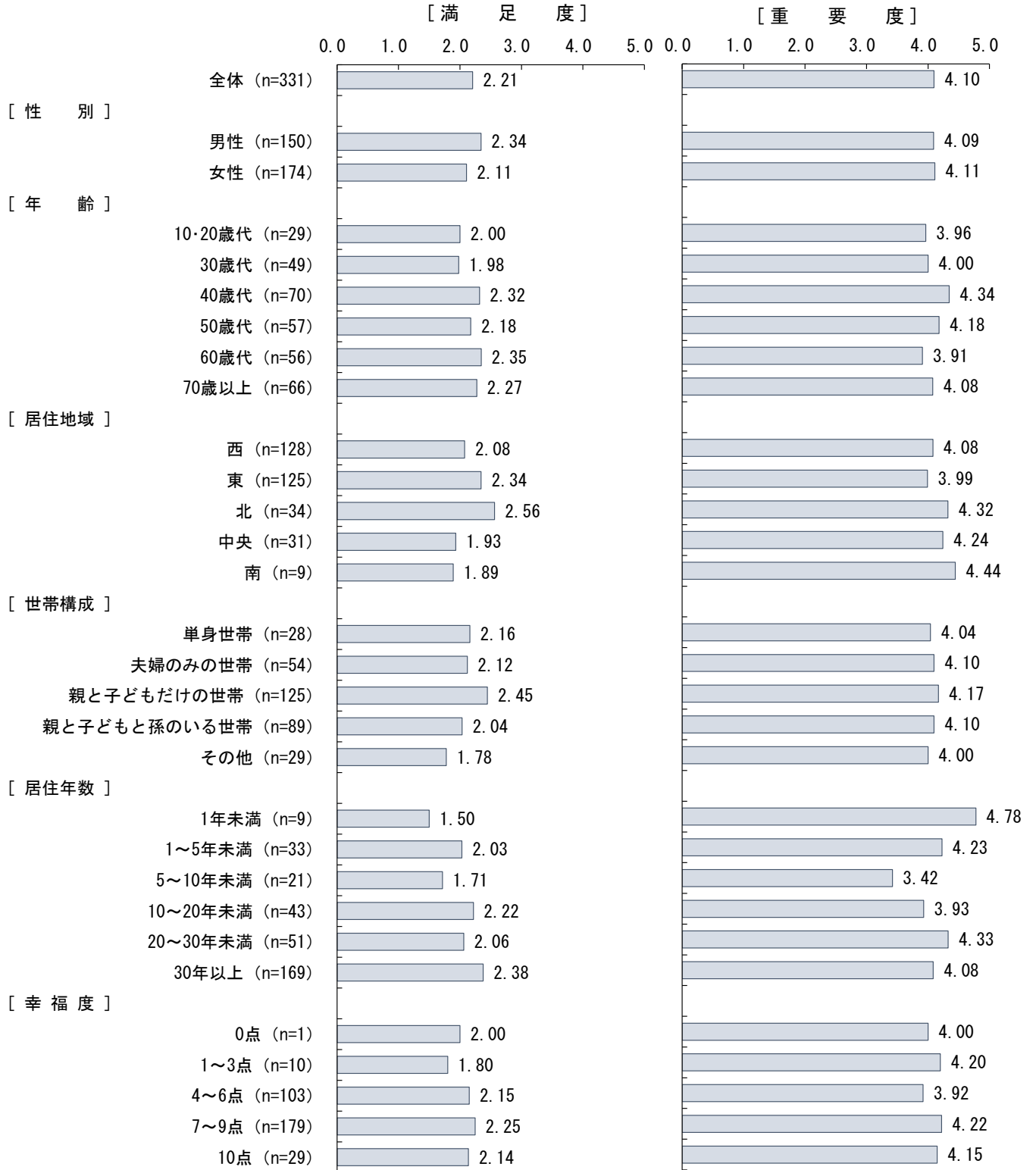
図表 環境美化と環境衛生の推進



※指数化：(「満足している(重要である)」×5+「比較的満足している(比較的重要である)」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である(あまり重要でない)」×2+「不満である(重要でない)」×1+「わからない」×0)÷回答数

(5) 八郎湖の水質改善

図表 八郎湖の水質改善

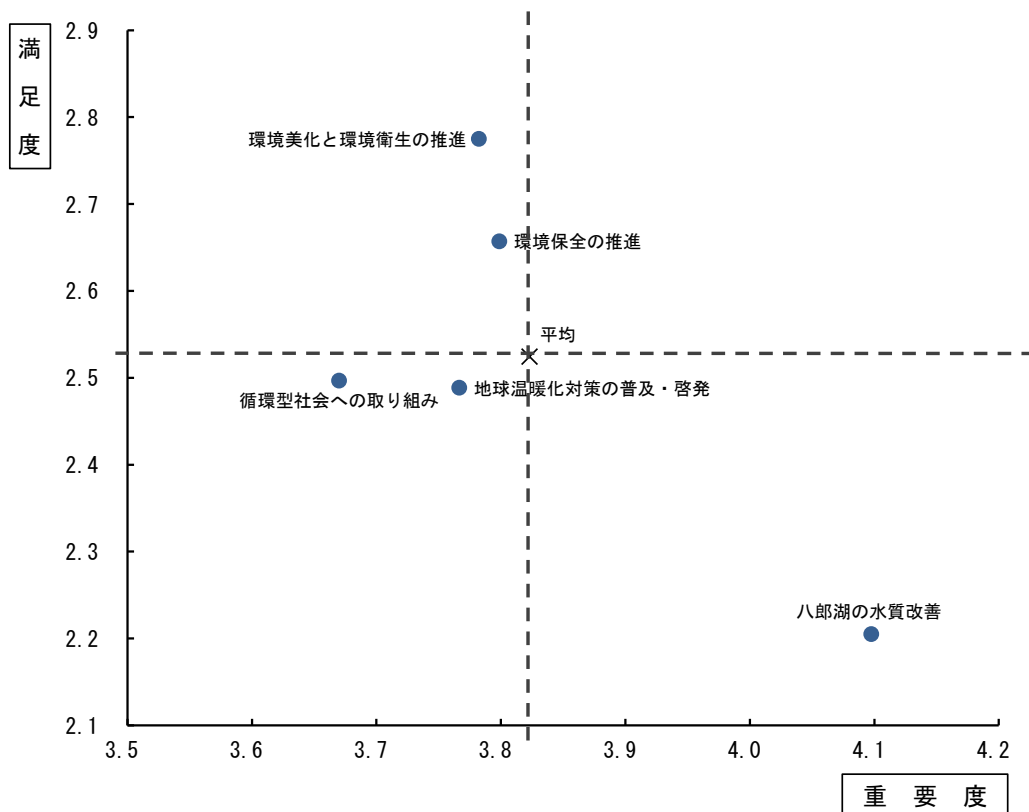


※指数化：(「満足している(重要である)」×5+「比較的満足している(比較的重要である)」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である(あまり重要でない)」×2+「不満である(重要でない)」×1+「わからない」×0)÷回答数

◎環境・エネルギー・衛生について（満足度・重要度）

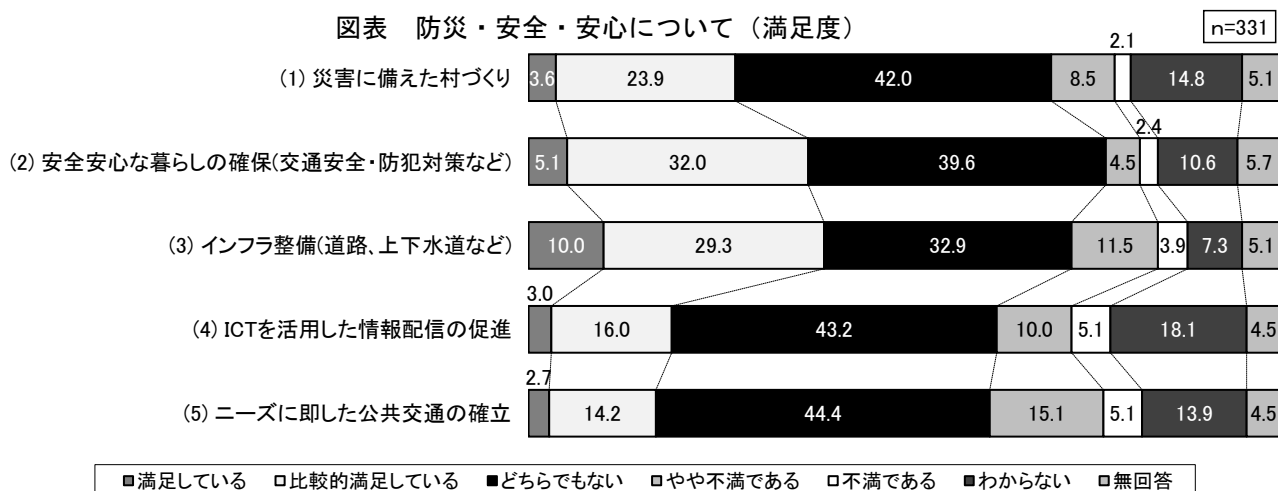
- 環境・エネルギー・衛生に対する満足度・重要度をみると、「八郎湖の水質改善」は満足度が低く、重要度は高いことがわかります。
- 一方で「環境美化と環境衛生の推進」は満足度が高く、重要度は平均的であることが言えます。

図表 環境・エネルギー・衛生について（満足度・重要度）

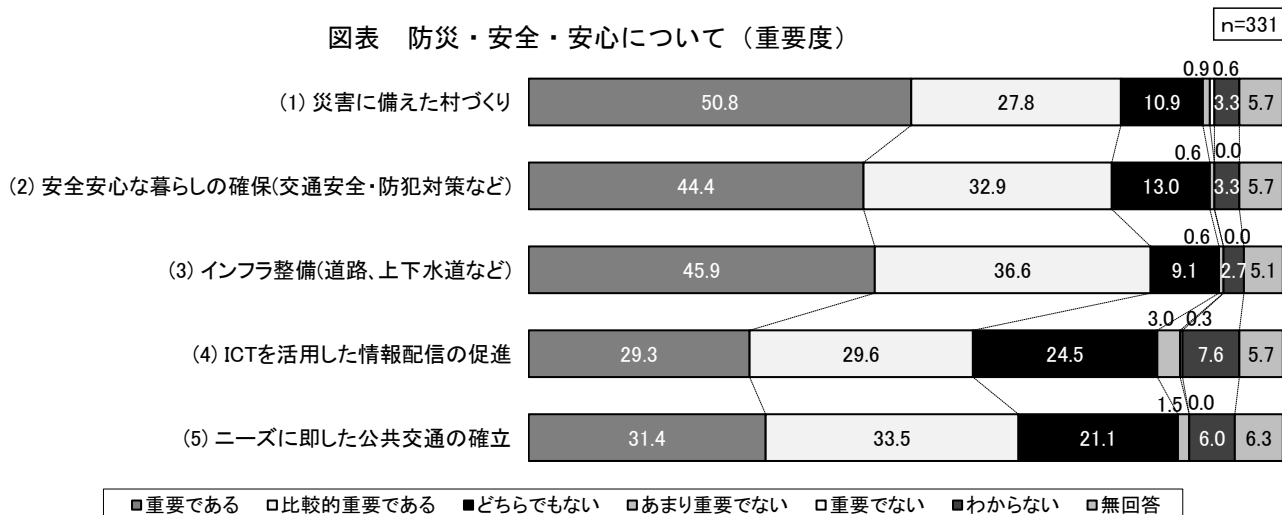


## ⑥防災・安全・安心について（満足度・重要度）

- 防災・安全・安心に対する「満足している」、「比較的満足している」を合わせた割合をみると、「インフラ整備(道路、上下水道など)」(39.3%)、「安全安心な暮らしの確保(交通安全・防犯対策など)」(37.1%)、「災害に備えた村づくり」(27.5%)が上位にあります。
- 防災・安全・安心に対する「やや不満である」、「不満である」を合わせた割合をみると、「ニーズに即した公共交通の確立」(20.2%)、「インフラ整備(道路、上下水道など)」(15.4%)、「ICTを活用した情報配信の促進」(15.1%)が上位にあります。



- 防災・安全・安心に対する「重要である」、「比較的重要である」を合わせた割合をみると、「インフラ整備(道路、上下水道など)」(82.5%)、「災害に備えた村づくり」(78.6%)、「安全安心な暮らしの確保(交通安全・防犯対策など)」(77.3%)が上位にあります。
- 防災・安全・安心に対する「あまり重要でない」、「重要でない」を合わせた割合をみると、「ICTを活用した情報配信の促進」(3.3%)、「ニーズに即した公共交通の確立」(1.5%)、「災害に備えた村づくり」(1.5%)が上位にあります。



◎防災・安全・安心について（満足度）

図表 防災・安全・安心について（満足度）

		(n=331)	
		回答数	構成比
(1) 災害に備えた村づくり	1 満足している	12	3.6%
	2 比較的満足している	79	23.9%
	3 どちらでもない	139	42.0%
	4 やや不満である	28	8.5%
	5 不満である	7	2.1%
	6 わからない	49	14.8%
	無回答	17	5.1%
(2) 安全安心な暮らしの確保(交通安全・防犯対策など)	1 満足している	17	5.1%
	2 比較的満足している	106	32.0%
	3 どちらでもない	131	39.6%
	4 やや不満である	15	4.5%
	5 不満である	8	2.4%
	6 わからない	35	10.6%
	無回答	19	5.7%
(3) インフラ整備(道路、上下水道など)	1 満足している	33	10.0%
	2 比較的満足している	97	29.3%
	3 どちらでもない	109	32.9%
	4 やや不満である	38	11.5%
	5 不満である	13	3.9%
	6 わからない	24	7.3%
	無回答	17	5.1%
(4) ICTを活用した情報配信の促進	1 満足している	10	3.0%
	2 比較的満足している	53	16.0%
	3 どちらでもない	143	43.2%
	4 やや不満である	33	10.0%
	5 不満である	17	5.1%
	6 わからない	60	18.1%
	無回答	15	4.5%
(5) ニーズに即した公共交通の確立	1 満足している	9	2.7%
	2 比較的満足している	47	14.2%
	3 どちらでもない	147	44.4%
	4 やや不満である	50	15.1%
	5 不満である	17	5.1%
	6 わからない	46	13.9%
	無回答	15	4.5%

◎防災・安全・安心について（重要度）

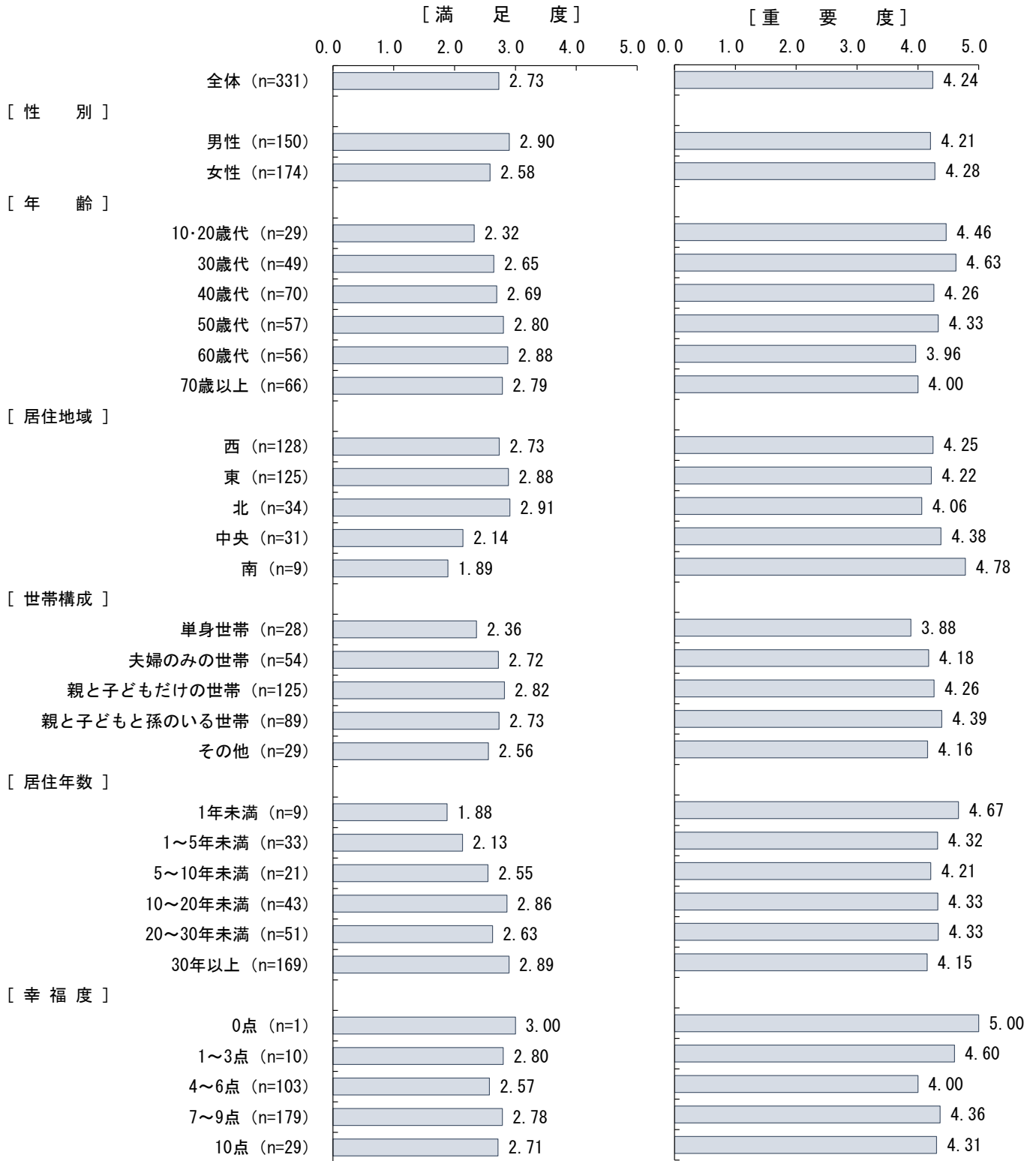
図表 防災・安全・安心について（重要度）

		(n=331)	
		回答数	構成比
(1) 災害に備えた村づくり	1 重要である	168	50.8%
	2 比較的重要である	92	27.8%
	3 どちらでもない	36	10.9%
	4 あまり重要でない	3	0.9%
	5 重要でない	2	0.6%
	6 わからない	11	3.3%
	無回答	19	5.7%
(2) 安全安心な暮らしの確保(交通安全・防犯対策など)	1 重要である	147	44.4%
	2 比較的重要である	109	32.9%
	3 どちらでもない	43	13.0%
	4 あまり重要でない	2	0.6%
	5 重要でない	0	0.0%
	6 わからない	11	3.3%
	無回答	19	5.7%
(3) インフラ整備(道路、上下水道など)	1 重要である	152	45.9%
	2 比較的重要である	121	36.6%
	3 どちらでもない	30	9.1%
	4 あまり重要でない	2	0.6%
	5 重要でない	0	0.0%
	6 わからない	9	2.7%
	無回答	17	5.1%
(4) ICTを活用した情報配信の促進	1 重要である	97	29.3%
	2 比較的重要である	98	29.6%
	3 どちらでもない	81	24.5%
	4 あまり重要でない	10	3.0%
	5 重要でない	1	0.3%
	6 わからない	25	7.6%
	無回答	19	5.7%
(5) ニーズに即した公共交通の確立	1 重要である	104	31.4%
	2 比較的重要である	111	33.5%
	3 どちらでもない	70	21.1%
	4 あまり重要でない	5	1.5%
	5 重要でない	0	0.0%
	6 わからない	20	6.0%
	無回答	21	6.3%

◎ 施策別の満足度・重要度（指数値による属性別比較）

(1) 災害に備えた村づくり

図表 災害に備えた村づくり

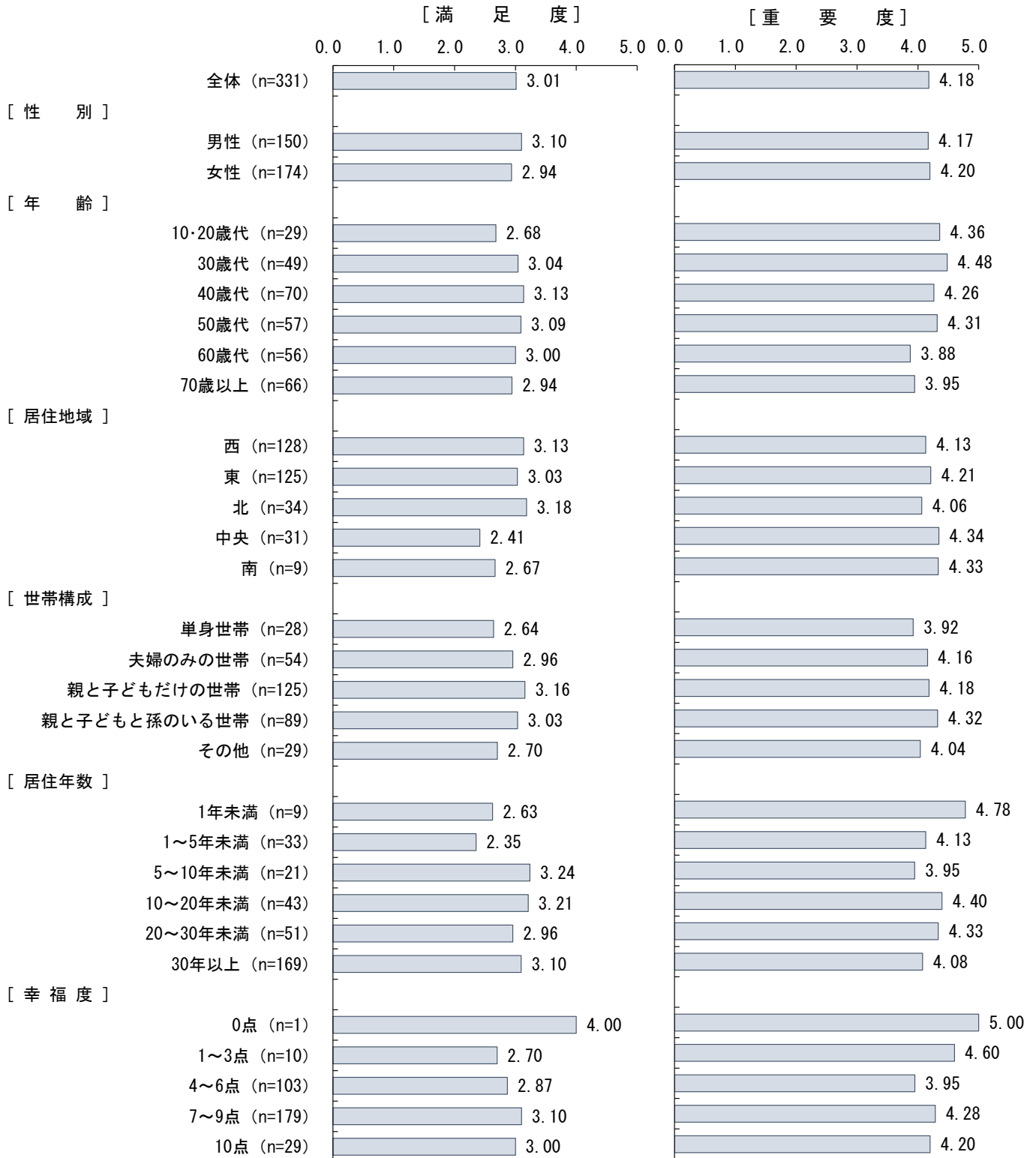


※指数化：（「満足している（重要である）」×5+「比較的満足している（比較的重要である）」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である（あまり重要でない）」×2+「不満である（重要でない）」×1+「わからない」×0）÷回答数



(2) 安全安心な暮らしの確保(交通安全・防犯対策など)

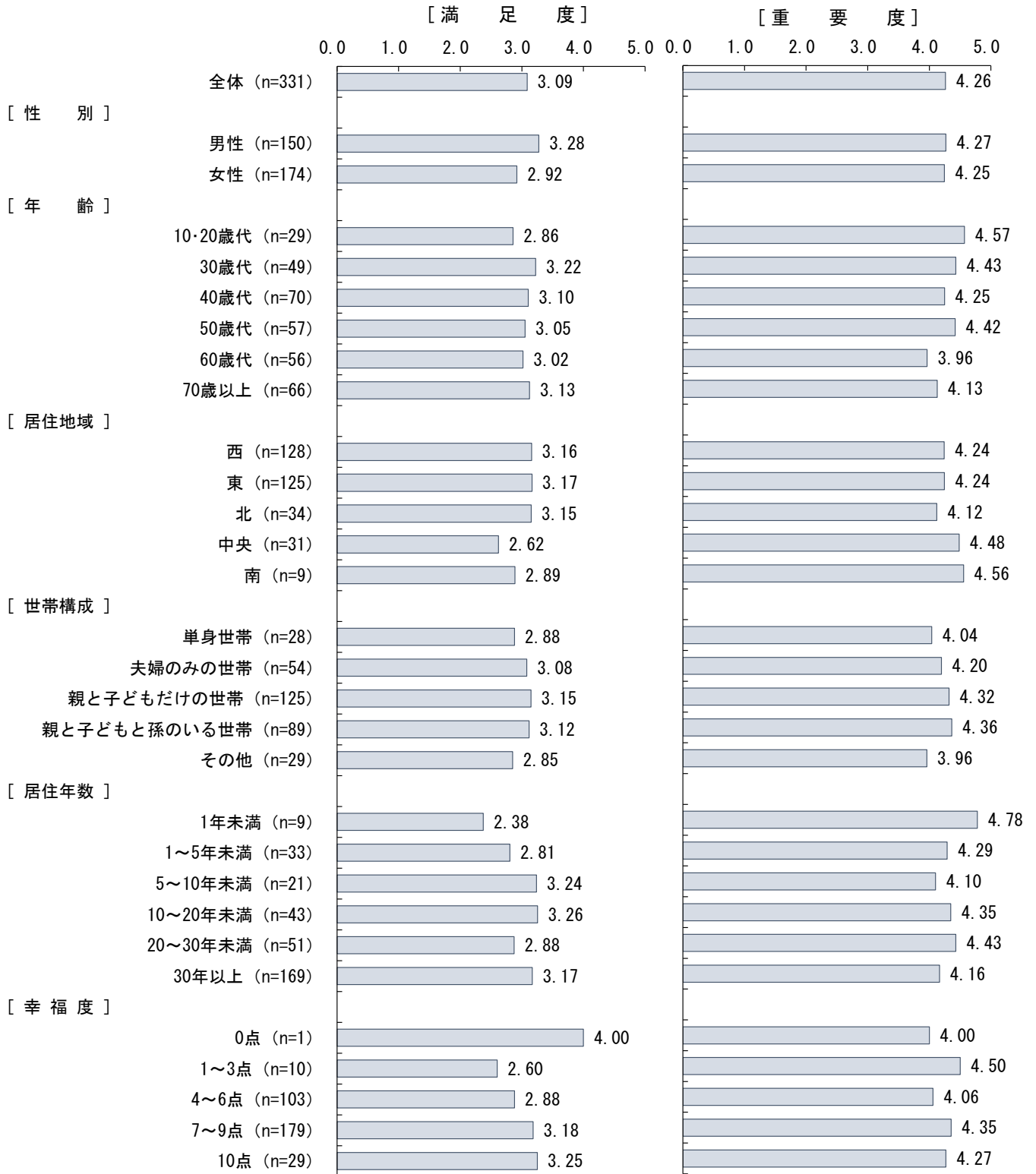
図表 安全安心な暮らしの確保(交通安全・防犯対策など)



※指数化：(「満足している(重要である)」×5+「比較的満足している(比較的重要である)」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である(あまり重要でない)」×2+「不満である(重要でない)」×1+「わからない」×0)÷回答数

(3) インフラ整備(道路、上下水道など)

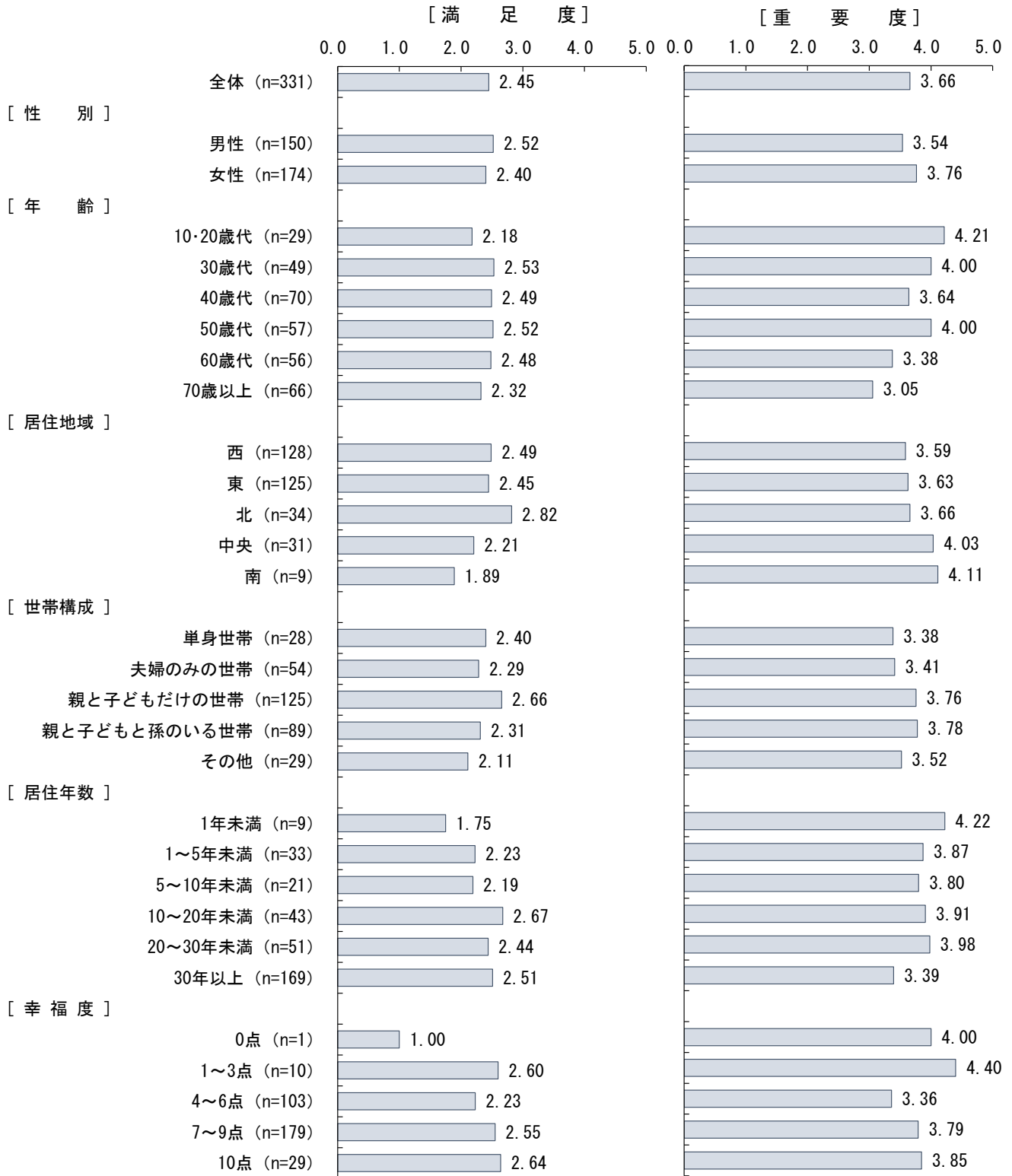
図表 インフラ整備(道路、上下水道など)



※指数化：(「満足している(重要である)」×5+「比較的満足している(比較的重要である)」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である(あまり重要でない)」×2+「不満である(重要でない)」×1+「わからない」×0)÷回答数

#### (4) ICT を活用した情報配信の促進

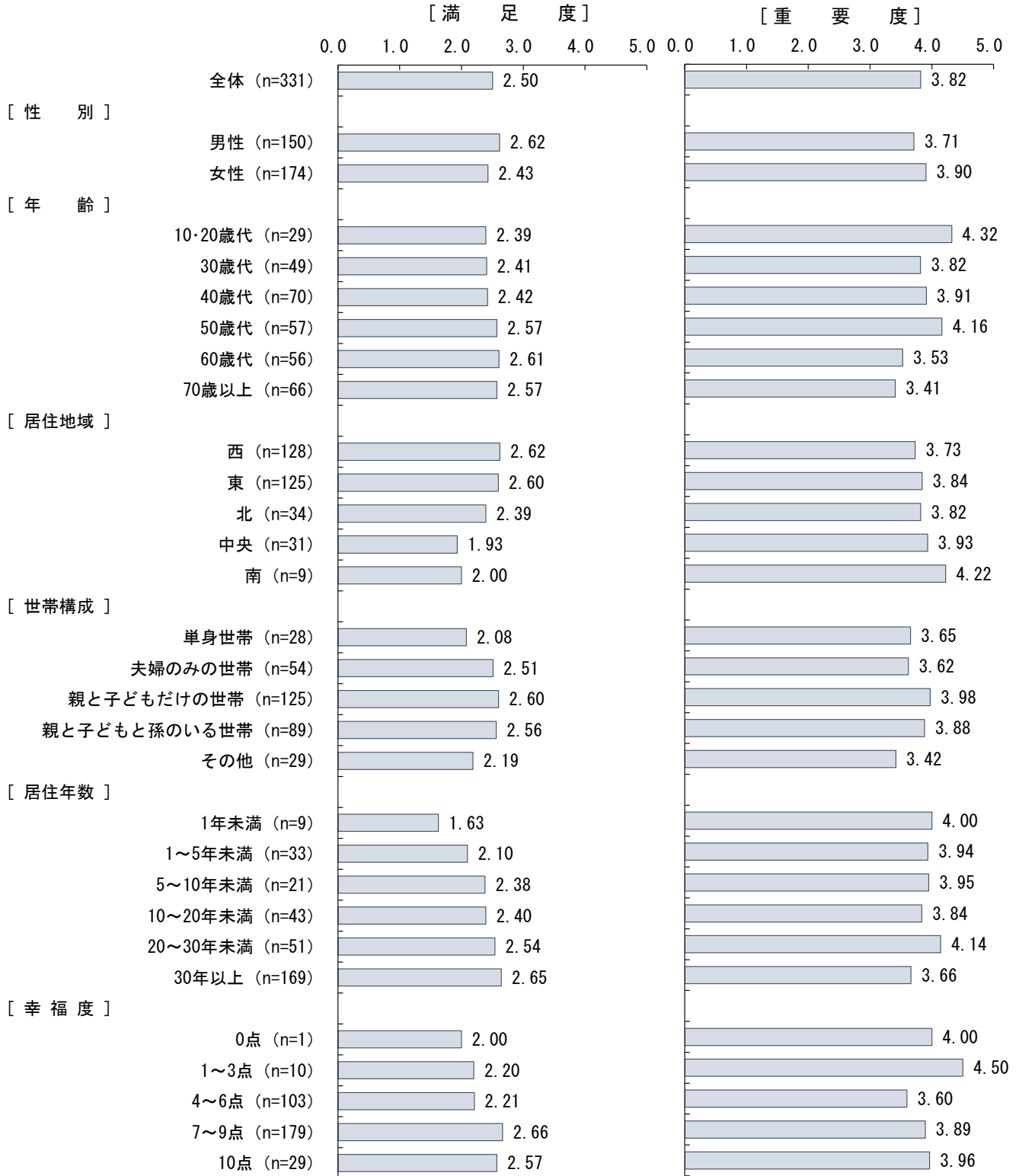
図表 ICT を活用した情報配信の促進



※指数化：(「満足している(重要である)」×5+「比較的満足している(比較的重要である)」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である(あまり重要でない)」×2+「不満である(重要でない)」×1+「わからない」×0)÷回答数

(5) ニーズに即した公共交通の確立

図表 ニーズに即した公共交通の確立

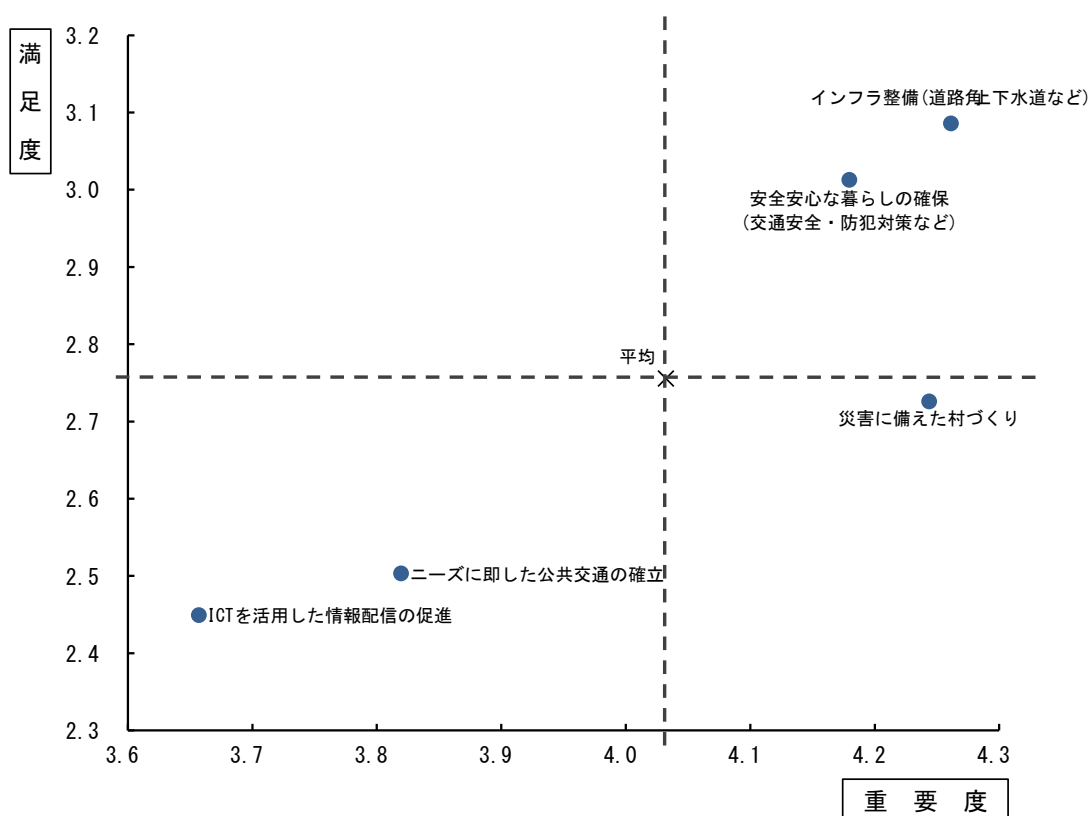


※指数化：(「満足している(重要である)」×5+「比較的満足している(比較的重要である)」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である(あまり重要でない)」×2+「不満である(重要でない)」×1+「わからない」×0)÷回答数

## ◎防災・安全・安心について（満足度・重要度）

- 防災・安全・安心に対する満足度・重要度をみると、「インフラ整備（道路、上下水道など）」が満足度・重要度ともに高いことがわかります。
- 防災・安全・安心に対する満足度・重要度がともに低いのは「ICT を活用した情報配信の促進」であることが言えます。

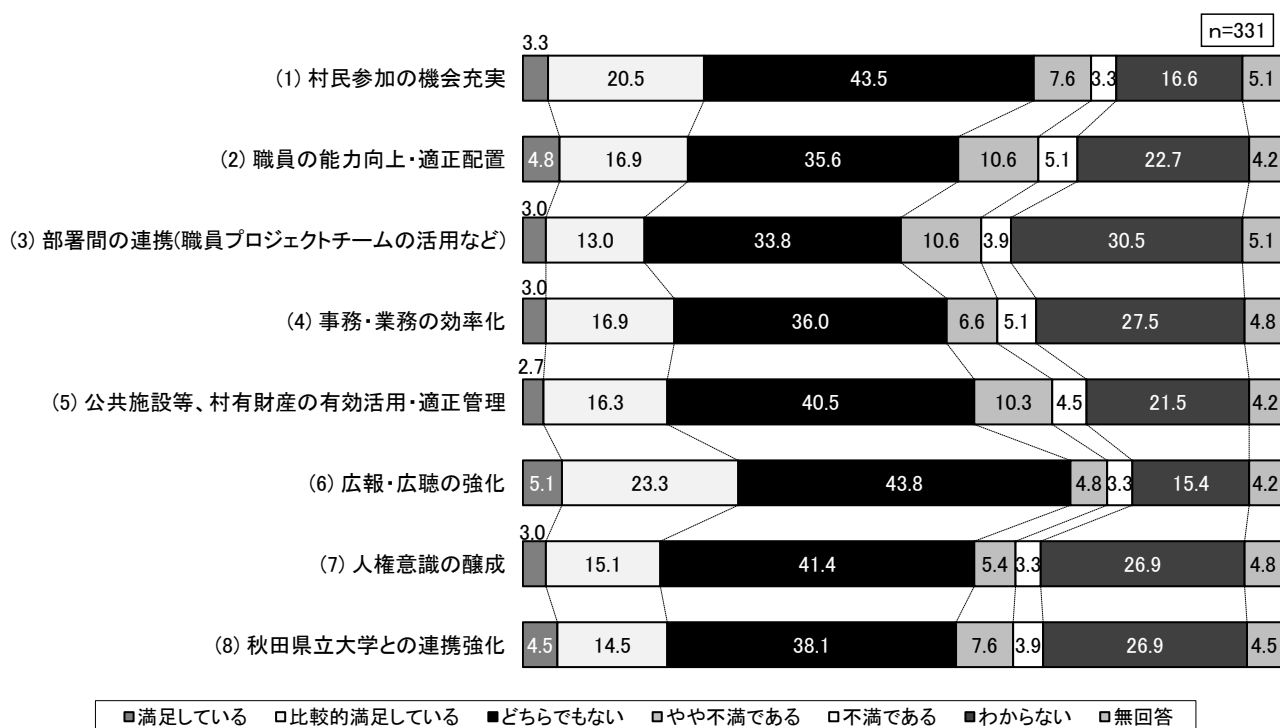
図表 防災・安全・安心について（満足度・重要度）



## ⑦行財政について（満足度・重要度）

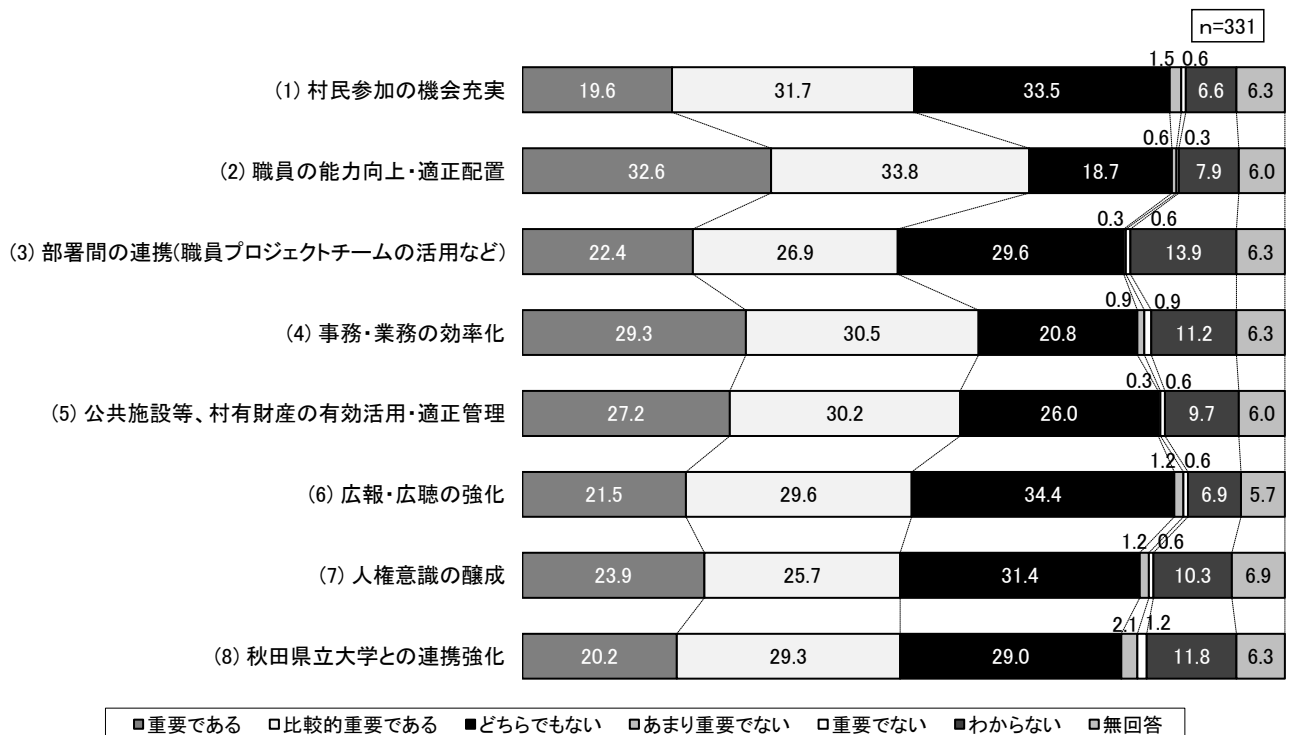
- 行財政に対する「満足している」、「比較的満足している」を合わせた割合をみると、「広報・広聴の強化」（28.4%）、「村民参加の機会充実」（23.8%）、「職員の能力向上・適正配置」（21.7%）が上位にあります。
- 行財政に対する「やや不満である」、「不満である」を合わせた割合をみると、「職員の能力向上・適正配置」（15.7%）、「公共施設等、村有財産の有効活用・適正管理」（14.8%）、「部署間の連携（職員プロジェクトチームの活用など）」（14.5%）が上位にあります。

図表 行財政について（満足度）



- 行財政に対する「重要である」、「比較的重要である」を合わせた割合をみると、「職員の能力向上・適正配置」(66.4%)、「事務・業務の効率化」(59.8%)、「公共施設等、村有財産の有効活用・適正管理」(57.4%)が上位にあります。
- 行財政に対する「あまり重要でない」、「重要でない」を合わせた割合をみると、「秋田県立大学との連携強化」(3.3%)、「村民参加の機会充実」(2.1%)、「事務・業務の効率化」(1.8%)が上位にあります。

図表 行財政について（重要度）



◎行財政について（満足度）

図表 行財政について（満足度）

		(n=331)	
		回答数	構成比
(1) 村民参加の機会充実	1 満足している	11	3.3%
	2 比較的満足している	68	20.5%
	3 どちらでもない	144	43.5%
	4 やや不満である	25	7.6%
	5 不満である	11	3.3%
	6 わからない	55	16.6%
	無回答	17	5.1%
(2) 職員の能力向上・適正配置	1 満足している	16	4.8%
	2 比較的満足している	56	16.9%
	3 どちらでもない	118	35.6%
	4 やや不満である	35	10.6%
	5 不満である	17	5.1%
	6 わからない	75	22.7%
	無回答	14	4.2%
(3) 部署間の連携（職員プロジェクトチームの活用など）	1 満足している	10	3.0%
	2 比較的満足している	43	13.0%
	3 どちらでもない	112	33.8%
	4 やや不満である	35	10.6%
	5 不満である	13	3.9%
	6 わからない	101	30.5%
	無回答	17	5.1%
(4) 事務・業務の効率化	1 満足している	10	3.0%
	2 比較的満足している	56	16.9%
	3 どちらでもない	119	36.0%
	4 やや不満である	22	6.6%
	5 不満である	17	5.1%
	6 わからない	91	27.5%
	無回答	16	4.8%
(5) 公共施設等、村有財産の有効活用・適正管理	1 満足している	9	2.7%
	2 比較的満足している	54	16.3%
	3 どちらでもない	134	40.5%
	4 やや不満である	34	10.3%
	5 不満である	15	4.5%
	6 わからない	71	21.5%
	無回答	14	4.2%



		回答数	構成比
(6) 広報・広聴の強化	1 満足している	17	5.1%
	2 比較的満足している	77	23.3%
	3 どちらでもない	145	43.8%
	4 やや不満である	16	4.8%
	5 不満である	11	3.3%
	6 わからない	51	15.4%
	無回答	14	4.2%
(7) 人権意識の醸成	1 満足している	10	3.0%
	2 比較的満足している	50	15.1%
	3 どちらでもない	137	41.4%
	4 やや不満である	18	5.4%
	5 不満である	11	3.3%
	6 わからない	89	26.9%
	無回答	16	4.8%
(8) 秋田県立大学との連携強化	1 満足している	15	4.5%
	2 比較的満足している	48	14.5%
	3 どちらでもない	126	38.1%
	4 やや不満である	25	7.6%
	5 不満である	13	3.9%
	6 わからない	89	26.9%
	無回答	15	4.5%

## ◎行財政について（重要度）

図表 行財政について（重要度）

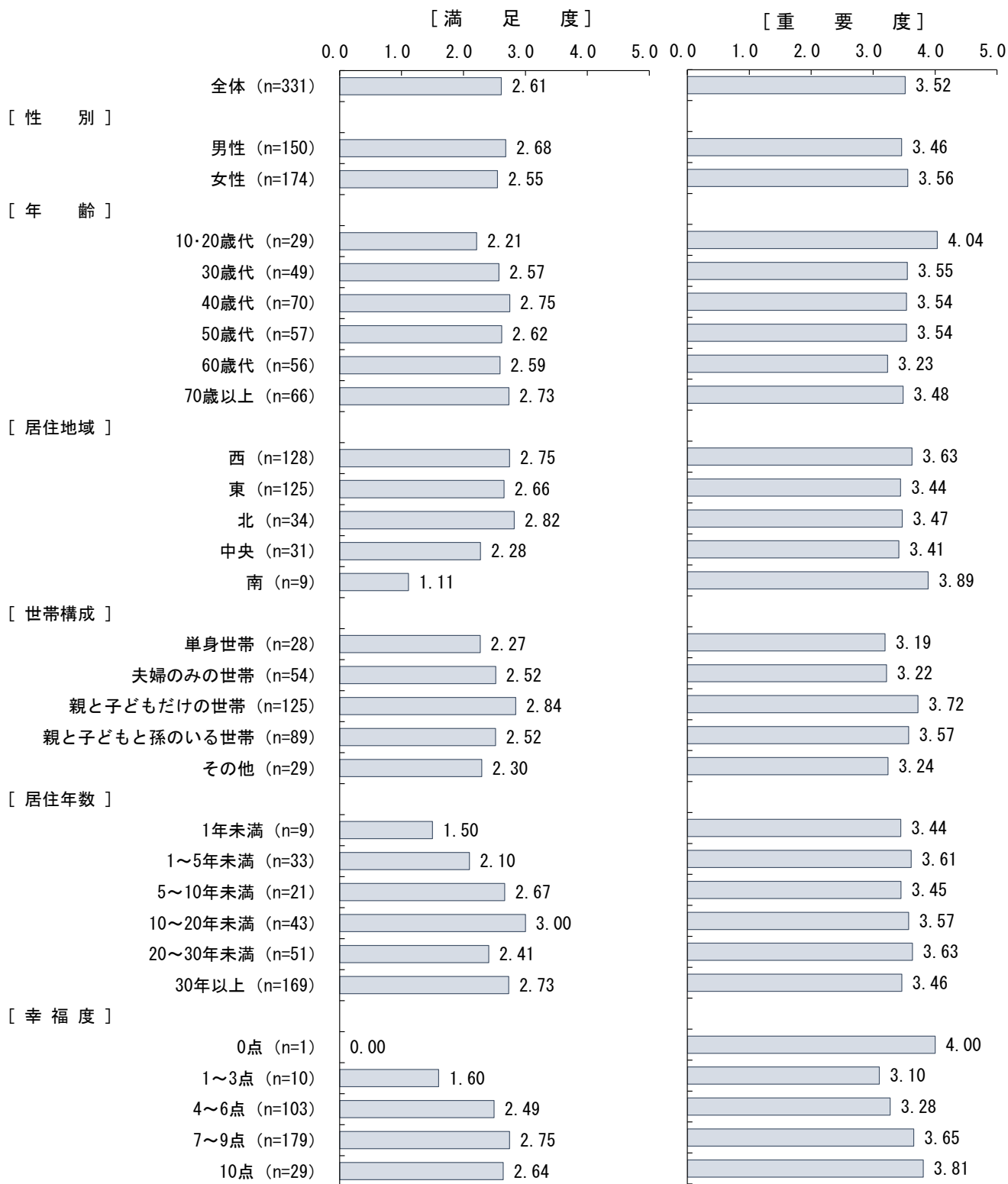
		(n=331)	
		回答数	構成比
(1) 村民参加の機会充実	1 重要である	65	19.6%
	2 比較的重要である	105	31.7%
	3 どちらでもない	111	33.5%
	4 あまり重要でない	5	1.5%
	5 重要でない	2	0.6%
	6 わからない	22	6.6%
	無回答	21	6.3%
	(2) 職員の能力向上・適正配置	1 重要である	108
2 比較的重要である		112	33.8%
3 どちらでもない		62	18.7%
4 あまり重要でない		2	0.6%
5 重要でない		1	0.3%
6 わからない		26	7.9%
無回答		20	6.0%
(3) 部署間の連携（職員プロジェクトチームの活用など）		1 重要である	74
	2 比較的重要である	89	26.9%
	3 どちらでもない	98	29.6%
	4 あまり重要でない	1	0.3%
	5 重要でない	2	0.6%
	6 わからない	46	13.9%
	無回答	21	6.3%
	(4) 事務・業務の効率化	1 重要である	97
2 比較的重要である		101	30.5%
3 どちらでもない		69	20.8%
4 あまり重要でない		3	0.9%
5 重要でない		3	0.9%
6 わからない		37	11.2%
無回答		21	6.3%
(5) 公共施設等、村有財産の有効活用・適正管理		1 重要である	90
	2 比較的重要である	100	30.2%
	3 どちらでもない	86	26.0%
	4 あまり重要でない	1	0.3%
	5 重要でない	2	0.6%
	6 わからない	32	9.7%
	無回答	20	6.0%

		回答数	構成比
(6) 広報・広聴の強化	1 重要である	71	21.5%
	2 比較的重要である	98	29.6%
	3 どちらでもない	114	34.4%
	4 あまり重要でない	4	1.2%
	5 重要でない	2	0.6%
	6 わからない	23	6.9%
	無回答	19	5.7%
(7) 人権意識の醸成	1 重要である	79	23.9%
	2 比較的重要である	85	25.7%
	3 どちらでもない	104	31.4%
	4 あまり重要でない	4	1.2%
	5 重要でない	2	0.6%
	6 わからない	34	10.3%
	無回答	23	6.9%
(8) 秋田県立大学との連携強化	1 重要である	67	20.2%
	2 比較的重要である	97	29.3%
	3 どちらでもない	96	29.0%
	4 あまり重要でない	7	2.1%
	5 重要でない	4	1.2%
	6 わからない	39	11.8%
	無回答	21	6.3%

◎ 施策別の満足度・重要度（指数値による属性別比較）

(1) 村民参加の機会充実

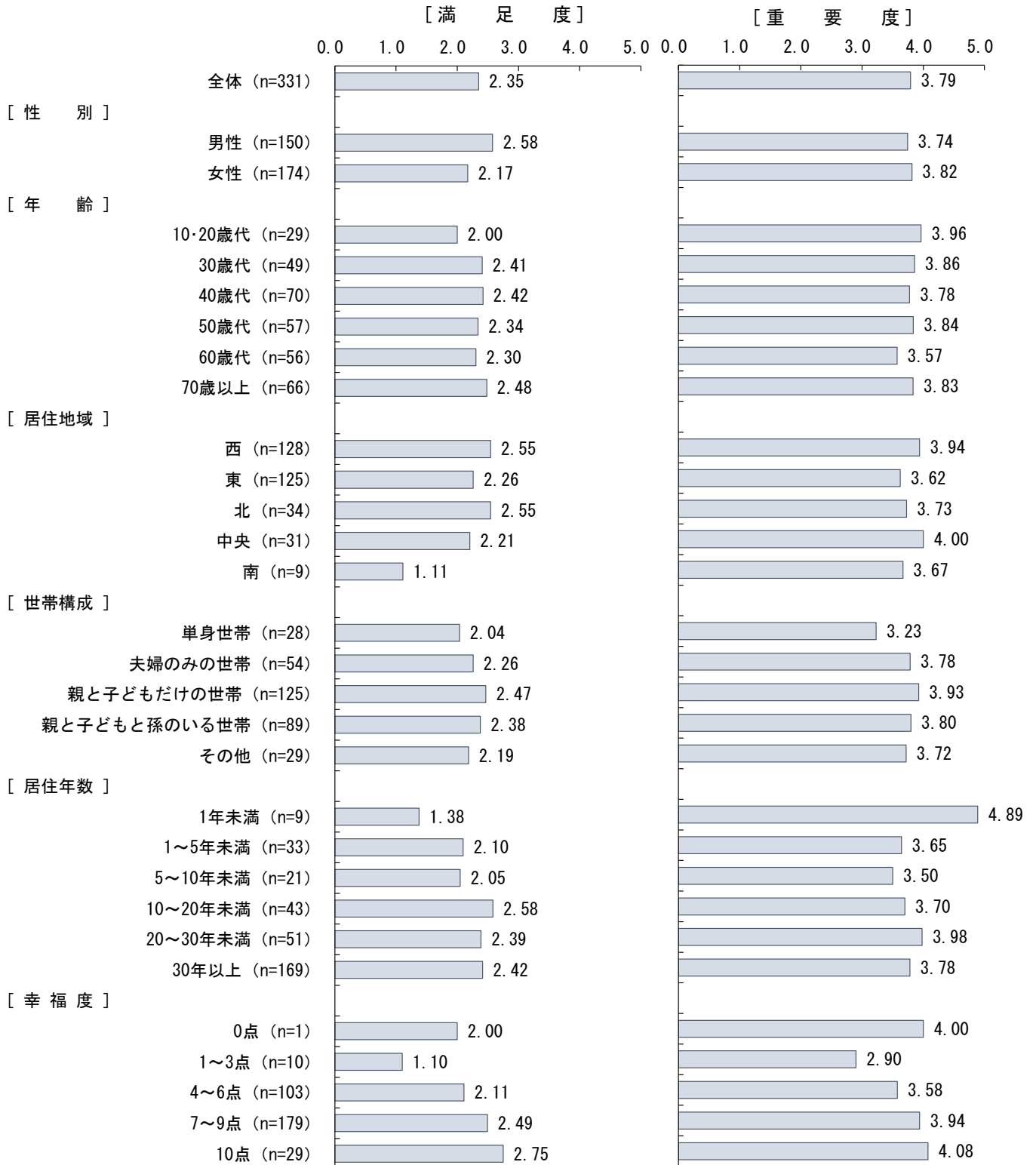
図表 村民参加の機会充実



※指数化：（「満足している（重要である）」×5+「比較的満足している（比較的重要である）」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である（あまり重要でない）」×2+「不満である（重要でない）」×1+「わからない」×0）÷回答数

## (2) 職員の能力向上・適正配置

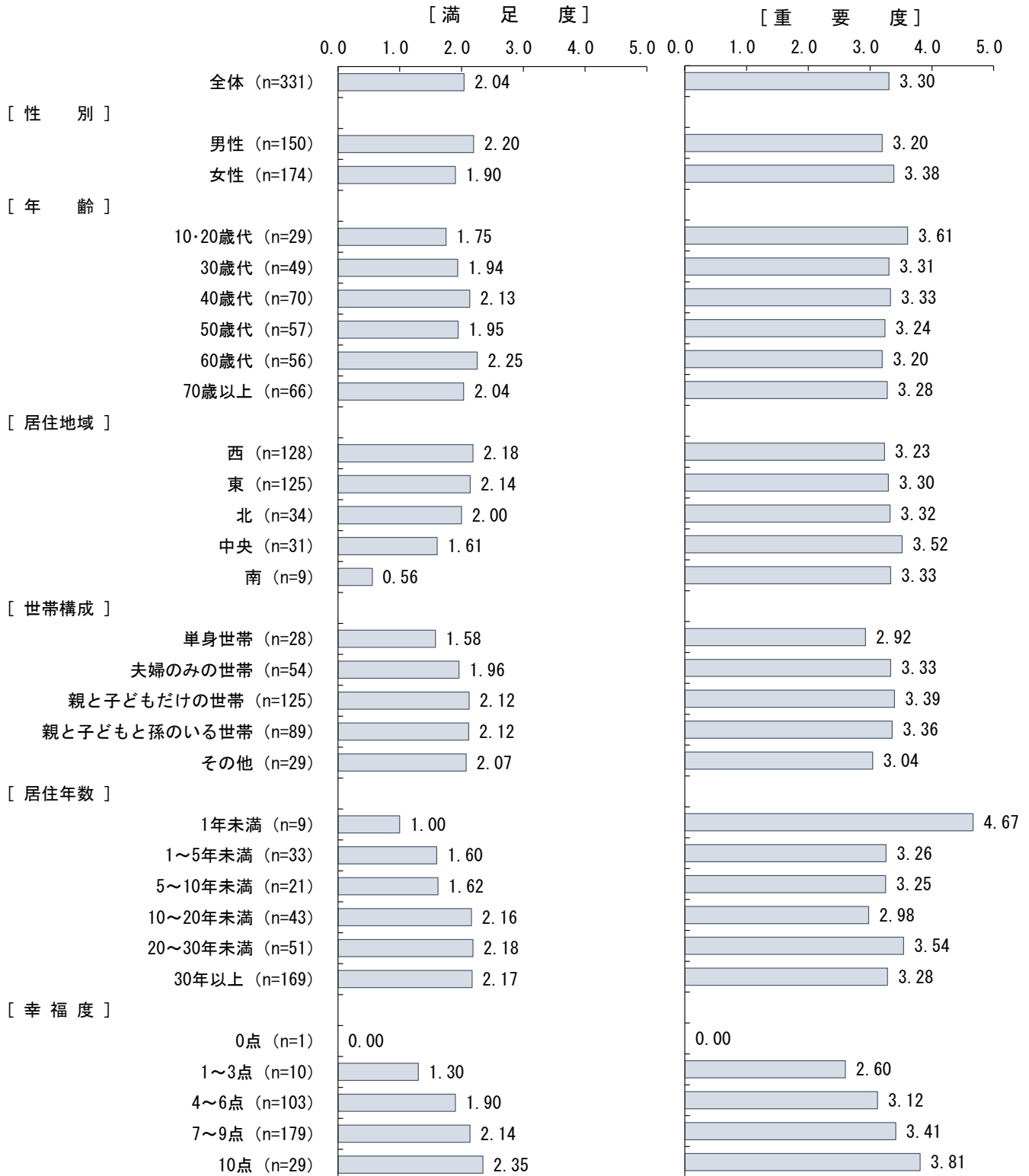
図表 職員の能力向上・適正配置



※指数化：(「満足している(重要である)」×5+「比較的満足している(比較的重要である)」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である(あまり重要でない)」×2+「不満である(重要でない)」×1+「わからない」×0)÷回答数

### (3) 部署間の連携（職員プロジェクトチームの活用など）

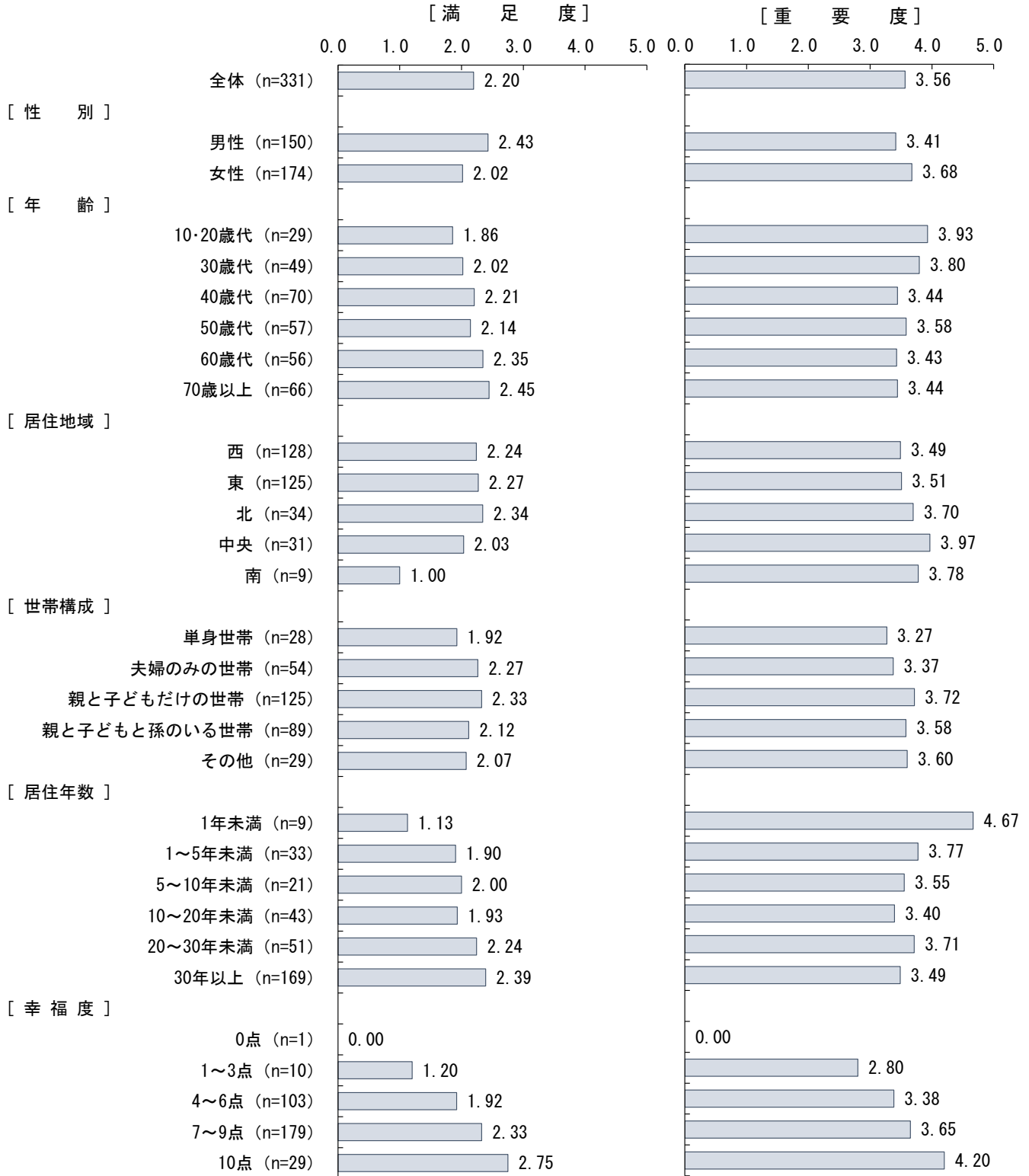
図表 部署間の連携（職員プロジェクトチームの活用など）



※指数化：（「満足している（重要である）」×5+「比較的満足している（比較的重要である）」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である（あまり重要でない）」×2+「不満である（重要でない）」×1+「わからない」×0）÷回答数

#### (4) 事務・業務の効率化

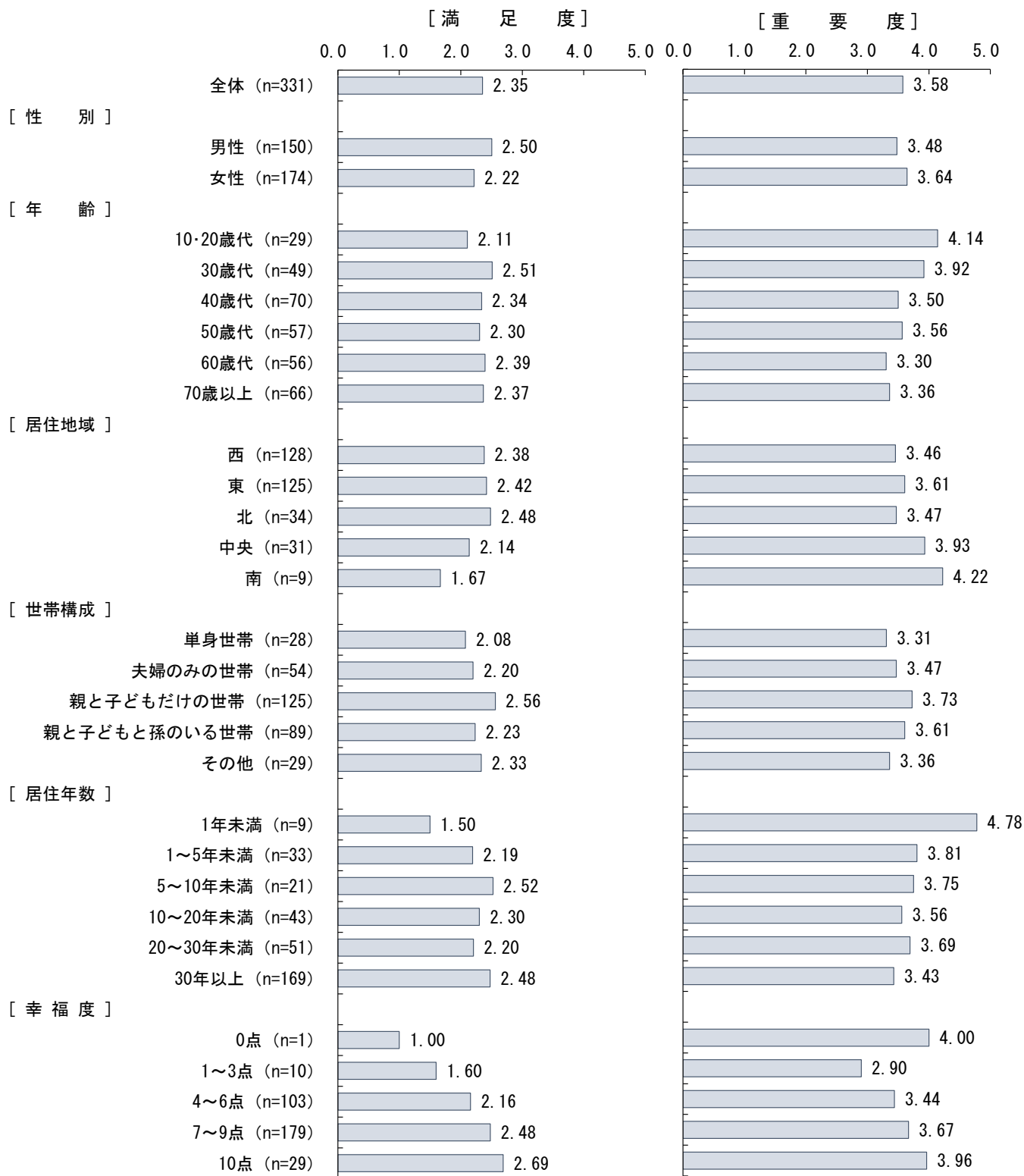
図表 事務・業務の効率化



※指数化：(「満足している(重要である)」×5+「比較的満足している(比較的重要である)」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である(あまり重要でない)」×2+「不満である(重要でない)」×1+「わからない」×0)÷回答数

## (5) 公共施設等、村有財産の有効活用・適正管理

図表 公共施設等、村有財産の有効活用・適正管理

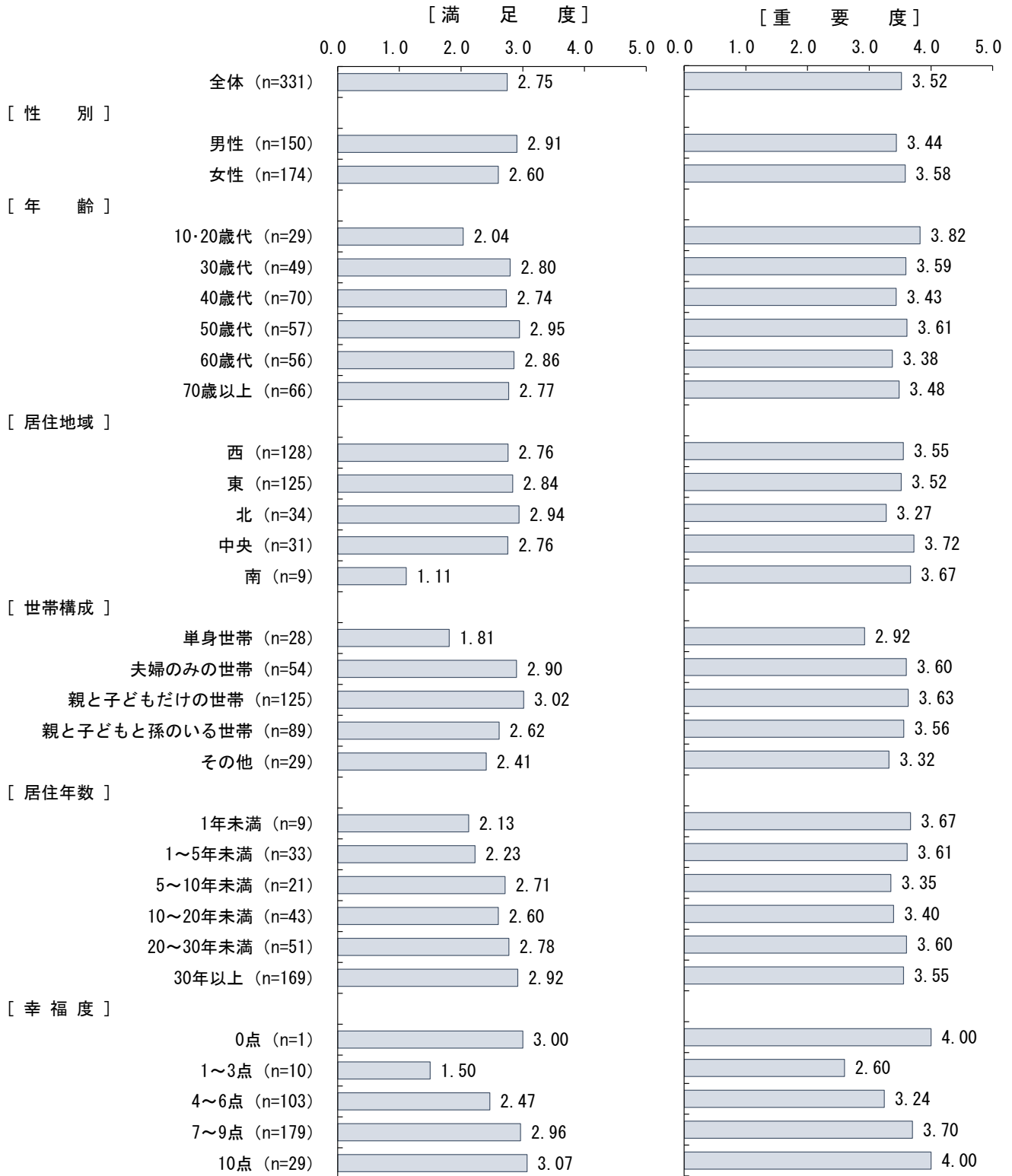


※指数化：(「満足している(重要である)」×5+「比較的満足している(比較的重要である)」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である(あまり重要でない)」×2+「不満である(重要でない)」×1+「わからない」×0)÷回答数



(6) 広報・広聴の強化

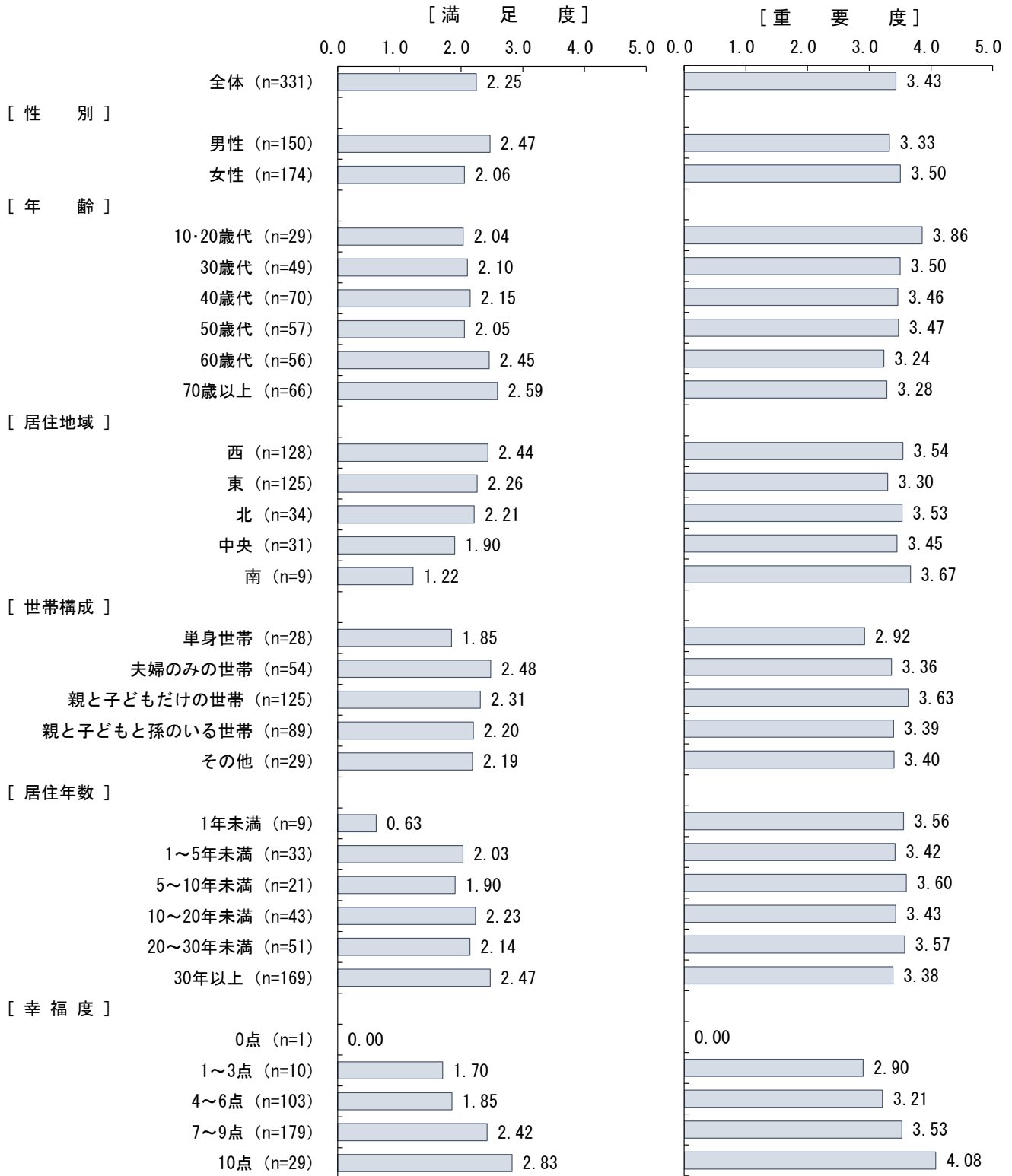
図表 広報・広聴の強化



※指数化：(「満足している(重要である)」×5+「比較的満足している(比較的重要である)」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である(あまり重要でない)」×2+「不満である(重要でない)」×1+「わからない」×0)÷回答数

(7) 人権意識の醸成

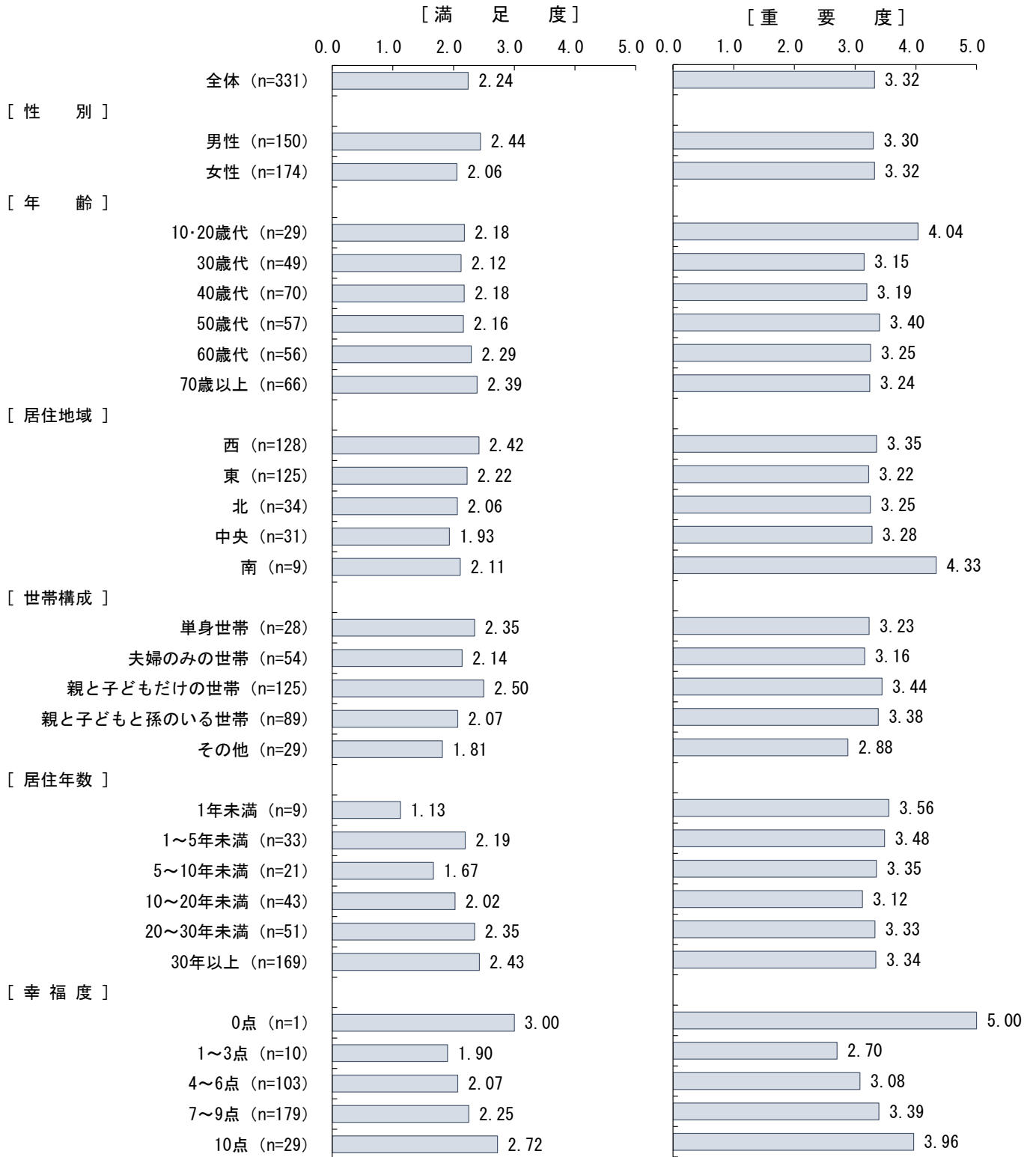
図表 人権意識の醸成



※指数化：(「満足している(重要である)」×5+「比較的満足している(比較的重要である)」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である(あまり重要でない)」×2+「不満である(重要でない)」×1+「わからない」×0)÷回答数

(8) 秋田県立大学との連携強化

図表 秋田県立大学との連携強化

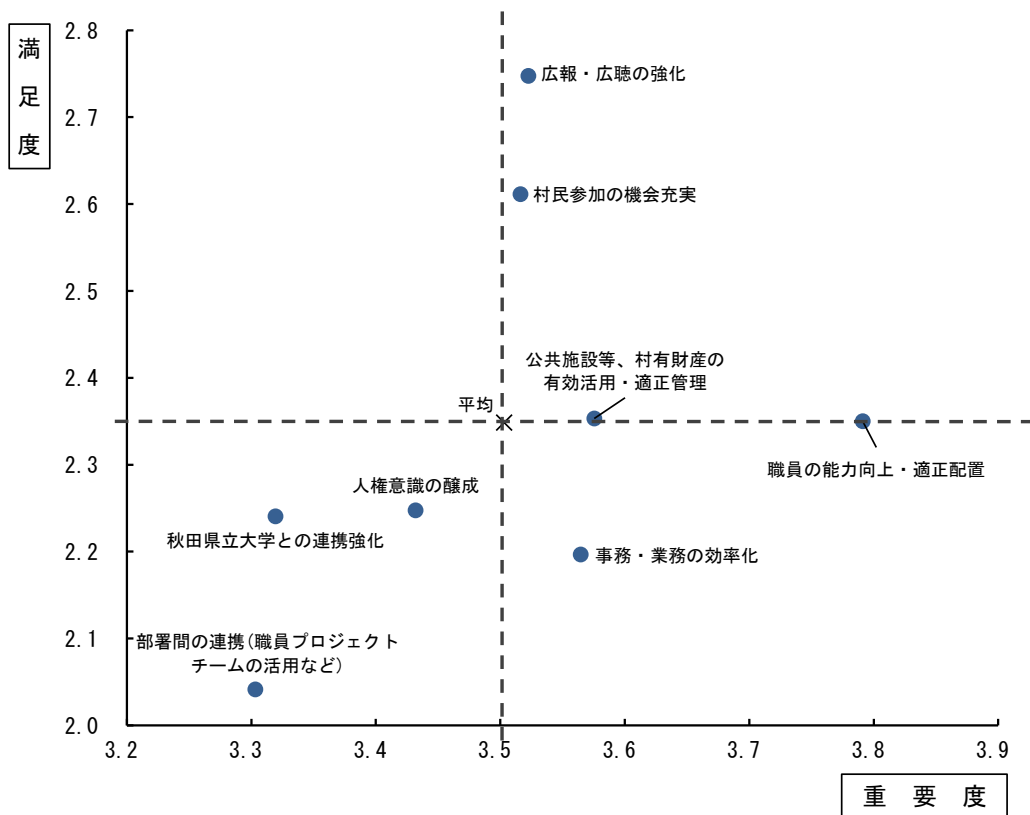


※指数化：(「満足している(重要である)」×5+「比較的満足している(比較的重要である)」×4+「どちらでもない」×3+「やや不満である(あまり重要でない)」×2+「不満である(重要でない)」×1+「わからない」×0)÷回答数

◎行財政について（満足度・重要度）

- 行財政に対する満足度・重要度をみると、「広報・広聴の強化」の満足度が高く、重要度は平均的であることがわかります。一方で「職員の能力向上・適正配置」は重要度が高く、満足度は平均的であることが言えます。
- 行財政に対する満足度・重要度がともに低いのは「部署間の連携（職員プロジェクトチームの活用など）」であることがわかります。

図表 行財政について（満足度・重要度）



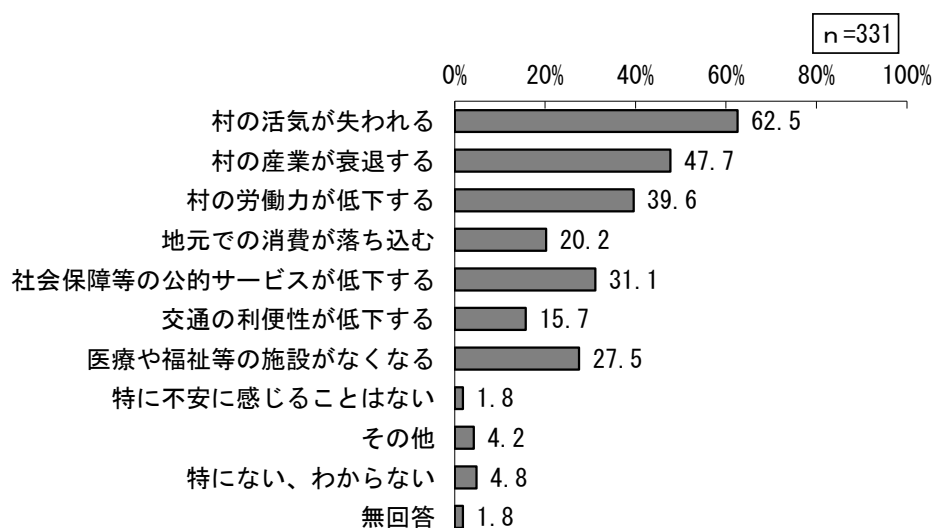
## Ⅱ-4 人口減少の抑制・定住促進への取り組みについて

### (1) 人口減少への不安について

問 村の令和3年5月1日現在の住民基本台帳人口は3,104人ですが、国の研究機関における推計では、大潟村の人口は今後減少するとされています。あなたは人口が減少することにより、どのようなことに不安を感じますか。【3つまでに○】

- 人口減少への不安では「村の活気が失われる」が62.5%と最も多く、「村の産業が衰退する」が47.7%、「村の労働力が低下する」が39.6%と続いています。

図表 人口減少への不安について



(n=331)		
	回答数	構成比
1 村の活気が失われる	207	62.5%
2 村の産業が衰退する	158	47.7%
3 村の労働力が低下する	131	39.6%
4 地元での消費が落ち込む	67	20.2%
5 社会保障等の公的サービスが低下する	103	31.1%
6 交通の利便性が低下する	52	15.7%
7 医療や福祉等の施設がなくなる	91	27.5%
8 特に不安に感じることはない	6	1.8%
9 その他	14	4.2%
10 特にない、わからない	16	4.8%
無回答	6	1.8%

- 人口減少への不安を性別・年齢別にみると、回答全体と同様に、「村の活気が失わ

れる」、「村の産業が衰退する」、「村の労働力が低下する」を上位に挙げています。そのほか、男性では「社会保障等の公的サービスが低下する」、70歳以上では「社会保障等の公的サービスが低下する」と「医療や福祉等の施設がなくなる」をそれぞれ上位に挙げています。

図表 人口減少への不安について（性別・年齢別：上位3項目）

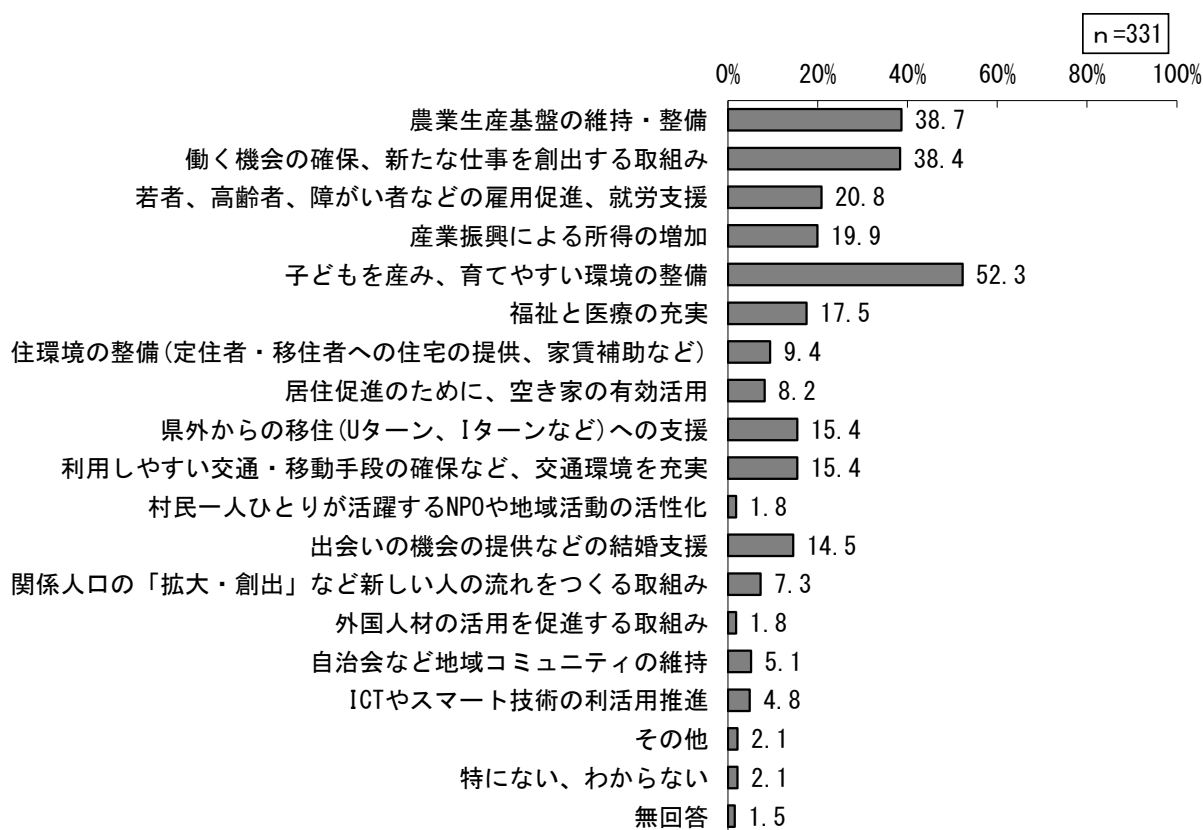
	第1位	第2位	第3位
男性 (n=150)	村の活気が失われる 66.7%	村の産業が衰退する 45.3%	社会保障等の公的サービスが低下する 34.0%
女性 (n=174)	村の活気が失われる 60.3%	村の産業が衰退する 49.4%	村の労働力が低下する 48.3%
10・20歳代 (n=29)	村の活気が失われる 79.3%	村の労働力が低下する 44.8%	村の産業が衰退する 41.4%
30歳代 (n=49)	村の産業が衰退する 61.2%	村の活気が失われる 55.1%	村の労働力が低下する 44.9%
40歳代 (n=70)	村の活気が失われる 67.1%	村の産業が衰退する 45.7%	村の労働力が低下する 44.3%
50歳代 (n=57)	村の活気が失われる 50.9%	村の労働力が低下する 40.4%	村の産業が衰退する 36.8%
60歳代 (n=56)	村の活気が失われる 64.3%	村の産業が衰退する 62.5%	村の労働力が低下する 32.1%
70歳以上 (n=66)	村の活気が失われる 66.7%	社会保障等の公的サービスが低下する 47.0%	医療や福祉等の施設がなくなる 43.9%

## (2) 「人口減少社会における取り組み」として特に重要なことについて

問 「人口減少社会における取り組み」として、特に重要なことは何だと考えますか。  
【3つまでに○】

- 「人口減少社会における取り組み」として特に重要なことでは、「子どもを産み、育てやすい環境の整備」が 52.3%と最も多く、「農業生産基盤の維持・整備」が 38.7%、「働く機会の確保、新たな仕事を創出する取り組み」が 38.4%と続いています。

図表 「人口減少社会における取り組み」として特に重要なことについて



(n=331)		
	回答数	構成比
1 農業生産基盤の維持・整備	128	38.7%
2 働く機会の確保、新たな仕事を創出する取組み	127	38.4%
3 若者、高齢者、障がい者などの雇用促進、就労支援	69	20.8%
4 産業振興による所得の増加	66	19.9%
5 子どもを産み、育てやすい環境の整備	173	52.3%
6 福祉と医療の充実	58	17.5%
7 住環境の整備（定住者・移住者への住宅の提供、家賃補助など）	31	9.4%
8 居住促進のために、空き家の有効活用	27	8.2%
9 県外からの移住（Uターン、Iターンなど）への支援	51	15.4%
10 利用しやすい交通・移動手段の確保など、交通環境を充実	51	15.4%
11 村民一人ひとりが活躍する NPO や地域活動の活性化	6	1.8%
12 出会いの機会の提供などの結婚支援	48	14.5%
13 関係人口の「拡大・創出」など新しい人の流れをつくる取組み	24	7.3%
14 外国人材の活用を促進する取組み	6	1.8%
15 自治会など地域コミュニティの維持	17	5.1%
16 ICT やスマート技術の利活用推進	16	4.8%
17 その他	7	2.1%
18 特にない、わからない	7	2.1%
無回答	5	1.5%



- 「人口減少社会における取り組み」として特に重要なことを性別・年齢別にみると、回答全体と同様に、「子どもを産み、育てやすい環境の整備」、「農業生産基盤の維持・整備」、「働く機会の確保、新たな仕事を創出する取組み」を上位に挙げています。そのほか、10・20歳代では「若者、高齢者、障がい者などの雇用促進、就労支援」と「利用しやすい交通・移動手段の確保など、交通環境を充実」を上位に挙げています。

図表 「人口減少社会における取り組み」として特に重要なことについて  
(性別・年齢別：上位3項目)

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=150)	子どもを産み、育てやすい環境の整備 53.3%	働く機会の確保、新たな仕事を創出する取組み 40.0%	農業生産基盤の維持・整備 38.7%
女性 (n=174)	子どもを産み、育てやすい環境の整備 52.3%	農業生産基盤の維持・整備 38.5%	働く機会の確保、新たな仕事を創出する取組み 36.8%
10・20歳代 (n=29)	子どもを産み、育てやすい環境の整備 55.2%	若者、高齢者、障がい者などの雇用促進、就労支援 31.0%	農業生産基盤の維持・整備・働く機会の確保、新たな仕事を創出する取組み・利用しやすい交通・移動手段の確保など、交通環境を充実 27.6%
30歳代 (n=49)	子どもを産み、育てやすい環境の整備 69.4%	働く機会の確保、新たな仕事を創出する取組み 46.9%	農業生産基盤の維持・整備 32.7%
40歳代 (n=70)	子どもを産み、育てやすい環境の整備 57.1%	働く機会の確保、新たな仕事を創出する取組み 45.7%	農業生産基盤の維持・整備 42.9%
50歳代 (n=57)	子どもを産み、育てやすい環境の整備 43.9%	働く機会の確保、新たな仕事を創出する取組み 36.8%	農業生産基盤の維持・整備 31.6%
60歳代 (n=56)	農業生産基盤の維持・整備 50.0%	子どもを産み、育てやすい環境の整備 41.1%	働く機会の確保、新たな仕事を創出する取組み 39.3%
70歳以上 (n=66)	子どもを産み、育てやすい環境の整備 53.0%	農業生産基盤の維持・整備 39.4%	働く機会の確保、新たな仕事を創出する取組み 31.8%

### (3) 移住の勧めについて

問 あなたは、村外で暮らしている友人・知人に大湊村への移住を勧めたいと思いますか。「必ず勧める」を「10」、「絶対勧めない」を「0」とすると、何点くらいになるか、理由もあわせてお聞かせください。【1つに○ 理由を記入】

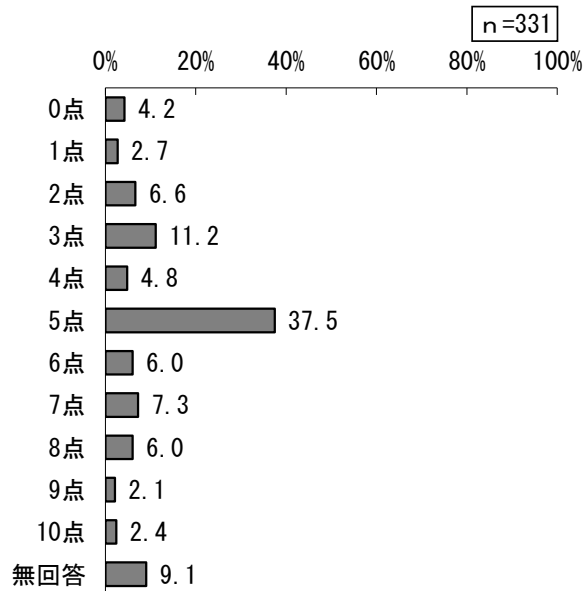
○ 移住の勧めは平均で4.78点となっており、「5点」が37.5%と最も多く、最も少ないのは「9点」で2.1%となっています。

図表 移住の勧めについて (10段階)



値	平均値
4.78	4.78

図表 移住の勧めについて



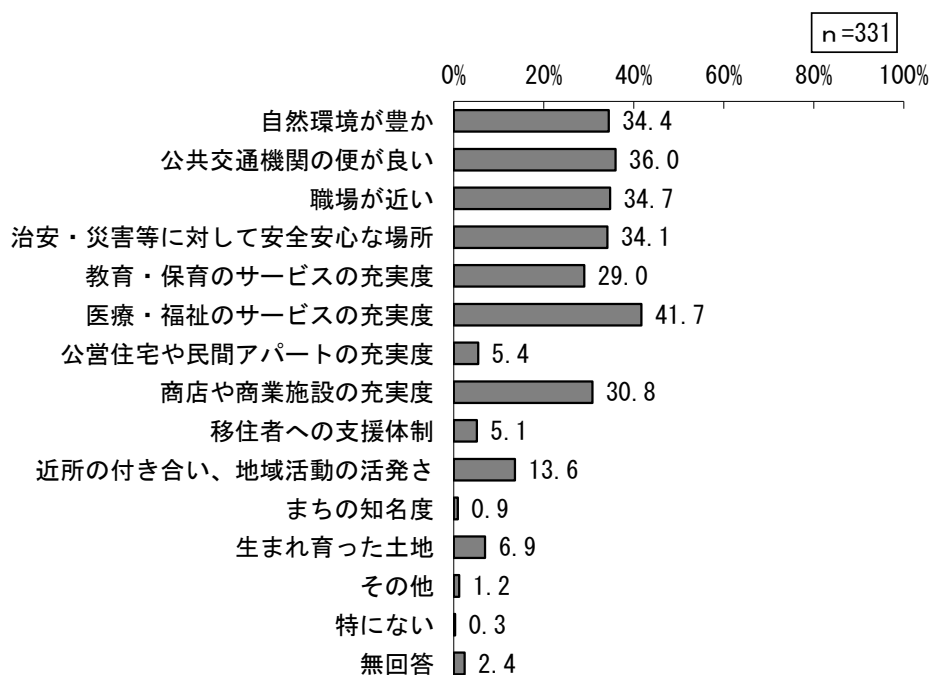
(n=331)					
	回答数	構成比			
1 0点	14	4.2%	7 6点	20	6.0%
2 1点	9	2.7%	8 7点	24	7.3%
3 2点	22	6.6%	9 8点	20	6.0%
4 3点	37	11.2%	10 9点	7	2.1%
5 4点	16	4.8%	11 10点	8	2.4%
6 5点	124	37.5%	無回答	30	9.1%

#### (4) 居住地域を検討する際に重視することについて

問 あなたは、自身が暮らすまち（地域）を検討する際に、どのような点を重視しますか。【3つまでに○】

- 居住地域を検討する際に重視することでは、「医療・福祉のサービスの充実度」が41.7%と最も多く、「公共交通機関の便が良い」が36.0%、「職場に近い」が34.7%と続いています。

図表 居住地域を検討する際に重視することについて



			(n=331)	
			回答数	構成比
1	自然環境が豊か		114	34.4%
2	公共交通機関の便が良い		119	36.0%
3	職場が近い		115	34.7%
4	治安・災害等に対して安全安心な場所		113	34.1%
5	教育・保育のサービスの充実度		96	29.0%
6	医療・福祉のサービスの充実度		138	41.7%
7	公営住宅や民間アパートの充実度		18	5.4%
8	商店や商業施設の充実度		102	30.8%
9	移住者への支援体制		17	5.1%
10	近所の付き合い、地域活動の活発さ		45	13.6%
11	まちの知名度		3	0.9%
12	生まれ育った土地		23	6.9%
13	その他		4	1.2%
14	特にない		1	0.3%
	無回答		8	2.4%

- 居住地域を検討する際に重視することを性別・年齢別にみると、回答全体と同様に、「医療・福祉のサービスの充実度」、「公共交通機関の便が良い」、「職場が近い」を上位に挙げています。そのほか、男性では「自然環境が豊か」と「商店や商業施設の充実度」、女性では「治安・災害等に対して安全安心な場所」と「自然環境が豊か」、10・20歳代、30歳代、50歳代では「商店や商業施設の充実度」、30歳代、40歳代では「教育・保育のサービスの充実度」、50歳代～70歳以上では「治安・災害等に対して安全安心な場所」をそれぞれ上位に挙げています。

図表 居住地域を検討する際に重視することについて（性別・年齢別：上位3項目）

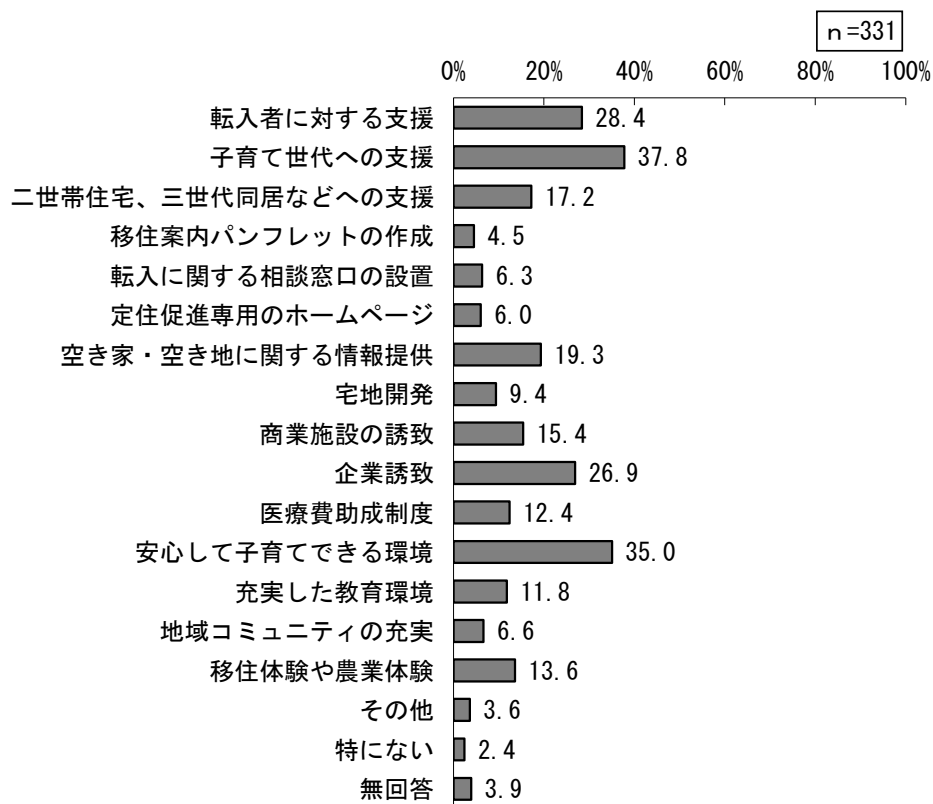
	第1位	第2位	第3位
男性 (n=150)	職場が近い 37.3%	公共交通機関の便が良い 医療・福祉のサービスの充実度 34.7%	自然環境が豊か 商店や商業施設の充実度 31.3%
女性 (n=174)	医療・福祉のサービスの充実度 47.7%	治安・災害等に対して安全安心な場所 38.5%	自然環境が豊か 37.9%
10・20歳代 (n=29)	職場が近い 62.1%	公共交通機関の便が良い 55.2%	商店や商業施設の充実度 37.9%
30歳代 (n=49)	職場が近い 61.2%	商店や商業施設の充実度 44.9%	教育・保育のサービスの充実度 42.9%
40歳代 (n=70)	教育・保育のサービスの充実度 41.4%	職場が近い 40.0%	医療・福祉のサービスの充実度 37.1%
50歳代 (n=57)	商店や商業施設の充実度 42.1%	公共交通機関の便が良い・ 治安・災害等に対して安全安心な場所・医療・福祉のサービスの充実度 40.4%	職場が近い 31.6%
60歳代 (n=56)	医療・福祉のサービスの充実度 53.6%	公共交通機関の便が良い 44.6%	治安・災害等に対して安全安心な場所 41.1%
70歳以上 (n=66)	医療・福祉のサービスの充実度 62.1%	自然環境が豊か 57.6%	治安・災害等に対して安全安心な場所 36.4%

## (5) 今後力を入れるべき支援について

問 Uターン、移住・定住の促進にあたり、大潟村が今後力を入れるべき支援はどのようなことだと思いますか。【3つまでに○】

- Uターン、移住・定住の促進にあたり、大潟村が今後力を入れるべき支援では、「子育て世代への支援」が 37.8%と最も多く、「安心して子育てできる環境」が 35.0%、「転入者に対する支援」が 28.4%と続いています。

図表 今後力を入れるべき支援について



(n=331)		
	回答数	構成比
1 転入者に対する支援	94	28.4%
2 子育て世代への支援	125	37.8%
3 二世帯住宅、三世帯同居などへの支援	57	17.2%
4 移住案内パンフレットの作成	15	4.5%
5 転入に関する相談窓口の設置	21	6.3%
6 定住促進専用のホームページ	20	6.0%
7 空き家・空き地に関する情報提供	64	19.3%
8 宅地開発	31	9.4%
9 商業施設の誘致	51	15.4%
10 企業誘致	89	26.9%
11 医療費助成制度	41	12.4%
12 安心して子育てできる環境	116	35.0%
13 充実した教育環境	39	11.8%
14 地域コミュニティの充実	22	6.6%
15 移住体験や農業体験	45	13.6%
16 その他	12	3.6%
17 特になし	8	2.4%
無回答	13	3.9%

- 今後力を入れるべき支援を性別・年齢別にみると、回答全体と同様に、「子育て世代への支援」、「安心して子育てできる環境」、「転入者に対する支援」を上位に挙げています。そのほか、男性では「企業誘致」、10・20歳代では「移住体験や農業体験」、40歳代～60歳代では「企業誘致」、50歳代、70歳以上では「空き家・空き地に関する情報提供」をそれぞれ上位に挙げています。

図表 今後力を入れるべき支援について（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=150)	子育て世代への支援 40.0%	企業誘致 32.7%	安心して子育てできる環境 32.0%
女性 (n=174)	安心して子育てできる環境 38.5%	子育て世代への支援 35.6%	転入者に対する支援 27.6%
10・20歳代 (n=29)	子育て世代への支援 37.9%	転入者に対する支援 安心して子育てできる環境 34.5%	移住体験や農業体験 27.6%
30歳代 (n=49)	子育て世代への支援 57.1%	転入者に対する支援 46.9%	安心して子育てできる環境 32.7%
40歳代 (n=70)	子育て世代への支援 48.6%	安心して子育てできる環境 41.4%	企業誘致 25.7%
50歳代 (n=57)	企業誘致 38.6%	転入者に対する支援 28.1%	空き家・空き地に関する 情報提供 26.3%
60歳代 (n=56)	安心して子育てできる環境 42.9%	子育て世代への支援 35.7%	転入者に対する支援 企業誘致 26.8%
70歳以上 (n=66)	安心して子育てできる環境 36.4%	空き家・空き地に関する 情報提供 27.3%	子育て世代への支援 25.8%



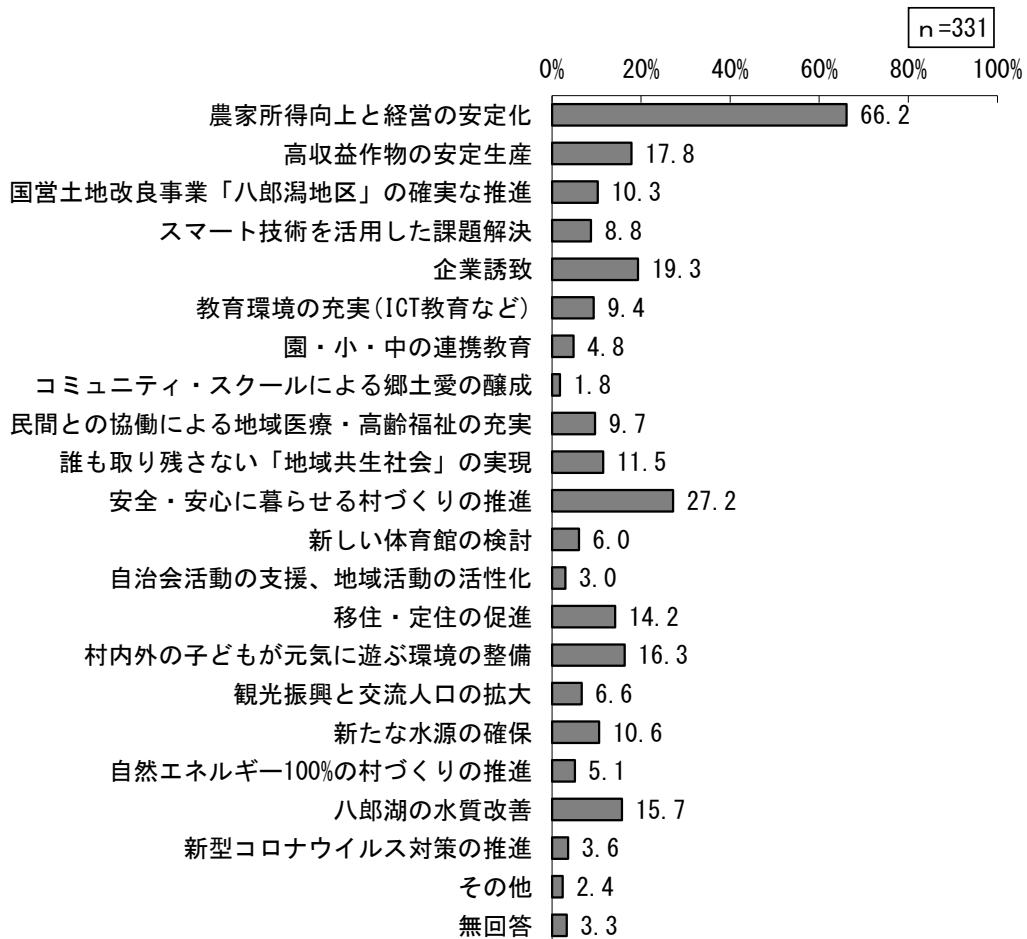
## Ⅱ-5 これからの村づくりについて

### (1) 将来像の実現のために重要な取り組みについて

問 将来像の実現のために、どのような取り組みが重要だと思いますか。【3つまでに○】

- 将来像の実現のために重要な取り組みでは、「農業所得向上と経営の安定化」が66.2%と最も多く、「安全・安心に暮らせる村づくりの推進」が27.2%、「企業誘致」が19.3%と続いています。

図表 将来像の実現のために重要な取り組みについて



(n=331)		
	回答数	構成比
1 農家所得向上と経営の安定化	219	66.2%
2 高収益作物の安定生産	59	17.8%
3 国営土地改良事業「八郎潟地区」の確実な推進	34	10.3%
4 スマート技術を活用した課題解決	29	8.8%
5 企業誘致	64	19.3%
6 教育環境の充実（ICT教育など）	31	9.4%
7 園・小・中の連携教育	16	4.8%
8 コミュニティ・スクールによる郷土愛の醸成	6	1.8%
9 民間との協働による地域医療・高齢福祉の充実	32	9.7%
10 誰も取り残さない「地域共生社会」の実現	38	11.5%
11 安全・安心に暮らせる村づくりの推進	90	27.2%
12 新しい体育館の検討	20	6.0%
13 自治会活動の支援、地域活動の活性化	10	3.0%
14 移住・定住の促進	47	14.2%
15 村内外の子どもが元気に遊ぶ環境の整備	54	16.3%
16 観光振興と交流人口の拡大	22	6.6%
17 新たな水源の確保	35	10.6%
18 自然エネルギー100%の村づくりの推進	17	5.1%
19 八郎湖の水質改善	52	15.7%
20 新型コロナウイルス対策の推進	12	3.6%
21 その他	8	2.4%
無回答	11	3.3%

- 将来像の実現のために重要な取り組みを性別・年齢別にみると、回答全体と同様に、「農家所得向上と経営の安定化」、「安全・安心に暮らせる村づくりの推進」、「企業誘致」を上位に挙げています。そのほか、女性と10・20歳代～40歳代では「村内外の子どもが元気に遊ぶ環境の整備」、30歳代では「高収益作物の安定生産」、60歳代、70歳以上では「八郎湖の水質改善」をそれぞれ上位に挙げています。

図表 将来像の実現のために重要な取り組みについて（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=150)	農家所得向上と経営の安定化 63.3%	安全・安心に暮らせる村づくりの推進 22.7%	企業誘致 22.0%
女性 (n=174)	農家所得向上と経営の安定化 69.5%	安全・安心に暮らせる村づくりの推進 31.0%	村内外の子どもが元気に遊ぶ環境の整備 19.5%
10・20歳代 (n=29)	農家所得向上と経営の安定化 58.6%	安全・安心に暮らせる村づくりの推進 37.9%	村内外の子どもが元気に遊ぶ環境の整備 27.6%
30歳代 (n=49)	農家所得向上と経営の安定化 73.5%	高収益作物の安定生産 村内外の子どもが元気に遊ぶ環境の整備 30.6%	企業誘致 28.6%
40歳代 (n=70)	農家所得向上と経営の安定化 77.1%	村内外の子どもが元気に遊ぶ環境の整備 18.6%	企業誘致 安全・安心に暮らせる村づくりの推進 17.1%
50歳代 (n=57)	農家所得向上と経営の安定化 64.9%	企業誘致 29.8%	安全・安心に暮らせる村づくりの推進 28.1%
60歳代 (n=56)	農家所得向上と経営の安定化 60.7%	安全・安心に暮らせる村づくりの推進 28.6%	八郎湖の水質改善 19.6%
70歳以上 (n=66)	農家所得向上と経営の安定化 60.6%	安全・安心に暮らせる村づくりの推進 34.8%	八郎湖の水質改善 28.8%

## (2) ご意見・ご提案について

問 次の1~9項目について、大潟村で「こんな取り組みはできないか」「こんなところが改善できたらいい」などのご意見・ご提案を記入してください。  
【3つまで選んで意見等を記入】

- ご意見・ご提案は、「農業など産業振興に関すること」が51件と最も多く、「その他(1~8以外に関すること)」を除くと「保健・医療・福祉に関すること」が33件、「子育てや教育に関すること」が31件と続いています。

図表 ご意見・ご提案について

	件数
1 農業など産業振興に関すること	51
2 子育てや教育に関すること	31
3 保健・医療・福祉に関すること	33
4 地域やコミュニティに関すること	24
5 環境やエネルギー・衛生に関すること	26
6 防災や安全・安心に関すること	18
7 行財政に関すること	14
8 協働の村づくりに関すること	6
9 その他(1~8以外に関すること)	37

### ① 農業など産業振興に関すること

図表 農業など産業振興に関すること

テーマ	主な意見
農業・産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これから先、何年も安心して農業ができる村であること。</li> <li>・大潟村は1にも2にも農業振興であると思う。玉葱、パックごはん等、新しい方向も示されて良いことと思うが、農業者の選択にもよるがパックごはんは全農家の対象であってほしい。</li> <li>・農業に関する取組を継続すべきだと考える。</li> <li>・村でどんな農業・産業が展開されているのかを知りたい。事業内容や協力体制などについて知らない。</li> <li>・大潟村でタマネギ栽培があるが、稲作以外の新しい作物の転作や、有機栽培の面積を広げる取り組みをしてみたい。新しいことを始めれば注目もしてもらえると思う。</li> </ul>
次世代・後継者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代に向けて農業の魅力を伝える。村外からも大潟村でやりたいと思える何かがあったら良いのではないかな。</li> <li>・農業を行う上で、人員を確保できない時、それを補うための機械や設備を導入する際の補助制度や支援があるといい。機材貸し出しなど。</li> <li>・農地もある、後継ぎ不足の農家もいる。農業をしたい若者もいるけれど、双方がうまく係わっていないともったいない。双方を仲介できるような仕組みがあると良い。</li> </ul>

テーマ	主な意見
農業以外	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業だけでなく、多様な産業も村にできると活性化すると思う。</li> <li>・農業以外の企業や事業を行う人、行いたい人への情報が少ないため、農家でない人は除外されている気持になるので、その部分の支援や情報発信をしてほしい。</li> <li>・農業以外の産業に育成と工夫を。</li> </ul>

## ② 子育てや教育に関すること

図表 子育てや教育に関すること

テーマ	主な意見
子育て・教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産後のお母さんが、育児でいっぱいになった時に駆け込める一時保育があるといい。現在は6ヶ月～の受け入れだが、それより生後8週～受け入れ可能にしてほしい。</li> <li>・農家前提で全てが決められ、進められている気がする。他業種の家庭にも目を向けてほしい。</li> </ul>
無償化・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生の医療費無料化</li> <li>・高校生、大学生を持つ家族への支援があると良い。出費は増えるが補助がないため。</li> <li>・学校給食費の無償化、就学援助の入学前支給</li> <li>・教育環境を充実させ、教育費を村が負担するなどして、子育て世代が移住しやすいようにする。</li> </ul>
遊び場・居場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て環境は充実しているよう思う。(幼・小・中の連携、マル福、商品券の配布。) 魅力のある遊び場等を建設し、村外からも足を運んでもらい、村をもっと身近に感じてもらいたい。</li> <li>・こども園～中学校までの教育体制は、他市町村に比べて充実していると思うが、村の成り立ちの性質上、祖父母がいない人やサラリーマン家庭(共稼ぎ)の人達への放課後の低学年のフォローが手薄な気がするし、子供の遊び場も少ない気がする。学校に近い旧保育園等を活用して、安心できる子供の居場所を作してほしい。</li> <li>・子供の遊び場をもっと作ってほしい。</li> </ul>

## ③ 保健・医療・福祉に関すること

図表 保健・医療・福祉に関すること

テーマ	主な意見
保健・福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入植して50年余、村づくりに協力、努力してくれた人達も高齢化してきました。入植して良かった、村づくりに人生をかけて意義があった、と「最後良ければ全て良し」となる人生には、村の保健・福祉事業が大切です。日本一の福祉の村づくり事業を実行して下さい。</li> <li>・運動不足の生活が長く続いているのですが、気兼ねなく体を動かせる施設がなくて困っています。団体に所属すれば何らかの施設(体育館や福祉施設のような)は使用できると思いますが、所属していなくても個人でフラッと動かせるような場がほしいです。</li> </ul>
医療・診療所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児科の先生がいてくれるといい。</li> <li>・村の中に医療機関(専門医)が少ないため、村外に行かなければならない。</li> <li>・人口に対してのことなので仕方ないかもしれないが、総合病院がないことの不便さ。</li> <li>・村の医療機関を利用したことがないので知りたい。ネット予約を導入している</li> </ul>

テーマ	主な意見
	所や総合病院をいつも利用しているが、近場で済ませられるなら、村の施設を利用したいと思う。
休日診療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療所の休日診療（毎週でなくても良く、休日診療を行った際は、どこかの平日を休診とするとか…）</li> <li>・土・日の休日医療が不安です。何とかできないか。</li> <li>・土曜日の診療がないのは残念です。（診療所）</li> </ul>
移動手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者のバス停までの移動が大変である。電話等で、家までバスが来れるようにできないか。</li> <li>・病気の時の移動手段（特に冬）。タクシーも無い村ですので心配。</li> <li>・これからは年寄りが多くなるので、交通の便を考えてほしい。</li> </ul>

#### ④ 地域やコミュニティに関すること

図表 地域やコミュニティに関すること

テーマ	主な意見
地域・コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世代が近い者同士で固まりすぎている傾向がある。確かに一部は上下関係なく係れるが、その分、色々な会でその一部に全部負担させてしまっている。何とか少しでもいいので世代関係なく繋がれば良いと思う。</li> <li>・地域の人間関係が薄れている感じがする。世代ごとに考え方が違うので、仕方ないことなのか？ 仕事もコロナ禍で思うようにできず、集まることがなくなっている。</li> <li>・関係人口を増やすことが地域活性化につながる。しかしながら、村の情報発信が非常に弱い。</li> </ul>
住区花壇・サルビア植え活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住区花壇について、住区任せで続けて行くには限界があると思うので、そろそろ住区以外での運営・管理方法を考えてほしい。</li> <li>・住区でのサルビア植え活動に、そろそろ限界を感じる。（利用法を各住区にまかせてもいいのでは？）花壇の場所を歩道に。今の歩道を自転車専用道路に。お願いします。</li> </ul>
イベント・行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村民や住区の行事が、他の地域と比べて多すぎる。</li> <li>・平日の行事が多すぎ。参加できないことへの罪悪感を感じ、人前に出ることに抵抗を感じることもある。</li> <li>・コロナ禍が収束したら、世代を超えて交流できるイベントがあれば希望を持てる気がします。</li> </ul>

#### ⑤ 環境やエネルギー・衛生に関すること

図表 環境やエネルギー・衛生に関すること

テーマ	主な意見
環境・エネルギー・衛生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大潟村で使うエネルギー、特に電力は、太陽光などにより自前でまかなう方向で考えて良いのでは。</li> <li>・景気が悪くなってきたためか、大潟村の外への魅力発信が功を奏しているのか、村外からの人の往来が増えている気がするが、それに伴い、ゴミのみならずペット捨てや道路使用のマナー違反が目立つ。啓蒙活動や取り締まりの強化はできないか。</li> <li>・防風林があちこちで根から倒れたり、松が枯れたりするのを見続けて心が病みます。自然現象で続々と増えていると思うが、早めに片付けられたら良いと思います。</li> </ul>

テーマ	主な意見
水質改善・安心な水	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 八郎湖の水質改善</li> <li>・ 農業の畑作振興をさらに進めると、農業用水を使わなくなるので、八郎湖の水質改善に直結すると考える。また、たまねぎのゴミや籾殻等有機質資材も豊富にあるので、畜産業を誘致することで堆肥としても利用できる。堆肥場を作ってほしい。</li> <li>・ 八郎湖水質改善のため、周辺市町村との連携強化。</li> <li>・ 浄水器を取り付けなくてもおいしい水が飲めるように水質を良くしてほしい。子供に飲ませることはできないので、水道水を安心して飲ませられたらと思う。</li> <li>・ 安心して飲める水にしてほしい。</li> </ul>

## ⑥ 防災や安全・安心に関すること

図表 防災や安全・安心に関すること

テーマ	主な意見
防災・安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地震や台風の時に、メールやLINEで避難情報等を受け取ることができれば便利だと思う。</li> <li>・ 毎年防災訓練をしているが、住区内での参加は少ないように思う。関心が薄れている。見直しが必要か？ マンネリ化。</li> <li>・ もし災害などが起きた場合に備え、隣近所、地域の方々と安全な行動をする防災組織（地域班）とかあればいいなと思っています。</li> <li>・ 大潟村が安全な所なのか危険な所なのかよくわからない。いざという時、個々がどのような対策をすべきなのか、わかりやすく示してほしい。どんな準備が必要なのか？</li> <li>・ 特に防風林が大きく育って倒木の危険があちこち見られる。早く処理すべき。</li> <li>・ いろいろな所が老朽化している。それらを改善するのに予算が足りないのでは。</li> </ul>
歩道・道路・車	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一時停止しない車が多い。</li> <li>・ 一時停止なしでウイカーも出さずに出てくる車がチラホラいる。本当に危ないという場面もあるので、危険運転を減らせるような取り組みをお願いしたい。</li> <li>・ 車の交通マナーが悪すぎる。一度、徹底的に取り締まってほしい。</li> <li>・ 村内で事故が起きないように、村内全ての一時停止の場所に「停止線」「止まれ」を書いてほしい。健康と防犯のため、歩道の整備とLEDを増量して、夜のランニングとウォーキングを増やす。村のために働いている人（通勤、客）や学生を、夜と冬守るために、村内（堤防内）と大学から神社までの歩道をLED化。</li> </ul>

## ⑦ 行財政に関すること

図表 行財政に関すること

テーマ	主な意見
行財政・役場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な取り組みに対して一定の評価をしつつも、村民が行政と共に歩んでいるとより強く思えるように、今後もより村民の理解を得つつ、行政の見える化の促進に取り組んで頂きたい。</li> <li>・ 役場の職員の皆さんは、もっと村民の中に入って行ってほしい。</li> <li>・ 行財政のスリム化。コンパクトシティとなっており、他市町村より低コスト運営できる環境にある。さらに建物の効率化。使用率の悪いものは時代とともに無くすことも検討する必要あり。</li> </ul>

## ⑧ 協働の村づくりに関すること

図表 協働の村づくりに関すること

テーマ	主な意見
村づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去から現在に至る村内の各勢力が、今バランスを保ち、村づくりを推進していることを大きく評価しつつも、それらに属さない人々やバックアップのない人々の声も拾い上げ、また志のある有望な若者を育てるシステム作りを推進して頂きたい。そして将来的には、より強い、一つになった大湊村を築いて頂きたい。</li> <li>・村づくりへの、今まで以上に多くの住民の参加をもっと高める取り組み。</li> <li>・入植2世代、3世代の方達に、もっと耕心会の活動を理解して頂いて、村の環境づくり啓蒙に、仲間づくり活動に参加してもらい、それが結局は自分自身の老後の健康管理になり、村としても老人の生き甲斐の対象にもなると思う。いま一度、次世代の方達のご理解をお願いしたいと思う。</li> </ul>

## ⑨ その他（1～8以外に関すること）

図表 その他（1～8以外に関すること）

テーマ	主な意見
観 光	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客などがボートを体験できる所があったら楽しそう。</li> <li>・桜並木や菜の花ロード以外の観光資源があってもいいと思う。広大な土地や周辺に遮る建物がない場所は滅多にないので、生かしたほうが良いと思う。例えば、田んぼアートや、夜に田んぼエリアに行くと街灯がないので星がすごくきれに見える…など。</li> </ul>
若 者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働く場、住む所が少ないと、若い人が増えないと思う。そして農家は大学生のアルバイトに頼る人が増え、高齢化している。個別の案件だけでなく、俯瞰的にとらえて企業誘致・宅地開発をしながら、村を盛り上げて行ければ良いと思う。</li> <li>・若者も利用できるトレーニング施設が必要だと思います。夜や冬場に体を動かせる場所がほしいです。</li> </ul>
店 舗	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村の中に、生活用品を購入できる店を増やしてほしい。</li> <li>・物を買うにしても、最寄りの店までが遠い。商業施設を多くしていけたら良いと思う。旧保育園の有効活用。（建て替え等）</li> </ul>



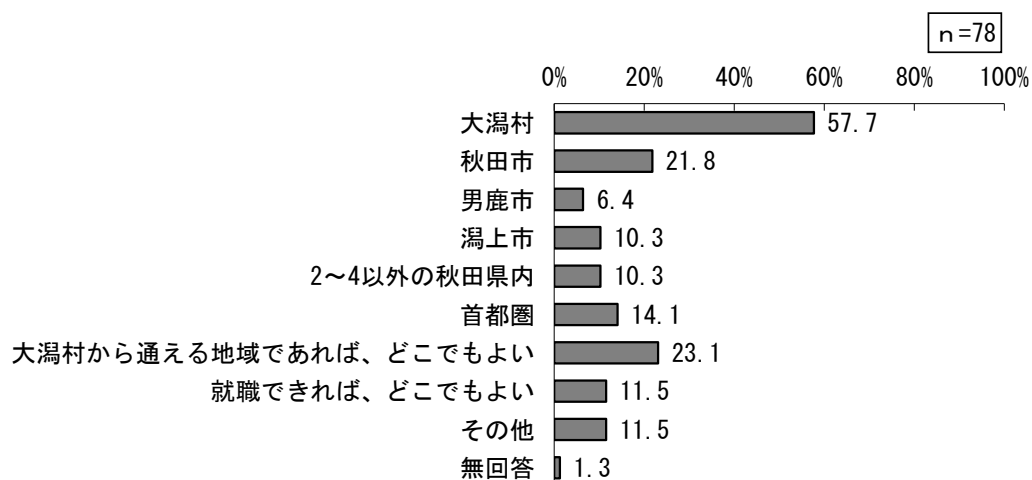
## Ⅱ-6 将来の働き方について（40歳未満の方のみ対象）

### （1）働きたい「地域」について

問 現在、または今後働きたい「地域」はどこですか。【3つまでに○】

- 働きたい地域は、「大潟村」が 57.7%と最も多く、「大潟村から通える地域であれば、どこでもよい」が 23.1%、「秋田市」が 21.8%と続いています。

図表 働きたい「地域」について



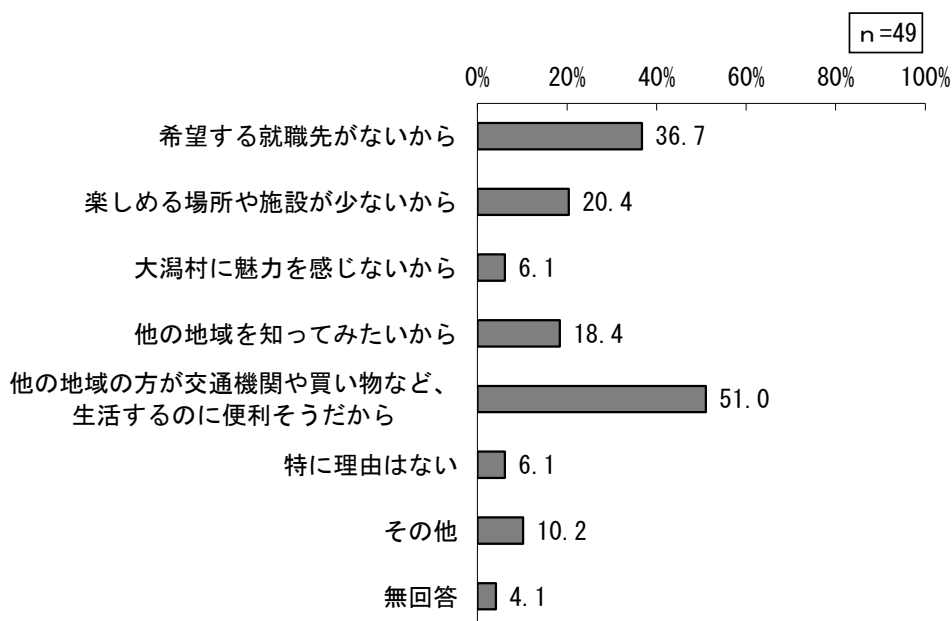
(n=78)		
	回答数	構成比
1 大潟村	45	57.7%
2 秋田市	17	21.8%
3 男鹿市	5	6.4%
4 潟上市	8	10.3%
5 2~4以外の秋田県内	8	10.3%
6 首都圏	11	14.1%
7 大潟村から通える地域であれば、どこでもよい	18	23.1%
8 就職できれば、どこでもよい	9	11.5%
9 その他	9	11.5%
無回答	1	1.3%

## (2) 大潟村以外の地域を選んだ理由について

問 前問で「1. 大潟村」以外の地域を選んだ方（選択肢 2~7）にうかがいます。  
その理由を次の中から選んでください。【3つまでに○】

- 大潟村以外の地域を選んだ理由は、「他の地域の方が交通機関や買い物など、生活するのに便利そうだから」が 51.0%と最も多く、「希望する就職先がないから」が 36.7%、「楽しめる場所や施設が少ないから」が 20.4%と続いています。

図表 大潟村以外の地域を選んだ理由について



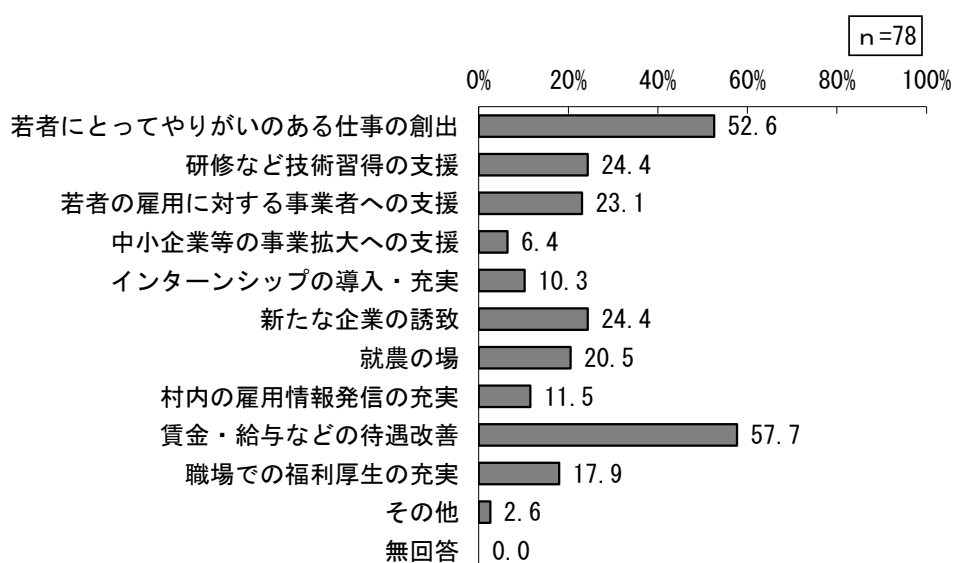
(n=49)		
	回答数	構成比
1 希望する就職先がないから	18	36.7%
2 楽しめる場所や施設が少ないから	10	20.4%
3 大潟村に魅力を感じないから	3	6.1%
4 他の地域を知ってみたいから	9	18.4%
5 他の地域の方が交通機関や買い物など、生活するのに便利そうだから	25	51.0%
6 特に理由はない	3	6.1%
7 その他	5	10.2%
無回答	2	4.1%

### (3) 若者が大潟村で働くために必要なものについて

問 あなたは、若者が大潟村で働くために必要なものは何だと思いますか。  
【3つまでに○】

- 若者が大潟村で働くために必要なものは、「賃金・給与などの待遇改善」が 57.7%と最も多く、「若者にとってやりがいのある仕事の創出」が 52.6%、「研修など技術習得の支援」と「新たな企業の誘致」がそれぞれ 24.4%と続いています。

図表 若者が大潟村で働くために必要なものについて



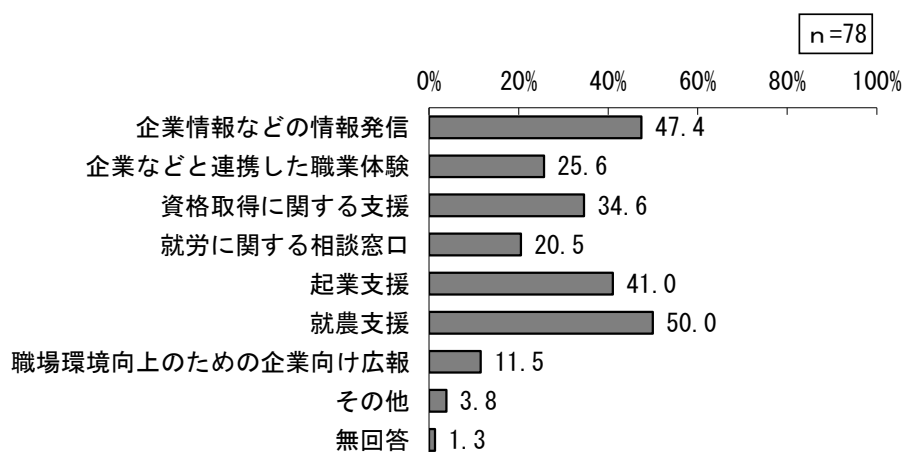
(n=78)		
	回答数	構成比
1 若者にとってやりがいのある仕事の創出	41	52.6%
2 研修など技術習得の支援	19	24.4%
3 若者の雇用に対する事業者への支援	18	23.1%
4 中小企業等の事業拡大への支援	5	6.4%
5 インターンシップの導入・充実	8	10.3%
6 新たな企業の誘致	19	24.4%
7 就農の場	16	20.5%
8 村内の雇用情報発信の充実	9	11.5%
9 賃金・給与などの待遇改善	45	57.7%
10 職場での福利厚生への充実	14	17.9%
11 その他	2	2.6%
無回答	0	0.0%

## (4) 大潟村の就労・雇用の充実を図るための支援について

問 大潟村の就労・雇用の充実を図るために、村が行う必要があると感じる支援はどのようなことですか。【3つまでに○】

- 大潟村の就労・雇用の充実を図るための支援は、「就農支援」が50.0%と最も多く、「企業情報などの情報発信」が47.4%、「起業支援」が41.0%と続いています。

図表 大潟村の就労・雇用の充実を図るための支援について



(n=78)		
	回答数	構成比
1 企業情報などの情報発信	37	47.4%
2 企業などと連携した職業体験	20	25.6%
3 資格取得に関する支援	27	34.6%
4 就労に関する相談窓口	16	20.5%
5 起業支援	32	41.0%
6 就農支援	39	50.0%
7 職場環境向上のための企業向け広報	9	11.5%
8 その他	3	3.8%
無回答	1	1.3%